ES350h

マルチメディア 取扱説明書

基本操作および設定	マルチメディアシステムの基本操作および設定	1
スマートフォンや通信機器の接続	Bluetooth®や Wi-Fi®を使用するには	2
ナビゲーション	目的地を設定してルート案内をする	3
オーディオシステム	ラジオを聴くには 音楽を楽しむには	4
ハンズフリー電話	携帯電話をハンズフリーで使用するには	5
G-Link	G-Link を利用するには	6
駐車・ 走行支援システム	車両周囲の状況を確認するには	7
ドライブレコーダー	走行中や駐車中の映像を録画するには	8
ETC の利用	ETC2.0 を利用するには	9
付録	参考情報 認証・商標についての情報	10
さくいん	アルファベット順で検索 五十音順で検索	

はじめに

知っておいていただきたいこと 7
本書の見方 10
イラスト目次 12

1 基本操作および設定

1-1. マルチメディアシステムの基本操作

ディスプレイと操作スイッチ ... 14
マルチメディア画面の見方 16
メインメニュー 17
ステータスアイコンの見方 19
タッチスクリーンの操作 22
画面の基本操作 25
文字や数字の入力 27
ホーム画面 29
クイックコントロール画面 33
通知センター 35
設定項目を検索する 36

1-2. エージェント（音声対話サービス）

音声操作を開始する 37
音声コマンドを発話する 40

1-3. マイセッティング

マイセッティング 41
オーナードライバーを登録する 43
ドライバーを切りかえる 47
新しいドライバーを登録する ... 48
検出した周辺のドライバーを表示する 50
ドライバーの登録を削除する ... 52

1-4. 各種設定

各種設定を変更する 53

1-5. アカウント設定

アカウントの設定を変更する ... 55
ドライバーの切りかえや登録をする 56
ドライバー設定を変更する 58
プライバシー設定を変更する ... 61

1-6. 共通設定

共通設定を変更する 63
画面表示の設定を変更する 64
ソフトウェア情報の確認や更新をする 66
操作サポートに関する設定を変更する 69
日付や時刻表示に関する設定を変更する 70
言語や表示単位に関する設定を変更する 71
音声操作の設定を変更する 72
キーボードに関する設定を変更する 73
エージェントからの提案に関する設定を変更する 74

2 スマートフォンや通信機器の接続

2-1. Bluetooth®機能の使い方

Bluetooth®機器使用上の留意事項 78
Bluetooth®機器を登録する 81
Bluetooth®機器の登録を削除する 84
Bluetooth®機器との接続 85
Bluetooth®機器をメイン機器に設定する 88
Bluetooth®機器をサブ機器に設定する 89

2-2. Bluetooth®設定

Bluetooth®機器を設定する 90

2-3. Wi-Fi®／車内 Wi-Fi（Hotspot）への接続

Wi-Fi®機器使用上の留意事項 ... 93
Wi-Fi®を使用してネットワークに接続する 95

車内 Wi-Fi（Hotspot）に接続する 97

2-4. Wi-Fi®／車内 Wi-Fi（Hotspot）設定

Wi-Fi®を設定する 100
車内 Wi-Fi（Hotspot）を設定する 102

2-5. Apple CarPlay/Android Auto の使い方

Apple CarPlay/Android Auto 使用上の留意事項..... 104
Apple CarPlay を使用する 106
Android Auto を使用する 109
Apple CarPlay/Android Auto が故障したとお考えになる前に 112

3 ナビゲーション

3-1. ナビゲーションシステムについて

コネクティッドナビ..... 118

3-2. 地図の基本操作

地図画面の概要 119
地図のスクロール..... 122
地図のスケールを切りかえる . 123
地図の向きを切りかえる..... 124
地図表示メニュー..... 126
周辺施設アイコンを表示する . 127
地図表示の設定 130

3-3. 目的地の検索

目的地を探す 136
検索ワードを入力して目的地を探す 137
住所で目的地を探す..... 139
電話番号で目的地を探す..... 140
充電施設を探す 141
お気に入り地点から目的地を探す 142
履歴から目的地を探す..... 143
スマートフォンから目的地を設定する 144
音声操作で目的地を探す..... 147
施設の詳細情報を表示する.... 148

3-4. ルート探索・案内

ルートを探索する..... 149
ルートを選択する..... 152
ルートを編集する..... 153
ルート情報を確認する..... 156
ルート案内中の表示..... 157
交差点拡大図 159
経由地を追加する..... 161
渋滞回避ルートへの切替提案 . 162

3-5. 地点の登録

自宅を登録する 163
お気に入り地点の登録・編集 . 164

3-6. 交通情報

VICS 交通情報を表示する 167
VICS 図形情報や文字情報を表示する 171
FM 緊急情報の表示 173
気象・災害情報のエリア表示 . 174
みちびき災害危機通報サービスの表示 175
割込情報の表示（光ビーコン） 176
割込情報の表示（ETC2.0） .. 177
TSPS（信号情報活用運転支援システム） 179
VICS について..... 182

3-7. 設定・地図更新

ナビゲーションの設定..... 193
地図表示の設定 194
案内の設定 197
お気に入り・履歴の設定..... 204
ETC システムの設定 206
VICS ETC2.0 の設定 208
地図更新 211

4 オーディオシステム

4-1. オーディオの基本操作

オーディオシステムの ON/OFF と音量を調整する 214
オーディオのソースを選択する 216
USB 機器を接続する 218
HDMI 機器を接続する 220

4-2. サウンド＆メディア設定

サウンドやオーディオの設定を変更する 221

4-3. 地上デジタルテレビの視聴

地上デジタルテレビ視聴時の留意事項 223
地上デジタルテレビを視聴する 226
地上デジタルテレビ用アンテナの取り扱い 235

4-4. ラジオの操作

ラジオを聴く 236
交通情報を聴く 239
ラジオ用アンテナの取り扱い . 240

4-5. Bluetooth®オーディオの操作

Bluetooth®オーディオ再生時の留意事項 241
Bluetooth®オーディオを再生する 242

4-6. USB メモリーの操作

USB メモリー再生時の留意事項 245
USB メモリーの音楽ファイルを再生する 247

4-7. iPod モードの操作

iPod モードで再生時の留意事項 249
iPod モードで再生する 250

4-8. Apple CarPlay の操作

Apple CarPlay 再生時の留意事項 253
Apple CarPlay で再生する 254

4-9. Android Auto の操作

Android Auto 再生時の留意事項 256
Android Auto で再生する 257

4-10. 音楽配信サービスの操作

音楽配信サービスを再生する . 259

4-11. HDMI の操作

HDMI 再生時の留意事項 262
HDMI を再生する 263

5 ハンズフリー電話

5-1. ハンズフリー電話使用上の留意事項

ハンズフリー電話についての留意事項 266
ハンズフリー電話が故障したとお考えになる前に 270

5-2. ステアリングスイッチでのハンズフリー電話の操作

ステアリングスイッチで操作する 273

5-3. 電話のかけ方

履歴から電話をかける 274
ワンタッチダイヤルから電話をかける 276
連絡先から電話をかける 277
キーパッドから電話をかける . 278
110 番／119 番にかける 279
ウェイト／ポーズ信号を使って電話をかける 280

5-4. 電話の受け方

電話に出る 281
着信を拒否する 283

5-5. 通話中の操作

通話画面で操作する 284
割込着信の電話に出る 286
通話中に別の通話相手へ電話をかける 287
グループ通話をする 288

電話を切る 289
5-6. ハンズフリー電話の変更
ハンズフリー電話を切りかえる 290
5-7. 連絡先データの編集
連絡先データの転送..... 291
ワンタッチダイヤルを登録する 293

6 G-Link
6-1. G-Link のサービス概要
G-Link とは..... 296
データ通信に関する留意事項 . 297
6-2. G-Link の利用手続き
G-Link を契約する 300
G-Link を利用する 301
G-Link を解約する 304
6-3. ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）
ヘルプネットについて..... 305
各部の名称とはたらき..... 307
安全のために 308
ヘルプネットをお使いになる前に 310
緊急通報をする 311
保守点検をする 315
表示灯について 318
緊急通報できない場合について 320
故障とお考えになる前に..... 322
6-4. リモートメンテナンスサービス
リモートメンテナンスサービスについて 323

7 駐車・走行支援システム
7-1. パノラミックビューモニター
パノラミックビューモニターの機能 326
カメラ／パーキングアシストライトの位置 328
カメラのお手入れ方法..... 330
パノラミックビューモニターの操作と画面 331
パノラミックビューモニター画面の見方や機能..... 335
パノラミックビューモニターの設定を変更する..... 339
故障とお考えになる前に..... 340
フリー／オープンソースソフトウェア情報 341

8 ドライブレコーダー
8-1. ドライブレコーダー
ドライブレコーダーについて . 344
手動録画を開始する..... 352
録画映像を再生する..... 353
録画映像の画質を調整する 355
録画映像を外部メディアに転送する 356
ドライブレコーダーの設定を変更する 360
ドライブレコーダーアプリ 362
故障とお考えになる前に..... 363

9 ETC の利用
9-1. ETC のサービス概要
ETC2.0 サービスについて 368
ETC サービスについて..... 369
9-2. ETC の操作
ETC2.0 ユニットの使い方 372
クリーニングについて..... 379
9-3. エラーコードについて
統一エラーコード一覧について 380
9-4. 道路事業者からのお願い
道路事業者からのお願い..... 382

9-5. お問合せ先一覧
お問合せ先一覧 388

10 付録

10-1. 付録
メディア／データについての情報 392
認証・商標についての情報 402
フリー／オープンソフトウェア情報 403
さくいん 404

知っておいていただきたいこと

マルチメディア取扱説明書

- 本書は、マルチメディアシステムの取り扱いを説明しています。車両本体の「取扱説明書」と併せてお読みください。
- レクサス販売店で取り付けられた装備（販売店装着オプション）の取り扱いについては、その商品に付属の取扱説明書をお読みください。
- 本書の内容は、仕様変更やソフトウェアの更新などによりお車と一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本書の画面と実際の画面は、装備、契約の有無、地図データの作成時期などによって異なります。
- 本書に記載されている会社名や商品などは、各社の商標および登録商標です。

個人情報の取り扱いについて

マルチメディアシステムは、サービスの提供のため個人情報を含むデータをセンターに送信しています。また、提供するサービスによっては個人情報を含むデータの登録が必要な場合があります。

データの補償に関する免責事項について

マルチメディアシステムは各種データを内蔵メモリーに保存します。マルチメディアシステムの故障、修理、誤作動、不具合などにより、メモリーに保存されたデータなどが変化、消失することがあります。

お客様がメモリーに保存されたデータについて、正常に保存できなかった場合や損失した場合のデータの補償、および直接または間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

ダイアグレコーダーについて

お車の万一の故障発生に備えて、回転数や冷却水温度などの故障診断に有用な情報を G-Link システム内に常時記録します。

補機バッテリーの取りはずしについて

マルチメディアシステムはパワースイッチを OFF にするごとに、各種データをマルチメディアシステムに保存しています。各種データの保存が終わる前に補機バッテリーターミナルを取りはずすと、データが正常に保存できないことがあります。

ソフトウェアアップデートについて

G-Link ご利用契約中のお客様は通信モジュール（DCM）を使ってソフトウェアアップデートを実施することで、システムのアップデート・機能の変更／追加ができます。

本書では、2026 年 3 月時点の情報を記載しています。各機能の制御内容・取り扱い・警告／注意事項などの最新情報については、マルチメディアディスプレイで確認することができます。(→P.66)

- お客様の安全にかかわる問題や法規上の問題が発生したときは、一時的に一部の機能を作動不可にすることがあります。あらかじめご了承ください。
- G-Link 利用契約が未契約／未更新の場合、無線通信によるソフトウェアアップデートは行われません。
- G-Link 利用契約が未契約／未更新の場合、マルチメディアで更新情報を確認することができません。更新情報については、レクサス公式ウェブサイトをご確認いただくか、レクサス販売店にご相談ください。

⚠ 警告

ソフトウェアを更新することで各機能の取り扱い方法がかわることがあります。正しい取り扱い方法を知らずにシステムを使用すると、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ ソフトウェアの更新

ソフトウェアアップデートがある場合、マルチメディアシステムにて通知画面が表示されます。画面の指示に従ってください。

ソフトウェアを更新することで、各機能の取り扱い方法が変わったり、機能が追加されたりすることがあります。

- 一度ソフトウェアアップデートを実施すると、前のバージョンにもどすことはできません。
- 通信環境や更新内容によって、ソフトウェアアップデートに数時間かかることがあります。パワースイッチを OFF にすると更新は中断されますが、再度 ON にすると前回の続きから再開します。
- ソフトウェアアップデートに失敗した場合、前のバージョンでシステムを起動します。

動作確認済み携帯電話について

動作確認済み携帯電話については、下記 URL をご確認ください。

URL	QR コード
https://lexus.jp/total_care/connected/smartphone/	

知識

- 動作確認は、一定の条件下で確認したものであり、スマートフォン側の設定条件などにより、同じ機種であっても接続できないことがあるため、すべての端末につい

て結果を保証するものではありません。予告なく情報が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- 本動作確認は一部のスマートフォンに対して行ったものであり、掲載されていないスマートフォンなど（格安 SIM 含む）については動作確認を行っておりません。本確認結果は特にマルチメディアシステムとスマートフォンの接続に関するものであり、通話品質、データの通信能力、アプリの動作など、携帯電話すべての機能を評価保証するものではありません。

安全にお使いいただくため

安全のため、次の内容にしたがってお使いください。

ナビゲーションは、目的地に到着するまでのサポートをするものです。運転者には、安全運転をして乗員の安全を守る全責任があります。

安全運転をさまたげるような使い方はしないでください。運転中は常に交通規則にしたがって安全運転を心がけてください。

運転中は、音声案内に従い、安全な状況でのみ少しのあいだだけ画面を見るようにしてください。ただし、音声案内にすべてを頼るのではなく、あくまでも参考としてください。正常に自車位置を特定できない場合、音声案内が誤っていたり、遅れたり、音声案内されないことがあります。

システム内のデータは不完全な場合があります。運転規制（左折禁止や通行止め）などの道路状況はひんぱんに変更されます。そのため、指示に従う前に、指示の内容が安全かつ合法であるか確認してください。

安全のため、走行中は、一部操作・表示できない機能があります。

⚠ 警告

- 安全のため、運転中は運転者がシステムを操作しないでください。道路や交通への注意が不十分な場合、事故を引き起こす可能性があります。
- 運転中は、必ず交通規制を遵守し道路状況に注意してください。道路の交通標識が変更された場合、一方通行指示などの情報がルート案内に反映されない場合があります。

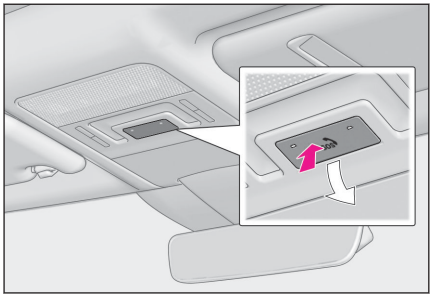
本書の見方

本書で使用している記号について説明します。

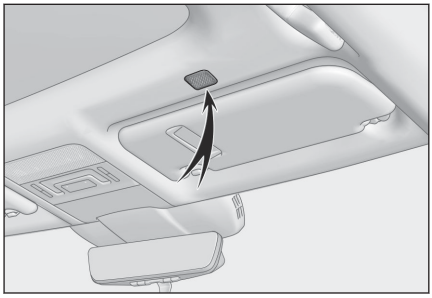
本文の記号について

記号	意味
	警告：お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。
	注意：お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。
1 2 3…	操作や作業の手順を示しています。
	知識：機能や操作方法の説明以外で知っておいていただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。

イラスト上の記号について



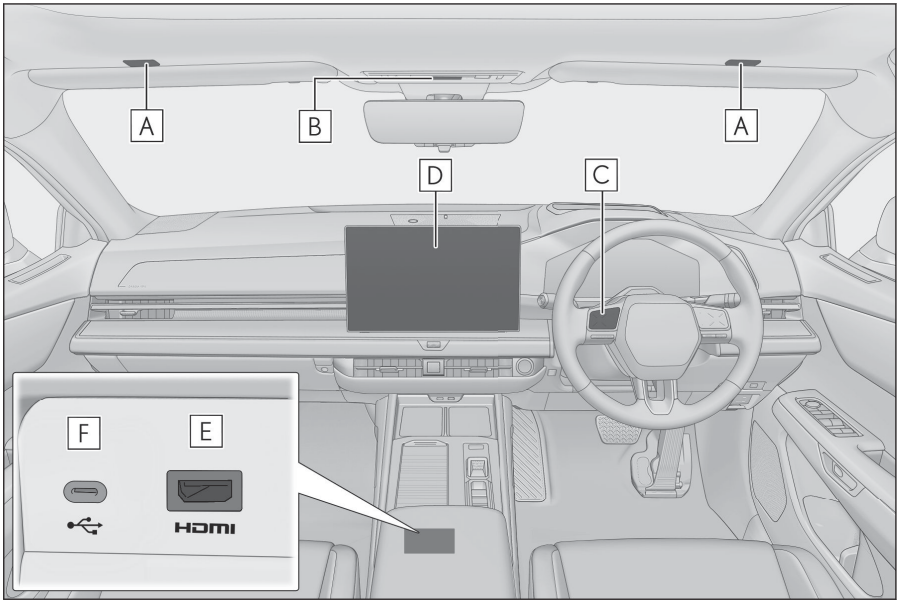
記号	意味
	押す、まわすなどの操作を示しています。
	フタが開くなど、操作後の作動を示しています。



記号	意味
	説明の対象となるものや場所を示しています。

イラスト目次

インストルメントパネル



A マイク P.39

B ヘルプネットスイッチ P.307

C ステアリングスイッチ

オーディオを操作する P.214

エージェント（音声対話サービス）を使用する P.37

電話をかける P.273

D ディスプレイ P.14

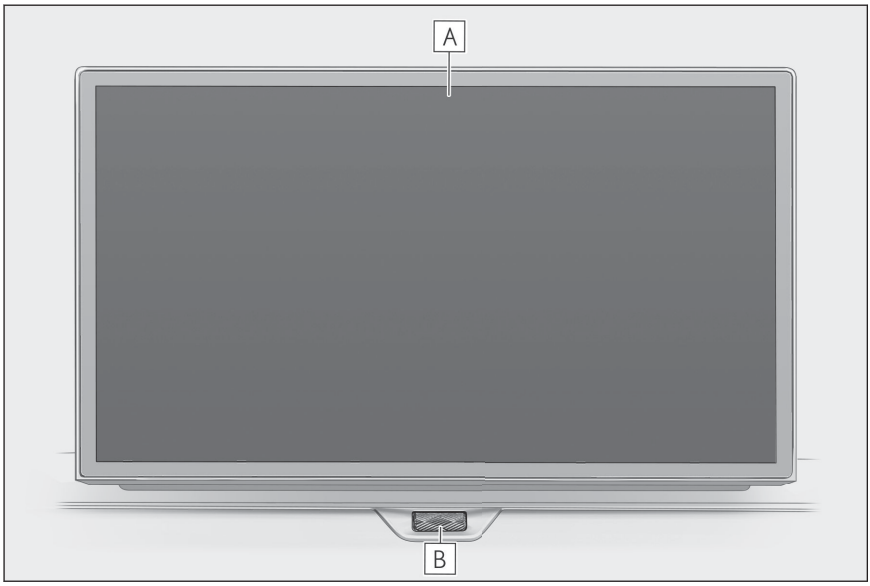
E HDMI 端子 P.220

F USB Type-C 端子 P.218

1 基本操作および設定

1-1. マルチメディアシステムの基本操作
ディスプレイと操作スイッチ ... 14
マルチメディア画面の見方 ... 16
メインメニュー ... 17
ステータスアイコンの見方 ... 19
タッチスクリーンの操作 ... 22
画面の基本操作 ... 25
文字や数字の入力 ... 27
ホーム画面 ... 29
クイックコントロール画面 ... 33
通知センター ... 35
設定項目を検索する ... 36
1-2. エージェント（音声対話サービス）
音声操作を開始する ... 37
音声コマンドを発話する ... 40
1-3. マイセッティング
マイセッティング ... 41
オーナードライバーを登録する ... 43
ドライバーを切りかえる ... 47
新しいドライバーを登録する ... 48
検出した周辺のドライバーを表示する ... 50
ドライバーの登録を削除する ... 52
1-4. 各種設定
各種設定を変更する ... 53
1-5. アカウント設定
アカウントの設定を変更する ... 55
ドライバーの切りかえや登録をする ... 56
ドライバー設定を変更する ... 58
プライバシー設定を変更する ... 61
1-6. 共通設定
共通設定を変更する ... 63
画面表示の設定を変更する ... 64
ソフトウェア情報の確認や更新をする ... 66
操作サポートに関する設定を変更する ... 69
日付や時刻表示に関する設定を変更する ... 70
言語や表示単位に関する設定を変更する ... 71
音声操作の設定を変更する ... 72
キーボードに関する設定を変更する ... 73
エージェントからの提案に関する設定を変更する ... 74

ディスプレイと操作スイッチ



A ディスプレイ

タッチスクリーンを指で直接ふれて操作します。

B POWER/VOLUME スイッチ

オーディオの ON/OFF や音量を調整できます。(→P.214)

知識

- 液晶画面は、周囲環境や見る方向により画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりします。
- 太陽の光などの外光が画面にあたると画面が見にくくなります。
- 偏光レンズを使用したサングラスなどを装着すると、画面が暗く見えたり、見にくくなったりします。

⚠ 警告

安全のため、運転者は走行中に極力操作をせず、停車させてから操作をしてください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

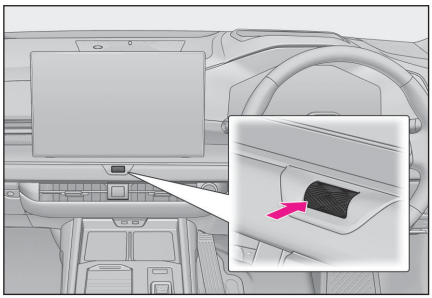
⚠ 注意

ハイブリッドシステム＜EV システム＞が停止した状態でマルチメディアシステムを長時間使用しないでください。12V バッテリーがあがるおそれがあります。

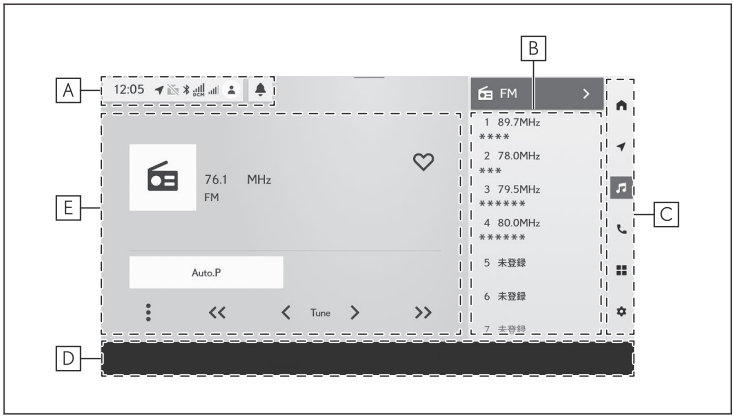
システムを再起動する

システムの応答が非常に遅い場合、システムを再起動できます。

- **POWER/VOLUME スイッチを 3 秒以上押し続けます。**



マルチメディア画面の見方



A ステータスバー

時計や各種通信状況などの情報がステータスアイコンとして表示されます。(→P.19)一部ステータスバー外にもステータスアイコンが表示されます。ステータスバーをタッチするとクイックコントロール画面が表示されます。(→P.33)

B サブメニュー

項目がリストで表示されます。ドラッグまたはフリック操作でリストをスクロールできます。

C メインメニュー

アイコンを選択して画面に表示する機能を切りかえることができます。

D エアコン操作ボタン

エアコンの操作ができます。*1

E メインエリア

サブメニューで選択した項目の詳細情報が表示されます。

*1: 詳細は、「取扱説明書」をご覧ください。

メインメニュー

アイコンを選択して画面に表示する機能を切りかえることができます。



: Apple CarPlay®

Apple CarPlay 画面を表示します。Apple CarPlay のアイコンは、対応機器を接続して機能を有効にすると表示されます。(→P.106)

: Android Auto™

Android Auto 画面を表示します。Android Auto のアイコンは、対応機器を接続して機能を有効にすると表示されます。(→P.109)

: ホーム

ホーム画面を表示します。(→P.29)

: ナビゲーション

地図画面を表示します。目的地検索などナビゲーションに関する操作を行うことができます。(→P.119)

: オーディオ

オーディオ操作画面を表示します。お好みのオーディオソースを選択して再生できます。(→P.214)

: 電話

電話画面を表示します。Bluetooth®接続した携帯電話を使用してハンズフリー通話を行うことができます。(→P.266)

: コネクティッドメニュー

アプリケーション画面を表示します。



：車両情報＆設定

車両情報／設定画面を表示します。車両情報の表示[*1]やマルチメディアシステム／車両の各種設定を変更できます。(→P.53)

*1：詳細は、「取扱説明書」をご覧ください。

ステータスアイコンの見方

時計や各種通信状況などの情報アイコンが表示されます。



12:05

現在の時刻が表示されます。

現在サインインしているドライバーのアイコン、またはゲストモードのアイコンが表示されます。

トヨタセンターサーバーとの位置情報共有状況を表示します。

トヨタセンターサーバーとのデータ共有が無効の場合に表示されます。

/ /

ドライブレコーダーの作動状況が表示されます。(→P.344)

Bluetooth®接続されている携帯電話の接続状態が表示されます。

ETC 2.0

有効期限内の ETC カードが挿入されている場合に表示されます。

DCM

通信モジュール（DCM）の受信状態が表示されます。



Wi-Fi®の接続状況が表示されます。



車内 Wi-Fi(Hotspot)の接続状況が表示されます。



接続されている携帯電話の受信レベルが表示されます。



接続されている携帯電話の電池残量が表示されます。



通知の未読メッセージの有無が表示されます。アイコンをタッチすると通知センターが表示されます。(→P.35)



電話画面以外でハンズフリー通話中に表示されます。アイコンをタッチすると通話画面が表示されます。(→P.284)



電話画面以外でオペレーター通話中に表示されます。アイコンをタッチするとオペレーター通話画面が表示されます。



クリアランスソナーが作動している場合に表示されます。アイコンをタッチするとクリアランスソナー画面が表示されます。



オーディオ使用時にブランドロゴが表示されます。★

知識

- 携帯電話の電池残量表示は携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、電池残量の表示ができないことがあります。

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

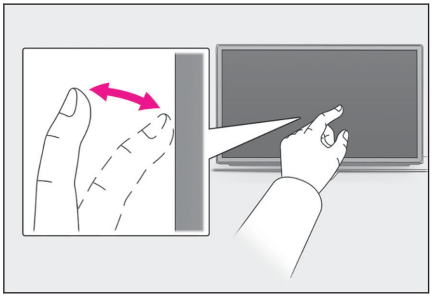
- 携帯電話がシートのうしろや下にあるときや携帯電話が金属製のものに接していたり、覆われている状態で使用すると、Bluetooth®接続ができないことがあります。
- 携帯電話を省電力モードに設定していると、自動的に Bluetooth®接続が切断されてしまうことがあります。この場合は、携帯電話の省電力モードを解除してください。

タッチスクリーンの操作

画面を指で直接ふれて操作します。

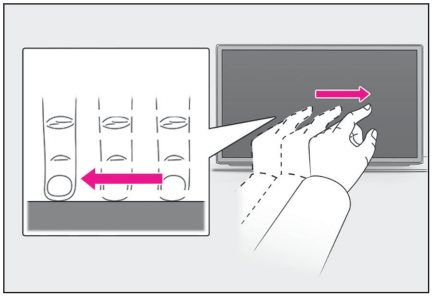
■ タッチ

画面を指で軽くタッチします。画面内の項目を選択できます。



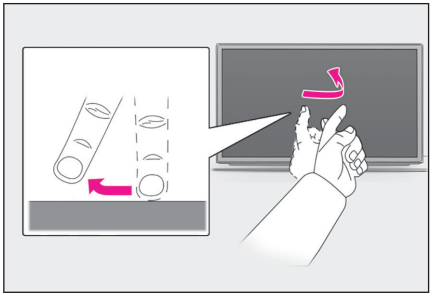
■ ドラッグ

画面にふれたまま指を動かします。リスト画面や地図画面を指を動かした分だけスクロールできます。



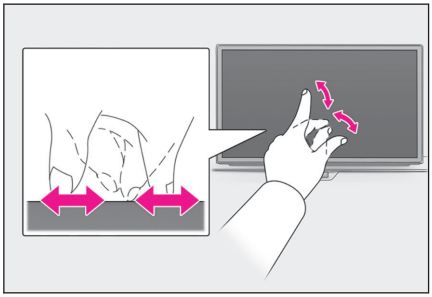
■ フリック

画面にふれた指先を素早く払います。リスト画面や地図画面を大きくスクロールできます。



■ ピンチイン／ピンチアウト

画面にふれた 2 本の指を広げたり近づけたりします。地図の拡大や縮小を行うことができます。



知識

- 一部の機能において、長押し（画面にタッチし続ける）やダブルタップ（画面に素早く 2 回タッチする）が必要な操作があります。
- 画面をタッチするときの感度レベルや画面のボタンにタッチしたときの応答音出力の有無を変更できます。(→P.69)
- フリック操作は、標高の高い場所ではスムーズに操作できないことがあります。

タッチスクリーン操作上の留意事項

知識

- タッチスクリーン操作の反応がないときは、一度画面から手を離して再度操作をしてください。
- 次の場合、タッチスクリーン操作が反応しなかったり、誤作動することがあります。
  - 手袋などを装着しているとき
  - 爪で操作したとき
  - 他の指や手のひらが画面にふれているとき
  - 画面に汚れや水分が付着しているとき
  - 画面にフィルムなどを貼ったり、塗装などをしたとき
  - 近くにテレビ塔や発電所、ガソリンスタンド、放送局、大型ディスプレイ、空港など、強い電波やノイズを発生する場所があるとき
  - 無線機や携帯電話などの無線通信機器を携帯しているとき、または車内で充電しているとき
  - 金属製のものが接していたり、覆われていたりしているとき
- 画面に手がふれた状態でシステムを起動すると、タッチスクリーン操作が反応しないことがあります。画面から手を離し再度操作をしてください。それでも反応しない場合は、パワースイッチを OFF にし、再度システムを起動してください。

- Apple CarPlay のマップアプリはピンチイン／ピンチアウト機能に対応していません。

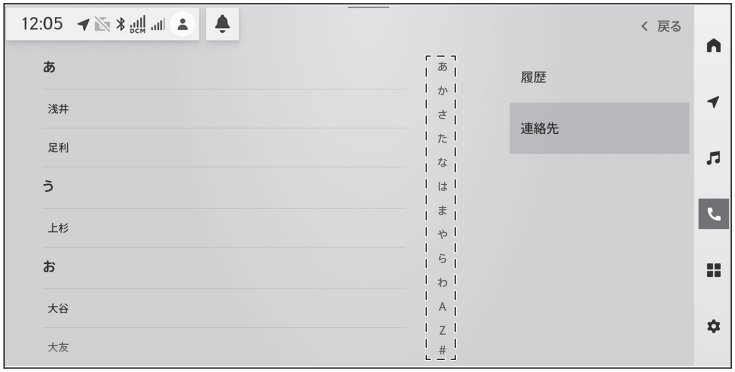
⚠ 注意

- 画面保護のため、指を軽く画面にふれてタッチスクリーンを操作してください。
- 指以外のものでタッチスクリーンを操作しないでください。
- 画面の汚れは、メガネ用クリーニングクロスなどのやわらかく乾いた布で軽くふき取ってください。手で強く押したり、かたい布などでこすったりすると表面に傷がつくことがあります。
- ベンジンやアルカリ性溶液などを使用して画面を清掃しないでください。画面が損傷するおそれがあります。
- 条件によって画面表面が熱くなることがあります。長時間ふれ続けると低温やけどを起こす可能性があります。

画面の基本操作

■ リストの検索

インデックスの文字にタッチすると、リストの中から希望の項目を表示できます。



■ 設定の ON/OFF 切りかえ

項目にタッチすると、設定の ON/OFF が切りかわります。



 : ON

 : OFF

■ レベル調整

スライダーをドラッグして項目のレベルを調整できます。


12:05
センターディスプレイ
カメラ
画面OFF
画面テーマ
昼間モード（ライト）
明るさ
コントラスト
共通設定
画面OFF・画質調整
ソフトウェア更新
操作サポート
日付・時刻
言語・単位
エージェント（音声操作）

文字や数字の入力

キーボードを使用して、文字や数字を入力できます。文字を入力すると、あとに続く文字を予測して変換候補が表示されます。

▶ **画面例（日本語入力）**



▶ **画面例（日本語 12 キー入力）**



▶ **画面例（英字入力）**




：キーボードを終了して前の画面にもどります。


：カーソルを移動します。

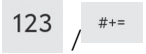

：表示されている以外の予測変換候補を表示します。


：1 つ前の文字を消去します。


：キーボードの種類を切りかえます。長押しすると、キーボードの種類を直接選ぶことができます。


：大文字と小文字を切りかえます。ダブルタップすると、入力する文字を大文字に固定することができます。

[**検索**]：入力した文字を確定して検索を実行します。


：数字や記号の入力モードに切りかえます。


：英字の入力モードに切りかえます。

知識

- 機能により、表示されるキーボードの種類が異なります。
- 日本語 12 キーのキーボードは短押し入力、長押し入力、フリック入力に対応しています。

ホーム画面

ホーム画面では、地図画面やオーディオ、ハンズフリー画面などのさまざまなウィジェットを分割表示させることができます。また、左右にスクロールして表示させるウィジェットを切りかえることができます。

● メインメニューの[ ]をタッチします。



知識

- ホーム画面の 1 画面あたり 2~3 つのウィジェットを配置して同時表示することができます。
- ホーム画面には最大 3 画面分のウィジェットを配置することが可能です。

ウィジェット

ホーム画面には以下のウィジェットを表示できます。

■ ナビゲーション（大／小）

地図画面を表示します。ナビゲーション中は目的地までのルート、車線／ターンバイターン案内、到着予想時刻などの情報を表示します。

[ ]: 表示設定メニューを表示します。

■ オーディオ

再生中のオーディオに関する情報を表示します。再生している楽曲やオーディオソースの切りかえができます。

[ ]: ソース選択メニューを表示します。表示されるアイコンは選択しているメディアによって変わります。

■ 電話

ワンタッチダイヤルリストを表示します。連絡先をタッチすると連絡先詳細画面が表示され、発信が可能です。Bluetooth®機器が未接続の場合はウィジェットをタッチすると Bluetooth®接続設定画面を表示します。(→ P.81,85)ワ

ンタッチダイヤルが未登録の場合はウィジェットをタッチするとワンタッチダイヤルの設定画面を表示します。(→P.293)

■ **車両情報**[*1]

車両に関連する情報を表示します。

■ **天気**[*2]

現在地の天気予報を表示します。

■ **テレビ・HDMI**

地上デジタル放送/HDMI 映像を表示します。

[]: ソース選択メニューを表示します。

[]: オーディオドメインに遷移し全画面表示にします。

■ **時計**

現在時刻と日付を表示します。

[]: 時計表示選択メニューを表示します。

知識

- ウィジェットで表示する情報によっては上下方向のスワイプによりページ切りかえが可能です。
- ウィジェット内の操作ボタン以外の範囲をタッチすると、各機能の画面が表示されます。

ウィジェットを編集する

ウィジェットの追加、削除、並びかえができます。

1 **ホーム画面でいずれかのウィジェットを長押しまたはウィジェットエリアの右端にある[ウィジェット編集]をタッチします。**

*1: BEV のみ

*2: G-Link 契約が必要になります。



2 ウィジェットを編集します。



3 [完了]をタッチします。

- 編集した設定を保存して閉じます。

知識

ナビゲーションウィジェット(大)とナビゲーションウィジェット(小)は、同一ページ内に並べて表示することはできません。地図を 2 画面で表示したいときは、地図表示の設定から行うことができます。(→P.130)

ウィジェットを追加する

1 ホーム画面でいずれかのウィジェットを長押しまたはウィジェットエリアの右端にある[ウィジェット編集]をタッチします。

2 [ウィジェット追加]をタッチします。

3 追加したいウィジェットをタッチして選択します。

4 [選択]をタッチします。

- 選択したウィジェットが末尾に追加された状態でウィジェット編集画面へ戻ります。

5 [完了]をタッチします。

ウィジェットを削除する

1 ホーム画面でいずれかのウィジェットを長押しまたはウィジェットエリアの右端にある[ウィジェット編集]をタッチします。

2 削除したいウィジェットの[ ]をタッチします。

3 [完了]をタッチします。

ウィジェットを並びかえる

1 ホーム画面でいずれかのウィジェットを長押しまたはウィジェットエリアの右端にある[ウィジェット編集]をタッチします。

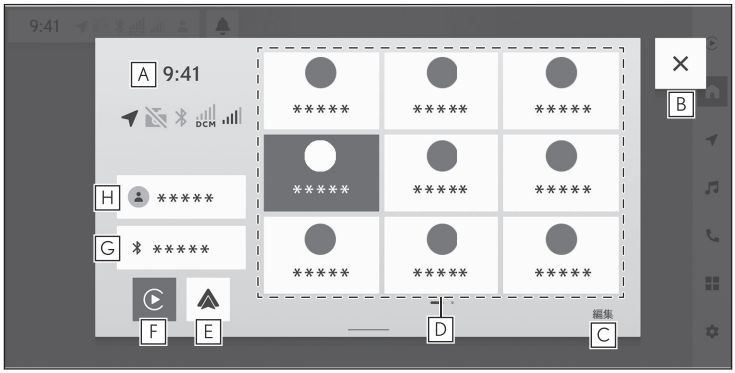
2 並びかえたいウィジェットを長押しし、ドラッグして順序を変更します。

3 [完了]をタッチします。

クイックコントロール画面

クイックコントロール画面では、様々なコントロールボタンを表示させることができます。ボタンをタッチすると各機能に素早くアクセスすることができます。

● **ステータスバーをタッチまたは画面上端から下方向にスワイプし、クイックコントロール画面を表示させます。**



A 現在の時刻が表示されます。タッチすると、日付や時刻の設定画面を表示できます。(→P.70)

B クイックコントロール画面を閉じます。

C クイックコントロール画面を編集します。

D コントロールボタンを表示します。複数ページある場合はコントロールボタンエリアは左右にスクロールできます。

E Android Auto 接続中にタッチすると Android Auto 画面を表示します。Android Auto 非接続中にタッチするとデバイス接続設定画面を表示します。

F Apple CarPlay 接続中にタッチすると Apple CarPlay 画面を表示します。Apple CarPlay 非接続中にタッチするとデバイス接続設定画面を表示します。

G 接続中の Bluetooth®デバイスを表示します。タッチすると、Bluetooth®機器の設定画面を表示できます。(→P.90)

H 現在サインインしているドライバーのアイコン、またはゲストモードのアイコンが表示されます。タッチすると、ドライバーの設定画面を表示できます。(→P.58)

知識

クイックコントロール画面はクイックコントロール画面下端から上方向にスワイプまたはクイックコントロール画面外をタッチでも閉じることができます。

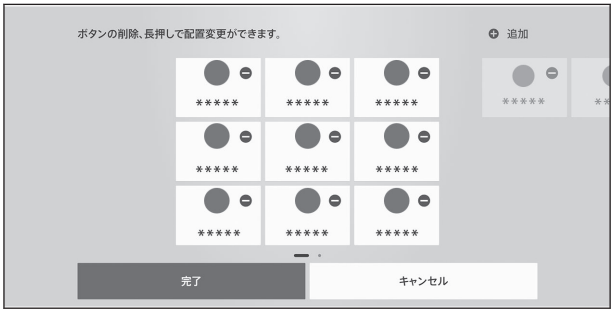
クイックコントロール画面の編集

コントロールボタンの追加、削除、並びかえができます。

1 **ステータスバーをタッチまたは画面上端から下方向にスワイプします。**

2 **いずれかのコントロールボタンを長押しまたは[編集]をタッチします。**

3 クイックコントロールボタンを編集します。



4 [完了]をタッチします。

● 編集した設定を保存して閉じます。

コントロールボタンを追加する

1 ステータスバーをタッチまたは画面上端から下方向にスワイプします。
2 いずれかのコントロールボタンを長押しまたは[編集]をタッチします。
3 [追加]をタッチします。
4 追加したいコントロールボタンをタッチして選択します。
5 [完了]をタッチします。
6 [完了]をタッチします。

コントロールボタンを削除する

1 ステータスバーをタッチまたは画面上端から下方向にスワイプします。
2 いずれかのコントロールボタンを長押しまたは[編集]をタッチします。
3 削除したいコントロールボタンの[ ]をタッチします。
4 [完了]をタッチします。

コントロールボタンを並びかえる

1 ステータスバーをタッチまたは画面上端から下方向にスワイプします。
2 いずれかのコントロールボタンを長押しまたは[編集]をタッチします。
3 並びかえたいコントロールボタンを長押しし、ドラッグして順序を変更します。
4 [完了]をタッチします。

通知センター

通知センターでは通知の表示や通知の削除ができます。

1 **ステータスバーの[ ]をタッチします。**

2 **通知センターを操作します。**



確認したい通知にタッチすると、通知の内容を確認できます。

[**全削除**]：表示されている通知をすべて削除します。

：表示されている通知を個別に削除します。

：通知センターを閉じます。

知識

通知の ON/OFF の設定を変更できます。(→P.74)

設定項目を検索する

キーボードを使って設定項目を検索できます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。

2 [検索]にタッチします。



3 検索キーワードを入力し、[検索]にタッチします。



複数の条件を指定する場合は、単語と単語のあいだにスペースを入れて検索してください。

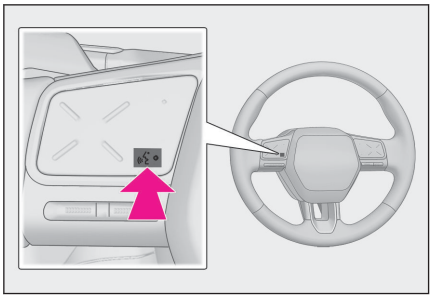
4 検索結果のリストが表示されたら、希望の項目にタッチします。

音声操作を開始する

エージェント（音声対話サービス）を使用して、ナビゲーションやオーディオ、ハンズフリー電話といったさまざまな機能を、音声で操作できます。G-Link をご利用の場合は、クラウド上のコンテンツを活用した情報検索を行うこともできます。

トークスイッチで音声操作を開始する

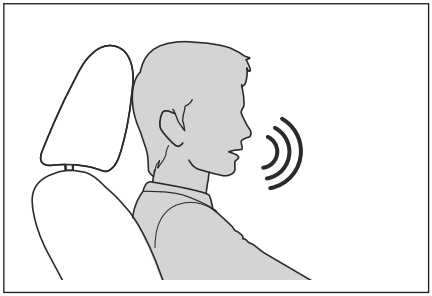
- **ステアリングスイッチの[ ]スイッチ（トークスイッチ）を押します。**



起動ワードで音声操作を開始する

- **「ヘイ、レクサス」と発話します。**
  - 起動ワードは設定画面で変更できます。(→P.72)
  - 起動ワードを使用して、すぐに音声コマンドを発話します。

    例：「ヘイ、レクサス」「豊田太郎の携帯に電話して」



エージェント（音声対話サービス）について

エージェント（音声対話サービス）を開始すると、画面下部に音声認識インターフェースが表示されます。



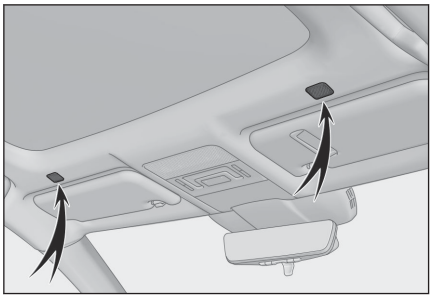
音声認識インターフェースは音声認識の挙動に合わせて変化します。

知識

- 一部の音声コマンドは、G-Link 契約が必要になります。
- 起動ワードでエージェント（音声対話サービス）を起動することで、運転席または助手席から音声操作を行うことができます。その際、エージェントを起動させた席以外からの音声コマンドは認識されません。
- 助手席からの音声操作は、一部の機能を利用することができません。
- ステアリングスイッチの[ ]スイッチでエージェント（音声対話サービス）を起動した場合は、運転席からのみ音声操作を行うことができます。
- エージェント（音声対話サービス）は、正しく発話しないと認識されないことがあります。次の点にご留意の上、ご使用ください。
  - ハッキリした声で発話してください。
  - 騒音（風切り音や外部の音）などにより正しく認識されないことがあるため、窓を閉めてください。
  - エアコンの送風音が大きいときは、正しく認識されないことがあるため、風量を下げてください。
  - 音楽が大音量で再生されているときは、正しく認識されないことがあるため、音量を下げてください。
  - 複数人で同時に話すと認識されないことがあります。
- 音声ガイドの途中でも音声コマンドを発話できます。
- 音声ガイドの ON/OFF は音声操作設定画面で変更できます。(→P.72)
- エージェント（音声対話サービス）の音声ガイドの音量は次の方法で調整できます。
  - 音声ガイド中にオーディオシステムの音量を調整する。(→P.214)
  - [**サウンド・オーディオ**]設定画面の[**システム音量**]を調整する。(→P.221)
- 電話着信の通知に対して、音声で応答操作を行うことができます。音声応答に関する設定は、音声操作設定画面で変更できます。(→P.72)

マイク位置

マイクは運転席側と助手席側にそれぞれ設置されています。



対応言語

エージェント（音声対話サービス）の対応言語は日本語のみです。

音声操作を終了する

次のいずれかの操作で音声操作を終了します。

- 「キャンセル」と発話します。
- ステアリングスイッチの[ ]スイッチを押し続けます。
- 音声認識インターフェースの表示中に[キャンセル]をタッチします。

音声コマンドを発話する

音声認識インターフェースが表示されたら音声コマンドを発話してください。システムは自然な発話を認識できます。（自然発話認識機能）*1



知識

- 方言や言い方の違いなどにより正しく認識されないことがあります。
- 地名や施設を検索するときに、エージェント（音声対話サービス）が通称や略称を認識しない場合は、正式名称でお話しください。

音声コマンドリストを確認する

1 **トークスイッチや起動ワードで音声操作を開始する。****(→P.37)**

2 **「ヘルプ」と発話する。**

- 音声コマンドリストが表示されます。
- 音声操作の発話例については、Web サイト（https://lexus.jp/ltc/service/agent/）もご覧ください。

*1：G-Link 契約が必要になります。

マイセッティング

マイセッティングを利用することで、ドライバーそれぞれの好みに合った設定を保存し、乗車時に呼び出すことができます。家族や友人など複数のドライバーで車両を利用する場合に、他のドライバーの設定を変更することなく車両を利用することができます。

- ドライバー設定を利用しない場合は、ゲストで車両を使用できます。
- ご利用には G-Link 契約が必要です。
- オーナードライバーを含む計 3 名までのマイセッティングを車両に登録できます。最初に登録を行ったドライバーはオーナードライバーとして登録されるため、お車のオーナーが行ってください。
- マイセッティングには次のような設定情報が保存されます。
  - 一部のマルチメディア設定:

    対象項目は各種設定画面に表示されている項目[*1](→P.53)
  - 一部の車両設定: メーター表示や車両カスタマイズ設定など(センターに情報は保存されません。)
- 設定を変更すると、現在の設定情報が自動的に保存されます。
- マイセッティングを登録することにより、検索履歴や個人設定などのプライバシー情報を守ることができます。

マイセッティングを自動的に呼び出す

- ドライバーを認識するための機器を登録することで、乗車の際、自動的にマイセッティングを呼び出すことができます。登録する機器は、スマートフォンやスマートキーなどから選択できます。(→P.58)
- パワースイッチを ACC または ON にしたときに、車両はマイセッティングに登録された機器の検出を開始します。登録された機器が検出されると、機器に割り当てられているマイセッティングが自動的に呼び出されます。
- マイセッティングが割り当てられた機器が検出されない場合は、ゲストで車両の利用を開始します。

知識

- Bluetooth®機器はご使用の条件によって、ドライバーの認識が遅くなる場合や、運転開始までにドライバーを認識できない場合があるため、Bluetooth®機器のほかにスマートキーなども合わせて登録することをおすすめします。

TOYOTA アカウントの連携

- マイセッティングのご利用には有効な TOYOTA アカウントが必要です。

*1: ただし、一部項目は対象外です。詳細はレクサス販売店にお問い合わせください。

- スマートフォンアプリ「My LEXUS」を使用して TOYOTA アカウントでドライバー登録することで、G-Link を契約している車両であれば、他の車両で設定した一部のマルチメディア設定を呼び出すことができます。
- スマートフォンアプリ「My LEXUS」でオーナードライバーを登録した方は、「納車前に My LEXUS でオーナー登録済みの場合」(→P.43)の手順になります。
- 登録したドライバー名は、スマートフォンアプリ「My LEXUS」で確認や変更ができます。
- 同じドライバーを別の車両で同時に使用できません。
- 一部のマルチメディア設定を変更すると、センターに保存されているドライバーそれぞれの好みに合った設定が自動更新され、更新を知らせる画面が表示されます。
- 一部のマルチメディア設定はセンターに保存され、ドライバーを削除してもセンターに保存されたドライバーそれぞれの好みに合った設定は削除されません。TOYOTA アカウントを削除した場合は、センターに保存されたドライバーそれぞれの好みに合った設定は削除されます。

オーナードライバーを登録する

マルチメディアシステムの初期設定として、オーナードライバーの登録を行い、マイセッティングを有効にします。

- オーナードライバーの登録はお車の契約者のみが実施できます。
- 納車前にオーナー登録されているかどうかで手順が異なりますので、該当する手順をご確認ください。

納車前に My LEXUS でオーナー登録済みの場合

1 **パワースイッチを ACC または ON にしたときに、言語選択画面が表示されます。希望の言語を選択し、[開始]にタッチします。**



2 **オーナー向けドライバー認証画面が表示されます。[次へ]にタッチします。**

- 納車前に登録したオーナーとは別のドライバーで登録する場合は[**オーナー以外はこちら**]にタッチし、「納車前に My LEXUS でオーナー未登録の場合」(→P.44)の手順 2 へ進んでください。

3 **QR コードをスキャンし、スマートフォンアプリ「My LEXUS」にログインしてドライバーを登録します。**



- QR コードでの登録がうまくいかないときは認証コードで登録をします。[**認証コードで登録**]にタッチし、表示された認証コードをスマートフォンアプリ「My LEXUS」に入力してドライバーを登録してください。

4 **デジタルキー★の登録を行います。スマートフォンを操作し、登録を完了させてください。**

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

- スマートフォンの機種によっては、登録できない場合があります。
- デジタルキーの登録をあとから行う場合は、[**後で**]にタッチします。
- デジタルキーの装備がない場合は手順 5 に進んでください。

5 **ドライバーを認識するための機器登録を行います。登録したい機器を選択し、[登録]にタッチします。**

- 機器の登録をあとから行う場合は、[**後で**]にタッチします。
- ドライバーを認識するための機器を登録することで、自動的にドライバーそれぞれの好みに合った設定を呼び出すことができます。
- スマートキーなど、希望の機器をマイセッティングに登録できます。
- 複数の機器をマイセッティングに登録できます。
- 機器登録に失敗した場合でも、ドライバー設定画面から再度機器登録を実施できます。(→P.58)

6 **地図表示の設定画面が表示された場合は、お好みの設定に変更し、[完了]にタッチします。**

- 登録が完了するとメッセージが表示されマイセッティングが保存されます。

7 **[OK]にタッチします。**

知識

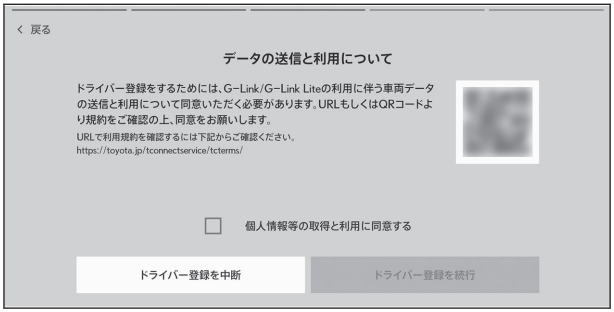
- ドライバーを登録しなかった場合でも、ドライバー切りかえ画面で登録を再開できます。(→P.56)

納車前に My LEXUS でオーナー未登録の場合

1 **パワースイッチを ACC または ON にしたときに、言語選択画面が表示されます。希望の言語を選択し、[開始]にタッチします。**

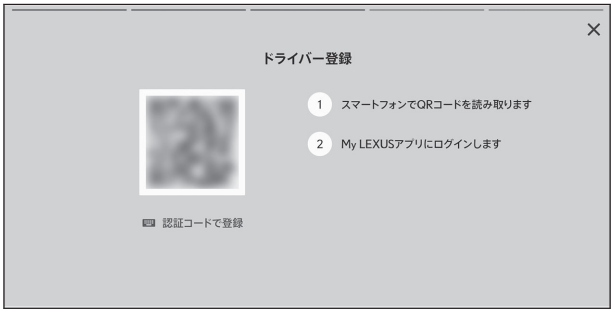


2 **データの送信と利用についての同意画面が表示されます。[個人情報等の取得と利用に同意する]にチェックし、[ドライバー登録を続行]にタッチします。**



- 画面上に表示されている URL、または QR コードから利用規約の確認ができます。
- [**ドライバー登録を続行**]にタッチすると、利用規約に同意したことになります。個人情報の取り扱いについて同意の上ご利用ください。

3 **QR コードをスキャンし、スマートフォンアプリ「My LEXUS」にログインしてドライバーを登録します。**



- QR コードでの登録がうまくいかないときは認証コードで登録をします。[**認証コードで登録**]にタッチし、表示された認証コードをスマートフォンアプリ「My LEXUS」に入力してドライバーを登録してください。
- ドライバーを登録しない場合は、画面右上の[×]にタッチします。表示された画面の[**起動時に登録画面を表示しない**]をタッチすると、次回からドライバー登録画面が表示されなくなります。

4 **ドライバーを認識するための機器登録を行います。登録したい機器を選択し、[登録]にタッチします。**

- 機器の登録をあとから行う場合は、[**後で**]にタッチします。
- ドライバーを認識するための機器を登録することで、自動的にドライバーそれぞれの好みに合った設定を呼び出すことができます。
- 機器登録に失敗した場合でも、ドライバー設定画面から再度機器登録を実施できます。(→P.58)

5 **地図表示の設定画面が表示された場合は、お好みの設定に変更し、[完了]にタッチします。**

- 登録が完了するとメッセージが表示されマイセッティングが保存されます。

6 **[OK]にタッチします。**

知識

ドライバーを登録しなかった場合でも、ドライバー切りかえ画面で登録を再開できます。(→P.56)

ドライバーを切りかえる

車両に登録されているドライバーのリストから、利用するマイセッティングを選択することができます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。

2 [アカウント]にタッチします。

3 サブメニューの[ドライバー切替]にタッチします。

4 「ドライバーリスト」から切りかえるドライバー名を選択します。



5 パスワードを入力します。

- ドライバー設定画面で[**パスワードによる設定ロック**]を ON にしている場合に、パスワードの入力が必要になります。
- TOYOTA アカウント作成時にスマートフォンアプリ「My LEXUS」で設定したパスワードを入力してください。
- ドライバーの切りかえが完了するとメッセージが表示されます。

知識

マルチメディアシステムが他のドライバーに設定されている機器を検知した場合、ポップアップが表示されます。[**はい**]にタッチするとドライバーを切りかえることができます。

新しいドライバーを登録する

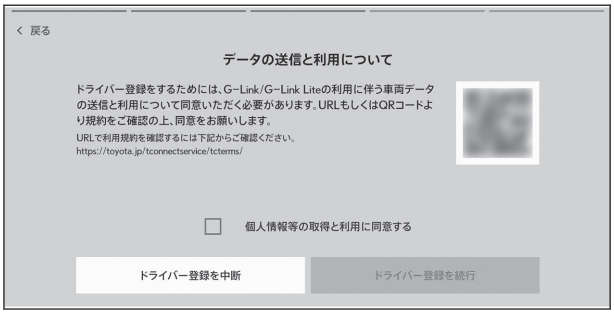
1 メインメニューの[ ]にタッチします。

2 [アカウント]にタッチします。

3 サブメニューの[ドライバー切替]にタッチします。

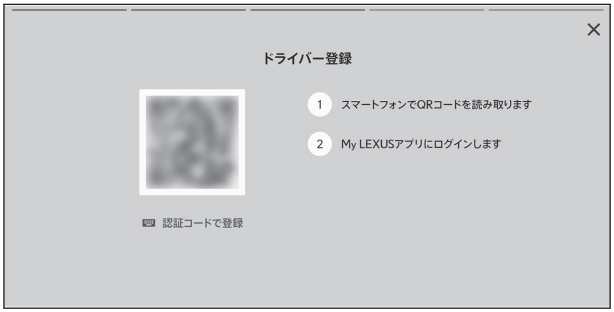
4 [ドライバー新規登録]にタッチします。

5 データの送信と利用についての同意画面が表示されます。[個人情報等の取得と利用に同意する]にチェックし、[ドライバー登録を続行]にタッチします。



- 画面上に表示されている URL、または QR コードから利用規約の確認ができます。
- 「G-Link/G-Link Lite の個人情報等の取得と利用について」規約の内容をご確認いただき、[**ドライバー登録を続行**]にタッチしてください。

6 QR コードをスキャンし、スマートフォンアプリ「My LEXUS」にログインしてドライバーを登録します。



- QR コードでの登録がうまくいかないときは認証コードで登録をします。[**認証コードで登録**]にタッチし、表示された認証コードをスマートフォンアプリ「My LEXUS」に入力してドライバーを登録してください。
- ドライバーを登録しない場合は、画面右上の[**×**]にタッチします。

7 ドライバーを認識するための機器登録を行います。登録したい機器を選択し、[登録]にタッチします。

- 機器の登録をあとから行う場合は、[**後で**]にタッチします。

- ドライバーを認識するための機器を登録することで、自動的にドライバーそれぞれの好みに合った設定を呼び出すことができます。
- スマートキーなど、希望の機器をマイセッティングに登録できます。
- 複数の機器をマイセッティングに登録できます。

8 **地図表示の設定画面が表示された場合は、お好みの設定に変更し、[完了]にタッチします。**

- 登録が完了するとメッセージが表示されマイセッティングが保存されます。

9 **[OK]にタッチします。**

検出した周辺のドライバーを表示する

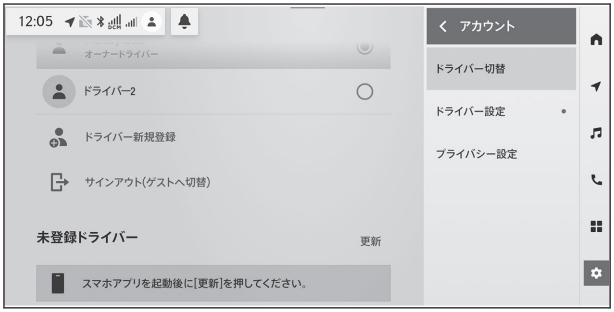
周辺のドライバーが使用しているスマートフォンアプリ「My LEXUS」がマルチメディアシステムに検知されると、検知されたドライバー名が画面に表示されます。（マルチメディアシステムに検知されるには、My LEXUS アプリを立ち上げておく必要があります）使用したいドライバー名をタッチしてドライバーを切りかえることができます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。

2 [アカウント]にタッチします。

3 サブメニューの[ドライバー切替]にタッチします。

4 「未登録ドライバー」から切りかえるドライバー名を選択します。



5 データの送信と利用についての同意画面が表示されます。[個人情報等の取得と利用に同意する]にチェックし、[ドライバー登録を続行]にタッチします。

- 画面上に表示されている URL、または QR コードから利用規約の確認ができます。
- [**ドライバー登録を続行**]にタッチすると、利用規約に同意したことになります。個人情報の取り扱いについて同意の上ご利用ください。

6 パスワードを入力します。

- ドライバー設定画面で[**パスワードによる設定ロック**]を ON にしている場合に、パスワードの入力が必要になります。
- TOYOTA アカウント作成時に設定したパスワードを入力してください。
- ドライバーの切りかえが完了するとメッセージが表示されます。

7 ドライバーそれぞれの好みに合った設定を車両に保存するには、[登録する]にタッチします。

- ドライバーそれぞれの好みに合った設定を車両に保存せずに、一時的に使用するには[**登録しない**]にタッチします。
- 登録ドライバー数が上限に達している場合、登録済みのドライバーを削除してください。

8 ドライバーを認識するための機器登録を行います。[登録]にタッチし、登録したい機器を選択します。(→P.58)

● 機器の登録をあとから行う場合は、[**後で**]にタッチします。

ドライバーの登録を削除する

次のいずれかの操作で、ドライバーの登録を削除することができます。

ドライバーリストからドライバーの登録を削除する

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 [アカウント]にタッチします。
3 サブメニューの[ドライバー切替]にタッチします。
4 「ドライバーリスト」の[編集]をタッチして、削除するドライバーを選択します。
5 ドライバー削除確認画面で[はい]にタッチします。
選択したドライバーの登録が車両から削除されます。

ドライバー設定からドライバーの登録を削除する

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 [アカウント]にタッチします。
3 [ドライバー設定]にタッチします。
4 [ドライバー削除]にタッチします。
5 ドライバー削除確認画面で[はい]にタッチします。
現在利用しているドライバーの登録が車両から削除されます。

知識

- 車両のオーナーとして登録されているドライバーを削除すると、その他すべてのドライバーの登録が削除されます。
- オーナーとして登録されているドライバーは、車両に登録されたすべてのドライバーを削除できます。オーナー以外のドライバーは、オーナードライバーの登録を削除できません。

各種設定を変更する

マルチメディアシステムや車両の各種設定を変更できます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。

2 各項目を設定します。



設定項目	内容
システム名称（車両名称）	システム名称（車両名称）を表示します。 外部機器から Bluetooth®機器を検索したときに表示される機器名称です。[**編集**]にタッチして名称を変更できます。
[**検索**]	設定項目を検索できます。(→P.36)
[**アカウント**]	ドライバー設定やプライバシー設定など、アカウントに関する設定を変更できます。(→P.55)
[**Bluetooth・Wi-Fi**]	Bluetooth®機器／Wi-Fi®機器の接続や切断を行ったり、各機器に関する設定を変更できます。(→P.90)
[**共通設定**]	時刻設定や表示言語など、マルチメディアの基本設定を変更できます。(→P.63)
[**サウンド・オーディオ**]	システムサウンドやオーディオソースに関する設定を変更できます。(→P.221)
[**ナビゲーション**]	地図表示やルート案内などに関する設定を変更できます。(→P.193)
[**ドライブレコーダー**]	ドライブレコーダーの録画映像の再生や各種設定、手動録画の開始ができます。
[**EV・充電**](1)(2)	車両の充電に関する設定を変更できます。
[**運転支援**](1)	クリアランスソナーなど運転支援に関する機能の設定を変更できます。
[**車両カスタマイズ**](1)	車両機能のカスタマイズを行うことができます。

設定項目	内容
[**エアコン**](1)	エアコン操作画面を表示します。
[**ドライブモード**](1)	ドライブモードに関する設定を変更できます。
[**シート･イルミネーション**](1)	シートアレンジの変更や、イルミネーションの設定を変更できます。

(1) 詳細は、「取扱説明書」をご覧ください。
(2) BEV のみ

アカウントの設定を変更する

ドライバー設定やプライバシー設定など、アカウントに関する設定を変更できます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。

2 [アカウント]にタッチします。

3 各項目を設定します。



設定項目	内容
[ドライバー切替]	ドライバーの切りかえや登録を行うことができます。(→P.56)
[ドライバー設定]	ドライバーを認識するための機器の登録や、ドライバー設定の初期化などを行うことができます。(→P.58)
[プライバシー設定]	セキュリティロックを設定してマルチメディアシステムにパスワードを設定できます。また、システムリセットをしてマルチメディアシステムを工場出荷時の状態にもどすことができます。(→P.61)

ドライバーの切りかえや登録をする

ドライバーの切りかえや登録を行います。ドライバーを登録することで、車両の個人設定をドライバーごとのマイセッティングとして保存できます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 [アカウント]にタッチします。
3 サブメニューの[ドライバー切替]にタッチします。
4 各項目を設定します。



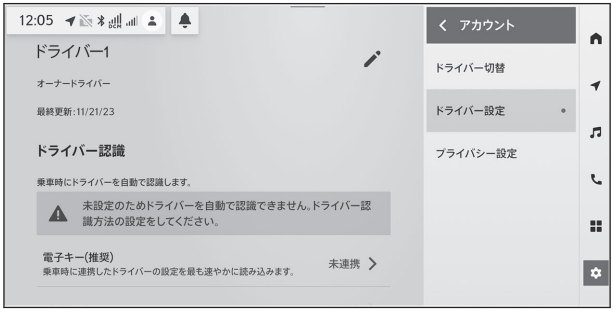
設定項目	内容
[**ドライバーを登録しましょう**]	オーナードライバーが未登録の場合に表示されます。タッチしてオーナードライバーの登録を開始します。(→P.43)
「ドライバーリスト」	車両に登録されているドライバーがリストで表示されます。 希望のドライバー名にタッチして、利用するドライバーを切りかえることができます。ドライバー設定画面で[**パスワードによる設定ロック**]を ON にしている場合は、パスワードの入力が必要です。 [**編集**]にタッチして、登録済みのドライバーを削除できます。(ゲストでは表示されません。)(→P.52)
[**ドライバー新規登録**]	新しいドライバーを登録します。(→P.48) 登録するドライバーが、すでに他の車両でドライバー登録をしている場合は、他の車両で設定した一部のマルチメディア設定を引き継ぐことができます。

設定項目	内容
[**サインアウト(ゲストへ切替)**]	ゲストの設定に切りかえます。ドライバー設定画面で[**パスワードによる設定ロック**]を ON にして使用することをおすすめします。(→P.58) ゲストの設定を使用することで、マイセッティングに保存されない個人設定を行うことができます。他人に車両を預ける場合は、[**サインアウト(ゲストへ切替)**]にタッチすることで機器の個人特定が無効になり、検索履歴や個人設定などのプライバシー情報を守ることができます。検索履歴や個人設定以外のドライバーそれぞれの好みに合った設定は、ゲストのマイセッティングに引き継がれます。
「未登録ドライバー」	周辺のドライバーが使用しているスマートフォンアプリ「My LEXUS」がマルチメディアシステムに検知されると、検知されたドライバー名が画面に表示されます。(マルチメディアシステムに検知されるには、My LEXUS アプリを立ち上げておく必要があります) 使用したいドライバー名をタッチしてドライバーを切りかえることができます。(→P.50)

ドライバー設定を変更する

ドライバーを認識するための機器の設定や、ドライバーの削除などができます。ドライバーを認識するための機器を設定すると、乗車の際、自動的にドライバーそれぞれの好みに合った設定を呼び出すことができます。登録する機器は、スマートフォンやスマートキーなどから選択できます。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**
2 **[アカウント]にタッチします。**
3 **サブメニューの[ドライバー設定]にタッチします。**
4 **各項目を設定します。**



設定項目	内容
ドライバー名	ドライバー名が表示されます。 [ ]にタッチして、ドライバー名を変更できます。
「ドライバー認識」	
[**電子キー(推奨)**](1)	登録したいキーのみを車内に置いた状態で登録操作を行ってください。車内に複数キーがある状態で登録操作を行うと、キー登録ができません。複数キーを登録する場合も同様に行ってください。 他のドライバーに割り当てられているキーは登録できません。スマートエントリーシステムが OFF の場合、ドア解錠時に使用したキーをドライバーに割り当てます。 キーの登録を削除すると、登録したキーがすべて削除されます。

設定項目	内容
[**デジタルキー**]★(1)	登録したいデジタルキーのみを車内に置いた状態で登録操作を行ってください。車内に複数デジタルキーがある状態で登録操作を行うと、キー登録ができません。複数デジタルキーを登録する場合も同様に行ってください。 他のドライバーに割り当てられているデジタルキーは登録できません。車両がキーを先に検出した場合はデジタルキーの検出が停止されるため、キーとデジタルキーを併用される場合はキーも登録することを推奨します。 通信状況により登録が失敗する場合があります。その場合は、再度登録操作を行ってください。 スマートフォンの機種によっては、登録できない場合があります。
[**顔認証**](1)	顔認証でドライバーの認識を行い、ドライバー設定を呼び出します。[**顔情報の登録**]にタッチして登録をします。(→P.59) 登録済みの顔情報を削除する場合は、[**顔情報の消去**]にタッチします。
「Bluetooth 機器」	スマートフォンなどの Bluetooth®機器でドライバーの認識を行い、マイセッティングを呼び出します。[**未連携**]にタッチして登録をします。(→P.88) 通信状況により登録が失敗する場合があります。その場合は、再度登録操作を行ってください。 スマートフォンの機種によっては、登録できない場合があります。
「パスワード」	
[**パスワードによる設定ロック**]	手動でドライバーを切りかえるときに、パスワードによるロックを設定します。
「データ管理」	
[**ゲストデータの読み込み**]	ゲストで保存した設定を読み込み、選択中のドライバー設定として保存します。
[**ドライバー設定の初期化**]	このドライバーに関するすべての設定を初期化します。
[**ドライバー削除**]	選択中のドライバーを車両から削除します。(→P.52)

(1) 詳細は、「取扱説明書」をご覧ください。

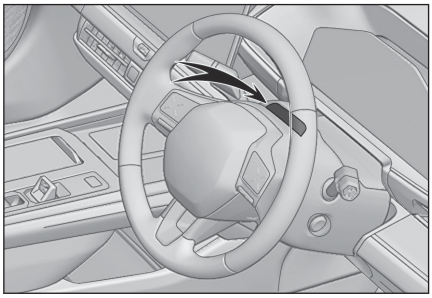
顔認証の登録をする

ドライバーモニターカメラ*1 を使用し、顔認証でドライバーを認識するための登録を行います。

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

*1: 詳細は、「取扱説明書」をご覧ください。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 [アカウント]にタッチします。
3 サブメニューの[ドライバー設定]にタッチします。
4 [顔情報の登録]にタッチします。
5 利用規約を確認し、[同意する]にタッチします。
6 ドライバーモニターカメラに向かって正面を向き、顔だけが映るようにして[開始]にタッチします。

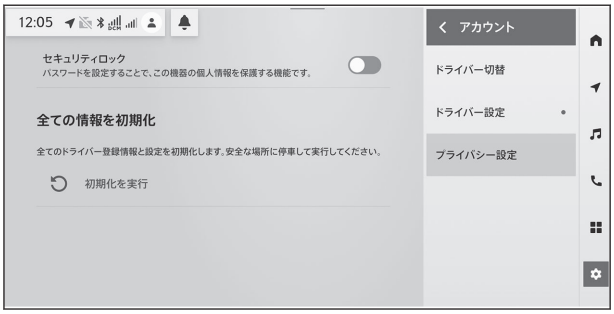


7 システムが顔のスキャンを開始します。
- 登録が完了するとメッセージが表示されます。
- エラー表示が出た場合は、画面に従って再度登録してください。

プライバシー設定を変更する

セキュリティロックを設定してマルチメディアシステムにパスワードを設定できます。また、システムリセットをしてマルチメディアシステムを工場出荷時の状態にもどすことができます。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**
2 **[アカウント]にタッチします。**
3 **サブメニューの[プライバシー設定]にタッチします。**
4 **各項目を設定します。**



設定項目	内容
[**セキュリティロック**]	個人情報保護のための、パスワードによるセキュリティロックを有効にできます。設定を ON にすると、12V バッテリー交換による再起動時やマルチメディアシステムを車両から脱着した際に、マルチメディアシステム操作をするためのパスワード入力が必要です。
[**セキュリティロックのパスワードをリセット**]	設定したセキュリティロックのパスワードを初期化できます。
「全ての情報を初期化」	
[**初期化を実行**]	個人情報を含むマルチメディアシステムの全データを初期化して工場出荷状態にもどすことができます。 個人情報保護のため、お車を手放すときには初期化を必ず実施してください。 初期化した場合、データを初期化前の状態にもどすことはできません。

知識

- すべての情報を初期化したあとは、しばらく通信できないことがあります。通信できない場合には、マルチメディアシステムの再起動を実施してください。(→P.15)

- マルチメディアシステムの初期化を行っても、不具合解析ログは削除されません。このログには位置情報など個人情報が含まれる可能性があります。ログを削除するにはレクサス販売店に依頼してください。

セキュリティロックを設定する

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 [アカウント]にタッチします。
3 サブメニューの[プライバシー設定]にタッチします。
4 [セキュリティロック]にタッチします。
5 [OK]にタッチします。
6 4～15 文字の英数字で任意のパスワードを設定します。
7 パスワードを再度入力します。

メッセージが表示されセキュリティロックが有効にかわります。

知識

- パスワード設定後、12V バッテリー交換による再起動時やマルチメディアシステムを車両から脱着した際に、マルチメディアシステムを操作するためのパスワード入力が必要です。設定したパスワードを入力してください。
- パスワードを一定回数間違えて入力すると、パスワード入力ができなくなります。その場合はレクサス販売店によるロック解除を行ってください。
- セキュリティ確保のため、パスワードを設定する際は、同じパスワードを使い回したり辞書に存在する言葉を使用したりしないでください。
- 推測されにくい安全なパスワードを設定するために、パスワードには数字、大文字、小文字を利用し、長さが 8 桁以上となっていることを推奨いたします。

共通設定を変更する

時刻設定や表示言語など、マルチメディアシステムの基本設定を変更できます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。

2 [共通設定]にタッチします。

3 各項目を設定します。



設定項目	内容
[**画面 OFF・画質調整**]	画面のコントラストや明るさなどを調整できます。(→P.64)
[**ソフトウェア更新**]	ソフトウェア情報の確認や更新を行うことができます。(→P.66)
[**操作サポート**]	画面のアニメーション軽減の設定や、画面をタッチしたときの操作音の ON/OFF などの設定を変更できます。(→P.69)
[**日付・時刻**]	日付や時刻表示に関する設定を変更できます。(→P.70)
[**言語・単位**]	言語の切りかえや、表示単位の設定を変更できます。(→P.71)
[**エージェント(音声操作)**]	エージェント（音声対話サービス）に関する設定を変更できます。(→P.72)
[**キーボード・検索**]	キーボードに関する設定を変更できます。(→P.73)
[**ブラウザ**]	Cookie と他のサイトのデータ、キャッシュされた画像とファイルを削除します。
[**エージェントからの提案**]	エージェントからの提案に関する設定を変更できます。(→P.74)
[**提案サービス**]	提案サービスの ON/OFF に関する設定を変更できます。
[**電源**]	ACC カスタマイズの ON/OFF を設定できます。(1)

(1) 詳細は、「取扱説明書」をご覧ください。

画面表示の設定を変更する

画面のコントラストや明るさなどを調整できます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。

2 [共通設定]にタッチします。

3 サブメニューの[画面 OFF・画質調整]にタッチします。

4 各項目を選択します。



● [センターディスプレイ]

設定項目	内容
[画面 OFF]	画面表示の ON/OFF を設定できます。OFF にすると、画面を消して音声だけを再生します。 画面を再度表示させるには、画面にタッチして、画面中央の解除ボタンをタッチします。
[画面テーマ]	画面テーマを切りかえることができます。[自動切替]に設定すると、ヘッドランプの点灯や消灯に合わせて、昼間モードと夜間モードを自動で切りかえることができます。
[明るさ]	画面の明るさを調節できます。
[コントラスト]	画面のコントラストの強弱を調整できます。

● [カメラ]

設定項目	内容
[明るさ]	カメラ画面の明るさを調節できます。
[コントラスト]	カメラ画面のコントラストの強弱を調整できます。

知識

- 画質調整の結果は画面下部のプレビュー画面で確認ができます。
- 地上デジタルテレビ、HDMI の画質調整は個別に設定できます。(→P.229,263)

● 画面表示を OFF にしたとき

- GPS による現在地測位は継続されています。
- ステアリングのトークスイッチを押したり、シフトポジションを「R」にしたときなど、一時的に画面を表示することがあります。
- 画面にタッチすると画面中央に解除ボタンが表示されます。解除ボタンにタッチすると画面が表示されます。

ソフトウェア情報の確認や更新をする

ソフトウェア情報の確認や更新を行うことができます。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**
2 **[共通設定]にタッチします。**
3 **サブメニューの[ソフトウェア更新]にタッチします。**
4 **各項目を選択します。**



設定項目	内容
「ソフトウェア更新」	
[**ソフトウェアの更新があります**]	タッチすると、ソフトウェアの更新情報を確認できます。更新対象の有無や更新内容を確認後、更新データのダウンロードとソフトウェア更新を行うことができます。 更新データがない場合は[**更新はありません**]が表示されます。
「更新後のバージョン」	更新後のソフトウェアのバージョンが表示されます。
「ソフトウェア情報」	
[**車両のソフトウェア情報**]	車両のソフトウェア情報を確認できます。
[**更新履歴**]	ソフトウェア更新の更新履歴や更新内容を確認できます。
[**メンテナンス情報**]	車両のリコール、メンテナンス情報が確認できる QR コードが表示されます。QR コードからサイトにアクセスして最新の情報を確認できます。
「設定」	
[**更新の通知**]	ソフトウェア更新通知の ON/OFF を設定できます。この設定を OFF にした場合でも、重要な通知は表示される場合があります。

設定項目	内容
[**ダウンロードの自動開始**]	更新の自動開始の ON/OFF を設定できます。この設定を ON にすると、更新プログラムがある場合に自動でダウンロードが開始されます。 この設定を ON にするには、画面に表示される規約文に同意する必要があります。 この設定を ON にした場合でも、重要な更新内容の場合はダウンロード開始前に確認画面が表示される場合があります。
「情報」	
[**機種情報**]	現在のソフトウェアのバージョンなどを確認できます。
[**ライセンス**]	ソフトウェアのライセンス情報を確認できます。

ソフトウェアを更新する

ソフトウェア更新は、通信モジュール（DCM）または Wi-Fi®を使って更新を行います。

知識

- マルチメディアシステムは定期的に配信サーバーへアクセスし、更新ソフトウェアの有無を確認します。
- G-Link 利用契約が未契約／未更新の場合、無線通信によるソフトウェア更新は行われません。
- 地図データは本サービスの更新対象ではありません。
- ソフトウェア更新中は一部の操作ができないことがあります。
- ダウンロードとインストールにかかる時間は、通信環境や更新内容により長くなる場合があります。ダウンロードまたはインストール中にパワースイッチを OFF にしたときは、次回パワースイッチを ACC または ON にしたときにダウンロードまたはインストールを再開します。
- 配信サーバーに重要な更新データがある場合、メッセージが表示されます。[OK]にタッチして更新するデータをダウンロードすることができます。
- Wi-Fi®を使用してソフトウェア更新を行うには、以下の条件を満たす必要があります。
  - Wi-Fi®機能が ON になっていること。
  - 車両が Wi-Fi®にアクセスできる場所にあること。
  - システムが Wi-Fi®アクセスポイントに接続されていること（例：自宅、職場など）
- ご不明点についてはレクサス販売店にお問い合わせください。

⚠ 警告

アクティベートの実行は、必ず安全な場所に停車して行ってください。最大 3 分間車両を動かすことができなくなるため、予期せぬ状況に対処できず思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- ソフトウェア更新はお客様の責任において実行してください。
- ソフトウェア更新を行うと、前のバージョンにもどすことはできません。
- ソフトウェア更新の内容によっては一部の設定が初期化されることがあります。その場合はソフトウェア更新後、再度設定を行ってください。
- ソフトウェア更新中もマルチメディアシステムの操作は可能ですが、動作の遅延が発生する可能性があります。できるだけ操作しないようにしてください。
- ソフトウェア更新後、自動的にトヨタ自動車の配信サーバーに更新が完了したことを通知します。

更新通知からソフトウェアの更新をする

1 **ソフトウェア更新通知内のボタンにタッチします。**

2 **画面にしたがって、更新内容や更新規約を確認／同意します。**

- 更新データのダウンロードが開始されます。ダウンロード完了後、インストールが開始されます。
- インストール完了後にアクティベート操作が必要な場合があります。画面の案内にしたがって操作をしてください。
- 更新が完了するとメッセージが表示されます。

設定画面からソフトウェアの更新をする

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **[共通設定]にタッチします。**

3 **サブメニューの[ソフトウェア更新]にタッチします。**

4 **[ソフトウェアの更新があります]にタッチします。**

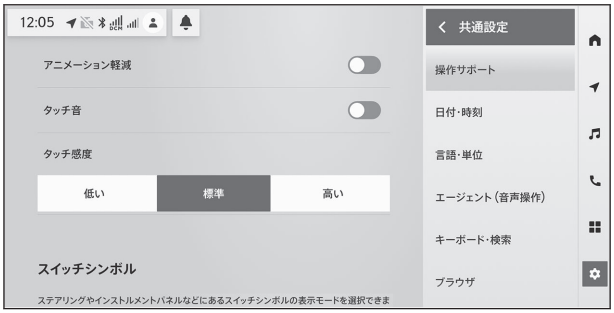
5 **画面にしたがって、更新内容や更新規約を確認／同意します。**

- 更新データのダウンロードが開始されます。ダウンロード完了後、インストールが開始されます。
- インストール完了後にアクティベート操作が必要な場合があります。画面の案内にしたがって操作をしてください。
- 更新が完了するとメッセージが表示されます。

操作サポートに関する設定を変更する

画面のアニメーション軽減の設定や、画面をタッチしたときの操作音の ON/OFF などの設定を変更できます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 [共通設定]にタッチします。
3 サブメニューの[操作サポート]にタッチします。
4 各項目を設定します。



設定項目	内容
[**アニメーション軽減**]	画面が切りかわるときのアニメーション表示を軽減できます。
[**タッチ音**]	画面をタッチしたときの操作音の ON/OFF を設定できます。
[**タッチ感度**]	画面のタッチ感度を調整できます。
「スイッチシンボル」	
[**表示モード**]	レスポンシブヒドゥンスイッチの点灯状態を設定できます。
[**感度**]	手かざし機能の反応感度を調整できます。

日付や時刻表示に関する設定を変更する

日付や時刻表示に関する設定を変更できます。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**
2 **[共通設定]にタッチします。**
3 **サブメニューの[日付・時刻]にタッチします。**
4 **各項目を設定します。**



設定項目	内容
[**オフセット**]	[**GPS 時刻設定**]を ON にしたときに、時計を進めたり遅らせたりできます。
「時刻」	
[**24 時間表示**]	時刻の表示を 24 時間表示または 12 時間表示に切りかえることができます。
[**GPS 時刻設定**]	GPS 情報を利用して時刻を自動で設定します。OFF にすると、手動で時刻を設定できます。
「日付」	
[**日付フォーマット**]	日付の表示形式を切りかえることができます。（月／日／年、日／月／年、年／月／日など）

言語や表示単位に関する設定を変更する

言語の切りかえや、表示単位の設定を変更できます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 [共通設定]にタッチします。
3 サブメニューの[言語・単位]にタッチします。
4 各項目を設定します。



設定項目	内容
[**言語**]	言語を切りかえることができます。画面に表示する言語とシステム音声の言語が同時に切りかわります。
「単位」	
[**単位の自動設定**]	距離などの表示単位を地域に合わせて自動で設定できます。
[**トリップインフォメーション単位**]	[**単位の自動設定**]を OFF にしたとき、トリップインフォメーションの単位を手動で設定できます。
[**タイヤ空気圧**]	[**単位の自動設定**]を OFF にしたとき、タイヤ空気圧の単位を手動で設定できます。

知識

- 言語設定を変更した場合、すべての表示および音声案内が選択した言語に変更されるわけではありません。また、変更することによって、いくつかの案内が行われない場合があります。
- Apple CarPlay/Android Auto の言語は接続している機器側で設定してください。

音声操作の設定を変更する

エージェント（音声対話サービス）に関する設定を変更できます。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **[共通設定]にタッチします。**

3 **サブメニューの[エージェント(音声操作)]にタッチします。**

4 **各項目を設定します。**



設定項目	内容
[**起動ワード**]	音声操作を開始するための起動ワードを変更できます。
[**音声ガイド再生**]	本設定を OFF にすると、音声操作時に通知音のみで返答します。
[**音声操作サポート**]	本設定を ON にすると、電話着信などの通知に対して、音声で応答操作を行うことができます。

キーボードに関する設定を変更する

キーボードに関する設定を変更できます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 [共通設定]にタッチします。
3 サブメニューの[キーボード・検索]にタッチします。
4 各項目を設定します。



設定項目	内容
「検索履歴」	
[**キーボード入力結果の学習**]	キーボードの入力結果を学習できます。
[**学習履歴の削除**]	キーボードの文字学習履歴を削除できます。
[**検索履歴の削除**]	キーボードの検索履歴を削除できます。

エージェントからの提案に関する設定を変更する

エージェントからの提案に関する設定を変更できます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 [共通設定]にタッチします。
3 サブメニューの[エージェントからの提案]にタッチします。
4 各項目を設定します。



設定項目	内容
「プライバシーモード」	ON にするとドライバーが設定した目的地履歴から学習した提案をしません。
「提案項目」	
[**おすすめスポット**]	現在地、目的地周辺のおすすめスポットを提案します。ゲストモード時は提案されません。
[**おすすめイベント**]	現在地、目的地周辺のおすすめイベントを提案します。
[**天気情報**]	現在地、目的地周辺の天気情報を通知します。
[**ニュース**]	新着ニュースを通知します。
[**機能利用の提案**]	新機能や未使用機能を提案します。ゲストモード時は提案されません。

提案項目の設定を変更する

提案項目の通知の ON/OFF や、通知頻度などの設定を変更できます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 [共通設定]にタッチします。
3 サブメニューの[エージェントからの提案]にタッチします。
4 設定を変更したい提案項目にタッチします。
5 各項目を設定します。



設定項目	内容
[**通知**]	提案項目の通知の ON/OFF を設定できます。
[**通知音**]	通知音の ON/OFF を設定できます。
[**読み上げ機能**]	通知内容の読み上げ機能の ON/OFF を設定できます。
[**通知頻度**]	提案の通知頻度を設定できます。
[**イベントジャンル**]	通知を受けたいイベント情報のジャンルを設定できます。
[**ニュースジャンル**]	通知を受けたいニュースのジャンルを設定できます。

知識

設定できる項目は選択した提案項目によって異なります。

2 スマートフォンや通信機器の接続

2-1. Bluetooth®機能の使い方

Bluetooth®機器使用上の留意事項 78

Bluetooth®機器を登録する 81

Bluetooth®機器の登録を削除する 84

Bluetooth®機器との接続 85

Bluetooth®機器をメイン機器に設定する 88

Bluetooth®機器をサブ機器に設定する 89

2-2. Bluetooth®設定

Bluetooth®機器を設定する 90

2-3. Wi-Fi®／車内 Wi-Fi（Hotspot）への接続

Wi-Fi®機器使用上の留意事項 ... 93

Wi-Fi®を使用してネットワークに接続する 95

車内 Wi-Fi（Hotspot）に接続する 97

2-4. Wi-Fi®／車内 Wi-Fi（Hotspot）設定

Wi-Fi®を設定する 100

車内 Wi-Fi（Hotspot）を設定する 102

2-5. Apple CarPlay/Android Auto の使い方

Apple CarPlay/Android Auto 使用上の留意事項..... 104

Apple CarPlay を使用する 106

Android Auto を使用する 109

Apple CarPlay/Android Auto が故障したとお考えになる前に 112

Bluetooth®機器使用上の留意事項

Bluetooth®機器をマルチメディアシステムで使用するときに、特に気を付けていただきたいことがあります。

知識

- この車両は、2.4GHz 周波数帯の Bluetooth®通信を使用しています。Bluetooth®を利用する環境によっては、通信速度が遅くなったり Bluetooth®接続が切断される場合があります。（ベストエフォート型機能）
- Bluetooth®と同じ 2.4GHz 帯無線通信を使用する Wi-Fi®と同時使用する場合は、相互に影響を与える可能性があります。
- Bluetooth®と Wi-Fi®が相互に干渉することで、画像の乱れや音飛び、通信速度の低下などの現象が発生することがあります。Bluetooth®機器を接続した状態であれば干渉による影響が軽減されるため、Bluetooth®機器を登録している場合は、登録機器と接続すると問題が改善する可能性があります。Bluetooth®機器が接続されているかどうかは、マルチメディアシステム画面のステータスアイコンで確認できます。(→P.19)
- Bluetooth®携帯電話と他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- Apple CarPlay をワイヤレス接続しているときは、5GHz の車内 Wi-Fi（Hotspot）は併用できません。2.4GHz の車内 Wi-Fi（Hotspot）は併用できます。
- 同じ 2.4GHz 帯の無線通信を行う Wi-Fi®機能と Bluetooth®機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。この場合は、Wi-Fi®機能を OFF に設定にすると快適に利用できる場合があります。
- Bluetooth®機器は、Bluetooth®接続により電池が早く消耗します。
- この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業／科学／医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。（上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
- この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。想定与干渉距離は 10m 以下です。この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。
- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。
- 接続する携帯電話により、動作や音量が異なることがあります。
- 緊急通報中は、Bluetooth®接続が切断されます。緊急通報終了後に切断された Bluetooth®機器が再接続されます。

⚠ 警告

- 携帯電話をハンズフリー電話で使用する場合、安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体を操作しないでください。
- 安全な場所に停車して電話をかけてください。運転中に電話がかかってきたときは、安全運転に留意し、通話は手短にしてください。

⚠ 注意

- Bluetooth®機器をマルチメディアシステムに近付けて使用しないでください。近付けすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。
- 携帯電話は車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに携帯電話が故障するおそれがあります。

■ ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Bluetooth®通信時の電波について、次の点にご注意ください。

⚠ 警告

電波がおよぼす影響について

植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

■ Bluetooth®オーディオと同時に使用するとき

- 異なるBluetooth®機器（携帯電話）を、オーディオとハンズフリー電話で同時に使用すると、以下のような問題が発生するおそれがあります。
  - 携帯電話のBluetooth®接続が切断されることがあります。
  - ハンズフリー電話の音声にノイズが発生することがあります。
  - ハンズフリー電話の動作が遅くなることがあります。
- Bluetooth®オーディオを再生中にハンズフリー電話で使用する通信機器の選択を変更した場合、再生される音声が途切れることがあります。
- ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時に接続できない場合があります。
- 携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をレクサス販売店またはWebサイト（https://lexus.jp/total_care/connected/smartphone/）のハンズフリー通話の動作確認済み携帯電話でご確認ください。

Bluetooth®の仕様、対応プロファイル

マルチメディアシステムは次の仕様、対応プロファイルをサポートしています。すべてのBluetooth®機器において動作を保証しているわけではありません。

■ 対応 Bluetooth®仕様

Bluetooth® Core Specification Ver.5.2

■ 対応プロファイル

プロファイル	内容	サポートしているバージョン
HFP (Hands Free Profile)	ハンズフリーを行うためのプロファイル	Ver.1.8
PBAP (Phone Book Access Profile)	連絡先データおよび通話履歴などの同期を行うためのプロファイル	Ver.1.2.3
SPP (Serial Port Profile)	● Bluetooth®搭載機器を仮想シリアルポート化するためのプロファイル ● スマートフォン連携を行うためのプロファイル	Ver.1.2
A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)	オーディオを転送するためのプロファイル	Ver.1.3.2
AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)	オーディオをリモートコントロールするためのプロファイル	Ver.1.6.2

Bluetooth®機器を登録する

ハンズフリー電話やBluetooth®オーディオを使用するためには、携帯電話／ポータブル機をマルチメディアシステムに登録する必要があります。登録完了後は、マルチメディアシステムを起動するたびに自動でBluetooth®接続されます。

Apple CarPlay/Android Autoを接続したときは、自動的に機器登録されます。

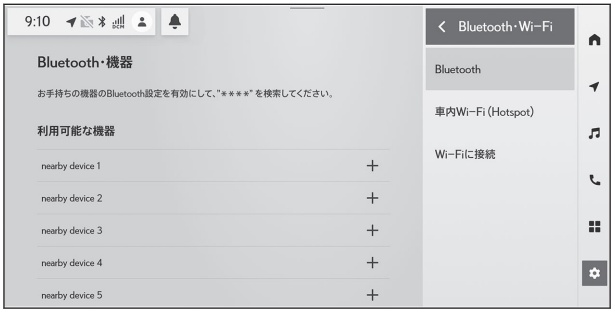
Bluetooth®機器が1台も接続されていない場合、ステアリングの[ ]スイッチを押し続けることでも登録画面を表示できます。

知識

- 携帯電話を、ハンズフリー電話とBluetooth®オーディオとして登録できます。
- Bluetooth®機器は5台まで登録できますが、ハンズフリー電話として使用できるのは最大2台までです。ハンズフリー電話を2台接続するには、ドライバーの認識が必要です。(→P.58)
- Bluetooth®機器側の操作は、Bluetooth®機器に添付の取扱説明書をご覧ください。
- 複数のBluetooth®機器を使用する場合は、Bluetooth®機器の数だけ登録をくり返してください。
- パスコードとは、Bluetooth®機器をマルチメディアシステムに登録するために使用される確認コードです。
- 携帯電話の設定によっては、接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除して使用してください。
- 携帯電話やポータブル機を接続しているときに他の機器を登録する場合、オーディオ再生しているポータブル機、または携帯電話の接続が切断されます。
- 走行中は安全のため、機器を登録できません。
- Bluetooth®機器の登録がうまくいかない場合、Bluetooth®機器を再起動してください。

マルチメディアから登録する

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 [Bluetooth・Wi-Fi]にタッチします。
3 サブメニューの[Bluetooth]にタッチします。
4 [機器の登録]にタッチします。
5 メインエリアから登録する機器にタッチします。



- 機器名ではなく、Bluetooth®アドレスで表示される場合があります。
- 登録したい機器が表示されない場合は、Bluetooth®機器からの登録を試してください。
- Bluetooth®機器の機種により、特定の画面を Bluetooth®機器で表示させないと、追加機器のリストに表示されない場合があります。詳しくは Bluetooth®機器に添付の取扱説明書をご覧ください。

6 **表示されているパスコードが、Bluetooth®機器に表示されるパスコードと同じことを確認し、[OK]にタッチします。**

- 登録する機種によっては、Bluetooth®機器での操作が必要な場合があります。
- メイン機器の設定がされていないドライバーの場合、HFP に対応した Bluetooth®機器を登録すると、自動的にそのデバイスがメイン機器に設定されます。
- Apple CarPlay または Android Auto 設定が表示されることがあります。使用する設定にした場合、Apple CarPlay または Android Auto 画面が表示されます。
- 接続完了のメッセージが表示され、メインエリアに登録した Bluetooth®機器の名称が表示されます。
- 登録失敗の画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。

Bluetooth®機器から登録する

マルチメディアシステムで Bluetooth®機器を検索しても見つからない場合に、Bluetooth®機器からマルチメディアシステムを検索して登録します。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**
2 **[Bluetooth・Wi-Fi]にタッチします。**
3 **サブメニューの[Bluetooth]にタッチします。**
4 **[機器の登録]にタッチします。**
5 **使用する Bluetooth®機器からマルチメディアシステムを登録します。**



- Bluetooth®機器の操作手順に従ってください。
- Bluetooth®機器からの登録操作は、必ずこの Bluetooth®接続画面を表示させて行ってください。

6 **表示されているパスコードが、Bluetooth®機器に表示されるパスコードと同じことを確認し、[OK]にタッチします。**

- 登録する機種によっては、Bluetooth®機器での操作が必要な場合があります。
- メイン機器の設定がされていないドライバーの場合、HFP に対応した Bluetooth®機器を登録すると、自動的にそのデバイスがメイン機器に設定されます。
- Apple CarPlay または Android Auto 設定が表示されることがあります。使用する設定にした場合、Apple CarPlay または Android Auto 画面が表示されます。
- 接続完了のメッセージが表示され、メインエリアに登録した Bluetooth®機器の名称が表示されます。
- 登録失敗の画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。

Bluetooth®機器の登録を削除する

登録した Bluetooth®機器を削除できます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。

2 [Bluetooth・Wi-Fi]にタッチします。

3 サブメニューの[Bluetooth]にタッチします。

4 削除する Bluetooth®機器の[ ]にタッチします。
他のユーザーがメイン機器に設定している機器の場合、削除できません。(→P.56)

5 [削除]にタッチします。



6 [はい]にタッチします。

知識

- 緊急通報中は、携帯電話の登録を削除できません。
- Bluetooth®機器の状態によっては削除できない場合があります。

Bluetooth®機器との接続

Bluetooth®機器との接続は、マルチメディアシステムのさまざまな機能を利用する上で必要になります。接続方法は、自動と手動の 2 通りの方法があります。

知識

- Bluetooth®機器側の操作については、Bluetooth®機器に添付の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話接続時の動作が不安定な場合は、一度通話を切り、再度接続してください。
- Bluetooth®機器の Bluetooth®接続機能が ON になっていないと接続できません。
- Bluetooth®機器の接続が完了すると、接続完了のメッセージが表示されます。
- Bluetooth®機器接続中は、Bluetooth®接続中のステータスアイコンが表示されます。(→P.19)
- 携帯電話の機種によってはパワースイッチが ACC または ON のときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明を OFF に設定してください。携帯電話の設定については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。
- Apple CarPlay で接続中の機器では、Bluetooth®機能を使用できません。
- Android Auto で接続中の機器では、ハンズフリー電話以外の Bluetooth®機能を使用できません。

■ Bluetooth®接続の再接続について

パワースイッチが ACC または ON のときに、一度接続が成立した Bluetooth®接続が切断された場合は、接続処理を自動的に行います。

■ Bluetooth®機器の接続数について

- ドライバーが設定されているとき

  最大で 2 台のハンズフリー電話と 1 台のオーディオ機器を接続します。
- ドライバーが設定されていないとき

  最大で 1 台のハンズフリー電話と 1 台のオーディオ機器を接続します。

知識

- ハンズフリー電話とオーディオ機器は同一機器を設定することもできます。
- 再接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。(→P.86)

Bluetooth®機器を自動で接続する

パワースイッチを ACC または ON にするたびに、マルチメディアシステムは決められた優先順位で Bluetooth®機器に自動で接続します。

● ドライバーが設定されているとき

メイン機器、サブ機器、ドライバー本人のみの接続履歴から選択されます。

最大で 2 台のハンズフリー電話と 1 台のオーディオ機器を自動で接続します。(→P.88,89)

● ドライバーが設定されていないとき

登録されている全ドライバーの接続履歴から選択されます。

最大で 1 台のハンズフリー電話と 1 台のオーディオ機器を自動で接続します。

接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。(→P.86)

知識

- ハンズフリー電話とオーディオ機器は同一機器を設定することもできます。
- Bluetooth®機器の機種により Bluetooth®機器の操作が必要な場合があります。
- [**切断**]などで手動で切断した機器は自動接続されません。

Bluetooth®機器を手動で接続する

自動接続ができなかったときや別の Bluetooth®機器に接続したいときに、登録済みの Bluetooth®機器と接続できます。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **[Bluetooth・Wi-Fi]にタッチします。**

3 **サブメニューの[Bluetooth]にタッチします。**

登録済みの Bluetooth®機器がない場合は、[**機器の登録**]をタッチし Bluetooth®機器を登録してください。

4 **接続する Bluetooth®機器の[ ]にタッチします。**

- メインエリアのデバイスリストからでも接続したい機能を ON にすることができます。

5 **メインエリアの接続したい機能（電話、オーディオなど）を ON にします。**



他の機器が接続中の場合、確認画面が表示されることがあります。

知識

Bluetooth®機器の状態によっては、一度で接続できない場合があります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

Bluetooth®機器を切断する

すでに接続している Bluetooth®機器をマルチメディアシステムから切断できます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 [Bluetooth・Wi-Fi]にタッチします。
3 サブメニューの[Bluetooth]にタッチします。
4 削除する Bluetooth®機器の[ ]にタッチします。
5 [切断]にタッチします。



6 [はい]にタッチします。

Bluetooth®機器をメイン機器に設定する

登録された Bluetooth®機器をメイン機器に設定することで、自動接続のときに最優先で接続できます。(→P.85)

- HFP に対応した Bluetooth®機器を、マルチメディアシステムに接続しておく必要があります。
- メイン機器を設定するには、ドライバーの登録が必要です。(→P.56)

知識

他のドライバーにメイン機器として設定されている Bluetooth®機器をメイン機器にすることはできません。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **[アカウント]にタッチします。**

3 **サブメニューの[ドライバー設定]にタッチします。**

4 **メインエリアの[Bluetooth 機器]にタッチします。**

メイン機器に設定したい Bluetooth®機器がない場合や、メイン機器に設定可能な Bluetooth®機器が接続されていない場合は、[**機器の追加**]をタッチし、Bluetooth®機器を新規登録してください。新規登録したときに、メイン機器に設定できます。

5 **メイン機器にする Bluetooth®機器を選択します。**



現在接続している Bluetooth®機器を切断し、メイン機器とサブ機器に接続します。

Bluetooth®機器をサブ機器に設定する

登録された Bluetooth®機器をサブ機器に設定することで、接続したときにサブ機器として認識されます。

- ドライバーのメイン機器とサブ機器を、同じ Bluetooth®機器にすることはできません。
- HFP に対応した Bluetooth®機器をマルチメディアシステムに接続しておく必要があります。
- サブ機器を設定するには、ドライバーの登録が必要です。(→P.56)

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **[Bluetooth・Wi-Fi]にタッチします。**

3 **サブメニューの[Bluetooth]にタッチします。**

登録済みの Bluetooth®機器がない場合は、[**機器の登録**]をタッチし Bluetooth®機器を登録してください。(→P.81)

4 **サブ機器に設定する Bluetooth®機器にタッチします。**

5 **メインエリアから[サブ機器として設定]にタッチします。**



サブ機器としてすでに設定されている場合、[**サブ機器設定の解除**]にかわります。

Bluetooth®機器を設定する

登録した Bluetooth®機器をマルチメディアでどのように使用するか設定できます。

知識

- 設定内容は個別の Bluetooth®機器ごとの設定になります。
- Bluetooth®オーディオ再生中にハンズフリー電話を選択した場合、音声が途切れることがあります。
- Bluetooth®機器の機種によっては、Bluetooth®機器の操作が必要になります。
- 緊急通報中は、Bluetooth®機器を選択できません。
- 運転中は設定を選択できません。
- Bluetooth®機器の状態によっては、設定を選択できません。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **[Bluetooth・Wi-Fi]にタッチします。**

3 **サブメニューの[Bluetooth]にタッチします。**

デバイスリストが表示されます。

- デバイスリストのアイコンをタッチすると、該当の機能に接続できます。

4 **設定する Bluetooth®機器の[ ]にタッチします。**

5 **各項目を設定します。**



設定項目	内容
[Apple CarPlay]	Apple CarPlay 機能の ON/OFF を設定できます。(1)(2)
[Android Auto]	Android Auto 機能の ON/OFF を設定できます。(1)(2) Android Auto を使用中に設定を OFF にすると、[Bluetooth 電話]設定が ON になります。
[Bluetooth 電話]	ハンズフリー電話機能の ON/OFF を設定できます。(1)(2)

設定項目	内容
[**Bluetooth オーディオ**]	オーディオ機能の ON/OFF を設定できます。(1)(2)
[**サブ機器として設定**]	サブ機器に設定できます。(→P.89) 本設定は、ドライバーが設定されている状態で、HFP に対応した Bluetooth®機器がメイン機器に設定されていない場合に使用できます。サブ機器に設定するには、[**サブ機器として設定**]にタッチします。Bluetooth®機器を接続する際の優先順位は、メイン機器、サブ機器、接続履歴の新しい機器です。
[**サブ機器設定の解除**]	サブ機器から解除できます。
[**削除**]	Bluetooth®機器の登録を削除できます。
[**切断**]	マルチメディアと Bluetooth®機器との接続を切断できます。 接続していた機能は OFF になります。再度機器を接続しても、同じ機能へ自動接続できるとはかぎりません。
「共通設定」	
[**連絡先と通話履歴の自動転送**]	連絡先や履歴をマルチメディアシステムに自動転送する機能を ON/OFF します。 設定を OFF から ON に変更すると、電話帳の自動転送が開始されます。
[**名・姓の順で表示**]	連絡先に登録してある名称の表示を名・姓の順に変更できます。
[**姓・名の順で表示**]	連絡先に登録してある名称の表示を姓・名の順に変更できます。
[**通話履歴の削除**]	通話履歴を削除できます。 [**連絡先と通話履歴の自動転送**]が OFF に設定されているときに使用できます。
「音設定」	
[**着信音**]	ハンズフリー電話の着信音を次のように設定できます。 ● [**着信音 1**]／[**着信音 2**]：既存の着信音を設定します。 ● [**機器**]：携帯電話で設定されている着信音をマルチメディアの着信音として設定します。 ● [**音声でお知らせ**]：着信相手の名前を音声でお知らせする設定にします。
[**着信音量**]	スライダーを移動して、着信音量を調整できます。(3)
[**受話音量(スピーカー)**]	スライダーを移動して、受話音量を調整できます。(3)

(1) Bluetooth®機器が本機能を使用できる場合にのみ表示されます。該当の機能をON/OFF すると、関連した機能が表示／非表示または ON/OFF されます。Apple CarPlay または Android Auto が ON の場合、電話またはオーディオに使用することはできません。同様に、Bluetooth®接続で電話やオーディオの機能を使用している場合は、Apple CarPlay/Android Auto を使用できません。

(2) OFF にすると、本機能との接続が切断されます。自動接続などで機器を接続した場合、OFF にした機能は自動的に ON になりません。ON にすると、本機能との接続が開始されます。

(3) 携帯電話の機種によっては、携帯電話とマルチメディアシステムの受話音量／着信音量が連動する場合があります。

Wi-Fi®機器使用上の留意事項

マルチメディアシステムの Wi-Fi®を利用するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

- この機器の使用周波数帯は、2.4GHz 帯および 5GHz 帯です。
- 2.4GHz 帯を使用する機器では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。（上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
- 2.4GHz 帯を使用する機器では、変調方式として DS-SS 変調方式、OFDM 変調方式を採用しています。想定与干渉距離は 40m 以下です。この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

■ ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Wi-Fi®通信時の電波について、次の点にご注意ください。

⚠ 警告

電波がおよぼす影響について

植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

■ Wi-Fi®と Bluetooth®を同時に使用するとき

この車両は、Bluetooth®と同じ周波数帯の 2.4GHz Wi-Fi®を使用しています。Wi-Fi®と Bluetooth®の両方を同時に使用すると、相互に干渉が発生し、通信速度の低下や接続の問題が発生する可能性があります。（ベストエフォート型機能）

■ Wi-Fi®について知っておいていただきたいこと

知識

- 本機能はベストエフォート型の機能です。
- 本機能は持ち込み機器との接続にてご利用ください。持ち込み機器以外の接続を行っている場合、環境によって切断される可能性があります。
- DCM が通信圏外となった場合は、車内 Wi-Fi（Hotspot）機能による通信は切断されます。
- 接続されている機器が Wi-Fi®圏外になった場合、接続は切断されます。

- 車内 Wi-Fi（Hotspot）に接続している Bluetooth®機器を使用すると、通信速度が低下する場合があります。
- 車内 Wi-Fi（Hotspot）を利用する環境によって、通信速度が遅くなったり通信不可になる場合があります。
- 車両がラジオアンテナ、ラジオ局、またはその他の強い電波や電気ノイズの発生源の近くにある場合、通信速度が遅くなったり通信不可になる場合があります。
- お客さまのご利用環境（無線アンテナの設置場所、近隣での各種無線機器利用など）により、通信速度が低下したり本サービスをご利用いただけないことがあります。
- マルチメディアシステムは、電波法に基づく特定無線設備の工事設計の認証を取得しています。
- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解または改造すると、法律により罰せられることがあります。

対応 Wi-Fi®通信方式

- 2.4GHz
  IEEE 802.11b
  IEEE 802.11g
  IEEE 802.11n (Wi-Fi 4)
  IEEE 802.11ax (Wi-Fi 6)
- 5GHz
  IEEE 802.11a
  IEEE 802.11n (Wi-Fi 4)
  IEEE 802.11ac (Wi-Fi 5)
  IEEE 802.11ax (Wi-Fi 6)

対応セキュリティ方式

- WPA2™-Personal
- WPA3™-Personal
- WPA3™-Personal transition mode

Wi-Fi®を使用してネットワークに接続する

Wi-Fi®ネットワークに接続することで、マルチメディアシステムをインターネットに接続することができます。

知識

- 画面の上部に Wi-Fi®の接続状況が表示されます。(→P.19)
- 車内 Wi-Fi（Hotspot）を ON にしているときは、本機能を使用できません。また、Apple CarPlay/Android Auto がワイヤレス接続されているときも使用できません。Wi-Fi®を接続中に Apple CarPlay/Android Auto をご利用の場合は、USB Type-C ケーブル接続にてご利用ください。
- 接続する機種によっては、自動で再接続できない場合があります。
- Wi-Fi®機能が ON の状態でネットワークが検出された場合、最新のネットワーク先に自動的に接続されます。

利用可能なネットワークに Wi-Fi®を接続する

Wi-Fi®テザリングに対応したスマートフォンなどを利用して、近くのネットワークからインターネットに接続します。

テザリングの設定方法については、接続するスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。接続するスマートフォンによっては、毎回接続が必要となります。

なお、使用するネットワークのパスワードは事前に確認してください。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。

2 [Bluetooth・Wi-Fi]にタッチします。

3 サブメニューの[Wi-Fi に接続]にタッチします。

4 メインエリアの[Wi-Fi]を ON にします。



- マルチメディアシステムの設定によっては、メッセージが表示されます。画面の案内に従って操作してください。
- [Wi-Fi]を ON にすると、近くの利用可能なネットワークが表示されます。

5 メインエリアから接続するネットワークをタッチします。

- ネットワークは最大 30 件まで表示可能です。表示されるネットワークは自動的に更新されます。
- 同じネットワーク名（ネットワーク SSID）を使用している機器が複数ある場合、マルチメディアシステムはその中から 1 つだけ表示します。複数の機器を使用する場合は、異なるネットワーク名（ネットワーク SSID）を使用してください。
- 運転中はネットワークの選択ができません。

6 **選択したネットワークのパスワードを入力します。**

自動接続設定が ON の状態でネットワークが検出されると、自動的に接続されます。

7 **[完了]にタッチします。**

知識

- ネットワークの接続履歴は最大 20 件まで保存されます。新しいネットワークが保存されると、接続履歴の古いものから削除されます。
- Wi-Fi®テザリングをご利用の場合、ナビゲーション機能など各種サービスで使用するデータ通信は、テザリング元のスマートフォンなどの通信回線を利用します。そのため、ご契約のデータ通信量やプランによっては、通信速度の制限や追加料金が発生する場合があります。

Wi-Fi®を切断する

Wi-Fi®機能を OFF にすることで、Wi-Fi®を切断できます。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **[Bluetooth・Wi-Fi]にタッチします。**

3 **サブメニューの[Wi-Fi に接続]にタッチします。**

4 **メインエリアの[Wi-Fi]を OFF にします。**



車内 Wi-Fi（Hotspot）に接続する

車内 Wi-Fi（Hotspot）機能を使って Wi-Fi®のアクセスポイントを設定し、Wi-Fi®機器で接続できます。

この機能を使用するには、G-Link の契約と車内 Wi-Fi オプションの契約が必要です。詳細についてはレクサス販売店にお問い合わせください。

知識

- 他の機能で Wi-Fi®接続している場合、同じ周波数帯の車内 Wi-Fi（Hotspot）は同時に使用できません。
- Apple CarPlay/Android Auto をワイヤレス接続しているときは、同じ周波数帯の車内 Wi-Fi（Hotspot）は同時に使用できません。Apple CarPlay/Android Auto をご利用の場合は、USB Type-C ケーブル接続にてご利用ください。

  なお、Apple CarPlay/Android Auto をワイヤレスで接続したあとに、5GHz の車内 Wi-Fi（Hotspot）を使用する場合は、一度 Wi-Fi®を ON にして Apple CarPlay/Android Auto のアクセスポイントを無効にする必要があります。その後、車内 Wi-Fi（Hotspot）を ON にすることで 5GHz を利用することができます。
- 直近 3 日間（当日は含みません）で 6GB 以上の通信をした場合、終日速度制限がかかることがあります。
- 接続可能な Wi-Fi®機器は、2.4GHz 帯を使用するデバイス 5 台および 5GHz 帯を使用するデバイス 5 台の合計 10 台です。Apple CarPlay/Android Auto をワイヤレスで接続する場合は、車内 Wi-Fi（Hotspot）は 2.4GHz 帯でのみ使用可能なため、デバイスの接続数は 5 台に制限されます。

1 **Wi-Fi®機器側の Wi-Fi®機能が ON であることを確認してください。**

Wi-Fi®機器からの操作については、Wi-Fi®機器に添付の取扱説明書をご覧ください。

2 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

3 **[Bluetooth・Wi-Fi]にタッチします。**

4 **サブメニューの[車内 Wi-Fi (Hotspot)]にタッチします。**

5 **メインエリアの[車内 Wi-Fi]を ON にします。**



マルチメディアシステムの設定によっては、メッセージが表示されます。画面の案内に従って操作してください。

6 **Wi-Fi®機器からマルチメディアシステムの車内 Wi-Fi（Hotspot）に接続します。**

- Wi-Fi®機器からの接続は、Wi-Fi®機器に添付の取扱説明書をご覧ください。
- ネットワーク名（ネットワーク SSID）は、メインエリアの[**車内 Wi-Fi**]の下部に表示される名称と、2.4GHz 帯／5GHz 帯を示す文字および固有の 6 桁の英数字で構成されます。

  例：[**車内 Wi-Fi**]の下部に表示されている名称が CAR MULTIMEDIA の場合
  - 2.4GHz 帯：CAR MULTIMEDIA-2.4g_XXXXXX
  - 5GHz 帯：CAR MULTIMEDIA-5g_XXXXXX

知識

- 第 3 者による不正利用を防ぐため、次のようなパスワードを設定することを推奨します。
  - 13 文字以上とする
  - アルファベット（大文字、小文字含む）、数字を混在させる
  - 定期的に変更する
  - パスワードを書いた紙を人目の付くところに保管しない
  - 他のパスワードの使いまわし、似たパスワードを使わない
  - 車両名やナンバー、辞書などに存在する言葉を使用しない
  - 辞書にある言葉を他の文字に置きかえた場合に、推測できるものは使用しない（例：cat→c@t）

車内 Wi-Fi（Hotspot）を切断する

設定画面から車内 Wi-Fi（Hotspot）を切断できます。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**
2 **[Bluetooth・Wi-Fi]にタッチします。**
3 **サブメニューの[車内 Wi-Fi (Hotspot)]にタッチします。**
4 **メインエリアの[車内 Wi-Fi]を OFF にします。**


12:05
車内Wi-Fi
Bluetooth・Wi-Fi
Bluetooth
車内Wi-Fi (Hotspot)
Wi-Fiに接続

Wi-Fi®を設定する

Wi-Fi®の設定を変更できます。

1 メインメニュー[ ]にタッチします。
2 [Bluetooth・Wi-Fi]にタッチします。
3 サブメニューの[Wi-Fi に接続]にタッチします。
4 各項目を設定します。



設定項目	内容
[**Wi-Fi**]	Wi-Fi®機能の ON/OFF を設定できます。マルチメディアシステムの設定によってはメッセージが表示されます。画面の案内に従って操作してください。 ● [**Wi-Fi**]を ON にすると、近くの利用可能なネットワークが表示されます。 ● [**Wi-Fi**]を OFF にすると、Wi-Fi®接続が切断されます。
「利用可能なネットワーク」	
ネットワーク名(ネットワーク SSID)[ ]	タッチしたネットワークに接続します。[ ]をタッチすると、ネットワーク情報を表示します。 ● ネットワークは最大 30 件まで表示可能です。表示されるネットワークは自動的に更新されます。 ● 同じネットワーク名（ネットワーク SSID）を使用している機器が複数ある場合、マルチメディアシステムはその中から 1 つだけ表示します。複数の機器を使用する場合は、異なるネットワーク名（ネットワーク SSID）を使用してください。

● ネットワーク情報表示(1)

設定項目	内容
[**自動接続**](2)	ネットワーク検索時に自動的に接続する設定の ON/OFF を切りかえます。

設定項目	内容
「ネットワーク名」	ネットワーク名（ネットワーク SSID）を表示します。
「MAC アドレス」	ネットワークの MAC アドレスを表示します。
「セキュリティ」	ネットワークのセキュリティプロトコルを表示します。
「周波数帯域」	ネットワークの周波数を表示します。
[**ネットワーク設定を削除**](2)	マルチメディアシステムから選択したネットワークの接続履歴を削除します。 削除されたネットワークは、マルチメディアシステムとの接続履歴がないネットワークとして認識されます。この場合、ネットワーク情報は記憶されず、Wi-Fi®を再起動してもこの Wi-Fi®ネットワークに再接続しません。

(1) ネットワーク名の[ ]をタッチすると表示されます。

(2) マルチメディアシステムとの接続履歴があるネットワークのみ表示されます。

知識

- ネットワークの接続履歴は最大 20 件まで保存されます。新しいネットワークが保存されると、接続履歴の古いものから削除されます。
- 安全性の低いネットワークには接続できません。
- Wi-Fi®テザリングをご利用の場合、ナビゲーション機能など各種サービスで使用するデータ通信は、テザリング元のスマートフォンなどの通信回線を利用します。そのため、ご契約のデータ通信量やプランによっては、通信速度の制限や追加料金が発生する場合があります。

車内 Wi-Fi（Hotspot）を設定する

車内 Wi-Fi（Hotspot）機能によりアクセスポイントの設定を変更できます。

この機能を使用するには、G-Link の契約と車内 Wi-Fi オプションの契約が必要です。

知識

- 他の機能で Wi-Fi®接続している場合、同じ周波数帯の車内 Wi-Fi（Hotspot）は同時に使用できません。
- 接続可能な Wi-Fi®機器は、2.4GHz 帯を使用するデバイス 5 台および 5GHz 帯を使用するデバイス 5 台の合計 10 台です。Apple CarPlay/Android Auto をワイヤレスで接続する場合は、車内 Wi-Fi（Hotspot）は 2.4GHz 帯でのみ使用可能なため、デバイスの接続数は 5 台に制限されます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。

2 [Bluetooth・Wi-Fi]にタッチします。

3 サブメニューの[車内 Wi-Fi (Hotspot)]にタッチします。

4 各項目を設定します。



設定項目	内容
[車内 Wi-Fi]	車内 Wi-Fi（Hotspot）機能の ON/OFF を設定できます。(→P.97)
[パスワード](1)	アクセスポイントのパスワードを変更できます。
[セキュリティ](1)	アクセスポイントのセキュリティ方法を変更できます。

(1) [車内 Wi-Fi]が ON のときに表示されます。

知識

- マルチメディアシステムの設定によってはメッセージが表示されます。画面の案内に従って操作してください。

● 設定変更時には、車内 Wi-Fi（Hotspot）機能を再起動する必要があるため、Wi-Fi®接続されている機器はすべて切断されます。

Apple CarPlay*1/Android Auto 使用上の留意事項

Apple CarPlay/Android Auto では、地図、電話、音楽などの一部のアプリケーションをマルチメディアシステムで使用できます。スマートフォンとマルチメディアシステムの接続には、USB またはワイヤレス接続を使用します。Apple CarPlay/Android Auto 接続中は、対応アプリケーションが表示されます。Apple CarPlay/Android Auto を使用するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

車内で Android Auto を使用するには、Google Play ストア™から Android Auto をインストールしてください。

■ 対応機器

- Apple CarPlay をサポートする Apple iPhone

  対応機器については、https://www.apple.com/jp/ios/carplay/でご確認ください。*2

- Android Auto をサポートする Android™機器

  対応機器については、https://www.android.com/auto/でご確認ください。*2

知識

- USB 接続の場合は、電話メーカーが提供するデータ通信用の USB Type-C ケーブルを使用してください。
- Apple CarPlay/Android Auto 接続中は、システムの一部のボタン機能がかわります。
- Apple CarPlay/Android Auto を接続すると、Bluetooth®オーディオや電話などの一部機能が Apple CarPlay/Android Auto によって管理されます。
- Apple CarPlay をワイヤレス接続しているときは、5GHz の車内 Wi-Fi（Hotspot）は併用できません。2.4GHz の車内 Wi-Fi（Hotspot）は併用できます。
- [**サウンド・オーディオ**]設定画面で案内音量を変更できます。(→P.221)オーディオシステムの音量調整でも変更できます。(→P.214)
- Apple CarPlay/Android Auto を接続中に、もう一台の Apple CarPlay/Android Auto を使用することはできません。
- iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Apple CarPlay/Android Auto は、Apple 社／Google 社によって開発されたアプリケーションです。接続されている機器のオペレーティングシステム、ハードウェアおよびソフトウェア、または Apple CarPlay/Android Auto の仕様の変更により、その機能およびサービスは予告なしに終了または変更されることがあります。
- Apple CarPlay または Android Auto でサポートされているアプリケーションについては、それぞれの Web サイトをご覧ください。

*1: Apple CarPlay を利用できる国については Apple の公式ホームページでご確認ください。

*2: 動作を保証しているわけではありません。

- Apple CarPlay/Android Auto を使用しているあいだ、場所や車速などの車両およびユーザー情報は、それぞれのアプリケーション発行元および携帯電話サービスプロバイダと共有されます。
- アプリケーションをダウンロードして使用することにより、それらの利用規約に同意したことになります。
- データはインターネットを介して送信され、料金が発生する可能性があります。データ通信料金については、携帯電話サービスプロバイダにお問い合わせください。
- アプリケーションによっては、音楽の再生など一部の機能が制限される場合があります。
- 各機能は他社が提供するアプリケーションであり、予告なく変更または中止することがあります。詳しくは、各機能の Web サイトをご覧ください。
- 車両のナビゲーションシステムでルート案内中に、Apple CarPlay/Android Auto 地図アプリを使用して新たにルート案内を開始した場合、車両のナビゲーションシステムのルート案内は終了します。Apple CarPlay/Android Auto 地図アプリでルート案内中に、車両のナビゲーションシステムを使用して新たにルート案内を開始した場合、Apple CarPlay/Android Auto 地図アプリのルート案内は終了します。
- Apple CarPlay で接続中の機器は、Bluetooth®機能が使用できません。
- Android Auto で接続中の機器は、ハンズフリー電話以外の Bluetooth®機能が使用できません。
- USB 接続の場合は、USB Type-C ケーブルを抜くと、Apple CarPlay/Android Auto の動作が終了します。このとき音声出力は停止し、マルチメディアシステムの画面にかわります。
- Android Auto を切断しても、電話接続は継続するため、ハンズフリー電話を使用することができます。
- Apple CarPlay/Android Auto からマルチメディアシステム画面にもどる際に時間がかかることがあります。
- マルチインフォメーションディスプレイの仕様によっては、Apple CarPlay/Android Auto の地図画面をマルチインフォメーションディスプレイで表示できる場合があります。マルチインフォメーションディスプレイの地図表示については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

⚠ 警告

安全のため、運転者は運転中にスマートフォン本体を操作しないでください。

⚠ 注意

- スマートフォンを車室内に放置しないでください。車室内が高温のときにスマートフォンが故障するおそれがあります。
- スマートフォンが接続されているときには、スマートフォンを押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。スマートフォンまたは端子が損傷する可能性があります。
- USB Type-C 端子に異物を入れないでください。スマートフォンや端子が破損するおそれがあります。

Apple CarPlay を使用する

スマートフォンをマルチメディアシステムと接続して、Apple CarPlay を使用できます。

Apple CarPlay を USB 接続で使用する

マルチメディアシステムとスマートフォンをデータ通信用の USB Type-C ケーブルと接続することで、Apple CarPlay を使用できます。

1 **スマートフォンの設定メニューから Siri を有効にします。**

2 **スマートフォンを USB Type-C 端子に接続します。**(→P.218)

Apple CarPlay のホーム画面が表示されます。

- 接続失敗の画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。
- スマートフォンの画面に案内が表示された場合は、スマートフォンの案内に従って操作してください。
- Apple CarPlay のホーム画面が表示されなかった場合は、以下をご確認ください。
  - メインメニューの[ ]をタッチしてください。
  - メインメニューに[ ]が表示されていない場合は、デバイスリストから使用するスマートフォンの[ ]にタッチします。(→P.90)
  - デバイスリストの[ ]をタッチしてもホーム画面が表示されなかった場合は、メインメニューの[ ]にタッチしてください。

3 **Apple CarPlay を操作します。**



[ ]

Apple CarPlay のホーム画面を表示します。

Apple CarPlay と他の機能を切りかえる場合は、メインメニューのアイコンにタッチします。

[ ]

マルチメディアシステムの画面を表示します。

Apple CarPlay 操作画面から、マルチメディアシステム画面に切りかわります。

知識

- Apple CarPlay が接続されているときは、ステアリングの[ ]スイッチを押し続けると Siri を開始します。中止するには、ステアリングの[ ]スイッチを短く押します。
- Apple CarPlay が接続されている場合、Siri ウェイクワードを話すと、Siri が起動します。Siri のウェイクワード機能は、言語が日本語に設定されている場合のみ使用できます。(→P.63) また、接続するデバイスの iOS バージョンが 15.1 以降である必要があります。
- USB 接続で登録し、スマートフォン側でワイヤレス接続を設定すると、次回からワイヤレス接続が可能になります。
- クイックコントロール画面の[ ]でもホーム画面を表示できます。(→P.33)

Apple CarPlay をワイヤレス接続で使用する

車両のワイヤレス接続機能を使用して、マルチメディアシステムとスマートフォンをワイヤレスで接続することで、Apple CarPlay を使用できます。ワイヤレス接続の場合は事前に機器の登録が必要になります。(→P.81)

1 **スマートフォンの設定メニューから Siri を有効にします。**

2 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

3 **[Bluetooth・Wi-Fi]にタッチします。**

4 **[Bluetooth]にタッチします。**

機器選択画面が表示されたら、使用するスマートフォンを選択します。

5 **デバイスリストの Apple CarPlay を使用するスマートフォンの[ ]にタッチします。**

Apple CarPlay のホーム画面が表示されます。

- 接続失敗の画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。
- スマートフォンの画面に案内が表示された場合は、スマートフォンの案内に従って操作してください。
- Apple CarPlay のホーム画面が表示されなかった場合は、メインメニューの[ ]をタッチしてください。

6 **Apple CarPlay を操作します。**



[ ]

Apple CarPlay のホーム画面を表示します。

Apple CarPlay と他の機能を切りかえる場合は、メインメニューのアイコンにタッチします。

[ ]

マルチメディアシステムの画面を表示します。

Apple CarPlay 操作画面から、マルチメディアシステム画面に切りかわります。

知識

- Apple CarPlay が接続されているときは、ステアリングの[ ]スイッチを押し続けると Siri を開始します。中止するには、ステアリングの[ ]スイッチを短く押します。
- Apple CarPlay が接続されている場合、Siri ウェイクワードを話すと、Siri が起動します。Siri のウェイクワード機能は、言語が日本語に設定されている場合のみ使用できます。(→P.63) また、接続するデバイスの iOS バージョンが 15.1 以降である必要があります。
- Apple CarPlay をワイヤレス接続しているときは、5GHz の車内 Wi-Fi（Hotspot）は併用できません。2.4GHz の車内 Wi-Fi（Hotspot）は併用できます。
- クイックコントロール画面の[ ]でもホーム画面を表示できます。(→P.33)

Android Auto を使用する

スマートフォンをマルチメディアシステムと接続して、Android Auto を使用できます。

Android Auto を USB 接続で使用する

マルチメディアシステムとスマートフォンをデータ通信用の USB Type-C ケーブルで接続することで、Android Auto を使用できます。

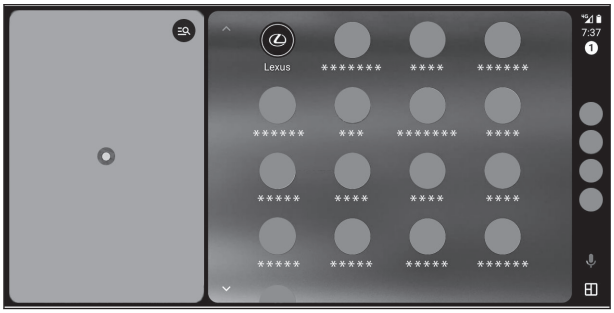
1 **接続するスマートフォンに Android Auto アプリケーションがインストールされていることを確認します。**

2 **スマートフォンを USB Type-C 端子に接続します。****(→P.218)**

Android Auto のホーム画面が表示されます。

- 接続失敗の画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。
- スマートフォンの画面に案内が表示された場合は、スマートフォンの案内に従って操作してください。
- Android Auto のホーム画面が表示されなかった場合は、以下をご確認ください。
  - メインメニューの[ ]をタッチしてください。
  - メインメニューに[ ]が表示されていない場合は、デバイスリストから使用するスマートフォンの[ ]にタッチします。(→P.90)
  - デバイスリストの[ ]をタッチしてもホーム画面が表示されなかった場合は、メインメニューの[ ]にタッチしてください。

3 **Android Auto を操作します。**



アプリケーションにタッチすることで、Android Auto でサポートされているアプリケーションを使用できます。

[ ]

マルチメディアシステムの画面を表示します。

再度、Android Auto のホーム画面を表示する場合は、メインメニューの[ ]にタッチします。

[ ]

Google アシスタント™を起動します。

知識

- Android Auto が接続されているときは、ステアリングの[ ]スイッチを押し続けると Google アシスタント™を開始します。中止するには、ステアリングの[ ]スイッチを短く押します。
- クイックコントロール画面の[ ]でもホーム画面を表示できます。(→P.33)

Android Auto をワイヤレス接続で使用する

車両のワイヤレス接続機能を使用して、マルチメディアシステムとスマートフォンをワイヤレスで接続することで、Android Auto を使用できます。ワイヤレス接続の場合は事前に機器の登録が必要になります。(→P.81)

1 **接続するスマートフォンに Android Auto アプリケーションがインストールされていることを確認します。**

2 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

3 **[Bluetooth・Wi-Fi]にタッチします。**

4 **[Bluetooth]にタッチします。**

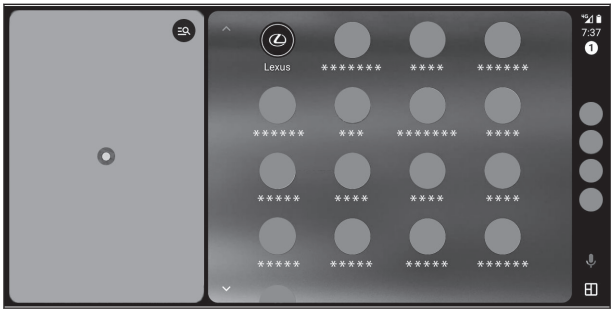
機器選択画面が表示されたら、使用するスマートフォンを選択します。

5 **デバイスリストの Android Auto を使用するスマートフォンの[ ]にタッチします。**

Android Auto のホーム画面が表示されます。

- 画面の案内に従って操作してください。
- 接続失敗の画面が表示されたときは、画面の案内に従って操作してください。
- スマートフォンの画面に案内が表示された場合は、スマートフォンの案内に従って操作してください。
- Android Auto のホーム画面が表示されなかった場合は、メインメニューの[ ]をタッチしてください。

6 **Android Auto を操作します。**



アプリケーションにタッチすることで、Android Auto でサポートされているアプリケーションを使用できます。

[ ]

マルチメディアシステムの画面を表示します。

再度、Android Auto のホーム画面を表示する場合は、メインメニューの[ ]にタッチします。

[ ]

Google アシスタント™を起動します。

知識

- Android Auto が接続されているときは、ステアリングの[ ]スイッチを押し続けると Google アシスタント™を開始します。中止するには、ステアリングの[ ]スイッチを短く押します。
- クイックコントロール画面の[ ]でもホーム画面を表示できます。(→P.33)

Apple CarPlay/Android Auto が故障したとお考えになる前に

Apple CarPlay/Android Auto でお困りの際は、まず次の表を確認してください。

症状	処置
Apple CarPlay/Android Auto が起動しない。	接続するスマートフォンが Apple CarPlay/Android Auto をサポートしているか確認してください。 スマートフォン側で Apple CarPlay/Android Auto が有効になっているか確認してください。 接続するスマートフォンに Android Auto アプリケーションがインストールされているか確認してください。 詳細については、次の URL をご覧ください。 ● Apple CarPlay : https://www.apple.com/jp/ios/carplay/ ● Android Auto : https://www.android.com/auto/
	登録済みスマートフォンの Apple CarPlay/Android Auto 機能がマルチメディアシステムで ON になっているか確認してください。(→P.90) iOS/Android Auto アプリケーションを最新バージョンにアップデートし、スマートフォンを再起動してください。
	USB 接続の場合、USB 接続に使用している USB Type-C ケーブルがスマートフォンと USB Type-C 端子にしっかりと接続されているか確認してください。USB ハブは使用せずに、直接 USB Type-C 端子にスマートフォンを接続してください。(→P.218) Apple CarPlay と Android Auto の接続に正しい USB Type-C 端子が使用されていることを確認してください。充電専用の USB Type-C 端子はスマートフォンアプリではご利用いただけません。 ワイヤレス充電に使用されるワイヤレス充電器では、ワイヤレス Apple CarPlay/Android Auto の接続は開始されません。 Apple CarPlay/Android Auto がワイヤレス接続の場合、次のことをご確認ください。 ● スマートフォンがマルチメディアシステムに Bluetooth® 接続できているかご確認ください。 ● スマートフォンが Wi-Fi®を使用できる設定になっているかご確認ください。 Apple CarPlay の場合：使用している通信用ケーブルが Apple 認証されているものか確認してください。 Siri が有効になっているか確認してください。 充電専用の USB Type-C ケーブルではスマートフォン連携機能はご利用になれません。

症状	処置
Apple CarPlay/ Android Auto が起動しない。	データ転送が可能なケーブルをご利用ください。一部ケーブルには対応できないものがあります。 USB Type-C ケーブルに関する推奨要件は下記となります。 ● iPhone：Apple 純正の USB Type-C ケーブルもしくは、Apple の MFi 認証取得済み USB Type-C ケーブルを使用してください。 ● Android：1.8m 以下の長さのケーブルを使用し、延長ケーブルは使用しないでください。 これまで動作していたスマートフォン連携機能が動作しなくなった場合は、USB Type-C ケーブルを交換すると問題が解決する場合があります。
	上記をすべて確認したあとに、Apple CarPlay/Android Auto を接続してください。
スマートフォンで動画コンテンツを再生したときに、動画が表示されない。	Apple CarPlay/Android Auto は、動画コンテンツを表示することはできません。
音声が出力されない。	マルチメディアシステムがミュートになっているか、音量が小さい可能性があります。マルチメディアシステム側の音量を上げてください。
	Apple がサポートするアプリが Apple CarPlay に使用されている、または Google™がサポートするアプリが Android Auto に使用されていることを確認してください。Web ブラウザから音楽を再生すると、音声が出力されないか、適切な音声が出力されない場合があります。
画面がちらつく、音声にノイズが入る。	マルチメディアシステムとの接続に使用している USB Type-C ケーブルが損傷していないか確認してください。 USB Type-C ケーブルが内部で損傷しているかどうかを確認するには、スマートフォンを PC などの別のシステムに接続し、充電が開始され、接続したシステムで認識されることを確認してください。
	USB Type-C ケーブルを別のケーブルに交換してください。
Apple CarPlay 地図アプリで地図表示を拡大／縮小できない。	Apple CarPlay 地図アプリはピンチアウト／ピンチイン操作することはできません。
Apple CarPlay の画面がディスプレイの中央に表示され、全画面表示にならない。	iOS Ver.10 以降で全画面表示がサポートされています。最新の iOS にアップデートしてください。

症状	処置
Apple CarPlay の Apple Music や Spotify などの Music アプリで音楽再生中に、iPhone 側で Apple CarPlay 非対応アプリ(1)を起動し音声出力した際、マルチメディアシステムでボリュームを変更すると、非対応アプリの音声が終了し、もとの Music アプリの音楽再生にもどる。	本動作はマルチメディアシステムの仕様のため、誤動作ではありません。
FM などマルチメディアシステムのオーディオ再生中に、Apple CarPlay 非対応アプリ(1)の割り込み音声出力が発生した場合、もとのオーディオにもどらない。	本動作はマルチメディアシステムの仕様のため、誤動作ではありません。お客様自身でオーディオソースを変更してください。もしくは、Apple CarPlay 非対応アプリ(1)の使用をお控えください。一部のナビアプリは iOS12 から対応となっています。最新の iOS、アプリに更新してください。
Apple CarPlay を使用中に、マルチインフォメーションディスプレイに、ルート案内矢印とターンバイターンナビゲーションが表示されない。	本機能はマルチインフォメーションディスプレイの仕様、または使用している地図アプリによっては表示されない場合があります。
Android Auto を使用中に、マルチインフォメーションディスプレイおよびマルチメディアシステム画面に、ターンバイターンナビゲーションが表示されない。	
Apple CarPlay/ Android Auto の地図画面がマルチインフォメーションディスプレイで表示されない。	

症状	処置
Android Auto を使用中、ハンズフリー通話の音声が車両のスピーカーから聞こえない。	通話を終了してください。 スマートフォンを USB Type-C ケーブルからはずし、ハンズフリー電話を使用した場合に、音声が聞こえるかどうかを確認してください。
	マルチメディアシステムの音量を上げて、ハンズフリー電話の音声が聞こえるかどうかを確認してください。他のスマートフォンにかえた場合に、音声が聞こえるかどうかを確認してください。
Android Auto を終了したあと、電話が接続されていた。	本動作はマルチメディアシステムの仕様のため、誤動作ではありません。

(1) Apple CarPlay 非対応アプリとは、iPhone 上にはインストールされているが、Apple CarPlay 画面のアプリ一覧には表示されていないアプリのこと。

3 ナビゲーション

3-1. ナビゲーションシステムについて

コネクティッドナビ..... 118

3-2. 地図の基本操作

地図画面の概要 119
地図のスクロール..... 122
地図のスケールを切りかえる . 123
地図の向きを切りかえる..... 124
地図表示メニュー..... 126
周辺施設アイコンを表示する . 127
地図表示の設定 130

3-3. 目的地の検索

目的地を探す 136
検索ワードを入力して目的地を探す 137
住所で目的地を探す..... 139
電話番号で目的地を探す..... 140
充電施設を探す 141
お気に入り地点から目的地を探す 142
履歴から目的地を探す..... 143
スマートフォンから目的地を設定する 144
音声操作で目的地を探す..... 147
施設の詳細情報を表示する 148

3-4. ルート探索・案内

ルートを探索する..... 149
ルートを選択する..... 152
ルートを編集する..... 153
ルート情報を確認する..... 156
ルート案内中の表示..... 157
交差点拡大図 159
経由地を追加する..... 161
渋滞回避ルートへの切替提案 . 162

3-5. 地点の登録

自宅を登録する 163
お気に入り地点の登録・編集 . 164

3-6. 交通情報

VICS 交通情報を表示する 167
VICS 図形情報や文字情報を表示する 171
FM 緊急情報の表示 173
気象・災害情報のエリア表示 . 174
みちびき災害危機通報サービスの表示 175
割込情報の表示（光ビーコン）176
割込情報の表示（ETC2.0） .. 177
TSPS（信号情報活用運転支援システム） 179
VICS について..... 182

3-7. 設定・地図更新

ナビゲーションの設定..... 193
地図表示の設定 194
案内の設定 197
お気に入り・履歴の設定..... 204
ETC システムの設定 206
VICS ETC2.0 の設定..... 208
地図更新 211

コネクティッドナビ

G-Link センターから最新の地図データと目的地情報を取得し、ナビゲーションを行うセンター通信型のナビゲーションサービスです。 ご利用には G-Link 契約とナビパッケージのオプション契約が必要です。

- 現在地周辺の最新地図を G-Link センターから取得します。ルート案内の際は、ルート沿いの最新地図も取得します。
- G-Link センターから、プローブコミュニケーション交通情報に基づく「現在地周辺の交通情報」および「高速道路・一般道路の渋滞予測情報」を考慮した、最適なルートを配信します。
- ルート案内中も、G-Link センターで定期的な最適ルート探索を行い、より最適なルートが見つかった場合は新しいルートを提案します。

■ クラウドナビ

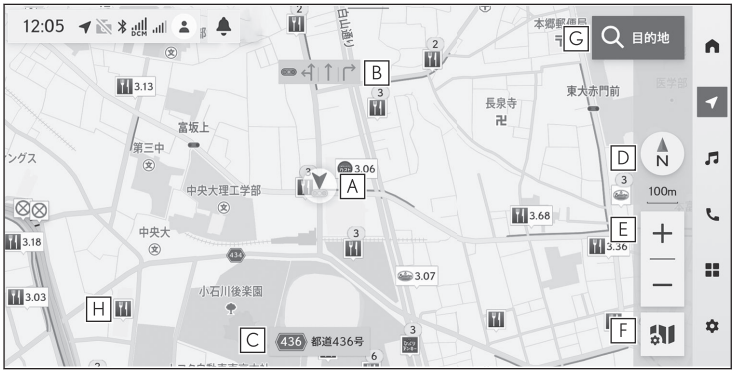
G-Link センターと通信して、コネティッドナビによる地図の表示やルート探索を行います。 車載機に地図データを持っていないため、G-Link センターと通信できないエリアでは一時的に保持している地図を表示しますが、ルート探索などのナビ機能をご利用できない場合があります。

知識

- G-Link 契約とコネクティッドナビのオプション契約がない場合も、車載ナビによる地図表示、ルート案内を利用できます。
- 一時的な地図の保持は、自車を中心とした約 80km 四方および、目的地までのルート沿いとなります。地図を保持しているエリア外で、通信できない状態が一定期間続いた場合、地図が表示ができないなど、ナビ機能に制限がかかります。

地図画面の概要

地図画面を表示するには、メインメニューの[ ]にタッチします。



A 自車位置マーク

現在位置と車が向いている方角を表示します。

B レーン（車線）表示

通過および分岐する交差点の車線を表示します。ルート案内中は、走行を推奨する車線がハイライト表示されます。

C 道路名称表示

走行している道路の名称を表示します。

D 地図の向き

地図の向きや 3D 表示状態をアイコンで表示します。タッチするたびに表示が切りかわります。(→P.124)

E 地図スケール

地図のスケール（縮尺）を表示します。[ ]または[ ]にタッチすると地図のスケールが切り替わります。(→P.123)

F 地図表示メニュー

施設マークや交通情報など、地図に表示する情報を設定します。(→P.126)

G 目的地検索

目的地の検索画面を表示します。(→P.136)

H 周辺施設アイコン

レストランや駐車場などの施設を地図上にアイコンで表示します。登録済みの周辺施設リストから希望の施設を選択できます。(→P.127)

知識

- 走行中は、地図に表示される道路が制限されます。
  - 幅 5.5m 未満の道路などは表示されません。
  - 幅 5.5m 未満の道路を走行した際は、必要に応じて道路が表示されます。

- 新車時や補機バッテリーターミナルを脱着したあとは、実際の位置と異なる場所に自車マークが表示される場合があります。しばらく走行するとマップマッチングや GPS 情報を利用して自動的に現在地情報が修正されますが、場合によっては現在地情報の修正に数分程度かかることがあります。
- 地図テーマを変更すると、地図の色が変わります。(→P.194)
- 地図データに情報がない場合は、道路名称やレーン情報が表示されません。

地図の情報

■ 道路表示

表示	
[ ]（橙色）：高速道路（都市高速道路・有料道路を含む）	[ ]（淡黄）：国道
[ ]（白色）：主要道・都道府県道・一般幹線道	[ ]：トンネルまたは整備計画区間
[ ]：私鉄	[ ]：JR

■ 主な地図記号

表示		
[ ]：駅	[ ]：学校	[ ]：金融機関
[ ]：デパート	[ ]：ホテル	[ ]：競技場
[ ]：スキー場	[ ]：ゴルフ場	[ ]：キャンプ場
[ ]：温泉	[ ]：海水浴場	[ ]：スケート場
[ ]：ヨットハーバー	[ ]：駐車場	[ ]：国の機関
[ ]：郵便局	[ ]：公園、緑地	[ ]：消防署
[ ]：市役所	[ ]：町村役場	[ ]：都道府県庁
[ ]：警察署	[ ]：病院	[ ]：港湾
[ ]：空港	[ ]：フェリー発着場	[ ]：道の駅
[ ]：城	[ ]：神社	[ ]：仏閣
[ ]：教会	[ ]：名所、観光地	[ ]：幼稚園

表示		
[ ]: 工場	[ ]: 変電所	[ ]: ビル
[ ]: NTT	[ ]: 灯台	[ ]: 山岳
[ ]: 霊園、墓地	[ ]: その他の施設	[SA]: SA（サービスエリア）
[PA]: PA（パーキングエリア）	[IC]: IC（インターチェンジ）	[IC]: スマート IC
[ ]: 交差点	[ ]: 踏切	[ ]: 開かずの踏切
[ ]: 県庁所在地	[ ]: 市町村 東京 23 区	[ ]: 東京 23 区以外の区
[ ]: レクサス販売店		

知識

- 選択した地図色によって、道路の表示色や記号のデザインが異なります。
- 表示される記号の位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して 1 つの記号で表示されることがあります。
- 地図データに収録されている開かずの踏切データは、国土交通省の資料を参考に作成しています。

■ 立体ランドマーク

地図上で目印になる公共施設などのランドマークを立体表示します。タッチすると施設情報が表示され、お気に入りや目的地に設定することができます。



地図のスクロール

タッチ、ドラッグ、フリック操作で地図をスクロールすることができます。



A カーソル

地図をスクロールしたときに、地図の中心地点に表示されます。

B 地点情報

カーソル地点の住所が表示されます。

- [♡][**登録**]：地点をお気に入りに登録します。既にお気に入り地点に登録してある地点にカーソルをあわせると、お気に入りから削除することができます。
- [↰][**ルート**]：地点を目的地に設定します。既に目的地を設定している場合は、[📍+][**追加**]が表示され、地点を経由地に追加します。
- [◎][**現在地**]：現在地に戻ります。メインメニューの[➤]にタッチしても現在地に戻ることができます。

知識

- 地図上の地点を長押しすると、地点の詳細情報を表示します。(→P.148)
- 施設情報がある地点や施設をタッチした場合は詳細情報が表示されます。

地図のスケールを切りかえる

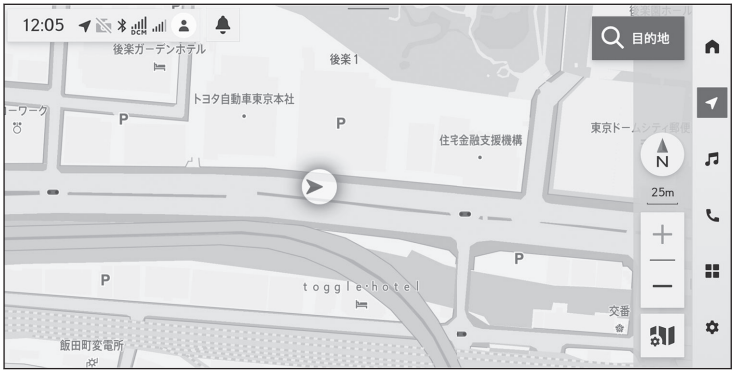
次のいずれかの操作で地図のスケール（縮尺）を切りかえることができます。



- 地図画面の[＋]または[－]にタッチして、地図を拡大／縮小します。
  - 長押しすると連続してスケールが切り替わります。
- ピンチイン／ピンチアウト操作で地図を拡大／縮小します。
- ダブルタップ（1 本の指で素早く 2 回タップ）で地図を拡大します。
- 2 点タッチ（2 本の指を揃えてタッチ）で地図を縮小します。

市街図の表示

市街図が収録された地域で地図スケールを 50m または 25m にすると、道路や建物の形などを表した詳細な市街地図を表示させることができます。



知識

地図データに情報がない地域では、市街図が表示されません。

地図の向きを切りかえる

地図画面の[N]にタッチして地図の向きを切りかえることができます。

● [N]:ノースアップ表示

北を上にして地図を表示します。



● [▲]:ヘディングアップ表示

進行方向を上にして地図を表示します。



● [3D]:3D 表示

地図を立体的に表示し、進行方向を上にします。



知識

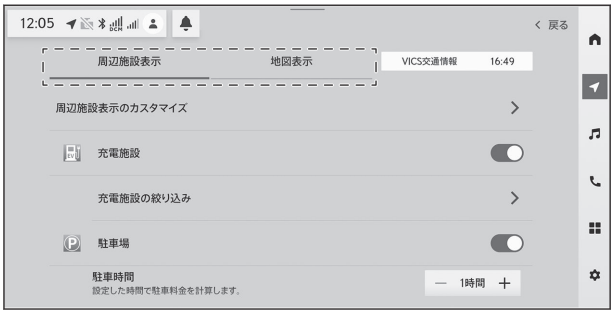
- 3D 表示の傾斜角度は、ナビゲーション設定でも調整できます。(→P.194)
- ヘディングアップ表示や 3D 表示であっても、目的地検索やルート選択などの際は、一時的にノースアップ表示となります。

地図表示メニュー

施設マークや交通情報など、地図に表示する情報を設定します。

1 **地図画面の[ ]にタッチします。**

2 **[周辺施設表示]または[地図表示]のタブにタッチします。**



- [**周辺施設表示**]：地図上に表示する周辺施設アイコンを設定します。(→P.127)
- [**地図表示**]：地図上に表示する情報を設定します。(→P.130)

知識

画面右上に VICS 交通情報の取得時間が表示されます。(→P.169)

周辺施設アイコンを表示する

レストランや駐車場などの施設を地図上にアイコンで表示します。登録済みの周辺施設リストから地図上に表示したい施設カテゴリーを選択することができます。

1 **地図画面の[ ]にタッチします。**

2 **[周辺施設表示]のタブにタッチします。**

3 **周辺施設リストから地図上に表示したい施設カテゴリーを選択します。**



- 登録済みの周辺施設がリスト表示されます。選択した施設カテゴリーが地図上にアイコンで表示されます。
- リストに表示する施設カテゴリーを変更する場合は、[**周辺施設表示のカスタマイズ**]にタッチします。変更する施設カテゴリーを選択し、他の施設カテゴリーと入れかえます。
- [**駐車場**]を選択した場合、駐車時間を設定することで、駐車時間を考慮した料金や満空情報がアイコンに表示されます。(→P.128)
- [**充電施設**]を選択した場合、表示する充電施設の種類を絞り込むことができます。(→P.128)
- [**話題スポット**]を選択すると、新しくオープンした施設やSNSで話題の施設などが表示されます。

知識

- 周辺施設アイコンの表示は、ナビゲーション設定から変更することもできます。(→P.194)
- 周辺施設リストには、音声操作や手動で検索した施設が最大6件まで自動的に登録されます。
- 地図データに情報がない施設は、地図上に施設アイコンが表示されません。
- 施設アイコンは、自車位置またはカーソル位置から半径約10kmの範囲で地図上に表示されます。

  施設アイコンは最大で200件まで表示されます。
- 地図スケールが800mより広域地図には、施設アイコンが表示されません。

● 同じ地点に複数の施設アイコンが密集している場合、道路を見やすくするため、アイコンが施設ジャンル単位に集約されます。集約された施設アイコンの右上には、集約件数[ ]が表示され、アイコンにタッチすると集約された施設が一覧で表示されます。

駐車場

駐車時間を設定することで、駐車時間を考慮した料金や満空情報がアイコンに表示されます。

1 **地図画面の[ ]>[周辺施設表示]タブの順にタッチします。**

2 **[駐車場]を ON にして、[＋][－]で駐車時間を設定します。**

地図に駐車場の施設アイコンが表示されます。



● 駐車時間は 1 ～24 時間まで、1 時間単位で設定できます。

● 駐車料金の情報がない駐車施設は、料金が表示されません。

● 駐車料金は予告なく変更となる場合があります。現地看板などをご確認のうえご利用ください。

● 一部の駐車場では、利用する際に専用サイトにて事前予約が必要になります。

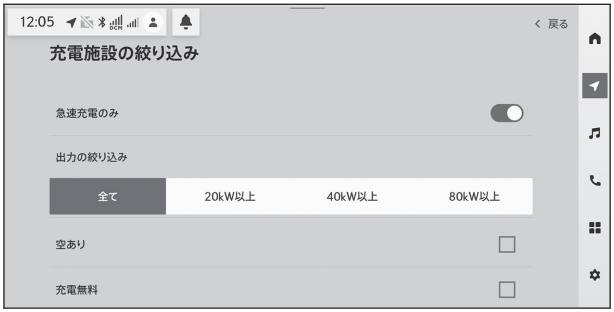
充電施設

表示する充電施設の種類を絞り込むことができます。

1 **地図画面の[ ]>[周辺施設表示]タブの順にタッチします。**

2 **[充電施設] を ON にします。**

3 **[充電施設の絞り込み]にタッチして、表示する充電施設の種類を選択します。**



- [**急速充電のみ**]：急速充電施設のみを表示します。
- [**出力の絞り込み**]：充電器の出力を選択します。
- [**空あり**]：空きのある充電施設を表示します。
- [**充電無料**]： 無料の充電施設を表示します。
- [**e-Mobility Power**]：e-Mobility Power の充電ネットワーク施設を表示します。

地図表示の設定

交通情報の表示など、地図上に表示する情報を設定します。

1 **地図画面の[ ]にタッチします。**

2 **[地図表示]のタブにタッチします。**

3 **地図に表示したい情報を選択します。**



- [**交通情報**]：地図に交通情報を表示します。(→P.167)
- [**地図 2 画面**]：地図をメインとサブの 2 画面で表示します。(→P.130)
- [**高速略図**]：高速道路や都市高速などの有料道路を走行した際、自動的に高速道路の略図を表示します。(→P.131)
- [**走行軌跡**]：自車が走行した経路に軌跡マークを表示します。(→P.132)
- [**先読みエコドライブ情報**]：地図上に先読み減速支援地点のアイコンを表示します。★(→P.133)

知識

- 地図表示の設定は、ナビゲーション設定から変更することもできます。(→P.133)
- [**走行軌跡**]はドライバー登録をする必要があります。(→P.43)

地図 2 画面

地図をメインとサブの 2 画面で表示します。

1 **地図画面の[ ]>[地図表示]タブの順にタッチします。**

2 **[地図 2 画面]を ON にします。**

地図が 2 画面で表示されます。

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。



右側にサブ画面を表示して 2 つの地図情報を確認することができます。各画面で地図の向きや表示スケールを変更できます。

- 地図のスクロールは左側のメイン画面で行います。右側のサブ画面では地図をスクロールできません。
- ルート案内中はサブ画面に案内情報が表示されます。

高速略図

高速道路や都市高速などの有料道路を走行した際、自動的に高速道路情報を表示します。

1 **地図画面の[ ]>[地図表示]タブの順にタッチします。**

2 **[高速略図]を ON にします。**

高速道路走行時に高速略図が表示されます。



A 施設の種類や名称、設備情報を表示します。

- 設備情報をアイコンで表示します。駐車場アイコンと充電施設アイコン*1には満空情報が表示されます。(表示例：[P 空])
- [ ]にタッチすると、施設の詳細情報を表示します。
  - [ ][**この施設に立ち寄る**]：施設を経由地に追加します。

B 現在地からの距離を表示します。

C 施設への到着予想時刻を表示します。

*1：BEV のみ

D VICS 交通情報を受信したときに、路線の渋滞状況を色で表示します。
- 赤色: 渋滞
- 黄色: 混雑
- 黒色: 通行止め

E 工事や路上障害物などによる交通規制情報がアイコンで表示されます。(表示例: [][])

F 高速略図を閉じます。

▶ **設備アイコン（表示例）**

表示		
[]: コンビニ	[]: トイレ	[]: インフォメーション
[]: レストラン	[]: スナックコーナー	[]: ドッグラン
[]: ベビーコーナー	[]: オストメイトトイレ	[]: ショッピングコーナー
[]: 郵便ポスト	[]: ハイウェイ温泉・銭湯	[]: キャッシュコーナー
[]: 仮眠休眠施設	[]: ハイウェイオアシス	[]: 充電施設

知識

ガソリンスタンドやコンビニなどの施設は、固有のロゴマークが表示される場合があります。

走行軌跡

自車が走行した経路に軌跡マークを表示します。

走行軌跡はドライバー登録をする必要があります。(→P.43)

1 **地図画面の[]>[地図表示]タブの順にタッチします。**

2 **[走行軌跡]を ON にします。**

地図に走行軌跡が表示されます。
- 走行した道路を約 1000km 分記録することができます。
- 走行軌跡を記録できる距離を超えた場合は、古い軌跡から順に消去されます。
- 走行軌跡の表示設定を OFF にする際、記録の消去を確認するポップアップが表示されます。消去する場合は[**非表示と消去**]、消去しない場合は[**非表示**]にタッチします。

知識

走行軌跡マークは、地図が 25m～50km スケールのときに表示されます。

先読みエコドライブ★

本システムは走行の状況や交通情報をもとに作動し、優れた実燃費に貢献する機能です。先読みエコドライブについては、「取扱説明書」も参照してください。

先読みエコドライブ機能の利用をする／しないを設定できます。

先読み減速支援

過去のドライバーの行動をデータベースに蓄積し、どこで減速・停止をするかを予測します。減速・停止行動を蓄積した地点に対して減速支援を行うことで、駆動用電池の充電量を増やすことができます。

- 運転者のペダル操作や車速から、いつも同じ場所で減速・停止している場所を減速支援地点として蓄積し、ナビゲーションシステムに自動的に登録します。
- 登録された減速支援地点は地図上にアイコン[ ]表示されます。また、自車位置が減速支援地点に接近すると、アイコンの強調表示[ ]に切りかわります。

先読みエコドライブ情報を表示する

地図上に先読み減速支援地点のアイコンを表示することができます。

1 **地図画面の[ ]にタッチします。**

2 **[地図表示]タブにタッチします。**

3 **[先読みエコドライブ情報]を ON にします。**

先読み減速支援地点には地図上に[ ]アイコンが表示されます。また、自車位置が先読み減速支援地点に接近するとアイコンが[ ]に切りかわります。

知識

- 1 画面で表示できるアイコンの上限数は 100 個です。
- アイコン表示上限数をこえる場合は、自車位置から近い先読み減速支援地点を表示します。
- 800m スケールより詳細な地図で表示することができます。（市街地図を除く）
- 目的地を設定している場合、案内ルート上にない先読み減速支援地点は強調されません。

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

● 先読みエコドライブ情報の表示設定は、ナビゲーション設定から変更することもできます。(→P.194)

先読みエコドライブ情報表示を解除する

1 **地図画面の[ ]にタッチします。**

2 **[地図表示]タブにタッチします。**

3 **[先読みエコドライブ情報]を OFF にします。**

[**先読みエコドライブ情報**]を OFF にしたあと、先読みエコドライブ情報の消去確認画面が現れます。登録されているポイントを削除する場合は[**削除と非表示**]にタッチし、削除しない（アイコン表示のみを解除する）場合は[**非表示のみ**]にタッチしてください。

知識

● 一度削除した先読み減速支援地点情報を復元することはできません。

● 先読み減速支援地点情報を個別に選択して、削除することはできません。

先読み SOC*1 制御

電力を効率よく使用して走行するために、経路や交通情報などのデータをもとに、次のような制御が働きます。

● 途中に長い下り坂がある場合は、下り坂手前から駆動用電池の残量を減らしておくことで、下り坂走行中の回生ブレーキによる充電容量を確保します。

● 渋滞が予想される場合は、渋滞路での駆動用電池残量の低下により、強制的にエンジンをかけて充電する頻度を減らすために、渋滞手前から駆動用電池残量を確保しておきます。

知識

● 本機能はナビの案内稼働中、かつそのルート上に車両がいる場合に実施されます。（駐車場などでは実施されません。）

● 複数の目的地点を登録した場合、最終の目的地まで実施されます。

先読み EV ドライブ（エリア適応）

駆動用電池残量を調整し、ナビゲーションに登録された自宅周辺で自動的に EV ドライブモードに切りかえます。

知識

● 本機能は自宅を目的地にルート案内することで有効になります。

● EV ドライブモード中は暖房性能が低下する場合があります。

*1：SOC は駆動用電池残量です。

暖房性能の効きが悪いと感じられたときは EV ドライブモードスイッチを押し、EV ドライブモードを解除してください。

- リモートスタートを使用された場合、EV ドライブモードが解除されるケースがあります。
- システム状況によっては EV ドライブモードに切りかえられないケースがあります。

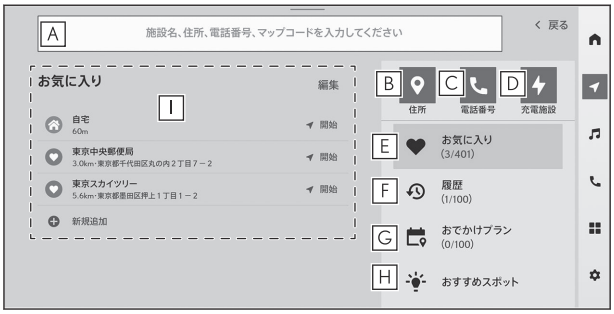
例）ハイブリッドシステムが高温・低温のとき、駆動用電池の充電が低いとき、車速が高いときなど

目的地を探す

様々な方法で目的地や経由地を検索できます。

1 **地図画面の[🔍][目的地]にタッチして、目的地検索画面を表示します。**

2 **希望の検索方法を選択します。**



A 施設名や地名、電話番号などを入力して目的地を検索します。(→P.137)

B 住所で検索します。(→P.139)

C 電話番号で検索します。(→P.140)

D 周辺の充電施設を検索します。*1(→P.141)

E お気に入り地点から目的地を検索します。お気に入りに登録した地点のリストが表示されます。(→P.142)

F 目的地履歴（過去に設定した目的地）から目的地を検索します。目的地履歴が存在するときのみ使用できます。(→P.143)

G スマートフォンで登録した地点から目的地を検索します。画面右にスマートフォンから送信された、おでかけプランが表示されます。(→P.144)

H おすすめスポットを検索します。

- 検索履歴などから個人嗜好を考慮したおすすめの立ち寄りスポットを検索できます。
- 施設のジャンルを選択後、おすすめ条件や検索範囲を指定できます。

I お気に入り、履歴 、おでかけプランなどのリストが表示されます。

- 地点の名称や住所、現在地からの距離が表示されます。
- 地点にタッチすると、目的地に設定してルートを探索します。
- [▲][**開始**]にタッチすると直ちにルート案内を開始します。

*1：BEV のみ

検索ワードを入力して目的地を探す

施設名や地名、電話番号などを入力して目的地を検索します。

1 **地図画面の[🔍][目的地]にタッチして、目的地検索画面を表示します。**

2 **[施設名、住所、電話番号、マップコードで検索]にタッチします。**

3 **キーボードを使って名称などを入力し、[検索]にタッチします。**



- 施設名、地名、住所、電話番号、マップコード、お気に入り地点名などを入力して目的地を検索できます。
- 文字を入力するごとに、検索される目的地候補が表示されます。
- 過去の検索履歴などから入力する文字を予測して、入力文字の候補を表示します。
- 入力ミスにより該当する検索結果が存在しないときは、正しいと思われる検索ワードを表示します。
- 変換範囲 （文節）が間違っているときは、カーソルで変換範囲を修正できます。

4 **検索結果リストから目的の施設を選択します。**



- 施設を選択すると、ルート選択画面が表示されます。(→P.149)
- [☰]にタッチすると、検索エリアの絞り込みができます。
- 地図上の施設アイコンにタッチすると、施設の詳細情報を表示します。(→P.148)
- 地図をスクロールした後に、[**このエリアを検索**]にタッチすると、スクロールしたエリアで再度、目的地を検索します。

知識

「ラーメン」「花見」などのフリーワードによる検索もできます。

住所で目的地を探す

住所で目的地を検索します。

1 **地図画面の[ ][目的地]にタッチして、目的地検索画面を表示します。**

2 **[ ][住所]にタッチします。**

3 **都道府県名、市区町村名、町名、丁目などを選択し、[検索]にタッチします。**



- 入力した住所に該当する地点の地図が表示されます。
- [〇〇**主要部**]にタッチすると、広域図が表示されます。
- 入力した住所で複数の候補がある場合は、該当する代表地点と周辺の地図が表示されます。

電話番号で目的地を探す

電話番号で目的地を検索します。

1 **地図画面の[ ][目的地]にタッチして、目的地検索画面を表示します。**

2 **[ ][電話番号]にタッチします。**

3 **電話番号を入力し、[検索]にタッチします。**



- 入力した電話番号に該当する地点の地図が表示されます。
- 入力した電話番号で複数の候補がある場合は、該当する施設と周辺の地図が表示されます。
- 個人住宅や該当する施設がない場合は、市外／市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。

充電施設を探す*1

周辺の充電施設を検索します。

1 **地図画面の[ ][目的地]にタッチして、目的地検索画面を表示します。**

2 **[ ][充電施設]にタッチします。**

3 **検索結果リストから目的の充電施設を選択します。**



- 周辺の充電施設と施設情報が表示されます。
- 施設を選択すると、ルート選択画面が表示されます。(→P.149)
- [ ]にタッチすると、充電施設の種類や検索エリアの絞り込み、リストの並びかえができます。
- 地図上の施設アイコンにタッチすると、施設の詳細情報を表示します。(→P.148)
- 地図をスクロールした後に、[**このエリアを検索**]にタッチすると、スクロールしたエリアで再度、目的地を検索します。

*1 : BEV のみ

お気に入り地点から目的地を探す

お気に入り地点から目的地を検索します。

1 **地図画面の[ ][目的地]にタッチして、目的地検索画面を表示します。**

2 **[お気に入り]にタッチします。**

3 **リストから目的の地点をタッチします。**



- 地点の名称や住所、現在地からの距離が表示されます。
- 地点にタッチすると、目的地に設定してルートを探索します。
- [ ][**開始**]にタッチすると、直ちにルート案内を開始します。
- [**編集**]にタッチすると、お気に入り地点の並べかえや編集、削除ができます。(→P.165)
- [ ][**新規追加**]にタッチすると、新たに地点を検索して、お気に入り地点を登録できます。地点は検索ワードや履歴などから検索できます。

履歴から目的地を探す

履歴から目的地を検索します。

1 **地図画面の[ ][目的地]にタッチして、目的地検索画面を表示します。**

2 **[履歴]にタッチします。**

3 **リストから目的の地点をタッチします。**



- 地点の名称や住所、現在地からの距離が表示されます。
- 地点にタッチすると、目的地に設定してルートを探索します。
- [ ][**開始**]にタッチすると、直ちにルート案内を開始します。
- [**削除**]にタッチすると、目的地履歴を削除します。削除したい地点を選択して[ ]にタッチします。[ ][**全削除**]にタッチすると、全ての地点を削除します。[**削除**]もしくは[**全削除**]を選択後、[**完了**]にタッチすると削除されます。

スマートフォンから目的地を設定する

スマートフォンから目的地を設定する（moviLink）

スマートフォンアプリ「moviLink」のナビ連携機能やスケジューラ連携機能で登録した、おでかけプラン（目的地、出発時間等）から目的地を設定することができます。

1 **地図画面の[ ][目的地]にタッチして、目的地検索画面を表示します。**

2 **[おでかけプラン]にタッチします。**

3 **リストから目的の項目をタッチします。**



- プラン名称にタッチすると、目的地に設定してルートを探索します。
- [ ][**開始**]にタッチすると、直ちにルート案内を開始します。

知識

- おでかけプランを使用するには、ドライバー登録をする必要があります。(→P.48)
- スマートフォンでおでかけプランを設定すると、マルチメディアシステムにおでかけプランがある旨の通知が表示されます。（出発時刻の 30 分以内にパワースイッチを OFF から ACC または ON にした際に通知されます）

moviLink について

moviLink の詳しい情報は下記サイトをご覧ください。

- URL：https://www.toyotaconnected.co.jp/movilink/
- QR コード

  moviLink のダウンロードは下記 QR コードをお読み取りください。

▶ iPhone

▶ Android

スマートフォンから目的地を設定する（NaviCon®）

NaviCon*1 は多彩な連携アプリで探した行先を、ワンタッチでカーナビに転送し目的地に設定できるお出かけサポートアプリです。



NaviCon（iOS 版／ Android 版）は無料でご利用いただけます。
入手方法や詳しい情報は下記サイトをご覧ください。
NaviCon サポートサイト：https://navicon.com/

*1：NaviCon は株式会社ミックウェア の登録商標です。



▶ **マルチメディアシステムとの接続方法**

接続方法	iOS デバイス	Android デバイス
Bluetooth® （無線）	○	○
USB （有線）	△(1)	×

(1) ハンズフリー接続が必要です。

▶ **マルチメディアシステムの対応機能**

目的地設定	複数地点設定	地図操作	友達マップ連携
○	○	×	×

音声操作で目的地を探す

エージェント（音声対話サービス）を使用して、目的地を検索します。

1 ステアリングの[ ]スイッチ（トークスイッチ）を押す、または起動ワード「ヘイ、レクサス」を発話してエージェントを起動します。

2 検索したい施設名やキーワードを発声します。



3 検索結果から目的の施設をタッチ、または音声で選択します。



● 施設を選択すると、ルート選択画面が表示されます。



施設の詳細情報を表示する

地図上の施設アイコンにタッチすると、施設の詳細情報を確認できます。

1 **地図上の施設アイコンにタッチします。**

- 地図上の地点を長押しすると、地点の詳細情報を表示します。

2 **施設情報を確認し、目的地に設定する場合は[ルート表示]または[ ][開始]にタッチします。**



- 施設の名称や住所、電話番号、営業時間などの情報が表示されます。
  - 目的地周辺の天気がアイコン(表示例：[ ])で表示されます。
  - インターネットの評価サイトから取得した、施設の評価点が表示されます。
- [**その他**]のタブにタッチすると、施設の写真や詳細情報などを確認できます。
- [ ][**お気に入りに登録**]にタッチすると、施設をお気に入りに登録します。
- 電話番号にタッチすると電話をかけることができます。
- [**ルート**]にタッチすると、目的地に設定してルート検索を開始します。すでに目的地を設定している場合は、経由地として追加されます。
- [ ][**開始**]にタッチすると、直ちにルート案内を開始します。

知識

- 施設や地点により、表示される情報の種類が異なります。
- 走行中は表示が制限されます。

ルートを探索する

目的地を設定するとルート探索が行われ、ルート選択画面が表示されます。ルートのカスタマイズやルート情報の確認ができます。

[ ][**開始**]にタッチするとルート案内を開始します。



A 目的地までのルートと所要時間を地図上に表示します。推奨ルートを含む 3 つのルート（推奨、時間優先、一般道路優先など）が表示され、別のルートをタッチすることでルートを変更できます。(→P.152)

B 目的地の名称または住所を表示します。[ ][**登録**]にタッチするとお気に入りに登録します。

C 目的地までの所要時間や到着予想時刻、距離、高速道路料金などの情報を表示します。

- タッチすると施設の詳細情報を表示します。(→P.148)
- 最初に一般道路から有料道路に入る IC の名称を左に、最後に有料道路から一般道路に出る IC の名称を右に表示します。入口および出口名を選択することで IC を変更することができます。(→P.154)

D 現在の航続可能距離では目的地に到達できない場合、ルート沿いの充電施設を自動で目的地に設定します。*1

E 以下の項目を設定します。

- [ ][**経由地を追加**]：目的地や経由地を追加します。地点は 10 か所まで追加できます。(→P.153)
  - 既に経由地を設定している場合は[ ][**経由地を編集**]が表示されます。タッチすると目的地リストが表示され、地点の追加や削除、並べかえができます。
- [ ][**ルート設定**]：ルートオプションを設定します。スマート IC やフェリー航路の利用など、ルート探索の条件を変更します。(→P.153)
- [ ][**地点情報を見る**]：目的地の詳細情報を表示します。 住所、電話番号、営業時間などの情報が確認できます。

*1：BEV のみ

- [ ][**目的地を移動**]にタッチすると、到着地点の微調整ができます。
- 複数の目的地を設定している場合は、[ ][**経由地**]を編集が表示されます。

● [ ][**周辺の駐車場**]：目的地周辺の駐車場を検索します。
- 駐車時間を設定すると、駐車時間を考慮した料金が表示されます。
- 選択した駐車場を目的地に設定します。

● [ ][**施設入口の指定**]：複数の出入口がある施設の場合、到着地点とする入口の候補を表示します。

● [ ][**通過点の指定**]：通過する地点を指定してルートをカスタマイズできます。(→P.154)

● [ ][**道順**]：目的地までの道順をリスト表示します。 走行する道路や区間距離などのルート情報を確認できます。(→P.156)

F ルート案内を開始します。長押しすると、デモ走行を開始し、事前に走行ルートを確認することができます。(→P.156)

G 探索条件の異なるいくつかのルート（距離優先や省エネなど）から希望のルートを選択します。地図上の 3 つルート以外からもルートを選択することができます。 (→P.152)

知識

● 高速道路の料金表示について
- 初期設定では ETC 料金が表示されます。ETC 料金の表示設定を OFF にすると、ETC を使用しない料金表示に切りかわります。(→P.197)
- ETC 料金は、通過予想時間を考慮して割引を計算した料金が表示されますが、実際の運転状況や交通状況により割引が適応されない場合があります。

● 到着地点の確認通知
- 目的地とする施設への到着予想時刻が定休日や営業時間外になる場合、ルート案内を開始する際にその旨を知らせる通知が表示されます。(営業時間や定休日は実際と異なる場合があります)
- 目的地が高速道路上に設定されたり、橋やトンネル、線路などに近い場合、目的地を周辺の場所に移動する提案が表示される場合があります。
- 居住者規制エリアや交通規制エリアに目的地を設定した場合、ルート上に通知が表示されます。
- ルート探索ができなかった場合は、画面上に通知が表示されます。

● 駐車場の料金表示について
- 駐車時間は 1 ～ 24 時間まで、1 時間単位で設定できます。
- 駐車料金の情報がない駐車施設は、料金が表示されません。
- 駐車料金は予告なく変更となる場合があります。現地看板などをご確認のうえご利用ください。

- 駐車料金が 1 万円以上の場合、「**1 万円～**」と表示されます。

ルートを選択する

3 ルートから選択する

ルート探索をすると、目的地までのルートと所要時間が地図上に表示されます。推奨ルートを含む 3 つのルート（推奨、時間優先、一般道路優先など）が表示され、地図上に表示されている別のルートや所要時間をタッチすることでルートを変更できます。



- 通常は推奨ルートで探索します。
- 表示されるルートの種類は、条件により異なります。
- 有料道路を含むルートには料金が表示されます。
- 規制区間などを含むルートには通知が表示されます。

他のルートタイプから選択する

探索条件の異なるいくつかのルートタイプ（距離優先や省エネなど）から希望のルートを選択します。地図上の 3 つルート以外からもルートを選択することができます。

1 **ルート選択画面で、[ルート条件]にタッチします。**

2 **希望のルートにタッチします。**



- ニーズや状況を踏まえてルート条件は追加されたり無くなることもあります。

ルートを編集する

経由地を追加する

目的地や経由地を追加します。地点は 10 か所まで登録できます。

1 **ルート選択画面で、[ ][経由地を追加]にタッチします。**

- 既に経由地を設定している場合は[ ][**経由地を編集**]にタッチして、目的地リストの[ ][**追加**]にタッチします。

2 **目的地検索画面から追加する地点を検索します。**

- 検索ワードやお気に入り、履歴、地図上などから検索できます。

3 **追加する地点を希望の区間に設定し、[保存]にタッチします。**



- [ ]をドラッグして地点を並べかえることができます。
- [ ]:地点を削除します。
- [ ][**新規追加**]:地点を追加します。
- [**保存**]:目的地・経由地が登録されます。

ルートオプションを選択する

ルートオプションを設定します。ETC 専用料金所やフェリー航路の利用など、ルート探索の条件を変更します。

1 **ルート選択画面で、[ ][ルート設定]にタッチします。**

2 **希望の項目を選択します。**



- [**ゾーン 30 を避ける**]：30km/h 規制地域を通らないルート探索をします。
- [**ETC 専用料金所を利用しない**]：ETC 専用料金所やスマート IC を利用しないルート探索をします。
- [**フェリー航路を避ける**]：フェリーを利用しないルート探索をします。
- [**細い道を避ける**]：細い道路を通らないルート探索をします。
- [**季節規制区間を避ける**]：季節によって通行規制のある区間を通らないルート探索をします。

出入口インターチェンジを変更する

目的地を設定後、ルート選択画面に表示されている出入口インターチェンジを 1 カ所ずつ指定することができます。

1 **ルート選択画面で、インターチェンジ名にタッチします。**

2 **インターチェンジのリストから変更するインターチェンジの[変更]にタッチします。**

3 **地図からインターチェンジを選択して、[変更]にタッチします。**



- 指定したインターチェンジを利用したルートが探索されます。

通過する地点を指定する

通過する地点を指定してルートをカスタマイズできます。

1 **ルート選択画面で、[ ][通過点の指定]にタッチします。**

2 **区間リストから、指定区間の[ ][追加]にタッチします。**



3 **地図で通過地点にカーソルを合わせ、[追加]にタッチします。**

4 **ルートを確認して、[保存]にタッチします。**

- さらに通過地点を追加する場合は[⊕][**追加**]にタッチします。
- 設定した通過地点を削除する場合は[⊖]にタッチします。

ルート情報を確認する

目的地までの道順を表示する

目的地までの道順をリストで表示します。 走行する道路や区間距離などのルート情報を確認できます。

1 **ルート選択画面で、[ ][道順]にタッチします。**

2 **リストをスクロールして目的地までのルート情報を確認します。**



● [ ][**開始**]にタッチするとルート案内を開始します。

デモ走行でルートを確認する

探索したルートをデモ走行させ、事前に走行ルートを確認することができます。

1 **ルート選択画面で、[ ][開始]を長押しします。**

2 **デモ走行が開始され、目的地までの走行ルートが確認できます。**



● デモ走行を終了するときは、[**デモ終了**]にタッチします。

ルート案内中の表示

ルート案内中は、ポイントとなる地点（交差点や分岐点など）で音声や画面表示による案内が行われます。



A 目的地への到着予想時刻と距離が表示されます。

- タッチするとルート選択画面が表示され、ルート情報の確認や探索条件の変更などができます。(→P.149)
- ルートからはずれた場合は、到着予想時刻は表示されず、目的地までの直線距離が表示されます。

B ルート案内を終了します。

- ポップアップが表示され、[**案内を終了**]にタッチするとルート案内を終了します。
- 複数の目的地を設定している場合は、[**案内を終了**]または[**次の目的地を削除**]にタッチします。

  [**案内を終了**]：全ての目的地を削除してルート案内を終了します。

  [**次の目的地を削除**]：次の目的地のみを削除してルート案内を継続します。

C 次に分岐する交差点までの距離と分岐方向を表示します。

- タッチすると、目的地までのターンリストを表示します。 高速道路を走行中は、高速道路の略図が表示されます。

D 音声案内の ON/OFF 状態をアイコンで示します。

- アイコンにタッチして音声案内を ON/OFF できます。

E 目的地までのルートが青色で表示されます。混雑や渋滞があった場合はルートの色が変化します。（赤色：渋滞、黄色：混雑、黒色：通行止め）

- 地図テーマの設定により表示色が異なります。(→P.197)

F 次に分岐または通過する交差点を示します。

G 通過する交差点のレーン情報を表示します。

- 走行を推奨するレーンがハイライト表示されます。
- 信号の有無が表示されます。
- 信号のない交差点のレーンを案内するときには[]マークが表示されます。

知識

- 緊急情報を受信した場合は、画面に緊急通知が表示されます。
- 逆走状態を検知した場合は、画面に逆走注意の警告が表示されます。
- 居住者規制エリアに目的地設定した場合、ルート上に×印が表示されます。
- ルート探索ができなかった場合は通知が表示されます。

都市高速レーン音声案内

都市高速において、特殊なレーン移動が必要な旨を音声で案内します。

都市高速での音声案内例

- 連続した車線変更が必要な場合
  「この先、300m ですぐに右に車線変更が必要です。」
- 車線変更が禁止された区間の場合
  「およそ 1 km 先○○出口です。車線変更禁止区間にご注意ください。」
- 複数のレーンがある場合
  「まもなく、○○方面です。右側２車線を走行してください。」

交差点目印・信号案内

交差点の分岐を分かりやすくするため、曲がる方向と目印になる施設をイラストと音声で案内します。案内される施設の名称は、コンビニエンスストア、ガソリンスタンド、ファーストフード店などです。

交差点での音声案内例

「まもなく、左方向です。○○が目印です。」

ルートを自動で再探索する

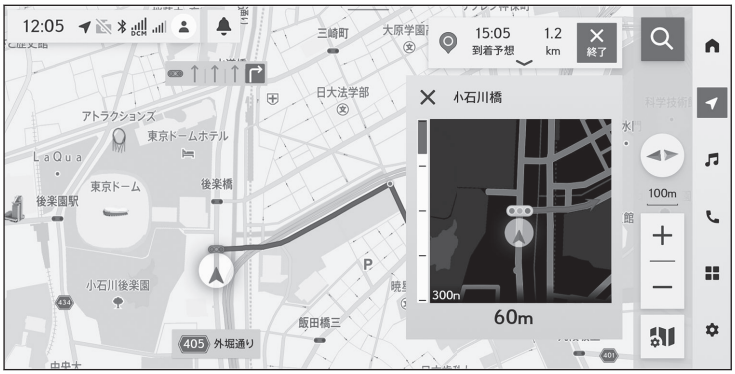
ルートからはずれたときに、自動的に再探索させることができます。再探索されるルートは、ルートからはずれたときの状況により異なります。

知識

- 現在地と次の目的地の間に IC・通過道路が指定されているときは、現在地から指定されている IC・通過道路の間で、ルートが探索されます。
- 自動再探索は、目的地案内中にルートからはずれたときで、かつ道路を走行していると判断されたときのみ行われます。

交差点拡大図

ルート案内中に分岐する交差点に近づくと、交差点までの距離や名称、曲がる方向を示す詳細図が表示されます。



- 交差点の形状と曲がる方向がイラストで表示されます。
- 分岐する交差点の名称が表示されます。
- 交差点までの距離を数字とゲージで表示します。
- [✕]にタッチすると交差点拡大図を閉じます。

知識

- 交差点拡大図は、表示の ON/OFF を設定できます。(→P.197)
- 地図データに情報のない交差点では、交差点拡大図が表示されません。
- 交差点拡大図は、実際の交差点形状と異なることがあります。
- 目的地案内開始直後は、交差点案内が行われない場合があります。
- 交差点拡大図が表示されるタイミングが遅れたり早くなることがあります。
- 次に分岐する交差点が近いときは、続けて交差点拡大図が表示されます。

さまざまな拡大図

分岐を分かりやすくするため、一部の交差点では 立体的な拡大図やイラストが表示されます。



● 拡大図には下記の種類があります。

- 都市高速 IC 入口
- 高速分岐
- 高速分岐渋滞案内:渋滞が発生している高速道路の分岐付近で表示されます。
- 立体交差点
- リアル交差点:都市部の複雑な交差点で表示されます。
- 側道案内

知識

地図データに情報のある地点で拡大図が表示されます。

経由地を追加する

ルート案内開始後に経由地を追加できます。

1 **目的地が設定されている状態で、地図画面の[🔍][目的地]にタッチます。**

2 **目的地検索画面から追加する地点を検索します。**

● 検索ワードやお気に入り、履歴、地図上などから検索できます。



3 **追加する地点を希望の区間に設定し、[登録]にタッチします。**

● [☰]をドラッグして地点を並べかえることができます。

渋滞回避ルートへの切替提案

ルート案内中に、渋滞や規制情報が考慮された新たなルートが見つかった場合、新しいルートへの切りかえを提案します。

▶ **手動切替の表示例**



- 提案された新しいルートの情報がポップアップ表示されます。
- [ ][**ルートを確認**]にタッチすると、地図に新旧ルートの比較が表示されます。
- 新しいルートを選択する場合は[**変更する**]にタッチ、選択しない場合は[**変更しない**]にタッチします。

知識

- 提案の表示が消えるまで何も操作しなかった場合や、新ルートの分岐点を通過した場合は、元のルートで案内を継続します。
- 渋滞回避ルートの提案方法は、ナビゲーション設定から選択できます。(→P.197)
  - [**手動**]:提案された新しいルートに対して、手動でルートの切りかえを選択します。
  - [**自動**]:提案された新しいルートに自動で切りかえます。
  - [**OFF**]:新しいルートの提案を OFF にします。

自宅を登録する

自宅の場所を登録しておくことで、簡単に目的地として設定できます。

1 **地図画面の[🔍][目的地]にタッチして、目的地検索画面を表示します。**

2 **お気に入りリストの[🏠][自宅を登録]にタッチします。**



3 **目的地検索画面から自宅の場所を検索します。****(→P.136)**

- 住所や履歴、検索ワード、地図などからも自宅の場所を検索できます。
- 現在地を自宅に登録する場合は、目的地検索画面で[**地図から選択**]を選択して、[⊕][**追加**]にタッチします。

4 **名称や電話番号などの情報を入力して、[登録]にタッチします。**

自宅に帰る

1 **地図画面の[🔍][目的地]にタッチして、目的地検索画面を表示します。**

2 **お気に入りリストの[🏠][自宅]にタッチすると、自宅を目的地に設定してルートを探索します。**



- 自宅の[▲][**開始**]にタッチすると直ちにルート案内を開始します。

お気に入り地点の登録・編集

お気に入りの場所を登録しておくことで、お出かけの際、簡単に目的地として設定できます。

お気に入りの場所を登録する

1 地図画面の[🔍][目的地]にタッチして、目的地検索画面を表示します。

2 お気に入りリストの[⊕][新規追加]にタッチします。



3 目的地検索画面から登録する場所を検索します。

- 検索ワードや履歴、住所、地図などから検索できます。

4 名称や電話番号、アイコンなどの情報を入力して、[登録]にタッチします。

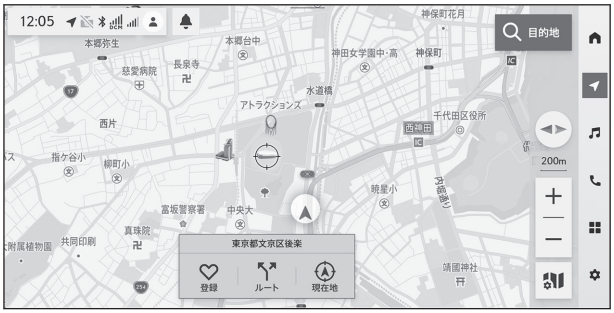
地図上の地点を登録する

1 地図をスクロールして、登録したい地点にカーソルを合わせます。

- 現在地を登録する場合は、自車位置マークをタッチします。

2 地点情報の[♡][登録]にタッチします。

- 再度タッチするとお気に入り登録を解除します。



施設の詳細情報から地点を登録する

1 地図上の施設アイコンにタッチします。

2 **施設詳細情報の[♡][お気に入りに登録]にタッチします。**



お気に入り地点を編集する

お気に入り地点の追加や編集、削除をします。

1 **地図画面の[🔍][目的地]にタッチして、目的地検索画面を表示します。**
2 **[お気に入り]にタッチします。**
3 **お気に入りリストの[編集]にタッチします。**
4 **お気に入りリストを編集します。**



- [✎]:お気に入り地点の情報を編集します。名称や電話番号、アイコンの種類などを変更できます。
- [⊕][**新規追加**]:新たに地点を検索して、お気に入りに登録します。
- [**並び順**]:リストを登録順や名前順に並びかえます。
- [**削除**]:お気に入り地点を削除します。削除したい地点の[⊖]にタッチします。[**全削除**]にタッチすると、全ての地点が削除されます。[**削除**]もしくは[**全削除**]を選択後、[**完了**]にタッチすると削除されます。

知識

- お気に入り地点の編集は、ナビゲーション設定から行うこともできます。(→P.164)

- お気に入り地点の登録は、同一座標や同一施設の重複登録はできません。
- お気に入りの保存件数は最大 400 件です。

VICS 交通情報を表示する

VICS（Vehicle Information and Communication System：道路交通情報通信システム）は、渋滞や事故・工事・所要時間・駐車場混雑状況などの道路交通情報をリアルタイムに送信し、ナビゲーションなどの車載のモニターに表示するシステムです。また、道路交通情報の提供を通して、安全性の向上・交通の円滑化による環境の保全などを促進することを目的としています。

VICS 交通情報を利用して、地図上に渋滞情報や規制情報を表示します。

▶ **交通情報の例（地図表示）**



A 渋滞情報

渋滞や混雑、対象区間を示すカラーの線が道路に表示されます。渋滞状況に応じて色が変わります。

- 赤色：渋滞している道路
- 橙色：混雑している道路
- 緑色：空き道
- 黒色：通行止めの区間

B VICS 情報アイコン

駐車場や交通規制情報などを示すアイコンが表示されます。タッチすると詳細情報を確認できます。(→P.167)

知識

- 交通情報は、表示の ON/OFF を設定できます。(→P.194)
- 交通情報を表示する道路の種別を選択できます。(→P.195)
- 表示する交通情報の種類を選択できます。(→P.195)
- VICS 交通情報が表示されない地点があります。また、地図更新などにより、今まで表示されていた地点でも情報が表示されなくなる場合があります。
- 提供される VICS 交通情報は、実際の交通状況と異なる場合があります。
- 交通情報量が多い場合は、表示までに時間がかかります。

- 1.6km スケールより広域な地図では、交通情報は表示されません。
- 現況 VICS 情報について
  - VICS センターから提供される現況の情報です。 現況情報は、1.6km スケール以上の詳細な地図で表示することができます。VICS 記号によっ ては、1.6km スケールでは表示できない記号もあります。
- 現況プローブ交通情報について
  - G-Link センターから提供されるプローブコミュニケーション交通情報です。G-Link 契約期間内、かつ G-Link センターに接続されているときは現況交通情報も表示されます。

VICS 情報アイコン

■ 駐車場・充電施設アイコン（表示例）

- []：駐車場（空車：青色、混雑：橙色、満車：赤色、不明：黒色）
- []：駐車場（閉鎖）
- []：臨時駐車場（空車：青色、混雑：橙色、満車：赤色、不明：黒色）
- []：臨時駐車場（閉鎖）
- []：SA・PA（空車：青色、混雑：橙色、満車：赤色、不明：黒色）
- []：SA・PA（閉鎖）
- []：充電施設（空車：青色、混雑：橙色、満車：赤色、不明：黒色）
- []：充電施設（閉鎖）

■ 交通規制アイコン（表示例）

表示		
[]：事故	[]：故障車	[]：路上障害
[]：注意	[]：工事	[]：火災
[]：雨	[]：凍結	[]：雪
[]：作業	[]：通行止め	[]：右折禁止
[]：左折禁止	[]：直進禁止	[]：片側交互通行
[]：チェーン規制	[]：進入禁止	[]：対面通行
[]：車線規制	[]：徐行	[]：入口閉鎖

表示		
[ ]: 大型車両通行止め	[ ]: 入口規制	[ ]: 出口規制
[30]: 速度規制	[イベント]: イベント	[気象速報]: 気象速報

知識

表示される情報や位置は実際と異なることがあります。また、複数の VICS 交通情報が代表して 1 つの記号で表示されることがあります。

VICS タイムスタンプ

VICS 交通情報の受信状況や情報が提供された時刻を確認できます。

1 **地図画面の[ ]にタッチします。**

2 **画面右上の情報を確認します。**



- 時刻は VICS センターから情報が提供された時刻を示します。（情報を受信した時刻ではありません。）
- VICS 交通情報が無い場合は、時刻の表示が「--:--」になります。
- 現況 VICS 情報と現況交通情報の両方が受信されていないときは、[VICS 交通情報提供]の文字がグレーで表示されます。

渋滞・規制音声案内

VICS 交通情報 を利用して、渋滞や規制に関する現況情報を音声で案内します。

音声案内の例

- 「およそ 1km 先、渋滞があります」
- 「およそ 1km 先、工事のため車線規制中です」

知識

- 渋滞・規制音声案内の ON/OFF を設定できます。(→P.197)
- 渋滞・規制音声案内は、状況などにより実際とは異なる案内をする場合があります。

- 自車位置が正確に特定できない場合、案内が遅れたり、誤ったりすることがあります。

VICS 図形情報や文字情報を表示する

図形情報や文字情報を表示することができます。

1 メインメニューの[⚙]にタッチします。

2 [🚗][ナビゲーション]にタッチします。

3 [VICS/ETC2.0]にタッチします。

4 [FM 図形情報]または[FM 文字情報]にタッチします。

5 情報の番号([1]/[2]/[3]...)にタッチします。

▶ FM 図形の表示例



6 情報を確認します。

▶ FM 図形の表示例



- 情報のページを送るときは、[<][>]にタッチします。
- [▶][**自動ページ送り**]にタッチすると、情報が自動で送られます。全ての情報が表示されたあとは、最初のページに戻ります。
- 情報の自動送りを中止するときは、[**停止**]にタッチします。
- 自動送り中に[<][>]にタッチして、情報を送ったときは、自動送りは中止されます。
- 前回情報を表示させたときに[▶][**自動ページ送り**]にタッチしていると、情報を表示すると 同時に自動送りが開始されます。

● [ ][**目次**]にタッチすると、手順 5 の画面に戻ります。

FM 緊急情報の表示

FM 多重放送で緊急情報を受信すると、自動的に緊急情報（気象、津波、火山噴火などの特別警報）が表示されます。



- 情報が複数ページある場合は、[ ][ ]にタッチして情報を切りかえます。
- [ ][**詳細情報**]にタッチすると、詳細情報が表示されます。走行中は選択することができません。
- [ ][**対象エリア**]にタッチすると、地図上に適用エリアを表示します。
- [ ]にタッチすると情報を閉じます。地図上の[ ][**FM 緊急情報を確認**]タッチすると情報が再表示されます。

知識

VICS/ETC2.0 の情報履歴から FM 緊急情報を再確認できます。(→P.208)

気象・災害情報のエリア表示

気象、災害情報を受信すると地図上に該当エリアがハイライト表示されます。



みちびき災害危機通報サービスの表示

地震や津波発生時の災害情報を、準天頂衛星システム(みちびき)経由で受信します。自車の現在地およびルート沿い（目的地設定時）が警報の対象エリア内であるとき、警告音もしくは音声による通知とともに災害情報が表示されます。



- 災害情報が複数ページある場合は、[<][>]にタッチして情報を切りかえます。
- [ ]**[詳細情報]**にタッチすると、災害の詳細情報が表示されます。運転中は選択することができません。
- [×]にタッチすると情報を閉じます。地図上の[ ]**[災害情報を確認]**タッチすると情報が再表示されます。
- 受信した災害情報に更新があった場合は更新通知が表示されます。

割込情報の表示（光ビーコン）

光ビーコンから現況 VICS 情報を受信すると、VICS 文字情報または図形情報が一定時間表示されます。



- 情報が複数ページある場合は、[ ][ ]にタッチして情報を切りかえます。
- [ ]にタッチすると音声案内を ON/OFF します。
- [ ]にタッチ、または 5 秒以上操作しなかった場合は情報を閉じます。表示時間は設定で変更することができます。(→P.209)
- 割込表示の ON/OFF を設定できます。(→P.209)
- VICS/ETC2.0 の情報履歴から割込情報を再確認できます。(→P.208)

知識

表示させている画面により、割込情報が表示されないことがあります。

割込情報の表示（ETC2.0）

ETC2.0 で VICS 情報を受信すると、画像や音声による情報が一定時間表示されます。ETC2.0 サービスでは以下の情報が提供されます。

知識

- 割込情報の音量はシステム音量の設定値に連動します。(→P.221)
- 以下の場合、ITS スポットから情報を受信できなかったり、誤った情報が出ることがあります。
  - アンテナ付近に障害物があるとき
  - 大型車と並んで走行しているとき
  - 他の音声案内、画面表示などと重なるとき
  - 低速度で走行しているとき
  - 自車位置が正確に特定できないとき
  - ITS スポットや車両検知センサー、カメラなどの路側システムが稼動していないとき
  - ITS スポットを通過する ETC2.0 ユニット装着車両が多いとき
  - アンテナの近くに電波を発する電子機器が設置され、無線通信が干渉しているとき
- 提供される VICS 交通情報は、実際の交通状況と異なる場合があります。

安全運転支援（注意警戒情報）

見通しの悪いカーブの先の停止車両や渋滞情報を、高速道路などに設置された ITS スポットから受信して、音声と画面表示で注意喚起を行います。

▶ **表示例**



- 情報が複数ページある場合は、[ ][ ]にタッチして情報を切りかえます。
- [ ]にタッチすると音声案内を ON/OFF します。

- [×]にタッチ、または 5 秒以上操作しなかった場合は情報を閉じます。表示時間は設定で変更することができます。(→P.209)
- 割込表示の ON/OFF を設定できます。(→P.209)
- VICS/ETC2.0 の情報履歴から割込情報を再確認できます。(→P.208)

道路交通情報

県境を越える広域な高速道路や、様々なルートが考えられる都市圏内の高速道路の道路交通情報を ITS スポットでリアルタイムに配信します。以下のような情報が提供されます。

■ 前方状況情報提供

進行方向の交通状況を画面表示や音声で案内します。

- 情報が複数ページある場合は、[<][>]にタッチして情報を切りかえます。
- [🔊]にタッチすると音声案内を ON/OFF します。
- [×]にタッチ、または 5 秒以上操作しなかった場合は情報を閉じます。表示時間は設定で変更することができます。(→P.209)
- 割込表示の ON/OFF を設定できます。(→P.209)
- VICS/ETC2.0 の情報履歴から割込情報を再確認できます。(→P.208)

知識

表示させている画面により、割込情報が表示されないことがあります。

■ 施設情報提供

進行方向のサービスエリアやパーキングエリアの混雑情報や施設情報を画面表示や音声で案内します。

■ 長文読上げ情報

ハイウェイラジオなどの情報を音声で案内します。

TSPS（信号情報活用運転支援システム）

TSPS（Traffic Signal Prediction Systems：信号情報活用運転支援システム）は、ドライバーの認知・判断の遅れや誤りを低減するための運転支援機能です。信号の交通管制情報を、道路上に設置された光ビーコンから受信し、車の走行状態や受信情報から、必要に応じてドライバーに判断・操作を行うための客観的な情報を提供します。

⚠ 警告

TSPS 運転支援機能はあくまでも補助機能です。案内を過信せず、常に道路標識・信号表示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

知識

- TSPS は警察庁が推進しているプロジェクトです。2014 年からサービスが始まり、2024 年時点で全国 46 都道府県で展開されております。
- 本サービスの対象交差点などの TSPS に関するお問い合わせについては、VICS、ETC2.0（ITS スポット）、TSPS の問い合わせ先についてをご覧ください。
- TSPS に関する規格は、UTMS 協会によって策定されています。また、本製品はそれらに基づいて作られています。
- 以下のような場合、TSPS 機能が作動しない場合があります。
  - 光ビーコンユニットの上に物を置いたり、窓が汚れたりして、TSPS 用路側装置との通信が遮られたとき
  - TSPS 用路側装置に木の葉や雪などが付着して、通信が遮られたとき
  - 雨天時など、ワイパーが作動して TSPS 用路側装置の通信が遮られたとき
  - TSPS 用路側装置や光ビーコンユニットに太陽光などが差し込んだとき
  - TSPS 用路側装置の通信エリアに駐停車車両があり、通信できないとき
  - TSPS 用路側装置の通信エリアに他の車両と並走して進入したとき
  - TSPS 用路側装置や感知器、信号機など路側装置の機器メンテナンス作業や故障などに よって、通信ができないとき、または誤った情報が ETC2.0 ユニット(VICS 機能付き)に提供されたとき
  - TSPS 用路側装置通過時の速度が著しく速いとき
  - TSPS 用路側装置の近くに他の光ビーコンが設置されているとき
  - TSPS 用路側装置の向きが変わってしまっているとき（台風など）
  - 車両始動直後に TSPS 用路側装置を通過したとき
  - ETC2.0 ユニット(VICS 機能付き)に故障などがあり、受信した情報を正しく処理できないとき
  - ETC2.0 ユニット(VICS 機能付き)または車両を改造をしたとき
  - システムの誤差などでナビゲーションが現在地を特定できないとき
  - サービス対象地点の地図データが無いとき

- ナビゲーションのソフトウェアや地図データなどを更新中のとき

信号待ち発進準備案内

案内マークは運転支援の対象区間内で表示されます。表示中の画面によっては、案内マークが表示されない場合があります。



赤信号で停車したとき、信号の待ち時間の目安をアイコン表示と音声で案内します。

- [90秒＋]：待ち時間が 90 秒より長い場合
- [37秒]：待ち時間が 90 秒以下の場合
- [ ]：まもなく信号が変わる場合

知識

- 信号待ち発進準備案内を利用するには、ナビゲーション設定の[**TSPS 信号発進待ち準備案内**]の設定を ON にします。(→P.181)
- 信号待ち発進準備案内の音声は、ナビゲーション設定の[**TSPS 信号発進待ち準備案内音声**]で ON/OFF を設定できます。(→P.181)
- TSPS 用路側装置から送信される信号情報には信号機のサイクルに応じた有効時間があります。有効時間が経過すると、信号待ち発進準備案内ができなくなります。
- 以下のような場合、案内マークが表示されないことがあります。
  - 交差点付近の側道や駐車場など、TSPS 用路側装置が設置された道路と並行する場所に停車しているとき
  - 運転支援の対象区間から離れているとき
- 以下のような場合、赤信号残時間表示が表示されないことがあります。
  - 停車していないとき
  - 停車時点で交差点から大きく離れているとき

- 停車時点で赤信号の待ち時間が少ないとき
- 信号機の制御方式（押しボタン式、感応式など）により、TSPS 用路側装置から送信される信号情報が不確実なとき
- TSPS 用路側装置から停車した交差点の信号情報が配信されていないとき
- 信号情報の有効時間を過ぎてしまったとき

● 以下のような場合、実際の信号表示と異なる場合があります。
- GPS などナビシステムの誤差があるとき
- TSPS 用路側装置から送信される情報に誤差があるとき

● TSPS 用路側装置から送信される信号情報によっては、黄信号および矢印信号も赤残秒数に含まれる場所があります。

信号待ち発進準備案内の設定

TSPS サービスを利用した信号待ち案内の設定をします。設定を ON にしている間は走行情報が道路管理者に提供されます。

1 **メインメニューの[⚙]にタッチします。**
2 **サブメニューの[ナビゲーション]にタッチします。**
3 **[案内]にタッチします。**
4 **[基本]タブにタッチして、「TSPS 信号発進待ち準備案内」を設定します。**
- [**TSPS 信号発進待ち準備案内**]：信号の待ち時間の目安をアイコン表示します。
- [**TSPS 信号発進待ち準備案内音声**]：信号の待ち時間の目安を音声で案内します。

知識

● [**TSPS 信号発進待ち準備案内**]の設定が ON の場合、走行履歴情報（走行位置の履歴や車両に関する情報など）を ETC2.0 ユニット（VICS 機能付）を通じて、TSPS 用路側装置へ送ります。
● [**TSPS 信号発進待ち準備案内**]の設定は、初期状態では ON に設定されています。
● 本設定が OFF の場合、TSPS サービスを利用することができません。

VICS について

知っておいていただきたいこと

VICS リンクデータベースの著作権は、一般財団法人日本デジタル道路地図協会・公益財団法人日本交通管理技術協会（TMT）が有しています。

VICS、およびこの機器に付与された[VICS]のロゴマークは一般財団法人 道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

- 提供される VICS 情報はあくまでも参考としてください。（提供される VICS 情報は、最新ではないことがあります。）
- 電波や光の信号がうまく受信されないときは、一部の表示が乱れることがありますが、新しい信号が正しく受信されれば正しい表示に更新されます。
- VICS の表示内容は、VICS センターが提供していますので、本書の画面と実際の画面は異なることがあります。
- VICS 情報は、発信されている地域により、情報の内容が異なります。
- VICS による交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の地図への表示は、毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は 経年により、一部の情報が表示されなくなることがあります。

■ FM 多重放送特有の事項について

- FM 多重放送は、一定周期で情報が更新されますので、情報が揃うまでに時間がかかることがあります。
- 以下のようなときは、VICS 情報が受信されないことがあります。
  - トンネルの中にいるとき
  - 高層ビルの谷間にいるとき
  - 高架道路の下にいるとき
  - 盆地にいるとき
  - 大型車とすれちがったとき

「VICSWIDE」について

マルチメディアシステムは「VICSWIDE」に対応しています。従来の VICS に加えて、次のようなサービスを利用することができます。

- プローブ情報に対応した渋滞情報の提供拡大
- 緊急情報（特別警報（地震を除く））の提供
- 気象・災害情報エリアの表示

VICS のメディアについて

VICS は、FM 多重放送・電波ビーコン（ETC2.0/5.8GHz）・光ビーコンの 3 つのメディアで受信することができます。

● 3 つのメディアはそれぞれ特長が異なります。
● 電波ビーコン（2.4GHz）は、マルチメディアシステムでは受信しません。

■ FM 多重放送

FM 多重放送は、VICS 提供 FM 放送局（NHK-FM）から電波の届く範囲の車両に VICS 情報の提供が行われます。

■ 電波ビーコン（ETC2.0/5.8GHz）

電波ビーコン（ETC2.0/5.8GHz）は、主に高速道路の路側に設置されており、その地点を通過する車両に ETC2.0 サービス情報の提供が行われます。また、ITS スポットにて受信した情報をナビゲーションに蓄積し、高速道路上の任意の場所でタイミングよく情報提供が行われる場合もあります。

■ 光ビーコン

光ビーコンは、主に一般道路の各車線ごとに設置されており、その車線を通過する車両に VICS 情報の提供が行われます。

VICS の運用時間について

24 時間運用されています。

ただし、FM 多重放送は、メンテナンスのため休止する場合があります。

● 休止時間については、VICS FM 多重放送のホームページで案内します。
● VICS の運用時間は予告なく変更・廃止されることがあります。

VICS FM 多重放送を受信できないとき

FM 放送局から遠い場所などでは受信状態が悪くなり、受信できない場合があります。

VICS の用語について

より有効に VICS を利用していただくために、以下の用語の説明をご一読ください。

■ 緊急情報について

津波情報などの緊急の伝達が必要とされる情報を受信すると、このシステムでは、ほかの情報より優先して提供・表示されます。

■ 交通情報関連の用語について

● 渋滞: 交通の流れが非常に悪い状態を示します。
● 混雑: 交通の流れがやや悪い状態を示します。

■ 駐車場・SA・PA 関連の用語について

● 空車: 駐車場（SA・PA）の利用が可能な状態を示します。
● 混雑: 駐車場（SA・PA）において、利用率が高い状態を示します。
● 満車: 駐車場（SA・PA）において、ほぼ満車の状態を示します。

- 不明: 駐車場（SA・PA）の情報がない状態を示します。
- 閉鎖: 駐車場が閉鎖されている状態を示します。

VICS センター著作権について

1. お客様は、共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権を一般財団法人道路交通情報通信システムセンター、一般社団法人 UTMS 協会および一般財団法人道路新産業開発機構が所有しまたは管理すること、並びに共通ネットワーク仕様書以外の VICS 技術情報などの著作権その他知的所有権および使用許諾権を一般財団法人道路交通情報通信システムセンターが所有しまたは管理することに同意する。
2. お客様は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンター、一般社団法人 UTMS 協会および一般財団法人道路新産業開発機構の共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権の保護に努める、並びに一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの共通ネットワーク仕様書以外の VICS 技術情報などの著作権その他知的所有権および使用許諾権の保護に努める。

VICS、ETC2.0（ITS スポット）の問い合わせ先について

■ レクサス販売店への問い合わせについて

以下の内容は、レクサス販売店にご相談ください。

ナビゲーションシステム、ETC2.0 ユニットの調子・機能・使用方法・表示・その他に関するもの

■ VICS センターへの問い合わせについて

以下の内容は、VICS センターにご相談ください。

VICS、ETC2.0、TSPS サービスで提供される情報、およびご利用可能な場所に関するもの

■ VICS センター

電話番号（受け付け時間…9：30～17：45、土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く）

0570-00-8831（全国共通・PHS、IP 電話などを除く）

FAX 番号（受け付け時間…24 時間）

03-3562-1719

ホームページ

次のアドレスでも連絡先をご覧いただけます。https://www.vics.or.jp/

連絡先およびアドレスは、予告なしに変更・休止することがあります。ご了承ください。

道路管理者からのお知らせとお願い

車載器の ID 付きプローブ情報の利用および取り扱い方針

国土交通省、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社、阪神高速道路株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社および広島高速道路公社（以下、「道路管理者」と言います。）は、ETC2.0 車載器および ETC2.0 対応カーナビから収集する車載器の ID 付きプローブ情報の利用や取り扱いの方針について、次のとおり定めます。

車載器の ID 付きプローブ情報を提供いただくことで、経路情報を活用したサービスを提供することが可能となり、渋滞などを迂回する経路を走行したドライバーを優遇することなどが期待されます。

1. 車載器の ID 付きプローブ情報

   （1）ここで「車載器の ID 付きプローブ情報」とは、ETC2.0 車載器および ETC2.0 対応カーナビに記録された走行位置の履歴など「プローブ情報」に車両を特定するための「車載器の ID」を付与した情報で、道路管理者が管理する ITS スポット（DSRC 路側無線装置）*1 と通信を行うことにより ETC2.0 車載器および ETC2.0 対応カーナビから収集される情報を言います。

   （2）「車載器の ID 付きプローブ情報」として収集される情報は次のとおりです。*2

   - ETC2.0 車載器および ETC2.0 対応カーナビに関する情報（無線機に関する情報（製造メーカー、型番など）、カーナビゲーションに関する情報（製造メーカー、型番など））
   - 車両に関する情報*3
   - 走行位置の履歴*4
   - 急な車両の動きの履歴*4

2. 車載器の ID 付きプローブ情報の利用目的

   （1）渋滞などを迂回する経路を走行したドライバーを優遇するなどの経路情報を活用したサービスが実用化した場合、道路管理者は車載器の ID 付きプローブ情報を当該サービスの提供に利用します。

*1: 道路管理者とプローブ情報の収集に関する協定などを結んだ者が管理する ITS スポットを含みます。

*2: ただし、個別サービスの種類によっては、車載器の ID 付きプローブ情報として収集される情報以外の情報を利用する場合があるため、このようなサービスを利用する場合には、その利用や取り扱いについて、当該サービス提供者の説明を受け、同意した上で当該サービスを利用してください。

*3: 車載器のセットアップの際にご提供いただいた車両情報です。車両を特定するための車載器の ID に関する情報や自動車登録番号、車両番号が含まれます。ただし自動車登録番号、車両番号については 4 桁の一連番号は含まれません（例：「品川 500 あ 1234」では「1234」の部分は含まれません。）。

*4: 走行開始地点や走行終了地点は収集されません。

（2）道路管理者は、車載器の ID 付きプローブ情報を、経路情報を活用したサービスの有効性検証などのために利用する場合があります。

（3）道路管理者は、（1）または（2）の目的以外で車載器の ID 付きプローブ情報を利用しません。

3. 車載器の ID 付きプローブ情報の収集

（1）道路管理者は、道路管理者が管理する ITS スポット[*1] によって、車載器の ID 付きプローブ情報を収集する場合があります。

（2）ETC2.0 対応カーナビと連動する ETC2.0 車載器の利用者は、設定により 1.（2）で示す情報のうちカーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴について、道路管理者への提供の可否を選択できる場合があります。[*2]

（3）ETC2.0 車載器および ETC2.0 対応カーナビ利用者は、設定により道路管理者への（2）で示す車載器の ID 付きプローブ情報の提供を拒否する選択をした場合、2.（1）の経路情報を活用したサービスによる優遇は受けられません。[*3]

4. 車載器の ID 付きプローブ情報の第三者への提供

（1）道路管理者は、2.（1）および（2）の目的のため、収集した車載器の ID 付きプローブ情報を個別の車両を特定できないよう統計的に処理した情報を、他の情報提供主体、大学などの研究機関、その他第三者に提供する場合があります。

（2）道路管理者は、ETC2.0 車載器および ETC2.0 対応カーナビ、ITS スポットなどの関係設備について、障害発生時の対応や、これらの研究・開発の目的のため、車載器の ID 付きプローブ情報またはこれらを統計的に処理した情報を、製造・開発メーカーなどに提供する場合があります。

（3）道路管理者は、（1）および（2）以外で車載器の ID 付きプローブ情報を第三者に提供しません。

5. 車載器の ID 付きプローブ情報の取り扱い等

（1）道路管理者は、車載器の ID 付きプローブ情報を安全に管理し、情報の漏えいなどの防止に努めます。

*1: 道路管理者とプローブ情報の収集に関する協定などを結んだ者が管理する ITS スポットを含みます。

*2: ETC2.0 対応カーナビと連動せず単独でプローブ情報を記録できる ETC2.0 車載器の利用者は、設定により道路管理者へ車載器の ID 付きプローブ情報の提供を拒否する選択は行えません。また、ETC2.0 対応カーナビと連動せず単独でプローブ情報を記録できる ETC2.0 車載器の利用者は、道路管理者からのお知らせとお願いとして周知している「プローブ情報の利用および取り扱いについて」におけるプローブ情報の収集についても同様に、設定により道路管理者への情報の提供を拒否する選択は行えません。「プローブ情報の利用および取り扱いについて」は ETC2.0 車載器の説明書または道路管理者 Web サイトなどに掲載されています。ETC2.0 車載器を取得する前に、車載器の説明書などによりあらかじめ確認し、取得する ETC2.0 車載器を選択してください。

*3: カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供する機能の無いカーナビゲーションは経路情報を活用したサービスによる優遇が受けられません。

（2）道路管理者は、車載器の ID 付きプローブ情報が不要となった時点で、当該車載器の ID 付きプローブ情報を消去します。

（3）道路管理者は、車載器の ID 付きプローブ情報の提供先における情報の安全管理および提供した情報が不要となった時点で情報を消去することについて、提供先を適切に指導します。

6. 問い合わせ先

国土交通省 道路局道路交通管理課高度道路交通システム推進室

03-5253-8111（代）

東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社保全・交通部管制技術グループ、阪神高速道路株式会社情報システム部システム技術課、本州四国連絡高速道路株式会社保全計画部保全管理課、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社、広島高速道路公社

2015 年 7 月現在

プローブ情報の利用および取り扱いについて

国土交通省、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社、阪神高速道路株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社および広島高速道路公社（以下、「道路管理者」と言います。）は、ETC2.0 車載器および ETC2.0 対応カーナビからプローブ情報を収集する場合における情報の利用や取り扱いについて、次のとおりお知らせします。

プローブ情報をご提供いただくことで、より精度の高い道路交通情報などをドライバーの方々に提供することなどが可能となり、道路がより使いやすくなると期待されます。また、交通事故の削減や道路渋滞の緩和など環境負荷低減の取り組みにも活用する予定です。

なお、道路管理者はこのお知らせを変更することがあります。この場合には変更後のお知らせを道路管理者 Web サイトなどに掲載します。

1. プローブ情報

（1）ここで「プローブ情報」とは、ETC2.0 車載器および ETC2.0 対応カーナビに記録された走行位置の履歴などの情報で、道路管理者が管理する ITS スポット（DSRC 路側無線装置）*1 と無線通信を行うことにより ETC2.0 車載器および ETC2.0 対応カーナビから収集される情報を言います。

なお、このプローブ情報から車両または個人を特定することはできません。

*1：道路管理者とプローブ情報の収集に関する協定などを結んだ者が管理する ITS スポットを含みます。

プローブ情報として収集する情報は次のとおりです。 *1

- ETC2.0 車載器および ETC2.0 対応カーナビに関する情報（無線機に関する情報（製造メーカー、型番など）、カーナビゲーションに関する情報（製造メーカー、型番など））
- 車両に関する情報*2
- 走行位置の履歴 *3
- 急な車両の動きの履歴 *3

2. プローブ情報の利用目的

（1）道路管理者は、プローブ情報を道路交通情報や安全運転支援情報の提供などドライバーへのサービス、道路に関する調査・研究、道路管理の目的に利用します。*4

（2）道路管理者は、（1）の目的以外でプローブ情報を利用しません。

3. プローブ情報の収集

（1）道路管理者は、道路管理者が管理する ITS スポット*5 によって、プローブ情報を収集する場合があります。

（2）ETC2.0 車載器および ETC2.0 対応カーナビ利用者は、設定により、1.（1）で示す情報のうちカーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴について、道路管理者への提供の可否を選択することができる場合があります*6*7。選択の方法は ETC2.0 車載器および ETC2.0 対応カーナビの取扱説明書をご覧ください。

（3）ETC2.0 車載器および ETC2.0 対応カーナビ利用者は、カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの 履歴を提供することで、これを利用したさまざまな追加サービスの提供を受けられる場合があります。

*1: ただし、個別サービスの種類によっては、車載器の ID 付きプローブ情報として収集される情報以外の情報を利用する場合があるため、このようなサービスを利用する場合には、その利用や取り扱いについて、当該サービス提供者の説明を受け、同意した上で当該サービスを利用してください。

*2: 車載器のセットアップの際にご提供いただいた車両情報の一部です 。なお、この情報に、車台番号や、自動車登録番号または車両番号の 4 桁の一連番号は含まれないため、車両または個人を特定することはできません （例：「品川 500 あ 1234」では「1234」の部分は含まれません。）。

*3: 走行開始地点や走行終了地点などの個人情報にかかわる情報は、収集されません。

*4: たとえば、収集した走行位置の履歴を統計的に処理することで、区間の走行所要時間や、渋滞の影響を高い精度で把握し、ドライバーに情報提供することができます。また、急な車両の動きを統計的に処理することで、道路上の障害物の検知や、走行に注意が必要な箇所を把握し、ドライバーに情報提供することが考えられます。

*5: 道路管理者とプローブ情報の収集に関する協定などを結んだ者が管理する ITS スポットを含みます。

*6: カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供する機能のないカーナビゲーションは該当しません。

*7: ETC2.0 対応カーナビと連動せず単独でプローブ情報を記録できる ETC2.0 車載器の利用者は、設定により道路管理者への（2）で示す情報の提供を拒否する選択を行えません。

4. プローブ情報の第三者への提供

（1）道路管理者は、2.（1）の目的のため、プローブ情報を統計的に処理した情報を、他の情報提供主体、大学などの研究機関、その他第三者に提供する場合があります。

（2）道路管理者は、ETC2.0 車載器および ETC2.0 対応カーナビ、ITS スポットなどの関係設備について、障害発生時の対応や、これらの研究・開発の目的のため、プローブ情報またはこれを統計的に処理した情報を、製造・開発メーカーに提供する場合があります。

（3）道路管理者は、（1）および（2）以外でプローブ情報を第三者に提供しません。

5. プローブ情報の取り扱い

（1 ）道路管理者は、プローブ情報を安全に管理し、情報の漏えいなどの防止に努めます。

（2） 道路管理者は、プローブ情報が不要となった時点で、当該プローブ情報を消去します。

（3 ）道路管理者は、プローブ情報の提供先における情報の安全管理について、提供先を適切に指導します。

6. 問い合わせ先

国土交通省 道路局道路交通管理課高度道路交通システム 推進室

03-5253-8111（代）

東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社保全・交通部管制技術グループ、阪神高速道路株式会社情報システム部システム技術課、本州四国連絡高速道路株式会社保全計画部保全管理課、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社、広島高速道路公社

2015 年 7 月改定

2014 年 10 月改定

2010 年 10 月現在

知識

マルチメディアシステムでのプローブ情報の選択の可否を設定する方法は、「ETC2.0 走行情報のアップリンクの設定をする」をご覧ください。

VICS 過去データについて

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

甲＝一般財団法人道路交通情報通信システムセンター

1. 契約者は、共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権を甲、一般社団法人 UTMS 協会および一般財団法人道路新産業開発機構が所有しまたは管理すること、並びに共通ネットワーク仕様書以外の VICS 技術情報

などの著作権その他知的所有権および使用許諾権を甲が所有しまたは管理することに同意する。

2. 契約者は、甲、一般社団法人 UTMS 協会および一般財団法人道路新産業開発機構の共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権の保護に努める、並びに甲の共通ネットワーク仕様書以外の VICS 技術情報などの著作権その他知的所有権および使用許諾権の保護に努める。

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章　総則

（約款の適用）

第 1 条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 147 条の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

第 2 条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

第 3 条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

（1）　VICS サービス当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

（2）　VICS サービス契約当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約

（3）　加入者当センターと VICS サービス契約を締結した者

（4）　VICS デスクランブラー FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章　サービスの種類など

（VICS サービスの種類）

第 4 条　VICS サービスには、次の種類があります。

（1）　文字表示型サービス文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

（2）　簡易図形表示型サービス簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

（3）　地図重畳型サービス車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICS サービスの提供時間）

第 5 条　当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第 3 章　契約

（契約の単位）

第 6 条　当センターは、VICS デスクランブラー 1 台ごとに 1 の VICS サービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）

第 7 条　VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立など）

第 8 条　VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込みおよび承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICS サービスの種類の変更）

第 9 条　加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第 4 条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡または承継）

第 10 条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡または地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）

第 11 条　当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

（1）　加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

（2）　加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）

第 12 条　当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更などが行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。

2　第 11 条または第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第 4 章　料金

（料金の支払い義務）

第 13 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第 5 章　保守

（当センターの保守管理責任）

第 14 条　当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこのかぎりではありません。

（利用の中止）

第 15 条　当センターは、放送設備の保守上または工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。

2　当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。

ただし、緊急やむを得ない場合は、このかぎりではありません。

第 6 章　雑則

（利用に係る加入者の義務）

第 16 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信または再配分することはできません。

（免責）

第 17 条　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合など、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。ただし、当センターは、当該変更においても、変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2　VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更などが行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面などにより、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

［別表］

視聴料金 330 円（税込み）ただし、車載機購入価格に含まれております。

ナビゲーションの設定

ナビゲーションに関する各種設定を行います。

1 メインメニューの[⚙]にタッチします。

2 [ナビゲーション]にタッチします。

3 各項目を設定します。



- [**地図表示**]：地図のスタイルや表示内容について設定します。(→P.194)
- [**案内**]：ルート案内中の表示や通知について設定します。(→P.197)
- [**お気に入り・履歴**]：お気に入り地点の編集や目的地履歴の削除を行います。(→P.193)
- [**ETC　システム**]：ETC のステータス情報や利用履歴などを表示します。(→P.206)
- [**VICS ETC2.0**]：交通情報の履歴表示や表示設定を行います。(→P.208)

地図表示の設定

地図のスタイルや表示内容について設定します。

1 メインメニューの[⚙]にタッチします。

2 [ナビゲーション]にタッチします。

3 [地図表示]にタッチします。

4 [基本表示]または[周辺施設表示]のタブにタッチして、各項目を設定します。



「基本表示」タブ

- [**地図テーマ・文字サイズを変更**]：地図の色や文字サイズを変更します。
- [**高速略図**]：高速道路や都市高速などの有料道路を走行した際、自動的に高速道路の略図を表示します。(→P.131)
- [**航続可能範囲**]：地図上に航続可能範囲が表示されます。*1
- [**走行軌跡**]：自車が走行した経路に軌跡マークが表示されます。(→P.132)
- [**先読みエコドライブ情報**]：地図上に先読み減速支援地点のアイコンを表示します。★(→P.133)
- [**3D ビュー俯角**]：地図を 3D 表示する際の角度を変更します。(→P.124)

「交通情報」

- [**交通情報表示**]：地図上に交通情報を表示します。
- [**詳細設定**]：[**交通情報を表示**]を ON にした際、表示する交通情報の種類や対象の道路を選択できます。(→P.195)

知識

- 一部の地図表示の設定は、地図表示メニューから変更することもできます。(→P.126)
- [**走行軌跡**]はドライバー登録をする必要があります。(→P.43)

*1：BEV のみ

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

「周辺施設表示」タブ

レストランや駐車場などの施設を地図上にアイコンで表示します。登録済みの周辺施設リストから希望の施設カテゴリーを選択できます。

- 登録済みの周辺施設がリスト表示されます。選択した施設カテゴリーが地図上にアイコンで表示されます。
- リストに表示する施設カテゴリーを変更する場合は、[**周辺施設表示**]にタッチします。変更する施設カテゴリーを選択し、他の施設カテゴリーと入れかえます。
- [**駐車場**]を選択した場合、駐車時間を設定することで、駐車時間を考慮した料金や満空情報がアイコンに表示されます。(→P.128)
- [**充電施設**]を選択した場合、表示する充電施設の種類を絞り込むことができます。(→P.128)
- [**話題スポット**]を選択すると、新しくオープンした施設や SNS で話題の施設などが表示されます。

知識

周辺施設アイコンの設定は、地図表示メニューから変更することもできます。(→P.126)

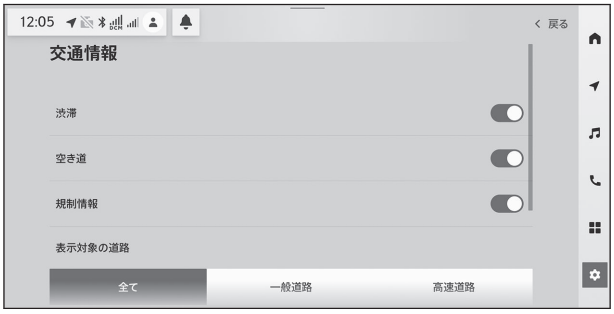
交通情報の詳細設定

[**交通情報表示**]を ON にした際、表示する交通情報の種類や対象の道路を選択できます。

1 **メインメニューの[⚙]>[ナビゲーション]>[地図表示]>[地図表示]タブの順にタッチします。**

2 **「交通情報」の[詳細設定]にタッチします。**

3 **各項目を設定します。**



- [**渋滞**]:渋滞や混雑、対象区間を示すカラーの線が道路上に表示されます。渋滞状況に応じて色が変わります。
- [**空き道**]:空いている道路の情報を、緑色の矢印で表示します。
- [**規制情報**]:交通規制に関する情報を表示します。
- [**表示対象の道路**]:交通情報を表示する道路の種類を選択します。
  - [**全て**]:高速道路と一般道路に表示します。

- [**一般道路**]：一般道路のみに表示します。
- [**高速道路**]：高速道路のみに表示します。

「VICS 情報の設定」

- [**駐車場**]：駐車場や SA/PA に関する情報を表示します。
- [**充電施設**]：充電施設に関する情報を表示します。

案内の設定

ルート案内中の表示や通知について設定します。

1 メインメニューの[⚙]にタッチします。
2 [ナビゲーション]にタッチします。
3 [案内]にタッチします。
4 [基本]、[注意喚起]、[快適走行]のタブにタッチして、各項目を設定します。



「基本」タブ

- [**オートマップズーム**]：ルート案内中に分岐する交差点に近づくと、地図のスケールを自動で拡大します。
- [**交差点拡大図**]：ルート案内中に分岐する交差点に近づくと、交差点までの距離や名称、曲がる方向を示す詳細図が表示されます。(→P.159)
- [**県境案内**]：県境を通過した際、イラストと音声で案内します。
- [**渋滞回避ルートへ切替**]：ルート案内中に、渋滞や規制情報が考慮された新たなルートが見つかった場合、ルートの切りかえを提案します。
  - [**手動**]：提案された新しいルートに対して、手動でルートの切りかえを選択します。
  - [**自動**]：提案された新しいルートに自動で切りかえます。
  - [**OFF**]：新しいルートの提案を OFF にします。
- [**ETC 料金で計算**]：ルート探索時の高速道路料金を、ETC を使用した料金で表示します。設定を OFF にすると ETC を使用しない料金で表示します。

「TSPS 信号発進待ち準備案内」

TSPS サービスを利用した信号待ち案内の設定をします。設定を ON にしている間は走行情報が道路管理者に提供されます。(→P.181)

- [**案内表示**]：信号の待ち時間の目安をアイコン表示します。
- [**案内音声**]：信号の待ち時間の目安を音声で案内します。

「注意喚起」タブ

- [**一時停止案内**]：一時停止交差点に近づいたときに、アイコン表示（[]）と音声で案内します。

- [**踏切案内**]：踏切に近づいたときに、アイコン表示（[]）と音声で案内します。
- [**合流案内**]：合流地点に近づいたときに、アイコン表示（[]、[]）と音声で案内します。
- [**レーン案内**]：一般道を走行中に右折（左折）専用レーンのある交差点に近づくと、音声で案内します。また、高速道路を走行中にレーン数減少地点に近づくと、アイコン表示（[]、[]）と音声で案内します。(→P.199)
- [**逆走注意案内**]：対象道路で逆走状態を検知したときに、逆走のおそれがある旨の警告を表示します。対象道路は、都市間高速道路／都市高速道路／一部の有料道路の本線および IC/JCT/SA/PA 施設です。(→P.200)
- [**速度注意案内**]：速度監視ポイントに近づいたときに、表示と音声で速度注意を促します。
- [**速度注意アイコンの地図表示**]：速度監視ポイントを地図上にアイコンで表示して、速度注意を促します。アイコンにタッチすると詳細情報を表示します。(→P.201)
- [**ゾーン 30 進入案内**]：30km/h 規制地域（ゾーン 30 ）へ進入したときに、注意を促す通知が表示されます。
- [**渋滞・規制音声案内**]：渋滞や規制に関する情報を音声で案内します。(→P.169)

知識

- 速度注意案内、および速度注意アイコンの地図表示は、常に正確な速度監視カメラ（取締装置）位置情報を保証するものではありません。正確なカメラ位置は現地の状況をご確認ください。
- 運転中に速度注意案内を注視すると道路交通法の違反する可能性がありますので、ご注意をください。

以下のようなときは、注意案内が行われない、または誤った案内をする場合があります。

- 地図データに情報がない地点
- 自車位置が正確に特定できないとき
- 案内地点までの距離が短いとき
- 案内地点が連続するとき
- 他のナビ音声案内などと重なるとき
- 地図データと実際の道路状態が変わったとき

「快適走行」タブ

- [**先読みエコドライブ**]：走行状況や交通状況に応じて充放電、放電量や走行モードを制御し、エコ運転に貢献します。★
- [**エリア適応 EV ドライブ**]：駆動用電池残量を調整し、ナビゲーションに登録された自宅周辺で自動的に EV ドライブモードに切りかえます。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

- [**ガソリンスタンド提案**]：燃料残量が低下すると通知が表示され、周辺のガソリンスタンドを検索します。*1
- [**SAPA 進入時の充電施設表示**]：SAPA 進入時に充電施設を表示し、設置場所を分かり易くします。オートマップズームが ON の時は地図の縮尺を変更し、更に分かり易くなります。*2
- [**駐車場提案**]：目的地に設定した駐車場が満車となった場合、目的地周辺の駐車場をアイコンで表示します。
- [**迂回エリアの編集**]：迂回エリアの登録や削除をします。工事や通行止め、よく渋滞する場所などが分かっている場合、迂回エリアとして登録することで、登録したエリアを迂回するルート探索を行います。(→P.202)
- [**目的地設定時の充電施設自動追加**]：バッテリー残量を考慮してルート沿いの充電施設を自動で追加します。*2
- [**充電施設の絞り込み**]：自動で追加される充電施設の条件を設定できます。*2
- [**走行中の充電施設提案**]：直近の目的地に対して到着予想時のバッテリー残量を考慮して、充電施設の追加を提案します。*2
- [**バッテリー残量低下時の充電施設提案**]：バッテリー残量が低下すると、充電施設の追加を提案します。*2

レーン案内

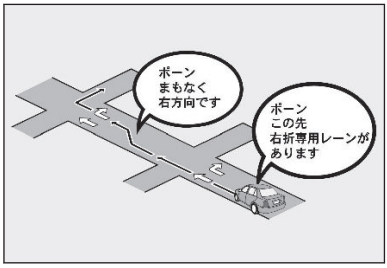
一般道を走行中に右折（左折）専用レーンのある交差点に近づくと、音声で案内します。また、高速道路を走行中にレーン数減少地点に近づくと、マーク（[][]）と音声で案内します。

1 **メインメニューの[ ]>[ナビゲーション]>[案内]>[注意喚起]タブ の順にタッチします。**

2 **[レーン案内]を ON にします。**

▶ **右折（左折）専用レーン案内の例**

一般道を走行中、直進する交差点に右折（左折）専用レーンがある場合、その交差点に近づくと「この先 右折（左折）専用レーンがあります」と音声案内されます。ルート案内中、右折（左折）する交差点では右折（左折）専用レーン案内はされません。この場合は「ポーン、まもなく右方向（左方向）です」と音声案内されます。



*1：BEV を除く

*2：BEV のみ

知識

右折（左折）専用レーンでは、案内マークは表示されません。

逆走注意案内

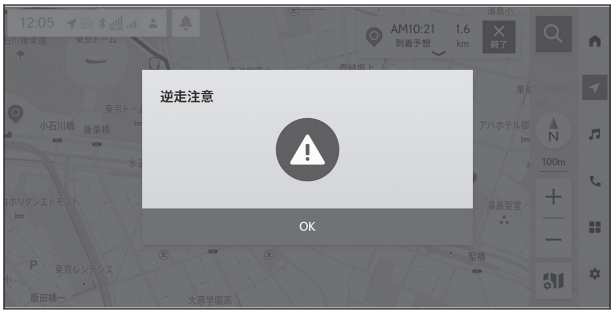
対象道路で逆走状態を検知したときに、逆走のおそれがある旨の警告を表示します。対象道路は、都市間高速道路／都市高速道路／一部の有料道路の本線および IC/JCT/SA/PA 施設です。

1 **メインメニューの[ ]>[ナビゲーション]>[案内]>[注意喚起]タブ の順にタッチします。**

2 **[逆走注意案内]を ON にします。**

逆走状態を検知すると、画面表示と音声で案内します。

案内例:「ポーン、逆走のおそれがあります。進行方向をご確認ください」



知識

以下のようなときは、逆走注意案内が行なわれない、または誤った案内をする場合があります。

- サービス対象外の道路を走行している場合
- 本線、または本線につながる区間での U ターンや、SA/PA 進入路以外で逆走した場合
- ナビゲーション、またはナビゲーションの各種センサーが故障している場合
- ナビゲーションが、サービス対象道路を走行中であることを特定できていない場合
- 地図データに情報のない道路を走行している場合
- 急激な回転をした場合
- 自車位置補正、方位補正が行われた直後
- 料金所付近を走行している場合
- 本線への合流区間が短い場合
- スマート IC 付き SA/PA、その他特定の SA/PA の場合
- 自車位置を逆走対象の道路上と誤認識し、U ターン動作をした場合

- 自車位置が正しくない場合
- 料金所手前などの U ターンが禁止されている場所で U ターンを行った場合
- SA/PA 内での一方通行違反など、交通規制に従わない走行を行った場合
- 重大事故発生時など警察および道路管理会社の誘導により U ターンを行った場合

速度注意アイコンの地図表示

速度監視ポイントを地図上にアイコンで表示して、速度注意を促します。

1 **メインメニューの[ ]>[ナビゲーション]>[案内]>[注意喚起]タブ の順にタッチします。**

2 **[速度注意アイコンの地図表示]を ON にします。**

速度監視ポイントが地図上にアイコン表示されます。



- アイコンにタッチすると詳細情報を表示します。
- 自車位置から半径 20km 以内に存在する固定式速度監視ポイントがアイコンで表示されます。ルート案内中は、進行方向の速度監視ポイントのみを表示します。

知識

- 速度注意案内、および速度注意アイコンの地図表示は、常に正確な速度監視カメラ（取締装置）位置情報を保証するものではありません。
- 速度注意案内、および速度注意アイコンの地図表示は、地図データに格納されている地点のみのため、実際の地物でご確認をお願いします。
- 運転中に速度注意案内を注視すると道路交通法の違反する可能性がありますので、ご注意をください。

ハートフル音声案内

通常の音声案内とは別に、あいさつや日付、記念日などを音声で案内します。状況に合わせて、「お疲れ様でした」「今日は○月○日○曜日です。」などの音声案内をします。

1 メインメニューの[ ]>[ナビゲーション]>[案内]>[快適走行]タブ の順にタッチします。

2 [ハートフル音声案内]にタッチします。

3 各項目を設定します。



- [**自宅到着案内**]:自宅に到着した際、「お疲れ様でした」などの音声案内をします。
- [**日付案内**]:日付けや曜日を音声で案内します。
- [**記念日案内**]:登録した記念日またはデータとして格納している記念日を音声で案内します。
- [**記念日を設定**]:登録した記念日のリストが表示されます。記念日の登録や編集、削除ができます。

知識

- 言語設定が日本語以外の場合は、ハートフル音声が利用できません。
- 通常の音声案内と重なった場合などは、ハートフル音声が発話されないことがあります。
- 日付けや記念日は、その日の最初にマルチメディアシステムを起動した際に案内されます。

記念日の編集

1 [記念日を設定]にタッチします。

2 記念日を編集します。

- [**追加**]: 新しい記念日を登録します。 各項目を設定し[**保存**]にタッチします。
- 登録済みの記念日にタッチすると、再編集できます。
- [**削除**]: 登録済みの記念日を削除します。削除したい記念日を選択し、[**完了**]にタッチします。[**全削除**]にタッチすると全ての記念日を選択できます。

迂回エリアの編集

迂回エリアの登録や削除をします。工事や通行止め、よく渋滞する場所などが分かっている場合、迂回エリアとして登録することで、登録したエリアを迂回するルート探索を行います。

1 メインメニューの[ ]>[ナビゲーション]>[案内]>[快適走行]タブ の順にタッチします。

2 [迂回エリアの編集]にタッチします。

3 迂回エリアを編集します。



- 登録済みの迂回エリアがリスト表示されます。[ ]にタッチすると、名称や迂回範囲を変更できます。
- [ ][**新規追加**]:迂回エリアを登録します。 地図をスクロールして迂回する地点と迂回範囲を設定します。
- [**削除**]:登録済みの迂回エリアを削除します。削除する項目を選択して[ ]にタッチします。[ ][**全削除**]にタッチすると全ての迂回エリアを削除します。

知識

- 登録した迂回エリアを通らなければ目的地に行けないような場合は、迂回エリアを通るルートが探索されることがあります。
- 迂回範囲を最小にすると、[ ]で表示され、道路上に迂回地点を設定することができます。
- 高速道路（都市高速・有料道路を含む）およびフェリー航路は、迂回範囲内に設定しても迂回させることができません。迂回したいときは、迂回メモリ地点を道路上に設定してください。

お気に入り・履歴の設定

お気に入り地点の編集や目的地履歴の削除を行います。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 [ナビゲーション]にタッチします。
3 [お気に入り・履歴]にタッチします。
4 各項目を設定します。



- [**お気に入りを編集**]:お気に入り地点の追加や編集、削除をします。
- [**目的地履歴を削除**]:目的地の履歴を削除します。削除したい履歴の[ ]にタッチします。[**全削除**]にタッチすると、全ての地点が削除されます。

お気に入りを編集

お気に入り地点の追加や編集、削除をします。

1 メインメニューの[ ]>[ナビゲーション]>[お気に入り・履歴]の順にタッチします。
2 [お気に入りを編集]にタッチします。
3 お気に入りリストを編集します。



- 登録済みのお気に入り地点がリスト表示されます。[ ]にタッチすると、名称や電話番号、住所、アイコンを変更できます。

- [⊕][**新規追加**]：新たに地点を検索して、お気に入り地点を登録します。
- [**並び替え**]：リストを登録順や名前順に並びかえます。
- [**削除**]：お気に入り地点を削除します。削除する項目を選択して[⊖]にタッチします。[**全削除**]にタッチすると全ての地点が削除されます。

知識

お気に入り地点は、目的地検索画面のお気に入りリストから編集することもできます。(→P.204)

ETC システムの設定

ETC のステータス情報や利用履歴の確認、通知に関する設定を行います。

1 **メインメニューの[⚙]にタッチします。**

2 **[ナビゲーション]にタッチします。**

3 **[ETC システム]にタッチします。**

4 **各項目を設定します。**



- [**ETC ステータス情報**]：現在の ETC2.0 ユニットの状態が表示されます。
- [**ETC 履歴情報**]：ETC の利用履歴をリスト表示します。リスト上の履歴にタッチすると、利用日時や料金、利用区間などの詳細情報が表示されます。
  - ドラッグ／フリック操作でリストをスクロールできます。
- [**登録情報**]：ETC2.0 ユニットの登録情報が表示されます。
- [**統一エラーコード**]：最後に発生した統一エラーコードを表示します。
- [**通知設定**]：ETC の通知に関する設定をします。

  「表示設定」
  - [**ETC 料金・情報通知**]：ETC の通行料金などを画面に表示します。
  - [**カード挿し忘れ警告**]：ETC カードの挿し忘れなどを画面に表示して警告します。
  - [**カード期限切れ事前通知**]：ETC カードの有効期限が当月であるときに、画面に通知を表示します。

  「音声設定」
  - [**ETC 料金・情報通知**]：ETC の通行料金などを音声で案内します。
  - [**カード挿し忘れ警告**]：ETC カードの挿し忘れなどを音声で警告します。
  - [**カード抜き忘れ警告**]：ETC カードの抜き忘れを ETC2.0 ユニットからの音声で警告します。
  - [**カード期限切れ事前通知**]：ETC カードの有効期限が当月であるときに、音声で案内します。

知識

- [**統一エラーコード**]は最後に発生した統一エラーコードを表示します、現在のエラーを表示している訳ではありません。各エラーコードの対処方法については、画面上の[**エラー内容と対処**]または「統一エラーコード一覧」の対処方法に従ってください。対処を実施してもエラーが続くときは、レクサス販売店に相談をしてください。(→P.380)
- ETC ゲートを通ったときや、エラーが発生したときに割込情報が表示されます。以下の場合は表示と共に音声でも案内されます。
  - ETC カードを ETC2.0 ユニットに挿入したときの認証状態
  - ETC カードの有効期限が切れているまたは当月末で切れる
- 表示される通行料金は道路事業者の割り引きなどにより実際と異なる場合があります。また、他のルート案内などと重なったときは、通行料金の割込表示・音声による案内は行われない場合があります。
- [**カード挿し忘れ警告**]は、パワースイッチを OFF から ACC または ON にしてから約 20 秒以上経過したあとに案内をします。
- 補機バッテリーターミナルを脱着したあとにマルチメディアシステムを起動した場合、[**カード挿し忘れ警告**]の画面表示や音声案内がされないことがあります。また、ETC2.0 ユニットから音声案内がされることがあります。
- ETC カードを更新して新しいものに変更した場合、[**カード期限切れ事前通知**]を ON に設定してください。通知設定を ON にしないと事前通知がされません。
- 音声通知の音量は、システム音量の設定値に連動します。(→P.221)

ETC2.0 ユニットの個人・プライバシー情報消去について

マルチメディアシステムには、ETC2.0 の走行情報に関連する個人・プライバシー情報が保存されます。情報を消去するには、セキュリティー設定の[**全ての情報を初期化**]を行ってください。(→P.61)

知識

- お車を手放すときに消去しなかった個人・プライバシー情報の漏洩については、弊社は一切の責任を負いません。
- 消去される個人・プライバシー情報には、ETC カード履歴およびセットアップ情報は含まれません。

VICS ETC2.0 の設定

VICS ETC2.0 を利用した交通情報の表示や通知について設定します。

1 メインメニューの[⚙]にタッチします。
2 [ナビゲーション]にタッチします。
3 [VICS・ETC2.0]にタッチします。
4 各項目を設定します。



「情報履歴」

- [**FM 図形**]：VICS で受信した図形情報を表示します。(→P.171)
- [**FM 文字**]：VICS で受信した文字情報を表示します。(→P.171)
- [**FM 緊急**]：VICS で受信した緊急情報を再表示します。(→P.173)
- [**VICS**]：VICS で受信した割込交通情報を再表示します。(→P.176)
- [**ETC2.0**]：ETC2.0 で受信した割込交通情報を再表示します。(→P.177)

「通信・通知」

- [**通信設定**]：走行履歴のアップリンク設定や VICS 放送局の選択を行います。(→P.208)
- [**通知設定**]：VICS/ETC2.0 の割込表示や音声の設定を行います。(→P.209)

通信設定

走行履歴のアップリンク設定や VICS 放送局の選択を行います。

1 メインメニューの[⚙]>[ナビゲーション]>[VICS ETC2.0]の順にタッチします。
2 「通信・通知」の[通信設定]にタッチします。
3 各項目を設定します。



「走行履歴のアップリンク」

- **[ETC2.0]**：ETC2.0 を利用して走行履歴などの情報をアップリンクします。

「VICS 放送局の選択」

- **[自動選局]**：VICS 情報を提供する FM 放送局を自動で選局します。自動で受信されない場合は設定を OFF にして、手動で放送局やエリアを選択します。

知識

- 走行履歴のアップリンクについて
  - 走行履歴などのプローブ情報が道路管理者に提供されます。設定を OFF にすると走行履歴などの情報を利用したサービスが受けられないことがあります。
  - 初期状態では ON に設定されています。
- VICS 放送局の選局について
  - 自動設定を ON にすると、現在地がある都道府県の VICS 提供 FM 放送局が受信され、移動すると自動的に放送局が切りかわります。
  - 自動設定を OFF にし、受信する放送局のある都道府県を選択すると、選択した都道府県の放送局が受信されます。受信状態が変わると、選択した都道府県内で自動的に放送局が切りかわります。
  - 自動設定を OFF にし、放送局の周波数を選択すると、選択した周波数の放送局が受信されます。放送局の電波が受信されると**「受信中」**が表示されます。受信状態が変わっても自動的に放送局は切りかわりません。
  - 新規エリアについては周波数を手動で選択しないと受信できない場合があります。

通知設定

VICS/ETC2.0 の割込情報の表示や音声の設定を行います。

1. **メインメニューの[⚙]>[ナビゲーション]>[VICS ETC2.0]の順にタッチします。**
2. **「通信・通知」の[通知設定]の順にタッチします。**
3. **各項目を設定します。**



「表示設定」

- [**VICS 注意警戒情報**]：VICS 注意警戒情報を割込表示します。
- [**VICS 文字情報**]：VICS 文字情報を割込表示します。
- [**VICS 図形情報**]：VICS 図形情報を割込表示します。
- [**ETC2.0 表示情報**]：ETC2.0 道路交通情報を割込表示します。
- [**ETC2.0 注意警戒情報**]：ETC2.0 安全運転支援（注意警戒情報）案内を割込表示します。
- [**VICS/ETC2.0 表示時間**]：VICS/ETC2.0 割込情報の表示時間を設定します。設定した表示時間が経過しても、音声案内中は割込情報は消えません。

「音声／音設定」

- [**VICS 割込音**]：VICS 割込情報の表示時にブザー音を出力します。
- [**ETC2.0 割込音**]：ETC2.0 割込情報の表示時にブザー音を出力します。
- [**ETC2.0 音声案内**]：ETC2.0 割込情報の表示時に音声案内を出力します。

知識

- 割込情報の設定を OFF にしていても、緊急情報が受信されたときは自動的に文字情報または図形情報が表示されます。
- 提供時刻より約 30 分以上経過した割込情報は、再表示させることができません。
- [**ETC2.0 音声案内**]の音量は、システム音量の設定値に連動します。(→P.221)

  システム音量を消音にすると、[**ETC2.0 音声案内**]の設定を ON にしていても、ETC2.0 音声案内が出力されません。
- [**ETC2.0 音声案内**]の設定を ON にした場合でも、割込画面内の[ ]にタッチすると音声案内がミュートされ、ミュート操作に連動して[**ETC2.0 音声案内**]の設定も OFF になります。

地図更新

地図データの更新や更新情報の確認を行います。

1 **メインメニューの[⚙]にタッチします。**
2 **[ナビゲーション]にタッチします。**
3 **[地図更新]にタッチします。**
4 **各項目を設定します。**



- [**地図更新**]：地図データを更新します。
  - 地図データの更新についてはレクサスディーラーにお問い合わせください。
- [**地図データ情報**]：地図データの詳細情報を表示します。

地図データ情報

道路・地名・施設情報・料金は地図データ作成後、変更されることがありますので、現場の状況と異なることがあります。

なお、このナビゲーションシステムの「地図」は国土交通省 国土地理院発行の地形図、および地勢図をもとに、一般財団法人日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社 ゼンリンの地図情報を付加して、株式会社 トヨタマップマスターが製作したものです。

知識

- 地図の作成にあたり、できるかぎり正確なものを提供できるよう道路の改良、新規開通などの情報収集や現地調査などを行っております。しかしながら、道路・地名・施設情報・料金などは日々刻々と変化しており、その性質上、道路の抜け、道路形状・道路名称・施設名称・料金の間違いなどを完全にゼロにすることはできません。この点に留意してご利用ください。
- 幅が 3m 未満の区間を含む道路は、原則として地図データに収録されていません。道路工事や最新の測量により、幅が 3m 未満の区間を含むと判定された道路は、地図データベースの更新時に削除されることがあります。
- 国土地理院の著作権情報については、以下の URL をご覧ください。
  https://www.aisin.com/copyright/21map

地図データベースについて

■ 交通規制データの出典

この地図に使用している交通規制データは、公益財団法人 日本道路交通情報センター（JARTIC）の交通規制情報を使用しています。この地図に使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報、公益財団法人 日本道路交通情報センター（JARTIC）の交通規制情報を、株式会社トヨタマップマスターが加工して作成したものを使用しています。

■ 道路交通規制の優先

このデータが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示などにしたがってください。

■ 交通事故多発地点

地図データに収録されている事故多発地点データは、警察庁および国土交通省のデータを基に作成してあります。

■ 渋滞考慮探索および周辺迂回路探索

JARTIC/VICS の情報を基にトヨタコネクティッド株式会社が作成したデータを使用しています。

■ 統計交通情報

統計交通情報データは、JARTIC/VICS および独自で収集した交通情報を基にトヨタコネクティッド株式会社が統計処理をしたデータを使用しています。

■ 案内標識

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

■ 充電施設

対象データ：EV ステーションデータ

対象企業：EVsmart by ENECHANGE（株）

4 オーディオシステム

4-1. オーディオの基本操作

オーディオシステムの ON/OFF と音量を調整する 214

オーディオのソースを選択する 216

USB 機器を接続する 218

HDMI 機器を接続する 220

4-2. サウンド＆メディア設定

サウンドやオーディオの設定を変更する 221

4-3. 地上デジタルテレビの視聴

地上デジタルテレビ視聴時の留意事項 223

地上デジタルテレビを視聴する 226

地上デジタルテレビ用アンテナの取り扱い 235

4-4. ラジオの操作

ラジオを聴く 236

交通情報を聴く 239

ラジオ用アンテナの取り扱い . 240

4-5. Bluetooth®オーディオの操作

Bluetooth®オーディオ再生時の留意事項 241

Bluetooth®オーディオを再生する 242

4-6. USB メモリーの操作

USB メモリー再生時の留意事項 245

USB メモリーの音楽ファイルを再生する 247

4-7. iPod モードの操作

iPod モードで再生時の留意事項 249

iPod モードで再生する..... 250

4-8. Apple CarPlay の操作

Apple CarPlay 再生時の留意事項 253

Apple CarPlay で再生する 254

4-9. Android Auto の操作

Android Auto 再生時の留意事項 256

Android Auto で再生する 257

4-10. 音楽配信サービスの操作

音楽配信サービスを再生する . 259

4-11. HDMI の操作

HDMI 再生時の留意事項 262

HDMI を再生する..... 263

オーディオシステムの ON/OFF と音量を調整する

オーディオを使用しないときに OFF にしたり、適度な音量に調整できます。

パワースイッチが ACC*1 または ON のときに使用できます。

知識

■ ACC カスタマイズが OFF のとき

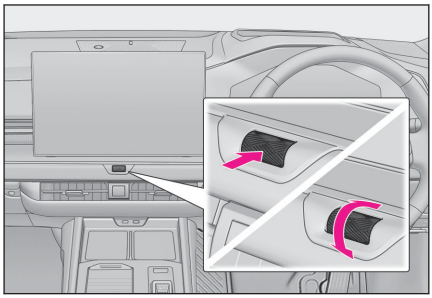
パワースイッチが OFF の状態でも、節電機能が働くまでの一定時間はマルチメディアシステムが使用できます。マルチメディアシステムの電源を OFF にしたいときは次のいずれかの操作を行ってください。

- オーディオコントロールスイッチを押す
- 運転席のドアを開ける

注意

- ハイブリッドシステム< EV システム>が作動していない状態で、オーディオシステムを長時間使用しないでください。補機バッテリーがあがるおそれがあります。
- 安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

■ オーディオコントロールスイッチで操作する

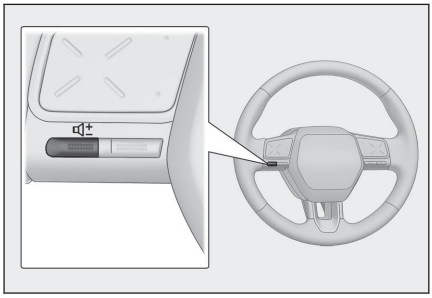


POWER/VOLUME スイッチ

押すごとに ON/OFF が切りかわります。まわすと音量が切りかわります。

*1: カスタマイズメニューから ACC カスタマイズの ON/OFF を切りかえることができます。詳細は、「取扱説明書」をご覧ください。

■ ステアリングスイッチで操作する



[ ]スイッチ

音量を調整します。

上げ続ける、または下げ続けると連続して調整できます。

オーディオのソースを選択する

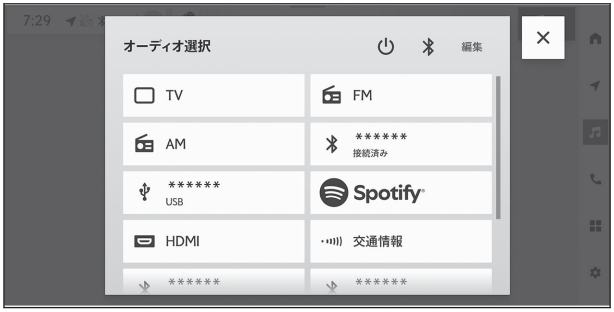
ラジオや USB などのソースを選択できます。

1 メインメニューの[♫]にタッチします。

2 ソース選択ボタンにタッチします。



3 希望のソースにタッチします。



知識

- オーディオを聞いているときに、車内または車の近くで携帯電話を使用すると、オーディオのスピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがあります。
- Apple CarPlay の接続方法によっては、次の機能は利用できません。
  - Bluetooth®オーディオ
  - USB オーディオ
  - iPod モード
  - Android Auto
- Android Auto の接続方法によっては、次の機能は利用できません。
  - Bluetooth®オーディオ
  - USB オーディオ
  - iPod モード

- Apple CarPlay

● ソース選択画面で[ ]にタッチすると、オーディオシステムを OFF にします。

● ソース選択画面で[ ]にタッチすると、Bluetooth®機器接続画面を表示します。(→P.85)

ソース選択画面のボタンの配置を変更する

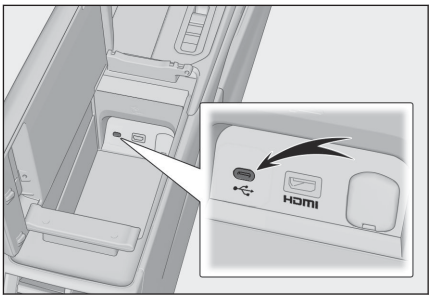
お好みに合わせて、操作しやすいようにソースボタンを並べかえることができます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 ソース選択ボタンにタッチします。
3 [編集]にタッチします。
4 配置を変更したいソースボタンをドラッグ操作してお好みの位置に移動します。
5 並べかえが終わったら、[完了]にタッチします。

USB 機器を接続する

スマートフォンやポータブルプレーヤーなどの機器を接続できます。

● **コンソールボックスを開けて、USB Type-C ケーブルを端子に接続します。**



USB メモリーを接続するときは USB Type-C 端子に直接接続してください。

知識

- お使いの機器によっては、視聴できない場合があります。
- USB ハブを使用して複数の機器を接続した場合、最初に認識された機器以外は使用できません。*1
- USB Type-C ケーブルおよび接続する機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する機器の電源は、機器に付属のバッテリーなどを使用してください。車に装着されているアクセサリーソケットを使用すると、雑音が出ることがあります。（アクセサリーソケットについては、「取扱説明書」をご覧ください）

⚠ 警告

- 安全のため、運転者は運転中に携帯機器本体の操作をしないでください。
- 故障ややけどを防ぐために、次のことをお守りください。お守りいただかないと装置の故障や損傷、発熱によるやけどにつながるおそれがあります。
  - 布などをかぶせて使用しないでください。
  - 破損している USB Type-C ケーブルやデバイスを使用しないでください。
  - 分解や改造、取りはずしをしないでください。
  - 強い力や衝撃を加えないでください。

⚠ 注意

- 接続する機器の形やサイズによっては、コンソールボックスが完全に閉じない可能性があります。この場合、無理矢理コンソールボックスを閉じないでください。機器や端子が破損するおそれがあります。

*1：USB ハブの動作を保証しているわけではありません。

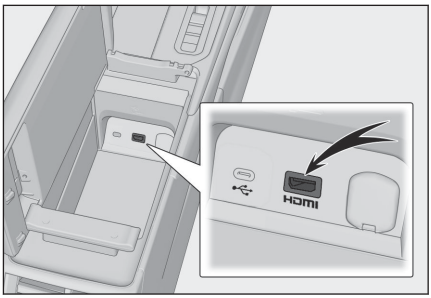
⚠ 注意

- 接続中に機器を押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。機器や端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。機器や端子が破損するおそれがあります。
- 接続機器や USB Type-C ケーブルが破損していると、正常に充電しない場合があります。

HDMI 機器を接続する★

HDMI 入力端子には、HDMI 出力に対応した機器を接続できます。

● **コンソールボックスを開けて、HDMI ケーブルを HDMI 端子に接続します。**



知識

- お使いの機器によっては、視聴できない場合があります。
- HDMI ケーブルおよび接続する機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する機器の電源は、機器に付属のバッテリーなどを使用してください。車に装着されているアクセサリーソケットを使用すると、雑音が出ることがあります。（アクセサリーソケットについては、「取扱説明書」を参照してください）

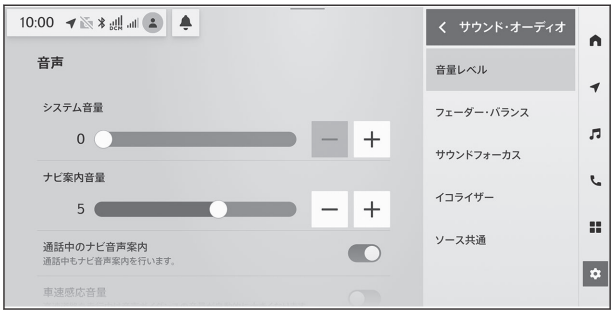
注意

- 接続する機器の形やサイズによっては、コンソールボックスが完全に閉じない可能性があります。この場合、無理矢理コンソールボックスを閉じないでください。機器や端子が破損するおそれがあります。
- 接続中に機器を押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。機器や端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。機器や端子が破損するおそれがあります。

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

サウンドやオーディオの設定を変更する

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 サブメニューの[サウンド・オーディオ]にタッチします。
3 各項目を設定します。



● [**音量レベル**]

設定項目	内容
「音声」	
[**システム音量**]	システム音声の音量を調整できます。
[**ナビ案内音量**]	ナビゲーション音声案内の音量を調整できます。
[**通話中のナビ音声案内**]	通話中のナビゲーション音声案内の割り込みを ON/OFF できます。
[**車速感応音量**]	高速道路を走行時に、音声ガイダンスの音量を自動的に上げることができます。
[**運転支援時の音量**]	運転支援システムの音量を調整できます。
「レベル」	
[**ASL 感度**]	車両の速度などと連動して、自動的にオーディオの音量が調整されます。
[**サラウンド**](1)	臨場感のある音質にします。
「起動サウンド」	
[**サウンドの種類**]	マルチメディアシステムを起動したときのサウンドを変更できます。
[**起動サウンドの音量**]	マルチメディアシステムを起動したときのサウンドの音量を変更できます。

(1) [**サウンドフォーカス**]機能がある場合、[**全席**]選択時に設定できます。

● [**フェーダー・バランス**]：[ ]を移動するとフェーダーやバランスを調整できます。[**初期化**]にタッチすると中心にもどします。

- [**サウンドフォーカス**]★: [**全席**]／[**後席**]を選択して、最適な音場を設定します。
- [**イコライザー**]

設定項目	内容
「メモリー」	お好みの設定を、4 つ登録することができます。選択した設定の音域を調整できます。[**初期化**]にタッチすると初期値（フラット）にもどします。
50Hz/160Hz/ 500Hz/1.6kHz/ 5kHz/16kHz	それぞれの音域の強さを調整できます。

- [**ソース共通**]

設定項目	内容
「共通設定」	
[**カバーアート表示**]	音楽アルバムなどのカバーアートを表示します。
[**ブレーキホールド中の動画視聴**]	パーキングブレーキがかかっていなくても、ブレーキホールドが作動しているときに動画を視聴できます。

知識

- システム音声案内中に POWER/VOLUME スイッチをまわすと、音声案内の音量を調節できます。
- 一部の機能は、再生画面で[⋮]をタッチして設定することができます。

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

地上デジタルテレビ視聴時の留意事項

地上デジタルテレビを視聴するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

知識

- データ放送で地域情報を受信するために、居住地域を設定する必要があります。居住地域の設定はオーディオの設定から行うことができます。
- 地上デジタルテレビ放送の受信は受信する場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態の継続が困難な場合があります。この関係の主な例は次のとおりです。
  - 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が静止したり音声が途切れる場合があります。
  - ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が静止したり音声が途切れる場合があります。
  - 電波の特性上、建物や山などが障害物となり受信状態が悪化する場合があります。
  - トンネル内にはいったり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪化します。
  - 一部の地域において、テレビやラジオなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、画像が静止したり音声が途切れる場合があります。
- 双方向通信には対応していません。
- 地上デジタルテレビの画面表示などは、製品の仕様変更などにより、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
- B-CAS カードを使用せずに地上デジタル放送を視聴できる新 RMP 方式を採用しており、B-CAS カードを付属していません。
  - 新 RMP 方式とは、地上デジタル放送のコンテンツ権利保護専用方式です。詳しくは、下記サイトをご覧ください。一般社団法人地上放送 RMP 管理センター
    http://www.trmp.or.jp/
  - 放送局が新 RMP に関する情報を更新した際は、更新情報を取得するまでのあいだ（最大 30 秒）地上デジタル放送が視聴できない場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトポジションを P に入れたときに映像を視聴できます。（走行中は音声のみを再生します）
- パーキングブレーキがかかっていなくても、ブレーキホールドの作動中、またはクルーズコントロール機能による完全停車状態になっていれば動画を視聴できるように設定できます。

緊急警報放送（EWS）の役割

緊急警報放送（EWS:Emergency Warning System）は、緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせする放送です。緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があったときに放送されます。

緊急警報放送を受信した場合、自動で放送内容が表示されます。放送が終了すると、自動的にもとの番組にもどります。

地上デジタルテレビに関するこんなメッセージが表示されたとき

メッセージ	原因	処置
「受信制御データが未設定です」「しばらくお待ちください」	新 RMP に関する情報が取得できていないため。	受信環境の良い場所で受信できるまでお待ちください。
「視聴できません」「このチャンネルのカスタマーセンターへお問い合わせください」	新 RMP に関する情報が取得できていないため。 放送波が RMP ではない形式になっているため。	メッセージに表示された放送局にお問い合わせください。
「放送を受信できません」	地上デジタル放送の受信エリア外にいるため。	地上デジタル放送を受信できるエリアに移動してください。
「データ放送を受信できません」	データ放送を正常に受信できなかったため。	もう一度、操作しなおしてください。
「データを表示できませんでした」	マルチメディアシステムで対応していないデータを受信したため。	故障ではありません。

地上デジタルテレビが故障したとお考えになる前に

ちょっとした操作の違いで故障と間違えることがありますので、次の表にもとづき、まず確認してください。

処置をしても直らないときは、レクサス販売店で点検を受けてください。

症状	考えられること	処置
地上デジタル放送が受信できない。	地上デジタル放送の受信エリア外で使用していませんか。	地上デジタル放送を受信できるエリアに移動してください。
映像は出るが、音が出ない。	音量が小さくなっていませんか。	音量を大きくしてください。
映像が止まって、音が出ない。	地上デジタル放送の受信状態が良くない。	受信エリア内でも環境により受信できない場合があります。 受信できる場所に移動してください。
画面上部のチャンネル番号の表示が 13～52 のままで、プリセットボタンにチャンネル番号が表示されない。		

症状	考えられること	処置
黒い画面が表示され、音が出ない。 地上デジタル放送が受信できない。	チャンネル（放送局）が増えたり、他のエリアに移動して受信環境が変わったため。	チャンネル設定を行ってください。

地上デジタルテレビを視聴する

地上デジタルテレビを視聴して楽しむことができます。

知識

- ワンセグ放送のサービス番号は、611～728 に割りあてられています。
- 視聴しているチャンネルがワンセグ放送を行っていない場合、ワンセグ放送に切りかえることができません。
- 受信設定を[**自動切替**]に設定した場合、通常の地上デジタルテレビ放送が受信可能なときは、ワンセグ放送に切りかえても自動で通常の地上デジタルテレビ放送にもどります。
- 地上デジタルテレビ放送では 1 つのチャンネルで複数の番組を同時に放送できます。（サブチャンネル放送）違うサブチャンネルの番組に切りかえたい場合は、チャンネルを選択したあとに番組を切りかえてください。
- 1 つのチャンネルで、サービス番号が異なっていても、同じ番組が複数放送されている場合があります。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

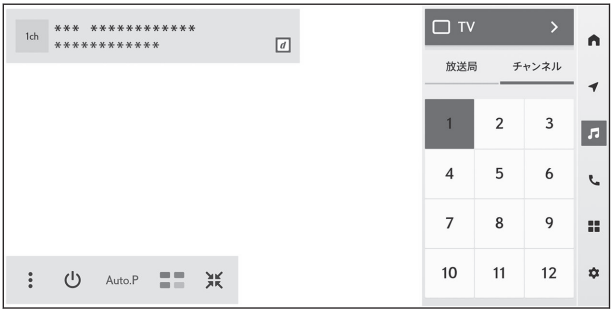
2 **ソース選択ボタンにタッチします。**

3 **[TV]にタッチします。**

4 **必要に応じて、放送中の地上デジタルテレビを操作します。**

- 画面で操作する

▶ **全画面**



全画面表示中に画面にタッチすると、操作ボタンの表示/非表示が切り替わります。*1

*1: 一定時間経過すると操作ボタンは非表示になります。

▶ 操作画面



操作画面を表示するときは、全画面で[ ]にタッチします。

[ ]：全画面表示のとき、操作画面表示にします。

[ ]：操作画面表示のとき、全画面表示にします。

プリセットボタン：登録しているチャンネルを受信します。

- [CH]：1～12 のチャンネル番号で表示します。
- [**放送局**]：放送局名を表示します。

[ ]：受信している番組をプリセットボタンに登録します。登録しているときにタッチすると解除します。*1

[Auto.P]：長押しすると、現在位置から受信可能なチャンネルをプリセットボタンに自動で登録します。*1

[ ]：データ放送の操作画面を表示します。(→P.228)

[ ]：オーディオシステムを OFF にします。

[CH]：[ ]／[ ]にタッチすると、プリセットボタンに登録している順にチャンネルが切りかわります。

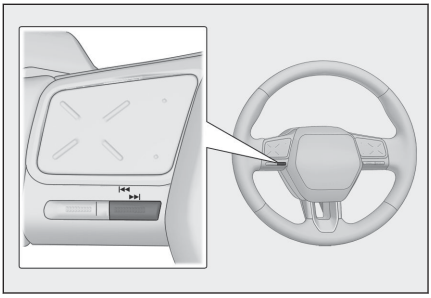
[ ]：設定可能な項目を表示します。(→P.229)

知識

ワンセグ放送を受信しているときは、映像の右下に[ワンセグ]が表示されます。

● ステアリングスイッチで操作する

*1：地上デジタルテレビ視聴時の設定で、[**プリセットリスト**]が[**マニュアル**]選択時に表示されます。



[⏮⏭]スイッチ

プリセットボタンに登録している順にチャンネルが切りかわります。上げ続ける、または下げ続けるとチャンネルが切りかわり、手を離すと、受信感度が良く、現在受信しているチャンネルにいちばん近いチャンネルを自動で選択します。

データ放送の情報を見る

データ放送とは地上デジタルテレビ映像の他に、図形や文字の情報を付加した放送です。受信するデータ放送により、ニュースや天気、交通情報などの独立した情報や番組に連動した情報を見ることができます。

画面に表示される説明の順に操作すると、さまざまな情報を見ることができます。受信したデータ放送はカラーボタン、カーソル、10 キー（テンキー）などで操作します。操作方法は受信したデータ放送により異なります。

知識

- ワンセグ放送のデータ放送には対応していません。
- データ放送を受信可能な場合、画面に[d]が表示されます。
- データ放送の操作は、画面に表示される指示の順に行ってください。

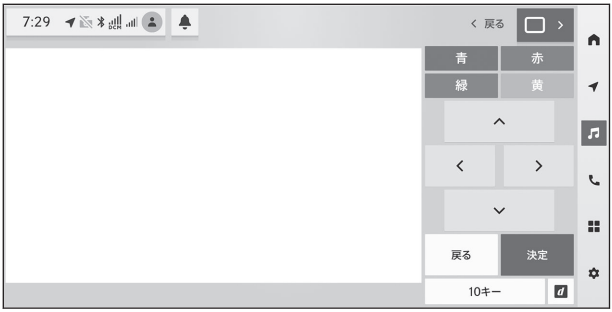
1 **メインメニューの[♪]にタッチします。**

2 **ソース選択ボタンにタッチします。**

3 **[TV]>[▦]>[d]の順にタッチします。**

4 **必要に応じて、データ放送を操作します。**

- カーソルで操作する



カラーボタン：カラーボタンでデータ放送を操作します。
カーソル：カーソルでデータ放送を操作します。
[**戻る**]：1 つ前の画面にもどします。
[**決定**]：カーソルで選択した項目を実行します。
[**10 キー**]：10 キー（テンキー）表示にします。
[d]：データ放送を解除します。

- 10 キーで操作する



カラーボタン：カラーボタンでデータ放送を操作します。
10 キー：数字を入力します。
[**戻る**]：1 つ前の画面にもどします。
[**決定**]：10 キーで入力した数字を実行します。
[**方向キー**]：カーソル表示にします。
[d]：データ放送を解除します。

地上デジタルテレビ視聴時の設定を変更する

1 **メインメニューの[♫]にタッチします。**
2 **ソース選択ボタンにタッチします。**
3 **[TV]>[⋮]の順にタッチします。**
4 **必要に応じて、各項目を設定します。**



●「映像・音声・字幕」

設定項目	内容
[**メニュー表示**]	[**映像**]：地上デジタルテレビ放送では、マルチビュー放送で複数の映像を提供する場合があります。タッチするたびに、映像が切りかわります。 [**音声**]：地上デジタルテレビ放送では、複数の音声を提供している場合があります。タッチするたびに、音声が切りかわります。 [**字幕**]：地上デジタルテレビ放送では、複数の字幕を提供している場合があります。タッチするたびに、日本語、英語、字幕なしの順に字幕が切りかわります。 [**主／副**]：地上デジタルテレビ放送では、音声多重放送をしている場合があります。タッチするたびに、主音声、副音声、 主／副音声の順に切りかわります。 [**文字スーパー**]：地上デジタルテレビ放送では、放送と独立して文字スーパー（天気予報やニュースなどを字幕で放送するサービス）を行っています。タッチするたびに、日本語、英語、表示なしの順に文字スーパーが切りかわります。

●「サウンド・画面」

設定項目	内容
[**サウンド**]	設定可能な項目を表示します。(→P.221)
[**画質調整**]	映像のコントラストや明るさを調整できます。 ●「明るさ」：明るさを調整できます。 ●「コントラスト」：コントラストを調整できます。

●「番組表・サービス」

設定項目	内容
[**番組表**]	番組表を表示します。(→P.233)
[**サービスリスト**]	サブチャンネル放送をしているときにタッチすると、その番組をサブメニューに表示します。

設定項目	内容
[**お知らせ**]	放送局からのお知らせを確認できます。 ● タイトル別または受信した日時でリストを表示できます。 ● メールにタッチすると、詳細を表示します。 ● 未読のメールがあるときは、[ ]が表示されます。

●「設定」

設定項目	内容
[**プリセットリスト**]	プリセットのモードを変更できます。 ● [**エリア**]：マルチメディアシステムがエリアごとに記憶しているチャンネルを表示します。（GPS の自車位置情報により、今いる地域で放送されている放送局の局名とチャンネルがプリセットボタンに表示されます） ● [**マニュアル**]：マニュアルプリセットモードに切りかわります。プリセットチャンネルを好みに合わせて登録できます。
[**Auto.P 設定**]	オートプリセットの設定方法を切りかえます。 ● [**エリアデータベース**]に設定すると、放送局データベースの情報を利用して、放送局をプリセットに登録します。 ● [**受信放送局**]に設定すると、現在地から受信可能な放送局をプリセットに登録します。
[**系列局検索**]	受信エリアからはずれたときに、中継局または系列局を自動的に検索して受信します。
[**イベントリレーの受信**]	視聴中の番組から異なるイベント（番組）や臨時サービスに自動的に切りかわります。たとえば、野球の延長放送が視聴中の番組とは異なるサービス番号で放送するときに、自動的に切りかわります。
[**地デジ・ワンセグ受信設定**]	地上デジタルテレビの受信設定を変更できます。 ● [**自動切替**]に設定すると、地上デジタルテレビ放送が受信できなくなった場合、自動でワンセグ方法に切りかえます。地上デジタルテレビが受信可能になると、ワンセグ放送から自動で切りかわります。 ● [**地デジ固定**]に設定すると、地上デジタルテレビ放送に固定します。 ● [**ワンセグ固定**]に設定すると、ワンセグ放送に固定します。

●「居住地域設定」

設定項目	内容
[**居住地域をナビの自宅設定と連動**]	居住地域の設定をナビの自宅と連動させます。
[**都道府県**]	データ放送で地域情報を受信するために、居住地域を設定する必要があります。初めて起動したときや、引越したときは設定してください。 居住地域の都道府県を設定できます。初期設定は東京都です。
[**郵便番号**]	データ放送で地域情報を受信するために、居住地域を設定する必要があります。初めて起動したときや、引越したときは設定してください。 郵便番号を入力して設定できます。

● 「TV 局データの更新」

設定項目	内容
[**データの更新設定**]	TV 局データの更新方法を設定できます。 ● [**自動**]にすると、TV 局データを自動更新します。 ● [**手動**]のときは、[**データの更新**]にタッチすると更新します。
[**最終更新日**]	放送局データの最新更新日を表示します。
[**データのバージョン**]	放送局データのバージョンを表示します。
[**データの更新**]	放送局データを更新します。

● 「機器 ID 表示」

設定項目	内容
[**オリジナル RMP メーカー ID**]	オリジナル RMP メーカー ID が表示されます。
[**管理局 RMP メーカー ID**]	[<]／[>]にタッチすると管理局名が切りかわり、その放送局の局管理 RMP メーカー ID を表示します。

知識

- プリセットチャンネルは、1～12ch まで登録できます。
- 受信したメールのタイトルは、受信メールの先頭から全角 18 文字（メール詳細画面では 14 文字）をタイトルとして表示されます。
- メールの保存件数は最大 7 件です。7 件を超えたときは、いちばん古いメールが自動で削除されます。（未読メール含む）
- [**映像**]にタッチすると、映像を切りかえると同時に、音声と字幕も切りかわることがあります。

- 副音声または主音声／副音声にして視聴している場合、受信状態によって主音声と副音声がひんぱんに切りかわることがあります。
- 地デジ、ワンセグの受信に関する留意事項
  - 放送が切りかわるとき、一時的に画像が静止したり音声が途切れる場合があります。
  - 自動で切りかわった番組の映像や音声が、視聴していた番組と異なることがあります。
  - ワンセグ放送を実施していない放送局を視聴している場合、[**自動切替**]にしていても、ワンセグ放送に切りかわりません。
  - 同じ中継局／系列局を探し出し、受信するまでの約 10 秒間は受信できません。
- イベントリレーの受信に関する留意事項
  - 地域によっては、同じ番組を放送している放送局に切りかわらない場合があります。
  - 受信電波の弱い地域では放送局が切りかわらない場合があります。
  - 山を境に放送区域がかわるところでは、トンネルを出ても放送局が切りかわらない場合があります。
  - 視聴している放送局と移動先の放送局の受信状態が同じようなときは、ひんぱんに切りかわることがあります。

電子番組表（EPG）を見る

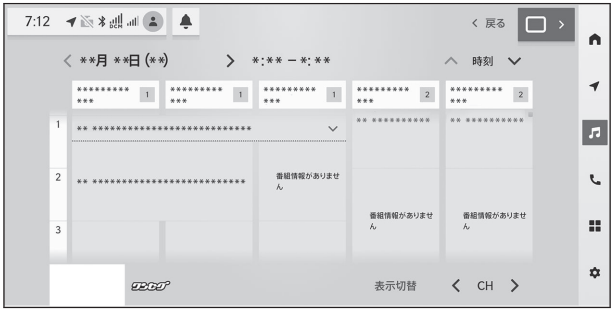
EPG とは放送局が提供する、画面上で見ることができるテレビ番組表です。

1 **メインメニューの[♫]にタッチします。**

2 **ソース選択ボタンにタッチします。**

3 **[TV]>[⋮]>[番組表]の順にタッチします。**

4 **必要に応じて、番組表を操作します。**



日付：[＜]／[＞]にタッチすると、別の日の番組情報に切りかえます。

時間：[∧]／[∨]にタッチすると、時間帯が切りかわります。

[**表示切替**]：番組情報の表示方法を切りかえます。タッチするたびに、複数サービス、1 サービス、プライマリーサービスの順に表示が切りかわります。

- 複数サービスは、1 チャンネルの全番組を表示します。
- 1 サービスは、1 チャンネルの 1 番組を表示します。
- プライマリサービスは、5 チャンネルを 1 番組ずつ表示します。

[CH]：[ ]／[ ]にタッチすると、チャンネルが切りかわります。

知識

- 放送局にタッチすると選局できます。
- 番組にタッチすると、詳細情報を表示します。表示しきれていない番組がある場合はリストが表示されます。
- 電子番組表は現在から最大 7 日分表示できます。
- 番組表の画面でフリック操作すると、時間帯をかえることができます。

地上デジタルテレビ用アンテナの取り扱い

地上デジタルテレビを受信するためのアンテナは、フロントウインドウガラスおよびリヤウインドウガラスに埋め込まれています。

⚠ 注意

- アンテナ入りガラス（室内側）の清掃は湿った布で線にそって軽くふいてください。ガラスクリーナーなどは、アンテナをいためますので使用しないでください。
- フロントウインドウガラスおよびリヤウインドウガラスのアンテナ線部に以下のものを貼りつけないでください。受信感度が低下したり、ノイズ（雑音）が発生するおそれがあります。
  - 金属を含有するウインドウフィルム
  - その他の金属物（レクサス純正品以外のアンテナなど）

ラジオを聴く

お好みの周波数に切りかえてラジオを受信できます。

知識

- 走行中、受信状態は刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難なことがあります。
- 放送を受信できても、放送局名が表示されないことがあります。
- 地域や車の向きなどの条件により、周波数の受信感度が悪い場合、自動で選局できないことがあります。
- ワイド FM とは、AM 放送の難聴解消や災害時の放送継続のために、FM の周波数を使用して AM の番組を放送することです。

  周波数帯は従来アナログ TV で使用されていた V-Low 帯域の一部（90.1MHz～94.9MHz）を使用しています。

  従来の FM 放送局とは、受信状態が異なる場合があります。
- [Auto.P]ボタンについての留意事項
  - AM 放送の場合は 6 局まで、FM 放送の場合は 12 局まで登録できます。受信可能な放送局数が AM 放送は 6 局、FM 放送は 12 局未満の場合、残りのプリセットボタンには何も登録されません。
  - [Auto.P]ボタンによる周波数の登録操作を同じ場所でくり返しても、受信感度の状態によっては、操作ごとに登録される周波数が異なることがあります。
  - 受信状況によっては、同一放送局が複数プリセットされる場合があります。その場合、受信状態の良い放送局を選択してください。

1 **メインメニューの[♫]にタッチします。**

2 **ソース選択ボタンにタッチします。**

3 **[FM]または[AM]にタッチします。**

4 **必要に応じて、受信中のラジオを操作します。**

- 画面で操作する



サブメニューのプリセットボタン：登録している放送局を受信します。ラジオ設定の「プリセット」が[マニュアル]のときに、記憶したい周波数に切りかえ、長押しすると、その周波数を記憶します。

[♡]: 受信している放送局をプリセットボタンに登録します。登録しているときにタッチすると、解除します。*1

[Auto.P]: 現在位置から受信可能な放送局をプリセットボタンに自動で登録します。*1

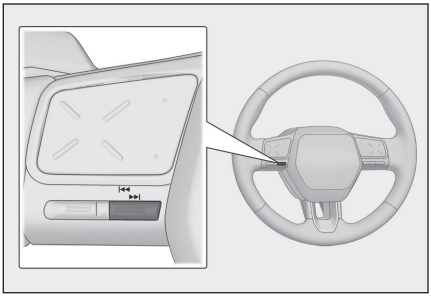
[ワイド FM]: ワイド FM に切りかわります。AM 放送受信時、その放送局がワイド FM 対応局の場合に切りかえができます。*2

[<<]／[>>]: 受信感度が良く、現在受信している周波数にいちばん近い周波数を選択します。長押しすると、タッチし続けている間、周波数が切りかわり、手を離すと、その位置からいちばん近い周波数を自動で選択します。

[Tune]: [<]／[>]にタッチすると、周波数が切りかわります。

[⋮]: 設定可能な項目を表示します。(→P.237)

● ステアリングスイッチで操作する



[⏮⏭]スイッチ

プリセットボタンに登録している順に周波数／放送局が切りかわります。上げ続ける、または下げ続けると周波数が切りかわり、手を離すと、受信感度が良く、その位置からいちばん近い放送局を自動で選択します。

ラジオの設定を変更する

1 メインメニューの[♫]にタッチします。

2 ソース選択ボタンにタッチします。

3 [FM]>[⋮]または[AM]>[⋮]の順にタッチします。

4 各項目を設定します。

*1: ラジオの設定で、「プリセット」が[マニュアル]選択時に表示されます。

*2: ラジオの設定で、[ワイド FM]が ON 選択時に表示されます。



●「サウンド」

設定項目	内容
[**設定**]	設定可能な項目を表示します。(→P.221)

●「プリセット」

設定項目	内容
[**エリア**]	マルチメディアシステムがエリアごとに登録している放送局を表示します。(GPS の自車位置情報により、今いる地域で放送されている放送局の局名と周波数がプリセットボタンに表示されます)
[**マニュアル**]	マニュアルで登録している放送局を表示します。

●「受信設定」

設定項目	内容
[Auto.P]	オートプリセットの設定方法を切りかえます。 ● [**エリアデータベース**]に設定していると、放送局データベースの情報を利用して、放送局をプリセットに登録します。 ● [**受信放送局**]に設定していると、現在地から受信可能な放送局をプリセットに登録します。
[**ワイド FM**]	ワイド FM の ON/OFF を設定できます。

交通情報を聴く

AM ラジオ局の道路交通情報を受信できます。

知識

新車時には 1620kHz と 1629kHz がプリセットに記憶されています。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。

2 ソース選択ボタンにタッチします。

3 [交通情報]にタッチします。



ラジオ用アンテナの取り扱い

ラジオを受信するためのアンテナは、リアウィンドウガラスとルーフ後部に内蔵されています。

⚠ 注意

- アンテナ入りガラス（室内側）の清掃は湿った布で線にそって軽くふいてください。ガラスクリーナーなどは、アンテナをいためますので使用しないでください。
- リヤウインドウガラスのアンテナ線部に以下のものを貼りつけないでください。受信感度が低下したり、ノイズ（雑音）が発生するおそれがあります。
  - 金属を含有するウインドウフィルム
  - その他の金属物（レクサス純正品以外のアンテナなど）

Bluetooth®オーディオ再生時の留意事項

Bluetooth®オーディオを再生するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

知識

- 携帯電話を含む Bluetooth®ポータブルオーディオプレーヤー（以下ポータブル機）を使用するためには、まずマルチメディアシステムにポータブル機を登録する必要があります。
- Bluetooth®オーディオ対応のアダプターについては、動作確認を実施していません。マルチメディアシステムで動作確認済みの機種については、レクサス販売店または Web サイト https://g-book.com/pc/etc/faq/mobile/n/top.html でご確認ください。
- ポータブル機の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- Apple CarPlay をワイヤレス接続しているとき、2.4GHz 帯を使用している場合はこの機能を使用できません。
- 他の無線機器と同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- マルチメディアシステムの設定で Wi-Fi®機能を ON にしているときは、Bluetooth®オーディオの音が途切れる場合があります。
- ハンズフリー利用中にて携帯電話での通話に切りかえた場合、通話中は同一機器による Bluetooth®オーディオと iPod モードは携帯電話の機種により音声が出力されないことがあります。

⚠ 警告

- 安全のため、運転者は運転中にポータブル機本体の操作をしないでください。
- 電波がおよぼす影響について

  植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。

⚠ 注意

- ポータブル機を車室内に放置しないでください。車室内が高温のときにポータブル機が故障するおそれがあります。
- ポータブル機をマルチメディアシステムに近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化する場合があります。

Bluetooth®オーディオを再生する

ポータブル機を接続することで、ポータブル機を直接操作することなく使用できます。

知識

- 接続したポータブル機によっては、次の情報が表示されないことがあります。
  - フォルダタイトル
  - 曲名
  - アルバム名
  - アーティスト名
  - 再生時間
  - 合計時間
  - ランダム
  - リピート
  - 再生／一時停止
  - トラックアップ／ダウン
- 接続した機器によっては、次のような場合があります。
  - マルチメディアシステムで操作できない。
  - 動作や音量が異なる。
  - マルチメディアシステムとポータブル機で曲情報や時間表示などの表示が異なる。
  - 再生を停止すると、接続が切断される。
- 長時間再生した場合、音飛びすることがあります。
- 接続時の音量は、ポータブル機によって異なります。
- 音楽の再生中に、再生画面から選曲画面に移動すると、再生画面はミニプレーヤーとして表示されます。ミニプレーヤーを選択すると、元のサイズの再生画面を表示します。

ポータブル機をマルチメディアシステムに接続してください。

1 **メインメニューの[♫]にタッチします。**

2 **ソース選択ボタンにタッチします。**

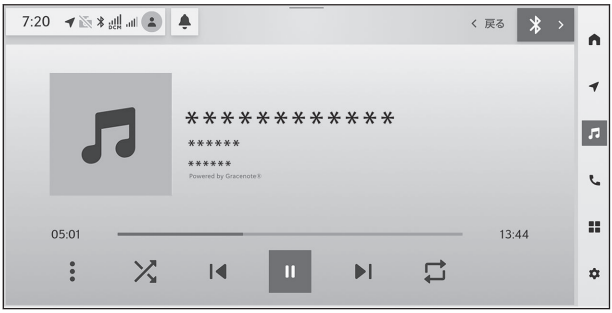
3 **機器名称または[Bluetooth]にタッチします。**

4 **必要に応じて、トラックを選択します。**

フォルダ名／曲名：フォルダ名にタッチすると、フォルダ移動し、曲名にタッチすると、再生するトラックを変更できます。

5 **必要に応じて、再生中の Bluetooth®オーディオを操作します。**

● 画面で操作する



再生画面：[**戻る**]をタッチすると、ミニプレーヤーになります。

[ ]：ランダム再生をします。タッチするたびに、ランダムの設定が切りかわります。*1

- [ ]：ランダム再生しません。
- [ ]：再生中のフォルダからランダム再生します。
- [ ]：全ファイル／トラックからランダム再生します。

[ ]：再生中のトラックの先頭から再生します。 トラックの先頭のときは、前のトラックの先頭から再生します。長押しすると、早もどしします。手を離すと、その位置から再生します。

[ ]：再生を一時停止します。

[ ]：再生します。

[ ]：トラックが切りかわります。長押しすると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

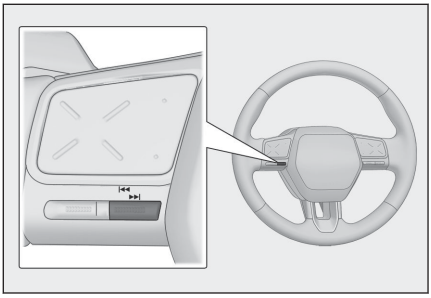
[ ]：リピート再生をします。タッチするたびに、リピートの設定が切りかわります。*1

- [ ]：リピート再生しません。
- [ ]：全曲ファイルをリピート再生します。
- [ ]：再生中の楽曲をリピート再生します。
- [ ]：再生中のフォルダ内の楽曲をリピート再生します。

[ ]：設定可能な項目を表示します。(→P.221)

● ステアリングスイッチで操作する

*1：ランダム／リピートの設定がどの順番で切りかわるかは機種によって異なります。



[⏮ ⏭]スイッチ

トラックが切りかわります。上げ続ける、または下げ続けると、早もどし／早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

USB メモリー再生時の留意事項

USB メモリーを再生するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

マルチメディアシステムで使用できる USB メモリーについては、「使用できる USB メモリーについての情報」(→P.392)をご覧ください。

知識

- 再生中に USB メモリーを抜いたり、接続する機器を抜き挿ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- USB メモリーを接続している状態で、他ソースから USB メモリーに切りかえたときは、前回、最後に再生していたファイルから再生されます。もし、同じ USB メモリー（内容が変更されていないもの）が再び挿し込まれたときは、前回、最後に再生していた曲から再生されます。別の USB メモリーが差し込まれた場合は、前回の USB メモリーの再生情報は破棄して、最初のファイルが再生されます。
- 対応していないフォーマットのファイルを読み込んだ場合、動作に影響が出ることがあります。
- USB ハブを使用して複数の機器を接続した場合、最初に認識された機器以外は使用できません。

⚠ 警告

安全のため、運転者は運転中に USB メモリーを操作しないでください。

⚠ 注意

- 接続する USB メモリーの形やサイズによっては、コンソールボックスが完全に閉じない可能性があります。この場合、無理矢理コンソールボックスを閉じないでください。USB メモリーや端子が破損するおそれがあります。
- USB メモリーを車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに USB メモリーが故障するおそれがあります。
- 接続中に USB メモリーを押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。USB メモリーや端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。USB メモリーや端子が破損するおそれがあります。

■ MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC の再生について

MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC ファイルが収録されている USB メモリーを接続すると、最初に USB メモリー内のすべてのファイルをチェックします。

USB メモリー内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

知識

MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC は市場にフリーウェアなど、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズの発生、また再生できない場合もあります。

注意

ファイルに間違った拡張子をつけないでください。ファイルの中身と一致しない拡張子をファイルにつけると、誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。

間違いの例：

- MP3 ではないファイルに、「.mp3」の拡張子をつける
- WMA ではないファイルに、「.wma」の拡張子をつける

USB メモリーの音楽ファイルを再生する

USB Type-C 端子に接続した USB メモリー内の音楽ファイルを再生して、音楽を楽しむことができます。USB メモリーを接続すると、ソース選択画面には、その機器名称のボタンが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

知識

音楽の再生中に、再生画面から選曲画面に移動すると、再生画面はミニプレーヤーとして表示されます。ミニプレーヤーを選択すると、元のサイズの再生画面を表示します。

USB メモリーを接続してください。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **ソース選択ボタンにタッチします。**

3 **機器名称または[USB]にタッチします。**

4 **必要に応じて、ファイル／トラックを選択します。**

[**フォルダ**]：フォルダ名から選曲できます。

[**アーティスト**]：アーティスト名から選曲できます。

[**アルバム**]：アルバム名から選曲できます。

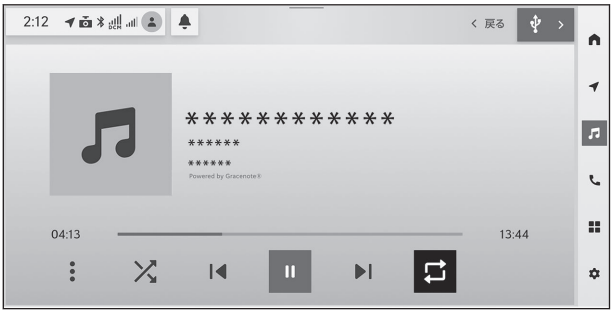
[**楽曲**]：曲名から選曲できます。

[**ジャンル**]：ジャンルから選曲できます。

[**作曲者**]：作曲者名から選曲できます。

5 **必要に応じて、再生中の USB メモリーを操作します。**

● 画面で操作する



再生画面：[**戻る**]をタッチすると、ミニプレーヤーになります。

[ ]：ランダム再生をします。タッチするたびに、ランダムの設定が切りかわります。

- [ ]：ランダム再生しません。

- [ ]: 再生中のフォルダからランダム再生します。
- [ ]: 全ファイル／トラックからランダム再生します。
- [ ]: 再生中のアルバムからランダム再生します。

[ ]: 再生中のファイル／トラックの先頭から再生します。 ファイル／トラックの先頭のときは､前のファイル／トラックの先頭から再生します。 長押しすると、早もどしします。手を離すと、その位置から再生します。

[ ]: 再生を一時停止します。

[ ]: 再生します。

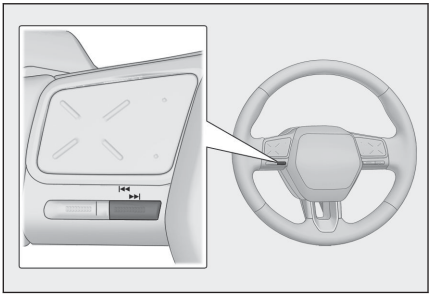
[ ]: ファイル／トラックが切りかわります。長押しすると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

[ ]: リピート再生をします。タッチするたびに、リピートの設定が切りかわります。

- [ ]: 全曲ファイルをリピート再生します。
- [ ]: 再生中の楽曲をリピート再生します。
- [ ]: 再生中のフォルダ内の楽曲をリピート再生します。
- [ ]: 再生中のアルバム内の楽曲をリピート再生します。

[ ]: 設定可能な項目を表示します。(→P.221)

● ステアリングスイッチで操作する



[ ]スイッチ

ファイル／トラックが切りかわります。上げ続ける、または下げ続けると、フォルダ／アルバムが切りかわります。

iPod モードで再生時の留意事項

iPod モードで再生するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

マルチメディアシステムで使用できる機器 については、「iPod モード/Apple CarPlay についての情報」(→P.397)をご覧ください。

知識

- iPod モード中に USB Type-C ケーブルを抜いたり、接続する機器を抜き挿ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- USB ハブを使用して複数の機器を接続した場合、最初に認識された機器以外は使用できません。
- 機器を接続している状態で、他ソースから iPod モードに切りかえたとき、前回、最後に再生していたトラックから再生されます。*1
- ハンズフリー利用中にて携帯電話での通話に切りかえた場合、通話中は同一機器による Bluetooth®オーディオと iPod モードは携帯電話の機種により音声が出力されないことがあります。

⚠ 警告

安全のため、運転者は運転中に機器を操作しないでください。

⚠ 注意

- 接続する iPod/iPhone の形やサイズによっては、コンソールボックスが完全に閉じない可能性があります。この場合、無理矢理コンソールボックスを閉じないでください。iPod/iPhone や端子が破損するおそれがあります。
- 機器を車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに機器が故障するおそれがあります。
- 接続中に機器を押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。機器や端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。機器や端子が破損するおそれがあります。

*1: お使いの機器によっては、動作が異なる場合があります。

iPod モードで再生する

USB Type-C 端子に接続した iAP2 対応の iPhone（Apple CarPlay 接続を除く）/iPad/iPod の音楽ファイルを再生できます。機器を接続すると、ソース選択画面には、その機器名称のボタンが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

知識

- 接続する機器の世代や機種によって、カバーアートの画像が粗くなったり、リストスクロールの表示が遅くなる場合があります。
- 接続する機器の世代や機種によって、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。
- 音楽の再生中に、再生画面から選曲画面に移動すると、再生画面はミニプレーヤーとして表示されます。ミニプレーヤーを選択すると、元のサイズの再生画面を表示します。

機器を接続してください。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **ソース選択ボタンにタッチします。**

3 **機器名称または[USB]にタッチします。**

4 **必要に応じて、トラックを選択します。**

[**プレイリスト**]：プレイリストから選曲できます。

[**アーティスト**]：アーティスト名から選曲できます。

[**アルバム**]：アルバム名から選曲できます。

[**楽曲**]：曲名から選曲できます。

[**ジャンル**]：ジャンルから選曲できます。

[**作曲者**]：作曲者名から選曲できます。

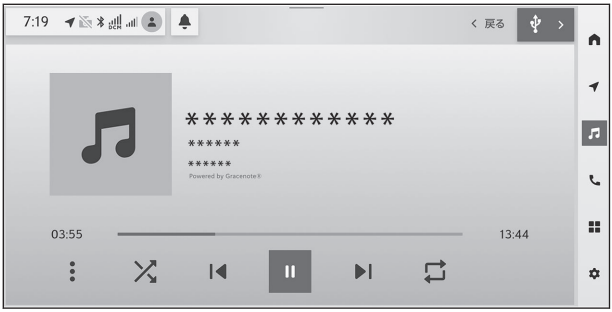
[**ラジオ**]：ラジオから選曲できます。

[**オーディオブック**]：オーディオブック名から選曲できます。

[**Podcasts**]：Podcast 名から選曲できます。

5 **必要に応じて、再生中の iPod を操作します。**

- 画面で操作する



再生画面：[**戻る**]をタッチすると、ミニプレーヤーになります。

[ ]：シャッフル再生をします。タッチするたびに、シャッフルの設定が切りかわります。*1

- [ ]：シャッフル再生しません。
- [ ]：再生中のアルバムからシャッフル再生します。
- [ ]：全ファイル／トラックからシャッフル再生します。

[ ]：再生中のトラックの先頭から再生します。 トラックの先頭のときは、前のトラックの先頭から再生します。長押しすると、早もどしします。手を離すと、その位置から再生します。

[ ]：再生を一時停止します。

[ ]：再生します。

[ ]：トラックが切りかわります。長押しすると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

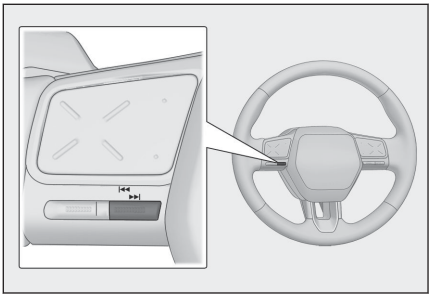
[ ]：リピート再生をします。タッチするたびに、リピートの設定が切りかわります。*1

- [ ]：リピート再生しません。
- [ ]：全曲ファイルをリピート再生します。
- [ ]：再生中の楽曲をリピート再生します。

[ ]：設定可能な項目を表示します。(→P.221)

● ステアリングスイッチで操作する

*1：シャッフル／リピートの設定がどの順番で切りかわるかは接続する機器によって異なります。



[⏮ ⏭]スイッチ

トラックが切りかわります。上げ続ける、または下げ続けると、早もどし／早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

Apple CarPlay 再生時の留意事項

Apple CarPlay で再生するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

知識

- ワイヤレス接続で Apple CarPlay を使用する場合は、事前に機器の登録が必要になります。
- Android Auto を接続しているときは、この機能を使用できません。
- Apple CarPlay を USB で接続しているときに、接続する機器を抜き挿ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- iPhone が接続されている状態で、他ソースから Apple CarPlay に切りかえたとき、前回、最後に再生していたトラックから再生されます。

⚠ 警告

安全のため、運転者は運転中に iPhone を操作しないでください。

⚠ 注意

- 接続する iPhone の形やサイズによっては、コンソールボックスが完全に閉じない可能性があります。この場合、無理矢理コンソールボックスを閉じないでください。iPhone や端子が破損するおそれがあります。
- iPhone を車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに iPhone が故障するおそれがあります。
- 接続中に iPhone を押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。iPhone や端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。iPhone や端子が破損するおそれがあります。

Apple CarPlay で再生する

USB Type-C 端子に接続した iPhone またはワイヤレス接続した iPhone の音楽ファイルを再生して楽しむことができます。Apple CarPlay に接続すると、ソース選択画面には、その機器名称のボタンが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

知識

- 接続する iPhone の世代や機種によって、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。
- 曲が正常に再生されない場合や音が途切れるなどの症状がある場合、iOS を最新のバージョンに更新してください。更新すると、問題が解消されることがあります。

Apple CarPlay を接続してください。

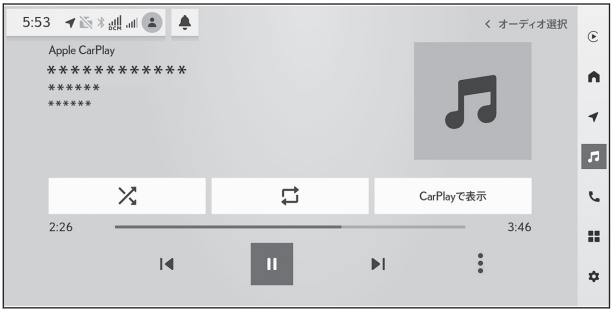
1 メインメニューの[♫]にタッチします。

2 ソース選択ボタンにタッチします。

3 機器名称（Apple CarPlay）にタッチします。

4 必要に応じて、再生中の Apple CarPlay を操作します。

- 画面で操作する



[⤮]：シャッフル再生をします。タッチするたびに、シャッフル再生の ON/OFF が切り替わります。*1

- [⤮]：シャッフル再生しません。
- [⤮]：再生中の楽曲が含まれるカテゴリ内でシャッフル再生します。

[🔁]：リピート再生をします。タッチするたびに、リピートの設定が切りかわります。*1

- [🔁]：リピート再生しません。

*1：シャッフル／リピートの設定がどの順番で切りかわるかは接続する機器によって異なります。

- [ ]: 全曲ファイルをリピート再生します。
- [ ]: 再生中の楽曲をリピート再生します。

[**CarPlay で表示**]: Apple CarPlay の画面を表示します。

[ ]: 再生中のトラックの先頭から再生します。トラックの先頭のときは、前のトラックの先頭から再生します。長押しすると、早もどしします。手を離すと、その位置から再生します。

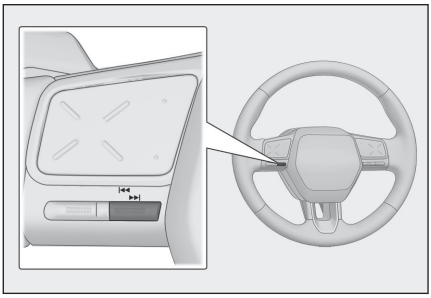
[ ]: 再生を一時停止します。

[ ]: 再生します。

[ ]: トラックが切りかわります。長押しすると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

[ ]: 設定可能な項目を表示します。(→P.221)

● ステアリングスイッチで操作する



[ ]スイッチ

トラックが切りかわります。上げ続ける、または下げ続けると、早もどし／早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

Android Auto 再生時の留意事項

Android Auto で再生するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

知識

- ワイヤレス接続で Android Auto を使用する場合は、事前に機器の登録が必要になります。
- Apple CarPlay を接続しているときは、この機能を使用できません。
- Android Auto を USB で接続しているときに、接続する機器を抜き挿ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- Android 機器を接続している状態で、他のソースから Android Auto に切りかえたとき、前回、最後に再生していたトラックから再生されます。

⚠ 警告

安全のため、運転者は運転中に Android 機器を操作しないでください。

⚠ 注意

- 接続する Android 機器の形やサイズによっては、コンソールボックスが完全に閉じない可能性があります。この場合、無理矢理コンソールボックスを閉じないでください。Android 機器や端子が破損するおそれがあります。
- Android 機器を車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに Android 機器が故障するおそれがあります。
- 接続中に Android 機器を押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。Android 機器や端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。Android 機器や端子が破損するおそれがあります。

Android Auto で再生する

USB Type-C 端子に接続した Android 機器またはワイヤレス接続した Android 機器の音楽ファイルを再生して楽しむことができます。Android 機器を接続すると、ソース選択画面には、その機器名称のボタンが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

Android Auto を接続してください。

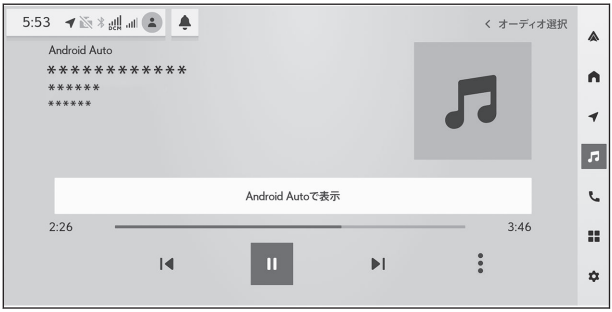
1 **メインメニューの[♫]にタッチします。**

2 **ソース選択ボタンにタッチします。**

3 **機器名称（Android Auto）にタッチします。**

4 **必要に応じて、再生中の Android Auto を操作します。**

● 画面で操作する



[**Android Auto で表示**]：Android Auto の画面を表示します。

[⏮]：再生中のトラックの先頭から再生します。トラックの先頭のときは、前のトラックの先頭から再生します。

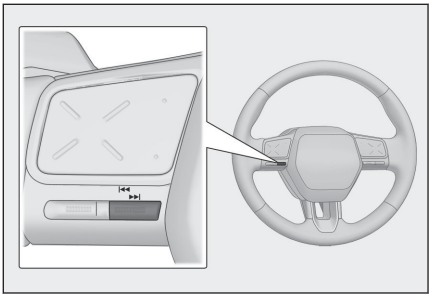
[⏸]：再生を一時停止します。

[▶]：再生します。

[⏭]：トラックが切りかわります。

[⋮]：設定可能な項目を表示します。(→P.221)

● ステアリングスイッチで操作する



[⏮ ⏭]スイッチ

トラックが切りかわります。

音楽配信サービスを再生する

音楽配信サービス（Spotify）を再生して楽しむことができます。

ご利用には、スマートフォンアプリ「My LEXUS」から「TOYOTA アカウント」と音楽配信サービスのアカウントとの連携が必要です。

スマートフォンアプリ「My LEXUS」については、Web サイト（https://lexus.jp/total_care/app_mylexus/）をご覧ください。

知識

- この機能を使用するには、G-Link の契約が必要です。車内 Wi-Fi オプションの契約をするか、Wi-Fi®でネットワークと接続した状態でご使用いただけます。詳細についてはレクサス販売店にお問い合わせください。
- 使用するサービスにより、画面の表示が異なる場合があります。
- 使用するサービスにより、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。
- 音楽の再生中に、再生画面から選曲画面に移動すると、再生画面はミニプレーヤーとして表示されます。ミニプレーヤーを選択すると、元のサイズの再生画面を表示します。

Spotify を再生する

1 **メインメニューの[♫]にタッチします。**

2 **ソース選択ボタンにタッチします。**

3 **[Spotify]にタッチします。**

4 **必要に応じて、トラックを選択します。**

Home：Spotify が推薦するトラックから選曲できます。

Recently Played：最近聴いたトラックから選曲できます。

Browse：カテゴリに基づいたプレイリストやおすすめトラックから選曲できます。

Your Library：ライブラリーに保存されたトラックから選曲できます。

5 **必要に応じて、再生中の Spotify を操作します。**

● 画面で操作する



[ ]: キューリストを表示します。

[ ]: 現在の再生トラックに基づいてプレイリストを作成します。*1

[ ]: ランダム再生をします。タッチするたびに、ランダム再生の ON/OFF が切り替わります。*1*2

- [ ]: ランダム再生しません。
- [ ]: 再生中の楽曲が含まれるカテゴリ内でランダム再生します。

[ ]: リピート再生をします。タッチするたびに、リピートの設定が切りかわります。*1

- [ ]: リピート再生しません。
- [ ]: 全曲ファイルをリピート再生します。
- [ ]: 再生中の楽曲をリピート再生します。

[ ]／[ ]: 15 秒前／後へスキップします。*3

[1x]: 再生速度を変更します。*3

[ ]: 再生しているトラックをライブラリに追加します。追加しているときにタッチすると、解除します。*4

[ ]／[ ]: トラックが切りかわります。長押しすると、早もどし／早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

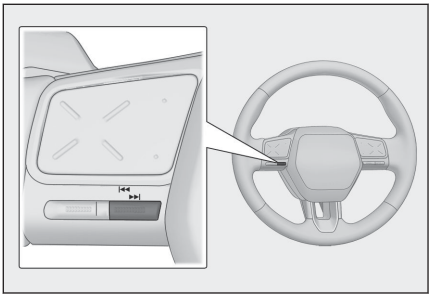
[ ]: 再生を一時停止します。

[ ]: 再生します。

[ ]: 設定可能な項目を表示します。(→P.221)

● ステアリングスイッチで操作する

*1: Podcast／オーディオブック再生時を除く
*2: ランダムの設定がどの順番で切りかわるかは機種によって異なります。
*3: Podcast／オーディオブック再生時
*4: オーディオブック再生時を除く



[⏮ ⏭]スイッチ

トラックが切りかわります。上げ続ける、または下げ続けると、早もどし／早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

HDMI 再生時の留意事項★

HDMI を再生するとき、特に気を付けていただきたいことがあります。

知識

- HDMI モード中に HDMI ケーブルを抜くと、オーディオが OFF になります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトポジションを P に入れたときに映像を視聴できます。（走行中は音声のみを再生します）
- パーキングブレーキがかかっていなくても、ブレーキホールドの作動中、またはクルーズコントロール機能による完全停車状態になっていれば動画を視聴できるように設定できます。
- Apple CarPlay 利用中に同一機器で HDMI を接続すると、HDMI モードで楽曲および動画を再生できない場合があります。

⚠ 警告

安全のため、運転者は運転中に接続した機器を操作しないでください。

⚠ 注意

- 接続する機器の形やサイズによっては、コンソールボックスが完全に閉じない可能性があります。この場合、無理矢理コンソールボックスを閉じないでください。機器や端子が破損するおそれがあります。
- 外部機器を車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに外部機器が故障するおそれがあります。
- 接続中に外部機器を押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。外部機器や端子が破損するおそれがあります。
- 端子に異物を入れないでください。外部機器や端子が破損するおそれがあります。

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

HDMI を再生する★

HDMI ケーブルを使用して、HDMI 端子に接続した外部機器を再生して、音楽や映像を楽しむことができます。

外部機器を接続してください。外部機器を接続することでソース選択画面に[HDMI]が表示されます。

1 メインメニューの[♫]にタッチします。
2 ソース選択ボタンにタッチします。
3 [HDMI]にタッチします。
4 必要に応じて、HDMI を操作します。

● 画面で操作する



画面にタッチすると、操作スイッチを表示します。

[⋮]: 設定可能な項目を表示します。(→P.263)

[⏻]: オーディオシステムを OFF にします。

HDMI 再生時の設定を変更する

1 メインメニューの[♫]にタッチします。
2 ソース選択ボタンにタッチします。
3 [HDMI]>[⋮]の順にタッチします。
4 必要に応じて、各項目を設定します。

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。



設定項目	内容
「サウンド」	
[**設定**]	設定可能な項目を表示します。(→P.221)
「画面設定」	
[**画質調整**]	映像のコントラストや明るさを調整できます。 ● 「明るさ」：明るさを調整できます。 ● 「コントラスト」：コントラストを調整できます。
[**ワイド設定**]	通常の映像とワイド映像を切りかえることができます。 ● [**ノーマル**]：入力映像をよこ 4：たて 3 の割合で表示します。 ● [**ワイド 1**]： 入力映像を画面に合わせて拡大して表示します。 ● [**ワイド 2**]： 入力映像を上下左右方向に均等に拡大して表示します。

知識

動画の見え方に違和感が生じないよう黒帯をつけて動画表示領域を制限する場合があります。

5 ハンズフリー電話

5-1. ハンズフリー電話使用上の留意事項

ハンズフリー電話についての留意事項 266

ハンズフリー電話が故障したとお考えになる前に 270

5-2. ステアリングスイッチでのハンズフリー電話の操作

ステアリングスイッチで操作する 273

5-3. 電話のかけ方

履歴から電話をかける 274

ワンタッチダイヤルから電話をかける 276

連絡先から電話をかける 277

キーパッドから電話をかける . 278

110 番／119 番にかける 279

ウェイト／ポーズ信号を使って電話をかける 280

5-4. 電話の受け方

電話に出る 281

着信を拒否する 283

5-5. 通話中の操作

通話画面で操作する 284

割込着信の電話に出る 286

通話中に別の通話相手へ電話をかける 287

グループ通話をする 288

電話を切る 289

5-6. ハンズフリー電話の変更

ハンズフリー電話を切りかえる 290

5-7. 連絡先データの編集

連絡先データの転送 291

ワンタッチダイヤルを登録する 293

ハンズフリー電話についての留意事項

動作確認済みの Bluetooth®携帯電話*1（以下「携帯電話」）を接続することで、携帯電話を直接操作することなく、「電話をかける」「電話を受ける」という電話機能を使用できます。これをハンズフリー電話と呼びます。

接続する携帯電話は、マルチメディアシステムの仕様に対応している必要があります。ただし、携帯電話の機種により、一部機能が制限される場合があります。

Apple CarPlay/Android Auto 接続中でも、状況によっては Apple CarPlay/Android Auto のハンズフリー電話画面にならない場合があります。

知識

- 携帯電話をハンズフリーで使用する場合は、次の点に注意してください。
  - 携帯電話は、マルチメディアシステムに登録して Bluetooth®接続しないとハンズフリー電話として使用できません。ハンズフリー電話を使用するときは、まず携帯電話の登録を行ってください。(→P.81)
  - 携帯電話は Bluetooth®機能を使用できる状態で使用してください。
  - Bluetooth®オーディオ再生中に発信／着信すると、画面の表示および発信音／着信音の鳴る動作が遅れる場合があります。
- マルチメディアシステムに対して、すべての Bluetooth®端末において動作を保証しているわけではありません。

  携帯電話の機種によっては、次のことがあります。
  - ハンズフリー電話中にパワースイッチの操作をすると、通話が切断される場合があります。
  - 発信画面が表示されず、相手が電話に出る前に通話画面が表示される場合があります。
  - 発信画面でキーパッドを使用して入力をしても、携帯電話会社のサービスによりトーン信号を送れない場合があります。
  - 発信操作後に携帯電話の操作が必要になる場合があります。
- 次の場合は、ハンズフリー電話を使用できないことがあります。
  - 通話エリア外のとき
  - 回線が混雑しているなど、発信規制中のとき
  - ヘルプネット動作中のとき
  - 携帯電話から連絡先データを転送中のとき
  - 携帯電話がダイヤルロックされているとき

*1: マルチメディアシステムで携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をレクサス販売店または Web サイト（https://lexus.jp/total_care/connected/smartphone/）のハンズフリー通話の動作確認済み携帯電話でご確認ください。なお、動作確認は、一定の条件下で確認したものです。そのため、携帯電話の仕様変更などにより、動作確認済機種でも、確認内容が変更になることがあります、あらかじめご了承ください。

- データ通信中など、携帯電話が使用中のとき
- 携帯電話が故障しているとき
- 携帯電話が接続されていないとき
- 携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき
- 携帯電話の電源が OFF のとき
- 携帯電話がハンズフリーを使用できない設定のとき
- マルチメディアシステムでデータ通信や連絡先転送からハンズフリー電話に切りかえているとき。（切りかえ中はマルチメディアシステムの Bluetooth®接続状態が表示されません）
- その他、携帯電話自体が使えないとき

● 応答保留操作は、マルチメディアシステムで操作できません。携帯電話で操作してください。

● ヘルプネットを使用する場合は、次の制限があります。

- ヘルプネット動作中はハンズフリー電話を使用できません。
- 着信中、保留中または通話画面表示中にヘルプネットが起動すると、ハンズフリー電話は強制終了されて、ハンズフリー電話画面が解除されます。

● ハンズフリー電話と Wi-Fi®機能を同時に使用する場合、携帯電話の Bluetooth®接続が切断される場合があります。

⚠ 警告

安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体を操作しないでください。

植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

⚠ 注意

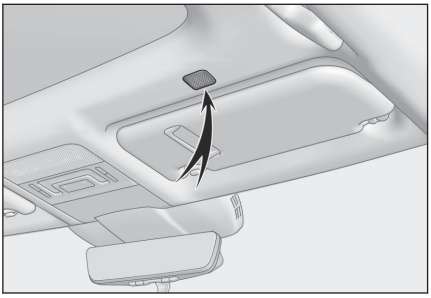
携帯電話は車室内に放置しないでください。車室内が高温のときに携帯電話が故障するおそれがあります。

通話音声の留意事項

ハンズフリー電話では、車両側に装備されているマイク*1 を通して通話ができます。ハンズフリー電話で通話するときに、特に気を付けていただきたいことがあります。

*1: グレード、オプションなどによりマイク位置が異なります。

- 着信時や通話時などの音声は、前席両側のスピーカーから出力されます。
- ハンズフリー電話で音声や呼び出し音などが出力されると、オーディオ音声などはミュート（消音）されます。



知識

- 通話時は通話相手と交互に話をしてください。通話相手と同時に話した場合、相手の音声がこちらに聞こえにくくなる場合があります。
- 受話音量が大きい場合、相手の音声が車外にもれたり、エコーが聞こえるおそれがあります。
- 音声は大きくはっきりと話してください。
- 次の場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなる場合があります。
  - 悪路走行時
  - 高速走行時
  - 窓やムーンルーフを開けているとき
  - エアコンの吹き出し口をマイクの方に向けたとき
  - エアコン送風の音が大きいとき
  - 携帯電話をマイクに近付けたとき
- 使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪化（ノイズ、エコーなど）することがあります。
- 他の Bluetooth®機器が同時に接続されている場合、ハンズフリー電話の音声にノイズが発生することがあります。
- マルチメディアシステムで Wi-Fi®機能を利用する設定にしていると、ハンズフリー電話の音声にノイズが発生することがあります。
- 携帯電話とマルチメディアシステムの受話音量／着信音量が連動することがあります。また、着信時、通話開始時に携帯電話からの音量変更により意図せず音量がかわることがあります。携帯電話の機種によっては、マルチメディアシステムとの受話音量／着信音量を連動できません。

⚠ 注意

マイクにふれたり、先の尖ったものを入れないでください。故障の原因となります。

お車を手放すときの注意

ハンズフリーを使用すると、多数の個人情報が登録されます。お車を手放すときには、すべての情報を初期化してください。(→P.61)

すべての情報の初期化を行うと、マルチメディアシステムの全データを初期化して工場出荷状態にもどります。初期化前の状態にもどすことはできません。

ハンズフリー電話が故障したとお考えになる前に

次の症状で気になったりお困りになったときは、考えられることと処置を参考に、もう一度確認してください。

■ ハンズフリー電話を使う

症状	考えられること	処置
ハンズフリー電話を使うことができない	携帯電話が Bluetooth® に対応していない。	マルチメディアシステムで動作確認済みの機種については、レクサス販売店または Web サイト（https://lexus.jp/total_care/connected/smartphone/）のハンズフリー通話の動作確認済み携帯電話でご確認ください。
	携帯電話のバージョンが Bluetooth®に適合していない。	Bluetooth® Core Specification Ver. 5.2 に対応した携帯電話を使用してください。(→P.79)

■ 携帯電話の登録と接続

症状	考えられること	処置
携帯電話が登録できない	携帯電話の登録操作が完了していない。	携帯電話に承認ボタンが表示されているときは承認ボタンを選択して、登録操作を継続してください。
	マルチメディアシステム、携帯電話どちらか一方の登録情報が残っている。	マルチメディアシステム、携帯電話双方の登録情報を削除してから、再度登録操作を行ってください。(→P.81,84)
Bluetooth®接続ができない	お使いになる携帯電話以外がすでに Bluetooth®接続状態にある。	お使いになる携帯電話をマルチメディアシステムから手動で Bluetooth®接続してください。(→P.86)
	携帯電話の Bluetooth® 機能が有効状態でない。	パワースイッチが ACC または ON のときに、携帯電話の Bluetooth®機能を有効にしてください。
	携帯電話の登録情報が削除されている。	マルチメディアシステム、携帯電話双方の登録情報を削除してから、登録操作を行ってください。(→P.81,84)

■ 着信と発信

症状	考えられること	処置
電話をかける、受けるができない	圏外にいる	通話可能エリア内に移動してください。

症状	考えられること	処置
電話をかける、受けるができない	携帯電話の発信制限（ダイヤルロック）がONになっている。	携帯電話の発信制限（ダイヤルロック）をOFFにしてください。

■ 連絡先

症状	考えられること	処置
連絡先データの自動転送ができない	携帯電話のプロファイルが連絡先データ転送に対応していない。	マルチメディアシステムで動作確認済みの機種については、レクサス販売店またはWebサイト（https://lexus.jp/total_care/connected/smartphone/）のハンズフリー通話の動作確認済み携帯電話でご確認ください。
	マルチメディアシステムのBluetooth®設定で、[**連絡先と通話履歴の自動転送**]がOFFになっている。	マルチメディアシステムのBluetooth®設定で、[**連絡先と通話履歴の自動転送**]をONにしてください。(→P.90)
	携帯電話が連絡先転送の承認待ちになっている。	携帯電話で連絡先転送承認ボタンを選択してください。
携帯電話に承認の確認画面が表示される	携帯電話が常に承認する設定になっていない。	携帯電話を常に承認する設定にしてください。
連絡先データがその他に登録される	携帯電話の連絡先に登録してある名称にふりがながない。	携帯電話の連絡先にふりがなを登録してください。

■ その他の状況

症状	考えられること	処置
考えられる処置をしても、症状が改善されないとき	携帯電話とマルチメディアシステムの距離が離れすぎている。	携帯電話とマルチメディアシステムの距離を近付けてください。
	電波干渉が発生している。	Wi-Fi®機器など電波を発生する機器の電源をOFFにしてください。 マルチメディアシステムのWi-Fi®設定をOFFにしてください。(→P.96,98)
	携帯電話に要因がある。	携帯電話の電源をOFFにして、電池パックを取り出してください。

症状	考えられること	処置
考えられる処置をしても、症状が改善されないとき	携帯電話に要因がある。	携帯電話の Bluetooth®接続を OFF から ON にしてください。
		携帯電話の Wi-Fi®接続を OFF にしてください。
		携帯電話のセキュリティソフト、または常駐アプリケーションを停止してください。
		携帯電話にインストールしたアプリケーションは、提供元および動作状況について十分ご確認の上ご利用ください。

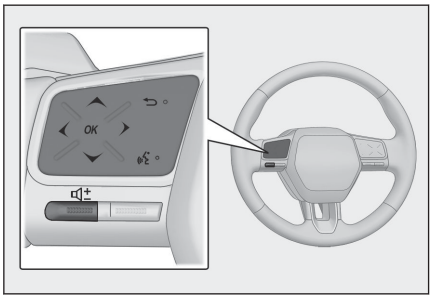
知識

詳細は、携帯電話に添付の取扱説明書で確認してください。

ステアリングスイッチで操作する

着信音量の変更など、一部のハンズフリー電話機能をステアリングスイッチから操作できます。マルチメディアシステムの状態によって、ステアリングスイッチの機能がかわります。

● **必要に応じて、各スイッチを操作します。**



[ ]スイッチ

着信音量／受話音量を調整します。

上げ続ける、または下げ続けると連続して調整できます。

[ ]スイッチ

エージェント（音声対話サービス）で電話をかけることができます。

エージェント（音声対話サービス）中にタッチし続けると、エージェント（音声対話サービス）を終了します。

メーター操作スイッチ

● 着信中、発信中、通話中に下記の操作ができます。メーター操作スイッチの操作方法については、別冊「取扱説明書」をご覧ください。

- 電話を受ける
- 電話を切る
- 電話を拒否する
- 保留／保留解除
- 話者切りかえ

履歴から電話をかける

発信または着信履歴として登録されている電話番号から電話をかけることができます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。

2 サブメニューの[履歴]にタッチします。

3 通話相手を選択します。

連絡先に登録されていない電話番号は、電話番号のまま表示されます。



[ ]：通話履歴詳細画面を表示します。通話履歴詳細画面では次のことができます。

- [ ]：発信します。
- [ ]：ワンタッチダイヤルの登録／解除をします。
- [ ]：連絡先詳細画面を表示します。

知識

- 最新の履歴 100 件を表示します。履歴が 100 件をこえると、古い履歴から自動で削除されます。
- 発信履歴は、状況によって次のように登録されます。
  - 連絡先またはマルチメディアシステムに登録されている電話番号に発信した場合、そのデータに名称情報および画像情報があると、名称および画像も登録されます。
  - 同一電話番号に発信した場合は、発信先名称のあとに発信回数が表示されます。
- 着信履歴は、状況によって次のように登録されます。
  - 連絡先に登録してある電話番号から着信した場合、そのデータに名称情報および画像情報があると、名称および画像も登録されます。
  - 同一電話番号から着信した場合は、すべて登録されます。
  - 不在着信および着信拒否も登録されます。

- 相手先電話番号の通知がない場合は、相手の名前は登録されません。

● 携帯電話の機種によっては、国際電話がかけられない場合があります。

ワンタッチダイヤルから電話をかける

よくかける電話番号をワンタッチダイヤルに登録する(→P.293)ことで、簡単な操作で電話をかけることができます。ワンタッチダイヤルは走行中でも使用できます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。

2 サブメニューの[ワンタッチダイヤル]にタッチします。

3 通話相手を選択します。



[**追加**]：連絡先／通話履歴からワンタッチダイヤルを登録できます。

[**編集**]：リストの並びかえ／削除することができます。

連絡先から電話をかける

マルチメディアシステムに登録している連絡先から電話をかけることができます。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **サブメニューの[連絡先]にタッチします。**

3 **連絡先を選択します。**

4 **希望の電話番号の[ ]にタッチします。**



[ ]: ワンタッチダイヤルの登録／解除をします。

[ ]: ナビゲーション画面を表示し、目的地に設定することができます。*1*2

知識

- 連絡先データが登録されていない場合、マルチメディアシステムに連絡先データを転送する必要があります。
- マルチメディアシステムの連絡先データは、接続しているハンズフリー電話の連絡先データが表示されます。

  2 台接続などでハンズフリー電話を切りかえた場合、連絡先データも切りかわります。

*1: 住所が連絡先に登録されている場合

*2: マルチメディアシステムのナビゲーション画面を表示します。Apple CarPlay または Android Auto ナビゲーションでは動作しません。

キーパッドから電話をかける

電話番号をキーパッドで入力し、電話をかけます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。

2 サブメニューの[キーパッド]にタッチします。

3 電話番号を入力します。



4 [ ]にタッチします。

知識

- 走行中はキーパッドの操作ができません。
- 携帯電話の機種によっては、携帯電話での操作が必要です。
- 入力した数字に完全一致する電話番号が連絡先に登録されていた場合、登録名称を表示します。

110 番／119 番にかける

緊急時に 110 番／119 番へ通報できます。

知識

- 走行中も発信できます。
- ヘルプネットによる緊急通報中は本機能からは通報できません。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。

2 サブメニューの[110・119]にタッチします。

3 [110 に電話する]または[119 に電話する]にタッチすると発信します。



ウェイト／ポーズ信号を使って電話をかける

ウェイト（w）／ポーズ（p）信号が含まれる番号に電話をかけることができます。ウェイト（w）／ポーズ（p）信号のあとに続く番号の送信を一時停止または 2 秒ほど停止できます。

- ウェイト（w）信号は番号の送信を一時停止させます。ユーザー操作後、次のウェイト（w）信号まで送信されます。途中にポーズ（p）信号が含まれる場合は 2 秒停止し、続く番号を送信します。
- ポーズ（p）信号は番号の送信を 2 秒停止させます。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **サブメニューの[連絡先]にタッチします。**

3 **連絡先を選択します。**

4 **ウェイト（w）／ポーズ（p）信号が含まれる電話番号を選択します。**

5 **電話番号にウェイト（w）信号が含まれている場合、[ ]を選択します。**



[ ]にタッチすると、ウェイト（w）信号で一時停止された番号が次のウェイト（w）信号まで送信されます。途中にポーズ（p）信号が含まれる場合は 2 秒停止し、続く番号を送信します。

知識

- 携帯電話の機種によっては、携帯電話の画面にウェイト信号はセミコロン（;）で、ポーズ信号はカンマ（,）で表示されます。
- 本機能は、国際電話などを利用するときに使用します。
- 本機能は、留守番電話や銀行の電話サービスなど、電話主体のサービスで自動操作が必要な場合に使用できます。
- 携帯電話の機種によっては、連絡先に登録したウェイト（w）／ポーズ（p）信号が転送されない場合があります。

電話に出る

着信があると着信音が鳴り、着信画面もしくは着信通知が表示されます。音声操作の設定で、[**音声操作サポート**]が ON の場合、着信したときにエージェント（音声対話サービス）が起動します。(→P.72)

● **次のいずれかの操作をして、電話に出ます。**



- [ ]にタッチします。
- 電話機を直接操作します。
- エージェント（音声対話サービス）で電話に出るための音声コマンドを発話します。(→P.40)

知識

- 駐車支援システム画面表示中は、着信画面が表示されません。着信音のみで着信が通知されます。
- 着信中は、ハンズフリー電話以外で出力される音声をミュート（消音）します。ただし、ハンズフリー電話より優先される音声案内は、ミュートされません。
- マルチメディアシステムで携帯電話の着信音を設定していても、携帯電話の設定によっては、マルチメディアシステムでは違う着信音が出力される場合があります。
- ドライブモードなど、携帯電話の設定によっては、着信できない場合があります。
- 携帯電話の機種によっては、次のことがあります。
  - 着信音は、車両スピーカーと携帯電話の両方から聞こえる場合があります。
  - 着信時に相手の電話番号が表示されない場合があります。
  - 携帯電話を直接操作して電話を受けたとき、または携帯電話を自動着信応答に設定したときは、携帯電話での通話になる場合があります。
  - 携帯電話でデータ通信を行っている最中に着信があったときは、着信画面がマルチメディアシステムに表示されず、着信音も鳴らない場合があります。

- マルチメディアシステムで着信音の設定を携帯電話の着信音以外に設定している場合、携帯電話をマナー（バイブレータ）モードや着信音消去に設定していても、マルチメディアシステムで登録されている着信音が出力されます。
- 応答保留中の携帯電話をハンズフリー電話に切りかえると、携帯電話は応答保留中のまま、マルチメディアシステムの通話画面が表示されます。応答保留の解除については、携帯電話側で操作してください。
- 携帯電話の設定で着信拒否に設定している電話番号から着信した場合、着信を拒否します。

着信を拒否する

マルチメディアシステムではいくつかの方法で着信を拒否できます。

● **着信中に、次のいずれかの操作をして、着信を拒否します。**

- [×]にタッチします。
- 電話機を直接操作します。
- エージェント（音声対話サービス）で着信を拒否するための音声コマンドを発話します。(→P.40)

知識

携帯電話の設定で着信拒否に設定している電話番号から着信した場合、着信を拒否します。

通話画面で操作する



[ ]: 通話相手を追加します。

- リストから発信先を選択し、通話を開始します。もとの通話相手は保留状態になります。
- 電話番号を入力して発信することもできます。

[ ]: 通話相手に発話した声が聞こえないように、送話音をミュート（消音）します。

解除するときは、再度ボタンにタッチします。

- 通話相手の声は聞くことができます。

[ ]: 通話中の電話を切ります。

[ ]: 保留中の通話を解除します。保留中のみ表示されます。

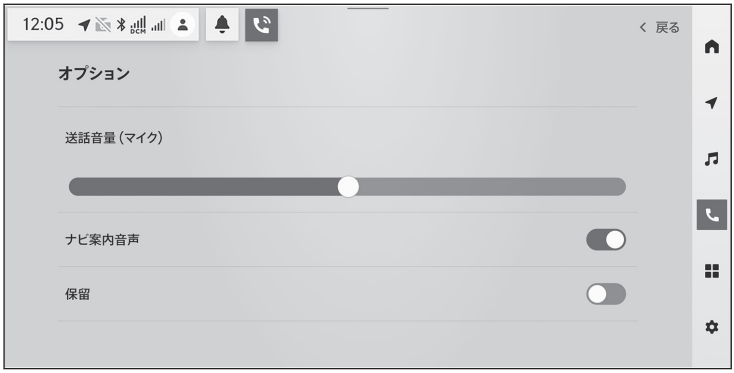
[ ]: 携帯電話とマルチメディアシステムのあいだで、通話を切りかえることができます。

[ ]: キーパッド画面を表示します。

走行中にキーパッドは操作できません。

[ ]: オプション画面を表示します。

オプション画面では次のことができます。



- [**送話音量(マイク)**]：送話音量を調整できます。
  送話音量を変更すると、音質が悪くなることがあります。
- [**ナビ案内音声**]：通話中のナビゲーション音声案内の割り込みを ON/OFF できます。
- [**保留**]：通話を一時的に保留できます。
  解除するときは、[**保留**]を OFF にします。
  携帯電話の機種によっては、保留できないことがあります。

[ⓘ]：連絡先詳細画面を表示します。

知識

- マルチメディアシステムの状態によっては、通話画面が表示されない場合があります。
- 携帯電話の機種によっては、通話を切りかえることができません。
- 走行中は、ハンズフリー電話での通話から携帯電話での通話に切りかえることはできません。
- 通話中の携帯電話がハンズフリー電話としてマルチメディアシステムに接続された場合、携帯電話の機種によって、携帯電話かマルチメディアシステムのどちらかの通話になります。
- ハンズフリー電話で通話中にパワースイッチを操作した場合、携帯電話の機種によって、通話が切断される場合と、携帯電話で継続される場合があります。携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。

割込着信の電話に出る

通話中に第三者から着信が入った場合、割込通話で両者と通話できます。割込着信が入ると、画面上部に着信通知が表示されます。

知識

- 携帯電話会社と割込通話の契約をしている必要があります。
- 携帯電話が HFP Ver. 1.5 以上のプロファイルに対応していない場合は、割込通話できません。
- 携帯電話の機種や契約内容によっては、本機能が利用できない場合があります。

● **割込着信中に、[ ]にタッチします。**



割込着信に出ると、通話していた相手は保留中になります。

[**通話切替**]にタッチするごとに通話相手が切りかわります。

割込着信を拒否する

通話中に第三者から着信が入った場合、割込着信を拒否できます。

割込着信中に、[ ]にタッチします。

知識

携帯電話の機種によっては、両者とも通話が切れる場合があります。携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。

通話中に別の通話相手へ電話をかける

通話中に新たに第三者へ電話をかけることができます。

1 **通話画面で、[ ]にタッチします。**



2 **[履歴]、[ワンタッチダイヤル]、[連絡先]のいずれかにタッチし、通話相手を選択します。**

- [**連絡先**]を選択した場合、連絡先詳細画面を表示します。
- [**キーパッド**]にタッチし、電話番号を直接入力することもできます。

本機能を利用すると、通話中の相手を保留します。

知識

- 携帯電話会社と割込通話の契約をしている必要があります。
- 携帯電話が HFP Ver. 1.5 以上のプロファイルに対応していない場合は、割込通話できません。
- 携帯電話の機種や契約内容によっては、本機能が利用できない場合があります。

グループ通話をする

通話相手と保留相手がいる場合に保留相手を通話に追加できます。

● **第三者と通話中に、[グループ通話]にタッチします。**

保留中の電話が保留解除され、グループ通話へ切りかわります。

知識

- 携帯電話会社とグループ通話の契約をしている必要があります。
- 携帯電話の機種や契約内容によっては、本機能が利用できない場合があります。
- グループ通話を切ると、グループ全員との通話が終了します。
- 携帯電話の機種によっては、グループ通話中の表示がされない場合があります。

電話を切る

ハンズフリー電話を切るには、通話中に次のいずれかの操作をします。

- 発信中または通話画面で、[]にタッチします。
- 携帯電話の操作で電話を切ります。

ハンズフリー電話を切りかえる

2 台の携帯電話をハンズフリー電話として接続している場合、それぞれの携帯電話を利用できます。ハンズフリー電話には、利用する携帯電話を切りかえる機能があります。ハンズフリー電話画面では、選択している携帯電話の連絡先や履歴などのデータが表示されます。着信などの機能は、選択されていない携帯電話も機能します。

ハンズフリー電話として 2 台接続するには、ドライバーを登録し、登録されたドライバーを設定している必要があります。(→P.56)

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **サブメニューに表示されている機器名称にタッチします。**



3 **使用したい携帯電話を選択します。**

通話中、着信中、発信中は他の携帯電話を選択できません。

[**設定**]: Bluetooth®設定画面を表示します。

知識

- ハンズフリー電話画面以外から電話をかける場合、メイン機器として発信されます。
- いずれかのハンズフリー電話で通話している場合、もう一方のハンズフリー電話からは発信できません。
- いずれかのハンズフリー電話で通話しているときに、もう一方のハンズフリー電話の着信に出た場合、最初の通話が切れます。
- 電話の着信機能は、選択されていない携帯電話の分も機能します。
- 携帯電話を切りかえても、メイン機器が変更されるわけではありません。

連絡先データの転送

連絡先は接続された携帯電話 1 台に付き､5000 名分のデータを登録できます。接続されている携帯電話に対応した連絡先のみ表示できます。この連絡先は、1 名に付き最大 4 件の電話番号が登録できます。接続された電話機ごとに連絡先は管理されます。

この機能は、自動転送（PBAP）に対応している携帯電話で使用できます。ご使用の携帯電話が自動転送（PBAP）に対応しているかは携帯電話に添付の取扱説明書または接続中の携帯電話の対応プロファイルを確認してください。(→P.79)

連絡先を自動転送（PBAP）するには、Bluetooth®設定で[**連絡先と通話履歴の自動転送**]を ON にする必要があります。(→P.90)

知識

- 連絡先データを転送する際、各データについては、次のような制限があります。
  - １つの連絡先に 5 件以上の電話番号が登録されている場合、マルチメディアシステム側の連絡先には同じ名称を複数登録してすべての電話番号を登録します。
  - 電話番号と同時に名称も転送されます。機種によっては記号などが転送されないことや、すべての文字が転送されないことがあります。また、転送されても正しく表示されないことがあります。
  - 通常はシークレットメモリーの読み出しは行いません。（携帯電話の仕様により可能な場合もあります）
  - 携帯電話に登録されているグループ名は転送されません。
  - マルチメディアシステム側の連絡先で表示される電話番号の種別は、転送元の情報をもとにして自動で割り当てられます。ただし、携帯電話の機種や使用環境によっては、表示されるアイコンがすべて同じになることがあります。
  - 連絡先データを転送する際、機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワードの入力を求められることがあります。詳細は接続する携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。
- 一括転送可能な機種は、連絡先データを転送する際、次のような特徴があります。
  - 転送には 10 分程度かかる場合があります。
  - 連絡先データ転送画面が表示されているときでも他画面に切りかえることができます。この場合、連絡先データ転送は継続されます。
- 連絡先データ転送中にパワースイッチを OFF にした場合、転送は中止されます。この場合は、ハイブリッドシステム< EV システム>を始動して、再度転送操作をやり直してください。
- 次の場合、転送中の連絡先データは保存されません。（転送された一部のデータも保存されません。）
  - マルチメディアシステム側のメモリー容量により途中で自動転送（PBAP）が終了したとき。
  - 何らかの原因で自動転送（PBAP）が中断されたとき。

- マルチメディアシステム側の連絡先データを携帯電話に転送することはできません。
- 連絡先データ転送中は、Bluetooth®オーディオの接続が切断されることがあります。この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります）
- 転送するときは、マルチメディアシステムを起動した状態で行ってください。
- 自動転送（PBAP）機能により連絡先、履歴をマルチメディアシステムに転送できます。
- 自動転送（PBAP）で連絡先データを転送したときに、機種によっては携帯電話の操作が必要な場合があります。
- 自動転送（PBAP）で連絡先を転送する場合、携帯電話の連絡先の共有設定を有効にする必要があります。
- 自動転送（PBAP）が開始されない場合、他の機能をすべて終了させると自動転送が開始されることがあります。
- 連絡先の画像データを転送するには、Bluetooth®設定で[**連絡先と通話履歴の自動転送**]を ON にする必要があります。(→P.90)

ワンタッチダイヤルを登録する

よく利用する電話番号を登録しておくことで、ワンタッチで呼び出すことができます。ワンタッチダイヤルは携帯電話ごとに登録が必要です。

連絡先からワンタッチダイヤルを登録する

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 サブメニューの[ワンタッチダイヤル]にタッチします。
3 [ワンタッチダイヤル登録]にタッチします。
すでに登録されているワンタッチダイヤルがある場合、[**追加**]にタッチします。



4 サブメニューの[連絡先]にタッチします。
5 登録したいデータを選択します。
6 電話番号種別（自宅や携帯など）を選択します。

知識

連絡先画面の[ ]にタッチしてワンタッチダイヤルの登録／解除をすることもできます。

履歴からワンタッチダイヤルを登録する

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 サブメニューの[ワンタッチダイヤル]にタッチします。
3 [ワンタッチダイヤル登録]にタッチします。
すでに登録されているワンタッチダイヤルがある場合、[**追加**]にタッチします。



4 **サブメニューの[履歴]にタッチします。**

5 **登録したいデータを選択します。**

登録可能なデータは、連絡先に登録されているデータのみです。

知識

通話履歴詳細画面の[♡]にタッチしてワンタッチダイヤルの登録／解除をすることもできます。

ワンタッチダイヤルを削除する

ワンタッチダイヤルの登録を削除できます。

1 **メインメニューの[📞]にタッチします。**

2 **サブメニューの[ワンタッチダイヤル]にタッチします。**

3 **[編集]にタッチします。**

4 **削除したいデータの[⊖]にタッチします。**

データをドラッグして、並びかえることができます。



5 **[完了]にタッチします。**

6 G-Link

6-1. G-Link のサービス概要

G-Link とは 296
データ通信に関する留意事項 . 297

6-2. G-Link の利用手続き

G-Link を契約する 300
G-Link を利用する 301
G-Link を解約する 304

6-3. ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）

ヘルプネットについて 305
各部の名称とはたらき 307
安全のために 308
ヘルプネットをお使いになる前に 310
緊急通報をする 311
保守点検をする 315
表示灯について 318
緊急通報できない場合について 320
故障とお考えになる前に 322

6-4. リモートメンテナンスサービス

リモートメンテナンスサービスについて 323

G-Link とは

G-Link は通信モジュール（DCM）を介してお車がお客様と常につながることにより、安心、安全、快適なカーライフをサポートするコネクティッドサービスです。



■ G-Link サービス

ご利用可能な G-Link サービスは、https://lexus.jp/total_care/をご覧ください。

データ通信に関する留意事項

G-Link を利用するには、別途利用手続きをしていただく必要があります。

安全にご利用するため注意すること

G-Link をご利用になるときは、次の注意事項を必ずお守りの上、正しくお使いください。

■ 走行中の操作、表示規制について

走行中に G-Link をご利用になると、安全のため、操作の一部を制限したり、コンテンツによってはコンテンツ表示部分を覆って、メッセージを表示します。このようなコンテンツをご覧になるときは、安全な場所に車を停車させてご覧ください。

■ 消耗品について

エアバッグ作動による自動通報を補助するため、ヘルプネット専用補助バッテリーを搭載しています。寿命による交換時期は、ヘルプネットスイッチの表示灯（赤点滅）でお知らせします。また、エアバッグ作動による自動通報を実施した際は、安全のため交換をお願いします。ヘルプネット専用補助バッテリーの交換についてはレクサス販売店にご相談ください。

⚠ 警告

安全のため、運転者は走行中に極力操作（音声操作も含む）をしないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

通信機器について

G-Link は、通信モジュール（DCM）を利用して、データ通信を行います。

■ 通信モジュール（DCM）について

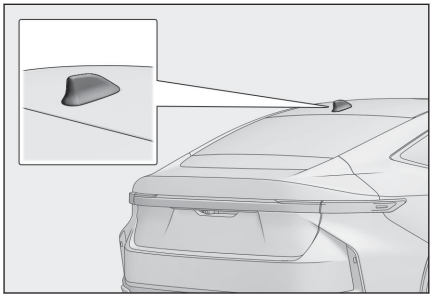
車両に装着した通信モジュール（DCM）で通信を行います。ご利用には G-Link 利用申込みが必要です。通信費は G-Link 利用料金に含まれます。利用料金は、レクサス販売店または https://lexus.jp/total_care/）でご確認ください。

リコール情報などのお車に関する大切なお知らせを、トヨタ自動車（株）またはレクサス販売店からリモートメンテナンスメールによりお送りするため、G-Link の契約の有無にかかわらず、通信を行う場合があります。

通信アンテナについて

通信モジュール（DCM）は通信アンテナを使用します。

通信アンテナは、ルーフ後部とインストルメントパネルに設置されています。



■ ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

データ通信時の電波について、次の点にご注意ください。

⚠ 警告

植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器をお使いの方は、G-Link をお使いになる前に、医師や医療用電気機器の製造事業者などに個別にご相談ください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

データ通信時の留意事項

G-Link は、データ取得時に通信を行います。

次の点をご理解の上、正しくお使いください。

- 通信方式は、KDDI 株式会社の LTE 方式です。LTE サービスエリアでは、最大 150 Mbps のデータ通信サービスがご利用いただけます。サービスエリアは同社サービスエリア図をご覧ください。なお、通信状況はさまざまな要因で変動します。必ずしもサービスエリア内にいれば、常に通信が可能というわけではありません。
- 次のような通信環境では、データ通信できません。
  - トンネルの中にいるとき
  - 地下駐車場にいるとき
  - 山奥などの通信圏外にいるとき
  - 回線が混雑しているなど、発信規制中のとき
- 通信モジュール(DCM)は、お客様に G-Link をご利用いただくため、トヨタ自動車（株）またはレクサス販売店よりお客様に対しリコールなどの大切なお知らせをお送りするためなどの目的で、G-Link を契約されない場合または解約された場合であっても、初度登録日から一定期間、通信事業者とのあいだで通信回線を維持します。
- 通信モジュール(DCM)の回線維持期間経過後に G-Link を新たにご契約いただく場合、通信モジュール(DCM)の回線を接続するための費用が必要になることがありますので、あらかじめご了承ください。

- この先、通信事業者にて通信に使用する電波が変更もしくは打ち切りになった場合、G-Link が使用できなくなります。（その場合には事前にご連絡します。）

知識

- G-Link はデータ取得に通信を利用するため、通信環境の整わない状況では通信を利用するサービスはすべて利用できません。
- データ取得までの時間は、マルチメディアシステムの状態やデータの内容、電波状態によって異なります。
- GPS 信号を長い間（数カ月間）受信していないとき、または補機バッテリーとの接続が断たれたときは、データ通信ができなくなることがあります。この場合は、GPS 信号が受信できる場所に車を移動してください。
- 全ての情報を初期化したあとはしばらく通信できないことがあります。通信できない場合には、システムの再起動を実施してください。

受信レベルについて

画面左上に受信レベルが表示されます。データ通信時の目安にしてください。

レベル	表示
未接続時	
圏外	
弱	
強	

知識

受信レベル表示が**「圏外」**の場合でも、マルチメディアシステムはデータ取得動作を行いますが、一定時間経過してもデータ取得できない場合は、自動的に中止します。中止までの時間はマルチメディアシステムの通信状態によって異なります。

G-Link を契約する

G-Link をご利用いただくには G-Link 契約が必要となります。

■ 新規契約を行う

- 新車購入時：購入時にレクサス販売店でお申し込み[*1] いただけます。基本サービス利用料は無料となります（オプションサービスは一部のサービスを除き有料となります）。
- 認定中古車購入時：購入時にレクサス販売店でお申し込み[*1] いただけます。基本サービス利用料は無料となります（オプションサービスは一部のサービスを除き有料となります）。
- 認定中古車以外の中古車購入時：WEB サイトから G-Link Lite をお申込みいただけます。G-Link Lite については https://lexus.jp/total_care/g-link/g-book/lite/を参照ください。

■ 継続契約を行う

契約の更新月が近づくとトヨタコネクティッド株式会社よりお知らせが届きます。そちらに記載の手続き方法にしたがって契約の更新を行うことができます。

*1：お申し込みの際に、手数料をいただく場合があります。手数料は販売店が独自に定めておりますので、詳しくは販売店におたずねください。

G-Link を利用する

ご利用の際には各サービスの使用方法、留意事項を確認のうえご利用ください。

ご利用の前に

ヘルプネットの手動保守点検を行ってください。手動保守点検は必ず契約者本人が行うようにしてください。

各サービスを使う

- ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）
- コネクティッドナビ*1

  コネクティッドナビは、ご契約プランにより、契約更新月が近づくとトヨタコネクティッド株式会社よりお知らせが届きます。そちらに記載の手続き方法に従って契約の更新を行うことができます。
- エージェント（音声対話サービス）*1
- マイセッティング
- デジタルキー★
- リモートメンテナンスサービス
- 車内 Wi-Fi*2
- スマホ de ドラレコ★*3

上記以外のサービスの使用方法はスマートフォンアプリ「My LEXUS」のヘルプ、もしくは https://lexus.jp/total_care/をご確認ください。

WEB サイト

■ G-Link 公式サイト

G-Link サービスの概要などを確認することができます。

- URL：https://lexus.jp/total_care/
- QR コード

*1：コネクティッドナビのオプション契約が必要です。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

*2：車内 Wi-Fi のオプション契約が必要です。

*3：スマホ de ドラレコのオプション契約が必要です。

■ My LEXUS（WEB）

G-Link の契約情報の確認、オプションの契約などを行うことができます。

- URL：https://lexus.jp/member/mylexus/
- QR コード

■ デジタルキー公式サイト

デジタルキー搭載車両は、デジタルキーをご利用いただけます。デジタルキーの詳細は、「取扱説明書」をご覧ください。

- URL：https://lexus.jp/total_care/app_digitalkey/
- QR コード

スマートフォンアプリ

■ My LEXUS（アプリ）

お車の燃料残量や走行距離の確認、G-Security の各サービスなどを利用することができます。

- URL：https://lexus.jp/total_care/app_mylexus/

● QR コード



G-Link を解約する

お車を手放す場合など、G-Link を解約する際は WEB サイトまたは G-Link サポートセンターから行うことができます。

WEB サイトから解約するには

My LEXUS サイトにログインして解約手続きをしてください。

URL：https://lexus.jp/member/mylexus/

G-Link サポートセンターから解約するには

G-Link サポートセンターに連絡して解約してください。

全国共通・フリーコール

0800-300-3388

受付時間　9：00～18：00

年中無休

自動車検査証（車検証）をご準備のうえ、必ずご契約者ご本人からご連絡ください。

知識

- G-Link を解約した場合であっても、トヨタ自動車（株）またはレクサス販売店からリコール情報などのお車に関する大切なお知らせを、通信モジュール(DCM)を利用し、お車にリモートメンテナンスメールでご連絡する場合があります。

注意

- お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放すときは、解約手続きおよび全ての情報の初期化(→P.61)を必ず行ってください。

ヘルプネットについて

ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）は、交通事故発生時や急病などの緊急事態発生時に、自動またはボタン操作でヘルプネットセンターに電話接続し、車内からの通報救援要請を補助支援するシステムです。

さらに、あおり運転などのトラブルのときでも、警察へ状況に応じて通報します。

また、交通事故発生時車両データの活用により、お客様の重症度を推定し、ドクターヘリなどの早期出動判断を行う D-Call Net 機能に対応しています。

ヘルプネットは、警察や消防への緊急通報サービスです。ロードサービスへの取次ぎは行いません。

ヘルプネットは株式会社日本緊急通報サービスの登録商標です。

知識

- いたずらなどで緊急車両などが出動したとき、該当費用に関しての請求をされたり、関連法規により処罰されることがあります。いたずらをしないでください。
- 事故発生時以外でも、エアバッグが作動したときには自動通報します。このようなときには、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて通報を終了してください。
- 表示灯は、緊急通報可能または不可能状態を正しく表示しないことがあります。たとえば、解約時の処理をしていない中古車などに搭載された通信モジュールを使用するときは、サービスの契約をしていない状態でも緊急通報可能状態として表示することがあります。

注意

- ヘルプネットスイッチパネルなどに液体をかけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。ヘルプネットスイッチパネルなどが故障すると、緊急通報ができなくなったり、システム状態を正確にお知らせすることができなくなります。ヘルプネットスイッチパネルなどが故障したときは、必ずレクサス販売店にご相談ください。
- 緊急通報および手動保守点検時は、スピーカーまたはマイクに故障不具合などがあると、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話できません。これらの機器が故障したときは、必ずレクサス販売店にご相談ください。

サービス開始と解約について

ヘルプネットは、G-Link 申込み後にヘルプネット手動保守点検を実施すると利用できます。ハイブリッドシステム＜ EV システム＞始動後、しばらくすると緑の表示灯が点灯します。その後、ヘルプネット手動保守点検を必ず契約者本人で行うようにしてください。

ヘルプネットを解約したいときは、G-Link 契約を解約すると、同時に解約されます。

緊急通報について

■ エアバッグ作動による自動通報

エアバッグ作動時など、お車に一定以上の衝撃が加わると、自動的にヘルプネットセンターに通報します。

■ ドライバー異常時対応システム*1 作動による自動通報

ドライバー異常時対応システム作動によってお車が自動停車すると、自動的にヘルプネットセンターに通報します。

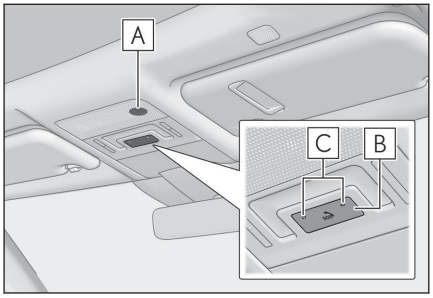
■ ボタン操作による手動通報

乗員がヘルプネットボタンを押すと、ヘルプネットセンターに通報します。

*1: 詳細は、「取扱説明書」をご覧ください。

各部の名称とはたらき

■ ヘルプネットスイッチパネル



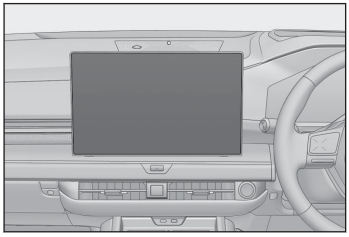
A スピーカー：緊急通報中や手動保守点検中のハンズフリー通話時に音声を出力します。

B ヘルプネットボタン：ボタン操作による手動通報をします。また、手動保守点検をするときに押します。

C 表示灯：赤と緑の表示灯の点灯の組み合わせにより機器の故障、緊急通報中などシステムの動作を知らせます。

■ マルチメディアシステム

緊急通報時や保守点検時にメッセージを表示します。



安全のために

⚠ 警告

- 安全運転を心がけてください。ヘルプネットは、交通事故や急病時などの救援通報を補助するものであり、乗員保護の機能を持つものではありません。乗員保護のために、乗員はシートベルトを着用し、安全運転を心がけてください。
- 緊急事態が発生したときは、人命救助とけが人の対処を最優先にしてください。
- 緊急事態発生により燃料の匂いや異臭を感じるときは、車内にとどまらずにただちに安全な場所に避難してください。
- 手動保守点検は契約者本人が行い、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯していることを必ず確認してください。
- マルチメディアシステムは衝撃などによって、作動しなくなることがあります。このようなときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 補機バッテリーの電圧低下または接続が断たれたとき、ヘルプネットセンターと通信できないことがあります。
- 携帯電話サービスエリア内であっても電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話が困難になることがあります。この場合は、ヘルプネットセンターと回線接続しても、ヘルプネットセンターと通信できず、救援要請の通報および通話ができません。緊急通報できないときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 事故発生時、エアバッグが作動せず、車両へ強い衝撃が加わっていないときは自動通報されません。また、エアバッグが作動しても通報されないことがあります。このようなときにはボタン操作による手動通報をしてください。
- 以下のときは緊急通報できません。緊急通報できないときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
  - 携帯電話サービスエリア外で使用している
  - 関連機器（ヘルプネットスイッチパネル、ディスプレイ、マイク、スピーカー、通信モジュール、アンテナ、およびこれらを接続する電気配線など）に異常または損傷があり、故障している
  - G-Link 契約が未契約である
  - 手動保守点検を実施していないため、緊急通報可能状態になっていない
- 緊急通報時に、電波状態などの理由で回線接続ができないときは、緊急通報は終了せず電話接続できるまでヘルプネットセンターへの回線接続をくり返し行います。電波状態の良好な場所に移動するか、携帯電話/公衆電話などから直接通報してください。
- 緊急通報後に救援を待つ間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
- 安全のため、走行中は緊急通報をしないでください。走行中の通報はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。緊急通報は、停車して安全を確認してから行ってください。

⚠ 警告

- G-Link 契約を解約してもヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯しているときは、レクサス販売店にご相談ください。
- ヒューズ交換は、必ず表示された規格のヒューズをご使用ください。規定以外のヒューズを使用すると、発煙、発火の原因となり、火災につながるおそれがあり危険です。
- 煙が出る、異臭がするなど異常な状態で使用すると、発火の原因になります。ただちに使用を中止してレクサス販売店にご相談ください。

⚠ 注意

- マルチメディアシステム内部は精密な構造になっています。無理に分解しようとすると、故障の原因になります。万一、異常などがあるときには、すぐにレクサス販売店にご相談ください。
- 関連機器などの取りはずしをすると、接触不良や機器の故障などを引き起こし、緊急通報ができなくなることがあります。取りはずしが必要なときには、レクサス販売店にご相談ください。
- 緊急通報および手動保守点検時は、スピーカーまたはマイクに故障などがあると、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話ができません。これらの機器が故障したときは、必ずレクサス販売店にご相談ください。
- 以下の温度範囲以外では、緊急通報が正常に動作しないことがあります。そのときは、最寄りの公衆電話などを使用してください。動作温度範囲：-20℃～+ 60℃
- 実際の通報地点とヘルプネットセンターに通報される位置には、誤差が発生することがあります。通報地点や目標物は、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話で相互確認してください。
- 呼び返し待機状態で火災発生などの危険がある場合、および車外に避難するときは、パーキングブレーキをしっかりかけて、パワースイッチを OFF にしてください。

ヘルプネットをお使いになる前に

ヘルプネットは、手動保守点検を実施してからご利用ください。

1 **手動保守点検を行い、以下の点を確かめる。**

- 通信が正常に始まる。
- 通話ができる。
- 通報位置が正しい。（ヘルプネットセンターとの通話で確認）

2 **手動保守点検後、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯していることを確かめる。**

ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯しないときは、再度、手動保守点検をしてください。

⚠ 警告

- 以下のように、関連機器が正常に動作しないとき、緊急時にヘルプネットセンターへ正しい情報が伝わらず、救援困難となる可能性があります。
  - 通信が始まらない。
  - 通報位置とヘルプネットセンターの位置表示が違う。
  - 通話できない。
- 手動保守点検後、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯しないとき、緊急通報は動作しません。表示灯が正常に点灯しないときは、レクサス販売店にご相談ください。

緊急通報をする

エアバッグ作動による自動通報

エアバッグ作動時など、お車に一定以上の衝撃が加わると、自動的にヘルプネットセンターに通報されます。

1 **エアバッグ作動時など、車に一定以上の衝撃が加わると、緊急通報が開始されます。**

- スイッチパネルの緑の表示灯が点滅し、システムが作動していることを知らせます。
- メッセージが表示され、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。
- エアバッグが作動しなくても、事故の形態によっては通知を開始する場合があります。

2 **ヘルプネットセンターに車両の位置などが送信されます。**

3 **データ通信完了後、通話モードになります。**

4 **通話画面が表示されます。ヘルプネットセンターのオペレーターに、状況やけがの状態、警察や消防への通報の要・不要を伝えます。**

オペレーターからの呼びかけに応答がなくても、緊急車両などを手配することがあります。

5 **警察や消防への通報が必要なときは、ヘルプネットセンターが警察や消防に接続します。**

6 **通話終了後、通話画面が終了します。その後約 60 分間は、ヘルプネットセンターおよび救援機関からの電話による問い合わせのため、呼び返し待機状態になります。このあいだにかかってくる電話は、自動的にハンズフリー通話でつながります。**

⚠ 警告

- 呼び返し待機状態のあいだは、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
- 呼び返し待機中は、緊急通報に関係のない着信も自動的にハンズフリー通話でつながります。通話中は救援活動に関わる着信であっても、着信できません。

緊急通報終了後約 60 分間の呼び返し待機状態で電話がかかってくると、さらに約 60 分間、呼び返し待機状態が延長されます。このあいだにかかってくる電話は自動的にハンズフリー通話でつながります。呼び返し待機中にパワースイッチを OFF にしても、60 分間は呼び返し待機状態が継続し、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅表示します。

7 **呼び返し待機状態が終了すると、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅表示を終了します。**

8 **車内および車外の状況に応じて二次災害を防ぎながら、最も安全な処置をして救援を待ちます。**

知識

- 緊急通報中に音声案内が流れているあいだは、通話することができません。音声案内が終わったら、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話して、状況をお知らせください。
- 緊急通報開始から通話終了までのあいだは、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。
- 誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、車両から通信または通話を終了することができません。終了する場合には、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて通報を終了してください。ただし、オペレーターとの通話中に電波状態の悪化によって回線が切断されることがあります。

⚠ 警告

緊急通報できなかったときは、最寄りの公衆電話などから通報してください。

- 携帯電話サービスエリア外では緊急通報できません。緊急通報できなかったときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 携帯電話サービスエリア内であっても、電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話することが困難になることがあります。このときは、ヘルプネットセンターと回線接続しても通信できず、救援要請の通報および通話ができません。
- 緊急通報時に、電波状態などの理由で回線接続ができないときは、緊急通報は終了せず電話接続できるまでヘルプネットセンターへの回線接続をくり返し行います。電波状態の良好な場所に移動するか、携帯電話/公衆電話などから直接通報してください。

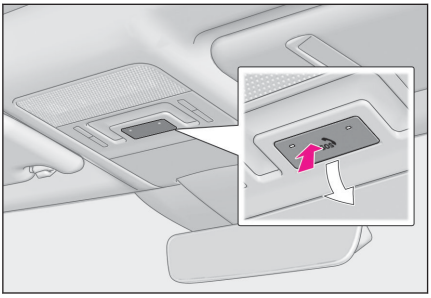
ボタン操作による手動通報

急病などの緊急事態発生時、車内からヘルプネットセンターへ通報するときにボタン操作をすることで緊急通報ができます。

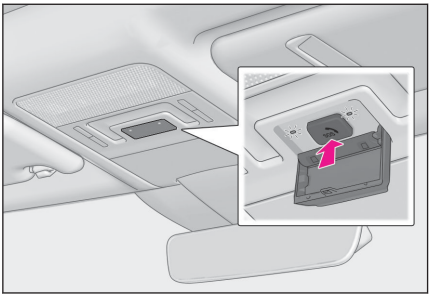
パワースイッチが ACC または ON のとき、ヘルプネットボタンを押すと緊急通報が始まります。あとは音声案内やヘルプネットセンターのオペレーターの指示にしたがってください。

1 **ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯していることを確かめます。**

2 ヘルプネットスイッチパネルのカバーを開きます。



3 ヘルプネットボタンを押します。



4 ヘルプネットセンターへ接続を開始し、緊急通報が開始されます。

- スイッチパネルの緑の表示灯が点滅し、システムが作動していることを知らせます。
- メッセージが表示され、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。

5 ヘルプネットセンターにデータ通信を行い、車両の位置などが送信されます。

6 データ通信完了後、通話モードになります。

7 通話画面が表示されます。ヘルプネットセンターのオペレーターに、状況やけがの状態、警察や消防への通報の要・不要を伝えます。

手動通報時には、ヘルプネットセンターのオペレーターは、通報者の要請に基づき警察、消防などに接続します。通話にて状況を直接オペレーターにお知らせください。

8 警察や消防への通報が必要なときは、ヘルプネットセンターが警察や消防に接続します。

9 通話終了後、通話画面が終了します。その後約 60 分間は、ヘルプネットセンターおよび救援機関からの電話による問い合わせのため、呼び返し待機状態になります。このあいだにかかってくる電話は、自動的にハンズフリー通話でつながります。

緊急通報終了後約 60 分間の呼び返し待機状態で電話がかかってくると、さらに約 60 分間、呼び返し待機状態が延長されます。このあいだにかかってくる電話は自動的にハンズフリー通話でつながります。呼び返し待機中にパワースイッチを OFF にしても、60 分間は呼び返し待機状態が継続し、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅表示します。

⚠ 警告

- 呼び返し待機状態のあいだは、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
- 呼び返し待機中は、緊急通報に関係のない着信も自動的にハンズフリー通話でつながります。通話中は救援活動に関わる着信であっても、着信できません。

10 **呼び返し待機状態が終了すると、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅表示を終了します。**

知識

- 緊急通報中に音声案内が流れているあいだは、通話することができません。音声案内が終わったら、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話して、状況をお知らせください。
- 緊急通報開始から通話終了までのあいだは、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。
- 誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、車両から通信または通話を終了することができません。終了するときには、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて通報を終了してください。ただし、オペレーターとの通話中に電波状態の悪化によって回線が切断されることがあります。

⚠ 警告

- 緊急通報できなかったときは、最寄りの公衆電話などから通報してください。
  - 携帯電話サービスエリア外では緊急通報できません。緊急通報できなかったときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
  - 携帯電話サービスエリア内であっても、電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話することが困難になることがあります。このときは、ヘルプネットセンターと回線接続しても通信できず、救援要請の通報および通話ができません。
  - 緊急通報時に、電波状態などの理由で回線接続ができないときは、緊急通報は終了せず電話接続できるまでヘルプネットセンターへの回線接続をくり返し行います。電波状態の良好な場所に移動するか、携帯電話/公衆電話などから直接通報してください。

保守点検をする

自動保守点検について

自動保守点検は、定期的に自動で実施される保守点検です。お客様が会員登録されているかを、ヘルプネットセンターが確かめます。

自動保守点検を行うための特別な操作は、必要ありません。

- 点検時期：株式会社日本緊急通報サービスが定める期間ごとに行われます。
- 点検時間：開始後 1～ 2 分で終了します。

⚠ 注意

自動保守点検開始後、何らかの理由で通信が中断されてしまったときは、次にパワースイッチを OFF から ACC または ON にしたときに、再び自動保守点検を開始します。何度も正常に終了しないときは、レクサス販売店にご相談ください。

手動保守点検を実施する

手動保守点検は、お客様ご自身が手動で実施する保守点検です。

手動保守点検は、以下の保守点検を実施します。

- 関連機器の保守点検（関連機器修理点検や車両修理後の保守点検）
- ヘルプネットセンターに会員登録されているかの確認（加入時、契約内容変更時）

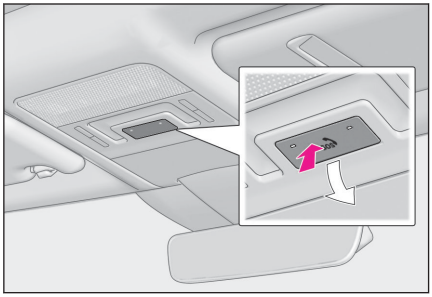
⚠ 警告

手動保守点検の途中で、パワースイッチを OFF にしないでください。手動保守点検が正しく終了しません。スイッチを OFF にしてしまったときは、再度手動保守点検をやりなおしてください。

1 **できるだけ見晴らしの良い場所に車を移動します。**

ビルの谷間や工場などの屋内は避けてください。

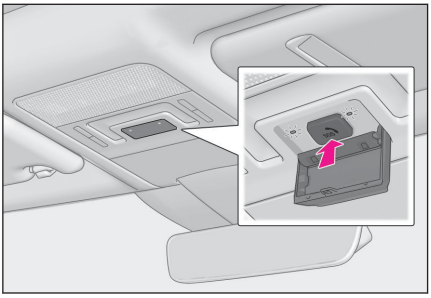
2 **ヘルプネットスイッチパネルのカバーを開きます。**



3 **パワースイッチを OFF にします。**

4 **パワースイッチを ACC または ON にします。**

5 **ヘルプネットスイッチパネルの赤と緑の表示灯がともに点灯したら、すぐにヘルプネットボタンを約 3 秒間押し続けた後、離します。**



6 **ヘルプネットセンターに接続を開始します。**

手動保守点検が開始されると、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅しはじめます。ボタンから指を離してください。

7 **ヘルプネットセンターに接続すると、最初にデータ通信を行い、以下の確認をします。**

- 車両の現在地
- 手動保守点検をしていること
- ヘルプネットセンターに会員登録されていること

8 **データ通信完了後、通話モードになります。**

9 **マイクを通して、ヘルプネットセンターと通話します。**

ヘルプネットセンターの応対は、自動音声で行われます。自動音声で車両の現在地の確認後に、名前を聞かれます。「ピー」と鳴ったら、お客様の名前を話してください。自動音声で名前をくり返したのち、緊急通報可能であることをお知らせし、通話が終了します。

10 **通話の終了後に点検を終了します。**

緑の表示灯は点滅を終了し、最新のシステム状態を表示します。

知識

- 手動保守点検開始から通話終了までのあいだは、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。
- 手動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー／ヘルプネットを除く G-Link サービスなどは利用できません。手動保守点検が終了してからご利用ください。

⚠ 警告

手動保守点検を実施するときは、途中で中断せず、最後まで完了してください。手動保守点検が正常に終了しても緑の表示灯が点灯しない場合、緊急通報できない可能性があるため、レクサス販売店にご相談ください。

⚠ 注意

手動保守点検は見晴らしのよい場所で行ってください。

- 手動保守点検は、正確に位置情報を送ることができることを確認しています。手動保守点検はビルの谷間や工場などの屋内は避け、GPS を受信できる見晴らしのよい場所で行ってください。
- 手動保守点検開始後、何らかの理由でヘルプネットセンターとの接続ができなかったときは、ヘルプネットスイッチパネルの赤の表示灯が点滅します。このときはパワースイッチを一度 OFF にして、赤の表示灯の点滅が終了してから手動保守点検をやりなおしてください。携帯電話サービスエリア内でやりなおしても接続されないときには、レクサス販売店にご相談ください。

表示灯について

ヘルプネットシステムはシステムの作動状態をヘルプネットスイッチパネルの赤と緑の表示灯でお知らせします。

表示灯		動作状態	対処法
緑	赤		
点灯	消灯	動作中のとき（携帯電話サービスエリア内）	緊急通報がご利用になれます。
消灯	点灯	動作中のとき（携帯電話サービスエリア外）	緊急通報ができません。携帯電話サービスエリア内に移動して使用してください。
		関連機器に異常があるとき（携帯電話サービスエリア内）	携帯電話サービスエリア内でいつまでもこの表示が続くときは機器の故障が考えられます。レクサス販売店にご相談ください。
点滅	消灯	緊急通報中のとき(呼び返し待機状態を含む)	緊急通報が終了しても表示が変化しないときは、レクサス販売店にご相談ください。
		手動保守点検中のとき	手動保守点検が終了しても表示が変化しないときは、レクサス販売店にご相談ください。
消灯	点滅	緊急通報に失敗したとき	約 10 秒後に表示が変化します。再度緊急通報するか、最寄りの公衆電話などから通報してください。
		自動保守点検を何回も連続して失敗したとき（携帯電話サービスエリア外）	携帯電話サービスエリア内に移動して、手動保守点検をしてください。それでも表示が続く場合は、レクサス販売店にご相談ください。
		手動保守点検に失敗したとき	約 10 秒後に表示が変化します。携帯電話サービスエリア内に移動してから、再度試みてください。
		関連機器に異常があるとき	いつまでも正常な表示に戻らないときは、機器に異常があることが考えられます。ただちにレクサス販売店にご相談ください。
		ヘルプネット専用補助バッテリーの寿命が切れたとき	レクサス販売店で交換してください。
点灯	点灯	パワースイッチを ON にしたとき（約 5 秒間）	20 秒以上続くときは、機器に異常があることが考えられます。レクサス販売店にご相談ください。
		関連機器に異常があるとき	
消灯	消灯	ヘルプネットサービスの契約が切れているとき	G-Link サービスを契約してください。

表示灯		動作状態	対処法
緑	赤		
消灯	消灯	関連機器が動作していないとき	パワースイッチを ACC または ON にしてもこの状態が続くときは、レクサス販売店にご相談ください。
		手動保守点検をしていないとき	手動保守点検を行います。

⚠ 警告

- 表示灯が以下のときには、ヘルプネットシステムに異常があることをお知らせしています。これらの異常表示がされたとき、システムが正常作動せず緊急通報できないことがあります。ただちにレクサス販売店にご相談ください。
  - ハイブリッドシステム＜EV システム＞始動後にヘルプネットスイッチパネルの赤と緑の表示灯が約 5 秒間点灯したあと、赤の表示灯が点滅し続ける。
  - ハイブリッドシステム＜EV システム＞始動後、赤と緑の表示灯の点灯がいつまでも続く。
  - 携帯電話サービス圏内にもかかわらず赤の表示灯がいつまでも続く。
  - ハイブリッドシステム＜EV システム＞始動後に赤と緑の表示灯が点灯しない。
- 表示灯は、緊急通報可能または不可能状態を正しく表示しないことがあります。たとえば、解約時の処理をしていない中古車などに搭載された関連機器を使用するときは、サービスの契約を結んでいない状態においても緊急通報可能状態として表示することがあります。

緊急通報できない場合について

以下のようなときには、ヘルプネットサービスが提供できない、またはヘルプネットサービスに支障が出ることがあります。

■ G-Link 契約の不成立または消滅

- 未契約のとき
- 契約が締結できないとき
- 契約の解除が実施されたとき
- 契約が終了したとき

■ ヘルプネット利用登録の不成立

- 未登録の場合
- 手動保守点検[*1] を完了していない場合
- 登録情報が更新されていない場合

■ 関連機器の異常による通信不能

- 関連機器（ヘルプネットスイッチパネル、ディスプレイ、マイク、スピーカー、通信モジュール、アンテナおよびこれらを接続する電気配線など）の故障
- 補機バッテリーの電圧低下など、関連機器の故障・消耗など
- 車両の衝突・横転時の衝撃や車両火災などによる、関連機器の損傷

■ 緊急通報センターシステムの位置評定エラー

GPS のシステムの異常、トンネルや建物の密集地、フェリー降船後などで GPS での位置演算の誤差が大きいとき、地図データベースが古くマップマッチングに誤差が大きいときなど、位置評定が正常に行われないまたは誤差が大きいとき

知識

ヘルプネットは、GPS から位置情報を取得しています。

■ ヘルプネットセンター／G-Link センターシステムの異常による通信不能

- センターシステムの故障など
- センターの火災などによる、センターシステムの損傷

■ ヘルプネットで利用する通信網に起因する通信不能

- 本サービスに使用する携帯電話サービスエリア外に、“登録車両” が位置するとき

*1: 手動保守点検は必ず契約者本人が行うようにしてください。

- 本サービスに使用する携帯電話サービスエリア内であっても、電波の受信状態が悪く、結果として通信ができないとき
- 本サービスに使用する携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）が著しく混雑しているなど、通話利用もしくは通話時間が制限され、結果としてヘルプネットによる通信ができないとき
- 本サービスに使用する通信事業者が大規模災害などにより通話が制限され、結果としてヘルプネットによる通話ができないとき
- 本サービスに使用する携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）のサービスが事故、保守、工事などのため中断または休止されたとき

■ 緊急通報事業者の都合によるサービス提供の中断または休止

- センターシステムの保守を、定期的にまたは緊急に行う必要があるとき
- 大規模な事故や災害により、一時的に緊急通報がセンターに集中したとき

■ その他の要因

手動通報で、ヘルプネットセンターからの問いかけに対して、通報者から応答が無く、ヘルプネットセンターとして状況把握ができないとき（手動通報後に容体が悪化した、強盗や暴漢に襲われたなど）

故障とお考えになる前に

ヘルプネットが正常に作動しなくなったときは、以下の表にしたがって確認してください。表にしたがって対処しても作動しないときは、レクサス販売店にご相談ください。また、万一異常が起きたら、必ずレクサス販売店に修理をご依頼ください。

症状	考えられること	処置
緑の表示灯が点灯しない	手動保守点検(1)が正常に完了していない。	手動保守点検(1)をする。
緊急通報できない	パワースイッチを ACC または ON にした直後の点検中ではありませんか。	緑の表示灯が点灯するまで待ってから、ヘルプネットボタンを操作して通報してください。
	電波状態は良好ですか。	電波状態の良好な場所に移動して、手動保守点検を実施してください。
	携帯電話のサービスエリア外で使用していませんか。	
	携帯電話回線が混雑している。	しばらくしてから、または電波状態の良好な場所に移動して、手動保守点検を実施してください。
パワースイッチを OFF にしても赤または緑の表示灯が点滅し続けた	緊急通報中ではありませんか。	「緊急通報を終了しました」という音声案内が流れてから約 60 分経過するまで待って、緑の表示灯の点滅が終了することを確かめてください。
ハイブリッドシステム< EV システム> 始動後、表示灯が両方共に点灯しない	G-Link 契約がされていますか。	G-Link 契約をする。

(1) 手動保守点検は必ず契約者本人が行うようにしてください。

⚠ 警告

緊急事態発生時に緊急通報できないときは、最寄りの公衆電話などから通報してください。

リモートメンテナンスサービスについて

お車の状態に関する情報を G-Link センターで取得し、カーライフに役立つ情報を提供するサービスです。

サービスのご利用には、リモートメンテナンス店の登録が必要です。リモートメンテナンス店の新規登録・変更時は、レクサス販売店にご連絡ください。

車両に OBD(On-Board Diagnostic) II 通信を行う機器を接続している場合、正しくサービスが行えない場合があります。

リモートメンテナンスメール

走行距離や使用期間に応じて、定期点検やオイル交換・タイヤ交換などのメンテナンス内容を、お車にメールでご連絡します。

また、電話やマルチメディアシステムの画面から、その場でレクサス販売店への入庫予約をおこなうことができます。

また、リコール情報等、お車に関する大切なお知らせを、トヨタ自動車㈱またはレクサス販売店から通信モジュール（DCM）を利用し、お車にメールでご連絡する場合があります。

e ケア

走行アドバイス

お車のハイブリッドシステム< EV システム>・ブレーキ関係・オイルなどの項目について、メーター内の警告灯が点灯し G-Link センターが異常を検知すると、マルチメディアシステムにてお客様に通知します。

お車に警告灯が点灯した場合、ディスプレイより e ケアコールセンターに接続が可能です。e ケアコールセンターは、車両情報をもとに 24 時間 365 日、適切な対処方法をアドバイスいたします。

また、あらかじめ登録しているレクサス販売店*1（リモートメンテナンス店）にも車両情報が連携され、点検や修理などをご案内させていただく場合があります。*2

ヘルスチェックレポート

エンジンオイル量、電子キーのバッテリー等についてスマートフォンアプリ「My LEXUS」で確認できます。また、レクサス販売店からは、お車から発信される情報をもとに最適なメンテナンスのアドバイスが受けられます。

*1: 販売店での対応は、営業時間内に限ります。

*2: すべての警告灯点灯時に実施するものではありません。走行に支障が出る可能性が高いものに限ります。

7 駐車・走行支援システム

7-1.パノラミックビューモニター

パノラミックビューモニターの機能 326
カメラ／パーキングアシストライトの位置 328
カメラのお手入れ方法..... 330
パノラミックビューモニターの操作と画面 331
パノラミックビューモニター画面の見方や機能..... 335
パノラミックビューモニターの設定を変更する..... 339
故障とお考えになる前に 340
フリー／オープンソースソフトウェア情報 341

パノラミックビューモニターの機能

パノラミックビューモニターは、車両に取り付けたフロント、サイド、バックカメラの映像を合成して画面上につなぎ目のない車両周辺映像を表示させることで、低速時の運転を補助する装置です。(→P.331)

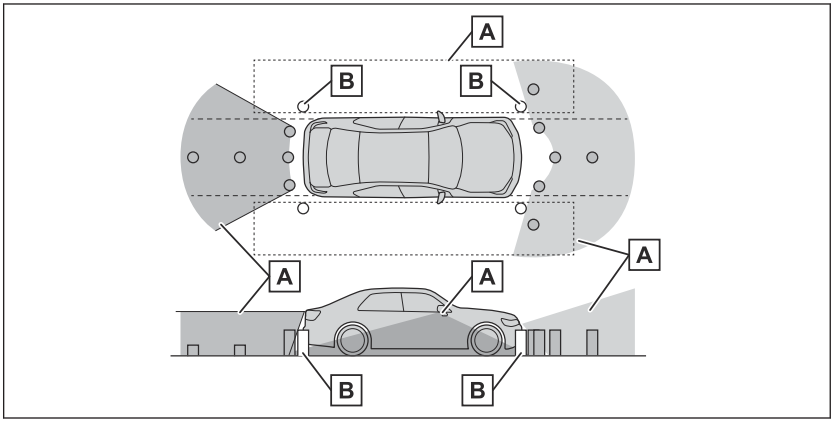
クリアランスソナー／RCTA（リヤクロストラフィックアラート）／RCD（リヤカメラディテクション）／PKSB（パーキングサポートブレーキ）／FCTA（フロントクロストラフィックアラート）は「取扱説明書」をご覧ください。

エージェント（音声対話サービス）を利用するには G-Link 契約が必要になります。

⚠ 警告

安全にお使いいただくために次のことをお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- パノラミックビューモニターは、車両の周囲確認を補助する装置です。画面に表示される人や障害物の位置や距離が実際と異なる場合や、カメラの死角にある障害物や人が画面に表示されない場合があります。また、バンパー付近に新しく部品を装着した場合、画面に映し出されるエリアが制限される可能性があります。そのため、意図せず人や障害物等に接触しないよう、必ず周囲の安全を直接確認しながら運転してください。



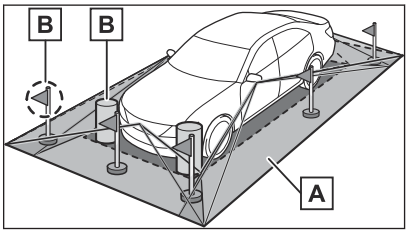
A 画面に映るエリア

B 画面に映らない障害物

フロントビューとバックビューには映りません。

- パノラミックビューモニターの各ビュー画面には複数のカメラが撮影し合成処理した映像が表示されますが、合成処理の特性上、位置や距離が実際と異なる場合があります。また、床下映像表示は、過去の映像を使っているため、実際の状況と一致しない場合があります。

⚠ 警告



A 画面に映るエリア

B 画面に映らないエリア

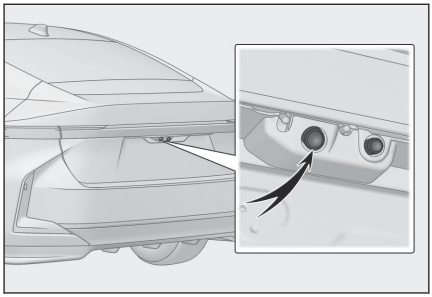
黒色部分内にある障害物や路面より高い部分は画面に表示されません。

⚠ 注意

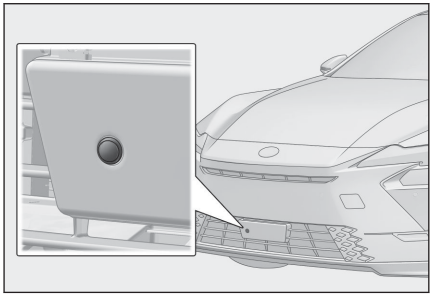
- 次のような状況では、画面に表示されるガイド線の位置に誤差が生じることがあります。
  - タイヤサイズを変更した場合
  - サスペンションを改造しているとき
  - 雪道、凍結した道などのすべりやすい路面のとき
  - タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
- 次のような状況では、正しく表示されません。
  - ドア／トランクが開いている場合
  - 画面に映るエリアに社外品を装着している場合
- カメラ部・カメラウォッシャーノズル部・パーキングアシストライト部は強くたたいたり、高圧洗車や物をぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。また、取りはずし・分解・改造をしないでください。
- 寒いときは、カメラ部にお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
- カメラが正しく動作せず、画面が次のように表示されることがあります。
  - 画面の一部、もしくはすべてが黒映像で表示される
  - シフトポジションを「R」にしたとき、またはカメラスイッチを押したときに、カメラ映像に切りかわらない
  - シフトポジションを「R」以外にしたとき、またはカメラスイッチを押したときに、カメラ画面が表示されたままになる
  - カメラ映像にガイド線などが表示されず、[⚠]が表示される
- 床下映像表示では低速走行時に自車を含む影が床下に映り込んで目立つことがあります。

カメラ／パーキングアシストライトの位置

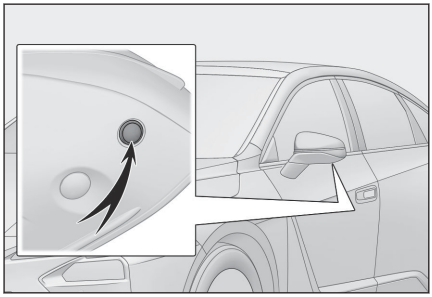
■ バックカメラ



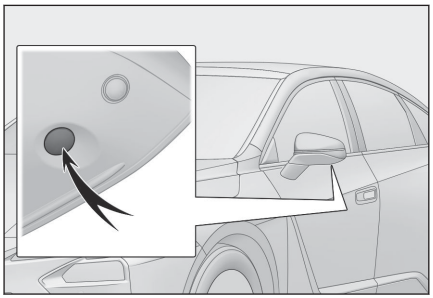
■ フロントカメラ



■ サイドカメラ



■ パーキングアシストライト



カメラのお手入れ方法

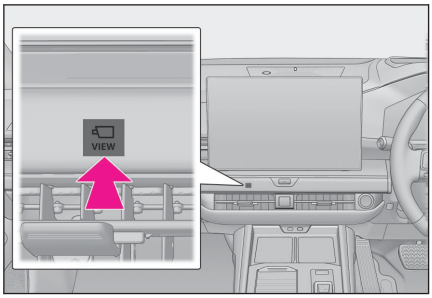
⚠ 注意

- カメラに水滴、雪、泥などの異物や汚れが付着していると、鮮明な画像を見ることができません。この場合、大量の水でカメラの汚れを流し、水で湿らせた柔らかい布で水滴をふき取ってください。
- カメラ洗浄後にウォッシャー液がカメラレンズ面に残った場合、車両後方の状態が見えにくくなることがあります。
- 氷や雪などについては、洗浄することができません。
- ウォッシャー液が出ないとき、リヤカメラ洗浄ボタンを操作し続けないでください。ポンプが故障するおそれがあります。

パノラミックビューモニターの操作と画面

カメラスイッチについて

パノラミックビューモニターの表示や表示モードの切りかえをします。



知識

- カメラスイッチを押した後、車速が約 20km/h 以上になると自動的にパノラミックビューモニター画面がもとの画面に戻ります。
- 車速が約 20km/h 以上でカメラスイッチを押した場合、約 8 秒後に自動的にパノラミックビューモニター画面がもとの画面に戻ります。
- レスポンシブヒドゥンスイッチの設定によって、スイッチの点灯状態が異なります。詳細は、「取扱説明書」をご覧ください。

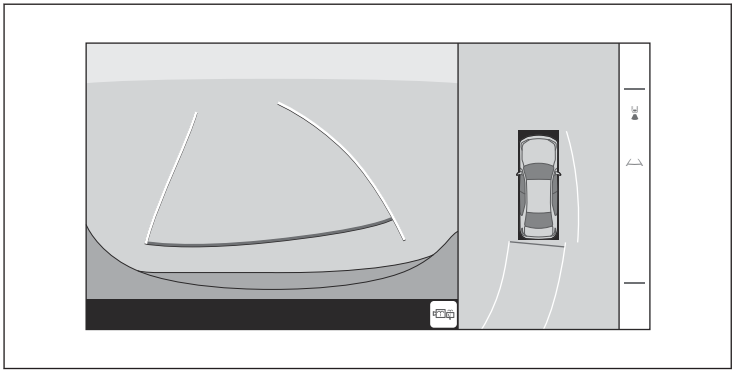
画面表示条件について

ハイブリッドシステム< EV システム>が ON の状態で、カメラスイッチを押すか、シフトポジションを変更するとパノラミックビューモニターが表示されます。

パノラミックビューモニターの画面

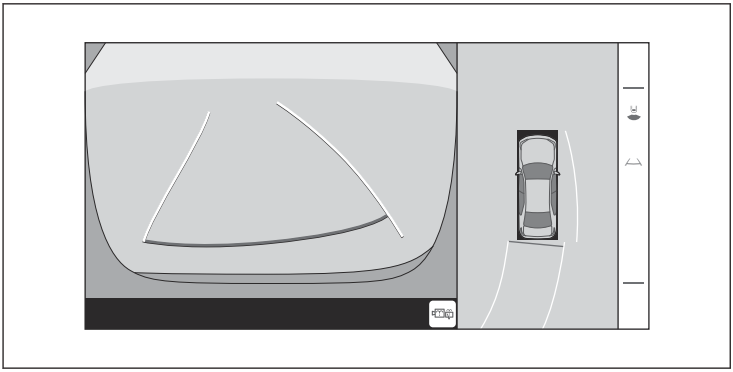
■ 車両後方を確認するとき

▶ ナローバックビュー＆パノラミックビュー



→P.335

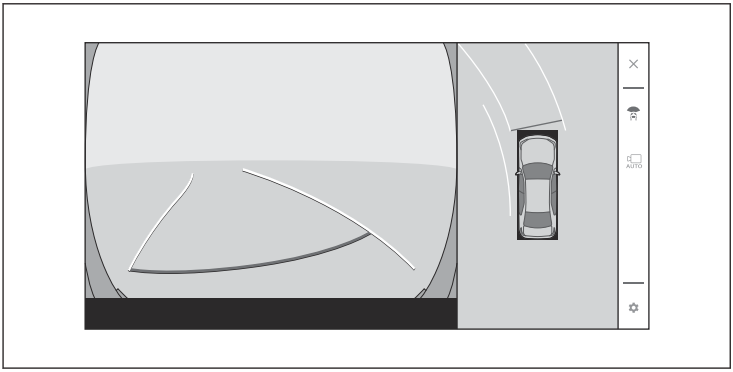
▶ ワイドバックビュー＆パノラミックビュー



→P.335

■ 車両前方を確認するとき

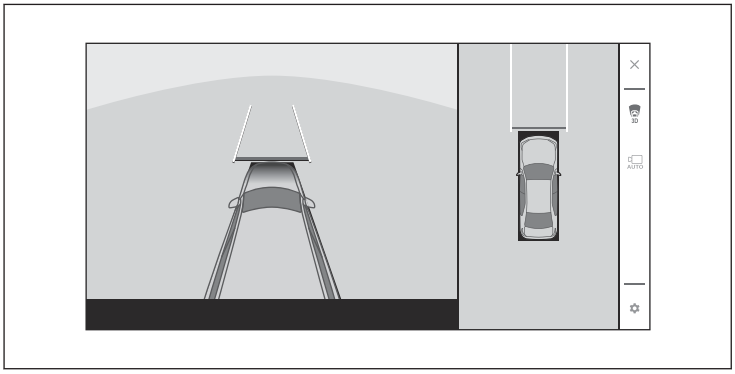
▶ ワイドフロントビュー＆パノラミックビュー



→P.336

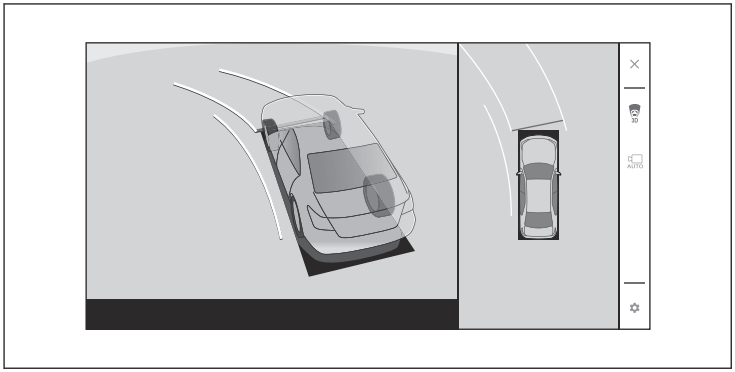
■ 車両前方・側方を確認するとき

▶ サイドクリアランスビュー＆パノラミックビュー



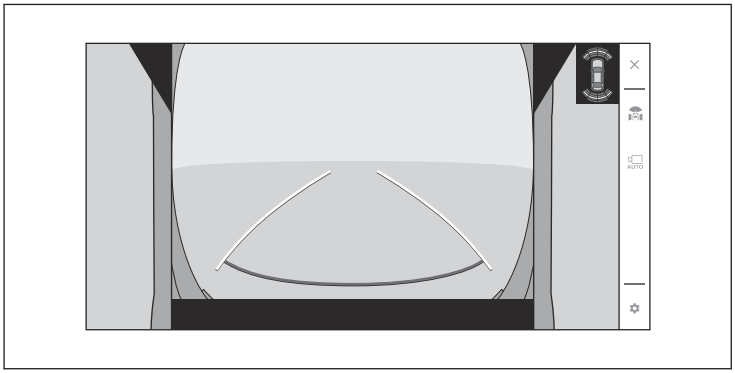
→P.337

▶ コーナリングビュー＆パノラミックビュー



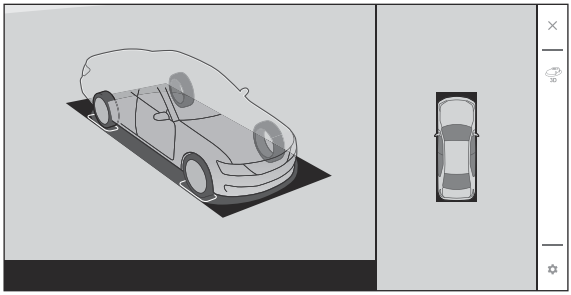
→P.337

▶ ドアミラー格納時のサイドカメラ表示



■ 車両周囲を確認するとき

▶ パーキングビュー&パノラミックビュー



→P.338

知識

クリアランスソナーが ON のときのみ、パーキングビュー／サイドクリアランスビュー／コーナリングビューを表示できます。

3D ビューの操作方法

シフトポジションが「P」のときに指の操作により映像の視点を自由に変えることができます。

ダブルタップ	フリック／スワイプ	ピンチイン／ピンチアウト	マルチスワイプ
			
初期視点に戻る	回転	拡大／縮小	縦横移動

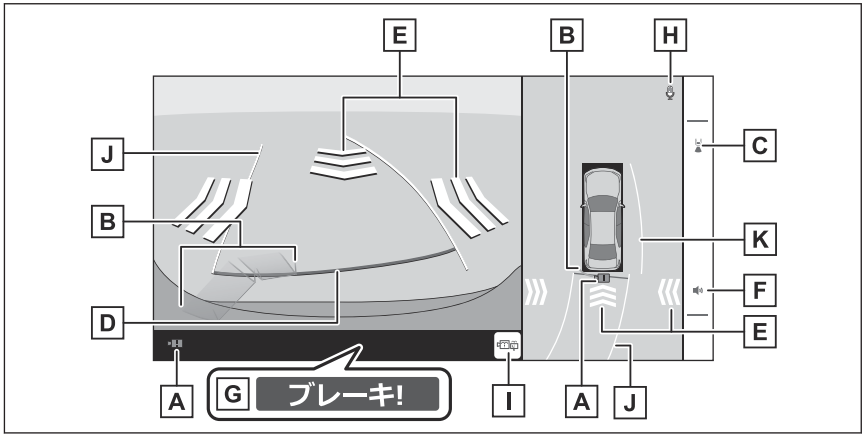
パノラミックビューモニター画面の見方や機能

ナローバックビュー＆パノラミックビュー／ワイドバックビュー＆パノラミックビュー

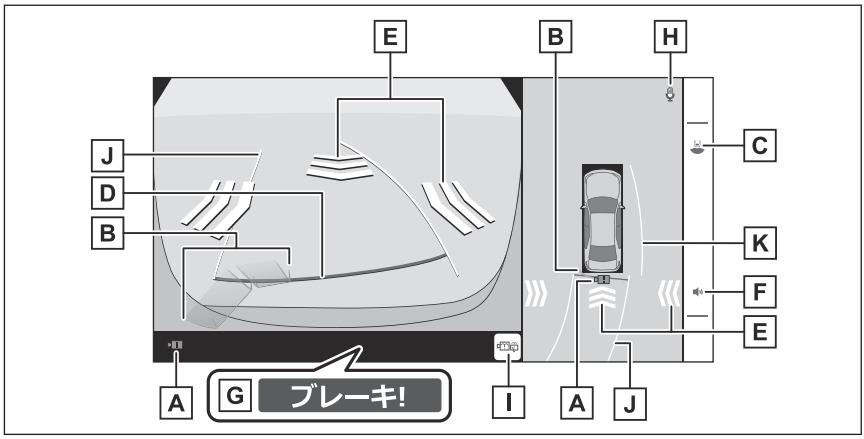
画面を表示する

● シフトポジションを「R」にします。

▶ ナローバックビュー＆パノラミックビュー



▶ ワイドバックビュー＆パノラミックビュー



A カメラ汚れ検知アイコン

カメラの汚れを検知した場合にアイコンが表示されます。

B クリアランスソナー

センサーが障害物を検知すると、画面にインジケーターが表示され、ブザーが鳴ります。

C 画面モード切りかえボタン

ボタンをタッチするたびに、画面モードが切りかわります。

D 後方距離目安線

車の後方距離が残りわずかであることを示します。

E RCTA（リヤクロストラフィックアラート）／RCD（リヤカメラディテクション）

後方または側方からの接近車両や障害物等を検知すると、画面にインジケーターが表示されます。

F ミュートボタン

警報の作動音を一時的にミュートします。

G PKSB（パーキングサポートブレーキ）

衝突の可能性がある障害物を感知すると、画面にメッセージが表示されます。

H 音声認識アイコン

エージェント（音声対話サービス）が作動しているときに表示されます。

I リヤカメラ洗浄ボタン

短く押す: リヤカメラ洗浄が一定時間作動します。

長押しする: リヤカメラ洗浄ボタンを押し続けている間、リヤカメラ洗浄が作動します。

J 後方予想進路線

ハンドル操作と連動して、進路の目安（黄色）を示します。

K 側方予想進路線

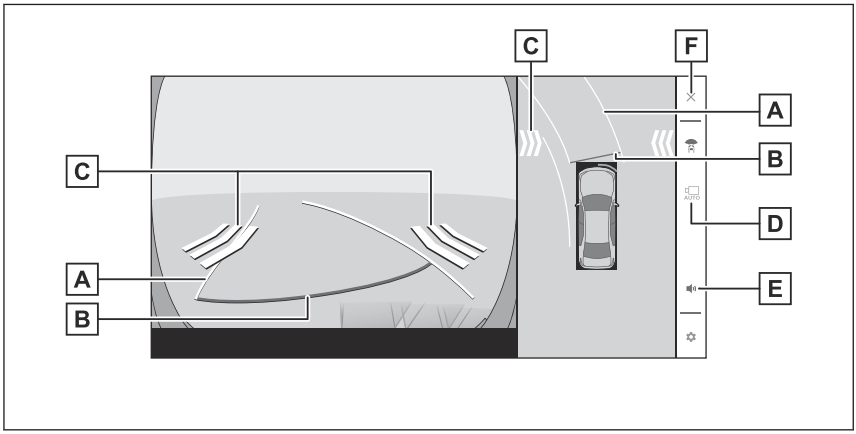
ハンドル操作と連動して、進路の目安（黄色）を示します。

ワイドフロントビュー&パノラミックビュー

画面を表示する

1 シフトポジションを「D」または「N」にします。

2 カメラスイッチをワイドフロントビュー&パノラミックビューが表示されるまで押します。



A 前方予想進路線

ハンドル操作と連動して、進路の目安（黄色）を示します。

B 前方距離目安線

車の前方距離が残りわずかであることを示します。

C FCTA（フロントクロストラフィックアラート）

前方または側方から接近車両や障害物を検知すると、画面にインジケーターが表示されます。

D 自動表示モード切りかえボタン

ボタンにタッチすると、自動表示モードが ON にかわります。自動表示モードを ON にすると車速が約 20km/h 以下に減速したときに自動でパノラミックビューモニター画面が表示されます。

E ミュートボタン

警報の作動音を一時的にミュートします。

F 画面消去ボタン

カメラ映像を消して、オーディオ画面など以前表示していた画面に戻ります。

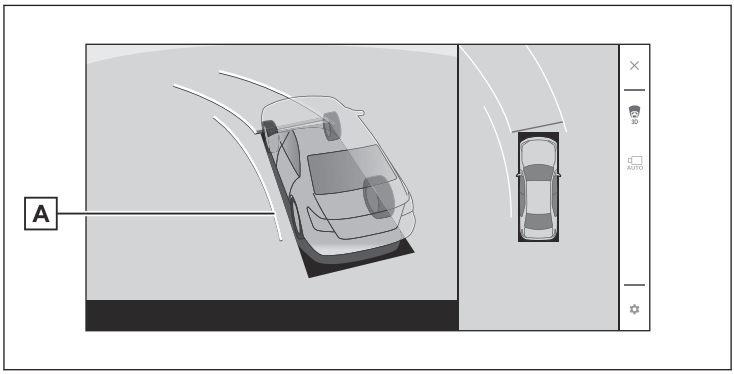
サイドクリアランスビュー／コーナリングビュー&パノラミックビュー

画面を表示する

1 **シフトポジションを「D」または「N」にします。**

2 **カメラスイッチをサイドクリアランスビュー&パノラミックビューが表示されるまで押します。**

● ハンドルを操作すると、サイドクリアランスビューからコーナリングビューに切りかわります。



A 後輪予想進路線

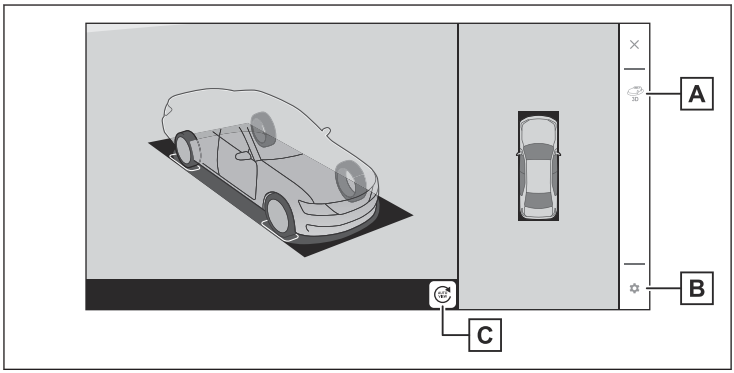
ハンドル操作と連動して、進路の目安（黄色）を示します。

パーキングビュー&パノラミックビュー

画面を表示する

1 シフトポジションを「P」にします。

2 カメラスイッチを押すと、パーキングビュー&パノラミックビューが表示されます。



A パーキングビューアイコン

パーキングビューであることを示します。

B カスタマイズ設定ボタン

クリアランスソナーの検知距離など設定を変更できます。(→P.339)

C 初期視点ボタン

3D ビュー視点操作を初期状態に戻します。初期状態では表示されません。

パノラミックビューモニターの設定を変更する

マルチメディア画面から設定を変更する

1 [ ]にタッチします。
2 [運転支援]にタッチします。
3 [駐車支援]にタッチします。
4 [パノラミックビューモニター]にタッチします。
5 各項目を設定します。→P.339

カメラ映像から設定を変更する

1 シフトポジションを「P」または「D」にし、カメラスイッチを押します。
2 [ ]にタッチします。
3 各項目を設定します。→P.339

パノラミックビューモニターの設定画面



- [ボディカラー]
  画面に表示される車両のボディカラーを変更できます。
- [カメラ映像自動オフ]
  画面表示タイマー機能の ON/OFF を設定できます。
- [クリアランスソナー 3D 表示]
  クリアランスソナー 3D 表示の ON/OFF を設定できます。
- [クリアランスソナー検知距離]
  クリアランスソナーによる障害物検知の開始距離を切りかえることができます。

故障とお考えになる前に

次のような症状で気になったりお困りになったときは、考えられる原因と処置を参考に、もう一度確認してください。処置をしても直らないときは、レクサス販売店で点検を受けてください。

症状	考えられる原因	処置
画面が見にくい	● 夜間など暗いところで使用。 ● レンズ付近の温度が高い、または低い。 ● 外気温が低いとき。 ● カメラに水滴がついた。 ● 雨天時など湿度が高い。 ● カメラ付近に異物（泥など）がついた。 ● 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズにあたった。 ● 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの照明下で使用した。	車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。
リヤカメラのウォッシャー液が出ない	ウォッシャー液の量が不足している。	ウォッシャー液を充填してください。
	ウォッシャー液が凍結している。	ウォッシャー液は外気温に適したものに交換してください。
	トランクが開いている。	トランクを閉める。
	長期間作動されていないことにより、洗浄経路ホース内にウォッシャー液が充填されていない。	リヤカメラ洗浄を複数回作動してください。

フリー／オープンソースソフトウェア情報

本製品はフリー／オープンソースソフトウェアを含んでいます。これらのフリー／オープンソースソフトウェアのライセンス情報やソースコードの両方または片方については、次の URL から入手できます。

▶ ECU

https://www.denso.com/global/en/opensource/adu/toyota

▶ カメラ

https://car.panasonic.jp/oss/n09pkdt3/

8 ドライブレコーダー

8-1. ドライブレコーダー

ドライブレコーダーについて . 344
手動録画を開始する..... 352
録画映像を再生する..... 353
録画映像の画質を調整する 355
録画映像を外部メディアに転送する 356
ドライブレコーダーの設定を変更する 360
ドライブレコーダーアプリ 362
故障とお考えになる前に 363

ドライブレコーダーについて

ドライブレコーダー（前方／後方／全周囲）について

車両前後左右のカメラで撮影した映像を車載機メモリー内に常時録画します。

- ドライブレコーダーの前方カメラは Lexus Safety System +のものを使用しています。詳細は「取扱説明書」をご覧ください。
- ドライブレコーダーの後方カメラはデジタルインナーミラーのものを使用しています。詳細は「取扱説明書」をご覧ください。
- ドライブレコーダーの全周囲カメラはパノラミックビューモニターのものを使用しています。詳細は「パノラミックビューモニターの機能」(→P.326)をご覧ください。

ドライブレコーダー使用上の留意事項

ドライブレコーダーの初期設定は OFF になっています。ご使用の際は設定画面(→P.360)で ON にしてください。

ドライブレコーダー機能を ON にしていても、プライバシー設定の[**初期化を実行**](→P.61)をしたときは OFF になります。ご使用の際は設定画面(→P.360)で ON にしてください。

以下のときは、ドライブレコーダー機能が OFF になっている場合があります。定期的に映像が記録されていることをご確認ください。(→P.353)

- 工場出荷時
- 修理後
- ソフトウェア更新後

録画状態を確認する

画面上部のステータスアイコン(→P.19)で確認できます。

	映像を記録中です。
	エラーが発生しています。 レクサス販売店にご相談ください。
	録画を停止しています。 以下のときに、録画を停止します。 ● ドライブレコーダー機能が OFF になっているとき(→P.360) ● パワースイッチが ACC のとき ● メインメニューの[ ]、[**ドライブレコーダー**]の順にタッチして表示される画面で[**録画映像**]にタッチしたとき 上記以外でアイコンが表示される場合は、レクサス販売店にご相談ください。

知識

[**録画映像**]にタッチして録画が停止した際、以下のいずれかの操作をすると、録画が再開されます。

- [**録画映像**]にタッチする画面にもどる
- 他のモードに切りかえる
- パーキングブレーキを解除する

お使いになる前に

- ドライブレコーダーはパワースイッチが ON のあいだ常時映像を録画する装置*1 ですが、すべての状況において録画することを保証したものではありません。正常に録画できなかった場合や録画データが破損していた場合による損害については、トヨタ自動車㈱は一切の責任を負いません。
- ドライブレコーダーは、事故などの検証時に役立つことを目的の 1 つとしていますが、証拠としての効力を保証するものではありません。
- 車載機メモリーの録画領域がいっぱいになると自動的に古い映像を削除し、新しい映像を録画（上書き）します。事故などで映像が必要な場合は、速やかに外部メディアにデータを転送してください。
- ドライブレコーダーで録画した映像は、その使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。いたずらなどの目的のためには使用しないでください。これらの場合についてはトヨタ自動車㈱は一切責任を負いません。
- ドライブレコーダー映像内に記録される音声録音の初期設定は[**常に ON**]です。音声録音を希望しない場合は、設定値(→P.360)をご確認ください。
- 録画した映像から信号機の状態が必ず確認できることを保証した装置ではありません。環境によって信号機の状態が確認できない場合は、前後の映像や周辺の車両の状況からご判断ください。信号機の状態が確認できない場合があっても、トヨタ自動車㈱は一切の責任を負いません。
- 補機バッテリー交換による再起動時やマルチメディアシステムを車両から脱着した際は、録画時刻が初期値の 2019/1/1 の 9:00:00 (JST) となるため、現在時刻へもどす必要があります。GPS 信号が受信できるエリアでパワースイッチを ON にし、90 秒待機します。その後、パワースイッチを OFF にし、さらに 90 秒待機してください。
- 補機バッテリー交換による再起動時やマルチメディアシステムを車両から脱着した際は、初回の起動は車両を水平な場所に停止させて実施してください（衝撃検知センサーの補正を行います）。水平な場所でない場合、衝撃を正しく検知できず、イベントを検知しやすくなる、または検知しにくくなることがあります。
- 事故などにより補機バッテリー接続が切断された場合は、補機バッテリー切断時点までの映像が記録されます。

*1: 駐車時イベント録画はパワースイッチが OFF または ACC でも作動します。

- ソフトウェア更新中は映像記録はできません。
- My LEXUS（WEB）にて車両データ送信設定を[**許可しない**]に設定した場合、オプションサービスのスマホ de ドラレコはご利用できなくなります。その場合、ドライブレコーダーの作動状態を表示するステータスアイコンは変化しません。
- 免責事項について

  お客様または第三者が、ドライブレコーダーの誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはドライブレコーダーの使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、トヨタ自動車㈱は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 著作権について
  - 録画・撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
  - 鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。

録画機能について

車両の前後左右に装着されているカメラで撮影した映像が車載機メモリー内に録画されます。ドライブレコーダーは、次の 4 種類の録画機能を備えています。

■ 常時録画

パワースイッチが ON のあいだ常時録画されます。

BEV の場合、パワースイッチを OFF にすると駐車中常時録画を開始します。

■ 手動録画

手動操作により、任意のタイミングで録画できます。

■ イベント検知録画

一定以上の衝撃を検知したときや後方車両接近を検知したときに、自動的に録画されます。

■ 駐車時イベント録画

駐車時に一定以上の衝撃を検知したときやオートアラームが作動したときに、自動的に録画されます。

知識

- 次の場合などは、適切に映像が録画されないことがあります。
  - 街灯などの光源が無く、暗い道路を夜間走行するとき
  - 夜間、後続車が接近しているときや、後続車のヘッドライトが上向きになっているとき
  - 朝日や夕日など、太陽の光がカメラに入るとき

- 降雨・降雪時や、雨上がりなど路面がぬれて光っていたり、水たまりがあるとき
- トンネルの出入口など明るさが急激に変化するとき
- カメラの前に物を置くなどして、カメラの視野が遮断されるとき
- 停車中などマフラーからの煙がカメラの視野に入ってくるとき
- カメラのレンズが汚れたり、水滴が付着していたり、曇っているとき
- 乗員人数、積載状況などによる車高の変化などにより、カメラの位置や方向がずれたとき
- 車両後部をぶつけるなどにより、カメラの位置や方向がずれたとき
- 勾配の急な山岳などを走行しているときや急カーブを走行しているとき
- ガードレール・街路樹など、道路構造物により前方・後方車両が隠れてしまうとき

● [**初期化を実行**]を行うと、録画した映像や音声が削除され、ドライブレコーダーの設定も初期化されます。初期化前の状態にもどすことはできません。

● ワイパーを使用した際は、録画映像にワイパーが映り込み、映像がちらつくように見えることがありますが異常ではありません。

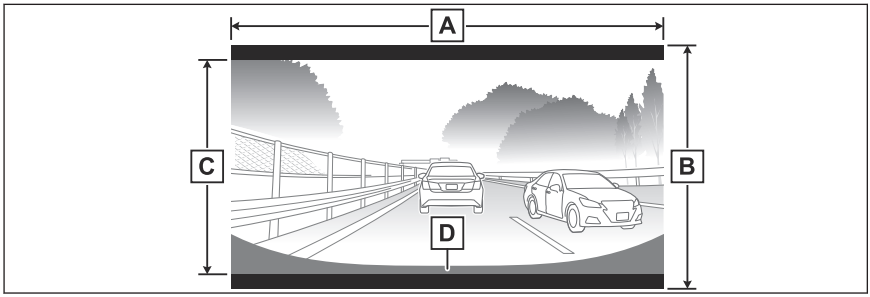
▶ 録画映像の画質／フレームレート

	前方カメラ	後方カメラ	全周囲カメラ
画質	1920×1080px (1920×1000px (1))	1920×720px	1920×1080px (1 カメラ：960×540px)
フレームレート	30fps		

(1) 上下に黒帯が記録されるため、実映像は 1920×1000px となります。

▶ 前方録画映像

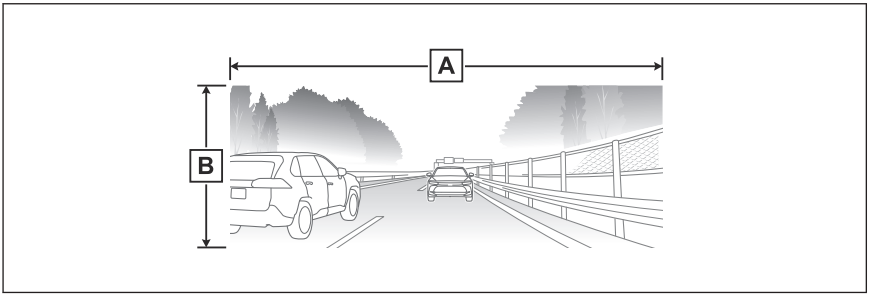
前方録画映像には一部カメラカバーが映り込みます。



A 1920px
B 1080px
C 1000px

D カメラカバー

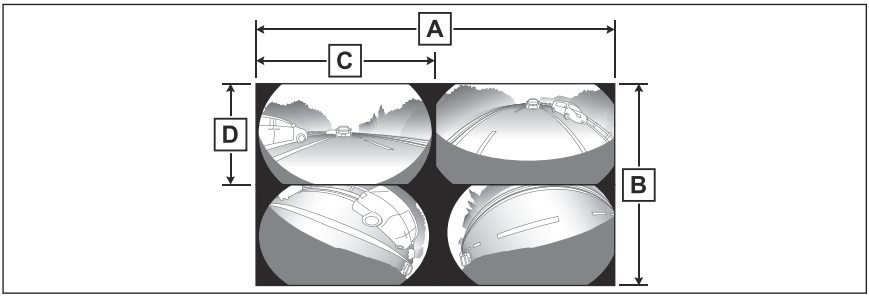
▶ **後方録画映像**



A 1920px

B 720px

▶ **全周囲録画映像**



A 1920px

B 1080px

C 960px

D 540px

録画映像の種類

■ 常時録画

パワースイッチを ON にすると、自動的に録画が開始されます。

パワースイッチを OFF にすると、録画が停止されます。

BEV の場合、パワースイッチを OFF にすると駐車中常時録画を開始します。

- 駐車中常時録画の録画時間は、約 120 分です。

  録画状態によっては、録画時間が短くなったり長くなったりする場合があります。
- 録画データは、前方映像、後方映像および全周囲映像が別ファイルとしてそれぞれ 1 ファイル約 1 分の長さで閲覧できます。

- 車載器メモリーの録画領域(約 120 分)がなくなると古い日時のファイルから順に消去され、録画が継続されます。録画した映像を残しておきたい場合は、外部メディアにデータを転送し、保存してください。
- 常時録画中はマルチメディアシステムのステータスバーに[ ]が表示されます。
- 必要に応じて、録画機能を停止することもできます。(→P.360)

■ 手動録画

常時録画中に画面上のスイッチを押す、または音声操作によって、任意のタイミングで録画できます。

- 手動録画を受け付けた時点から前後 10 秒間（合計 20 秒間）の映像が録画されます。手動録画のタイミングによっては、録画時間が最大約 60 秒になる場合があります。
- 手動録画を受け付けたあと、10 秒間は追加の操作を受け付けません。
- ユーザ用メモリーの保護領域が上限（前方／後方／全周囲映像でそれぞれ 10 件）をこえる場合は、本操作を受け付けません。
  - [**上書き設定**]を ON にすると撮影時刻の古いものから上書きします。
- パワースイッチが ON のときのみ使用可能です（ACC では使用できません）
- 機器の異常により、手動録画ができない場合があります。

■ イベント録画

常時録画中に、一定以上の衝撃や衝撃に近い状態（SRS エアバッグの作動がマルチメディアシステムに通知されたときおよび急ブレーキ、急ハンドルなど）が発生したとき、または車両後側方レーダーにより自車後方の極端に接近した車両を検知したとき（周辺車両接近時サポート（録画機能, 通報提案機能）機能が ON になっている場合のみ）に録画が開始されます。

- イベントを検知した時点から前後 10 秒間（合計 20 秒間）の映像が録画されます。イベント録画のタイミングによっては、録画時間が最大約 60 秒になる場合があります。
- イベント録画用メモリーの保護領域が上限（前方／後方／全周囲映像でそれぞれ 10 件）をこえる場合は、撮影時刻の古いものから上書きされます。
- 衝撃を感知するかを確かめるために、故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。
- 次の場合などは、衝撃によるイベント検知ができず、適切に映像が録画・保護されないことがあります。
  - 低速で衝突、または相手車両との相対速度が小さい状態で衝突した場合
  - 自車両、相手車両の衝撃緩和箇所に衝突した場合
  - 自車両に対して相手車両が軽い、または、相手が人や自転車などの場合
  - 相手車両の側面をこするように衝突した場合
  - 雪道や凍結路で急ブレーキをかけた場合

雪道や凍結路では、タイヤと路面との摩擦が少なく小さい衝撃でもスリップし、G センサーでの検知が困難になるため

- 衝撃が弱く、ドライブレコーダーが検知するように設定されたセンサー感度に満たない場合

● 急斜面を走行しているときはイベントを検知しやすい、または検知しにくいことがあります。

● 映像閲覧中にイベントを検知した場合は、イベント録画が優先されます。

■ 駐車時イベント録画

駐車時に一定以上の衝撃を検知した場合やオートアラームが作動した場合、数秒後に自動的に録画が開始されます。

● 録画を開始した時点から 60 秒間の映像が録画されます。

駐車中常時録画中に衝撃を検知した場合は、検知前 10 秒を含む 60 秒間の映像が録画されます。*1

● 衝撃発生時の映像は撮影できません。衝撃発生後のみの映像を撮影します。

● 衝撃発生後、録画開始まで数秒かかるため、自車両に衝撃を加えた相手車両が撮影されていない場合があります。

● 駐車時イベント録画を受け付けたあと、約 1 分間は追加の駐車時イベント録画を受け付けません。

● 駐車時イベント用メモリーの保護領域が上限（前方／後方／全周囲映像でそれぞれ 10 件）をこえる場合は、撮影時刻の古いものから上書きされます。

● 設定(→P.360)の自動送信をクラウドに設定している場合、最大で約 3 分間は追加の駐車時イベントを受け付けない場合があります。

● 駐車中常時録画が動作している場合、開始から約 3 分間は追加の駐車時イベント録画を受け付けません。

● 駐車中の事故以外の振動でも駐車時イベント録画が作動することがあります。

● 補機バッテリーあがり防止のため、駐車時イベント検知はパワースイッチを OFF にしてから約 48 時間で停止します。また、次回パワースイッチを ON にするまでのあいだ、最大 3 回まで駐車時イベントを検知します。

● BEV の場合、駆動用高圧バッテリーの残量が低下している場合は駐車中常時録画は作動しません。

● ドアが開いているとき、またはドアを閉めた瞬間は駐車時イベント録画を受け付けません。

● 次の場合などは、衝撃による駐車時イベントが検知できず、適切に映像が録画・保護されないことがあります。

- 低速で衝突、または相手車両との相対速度が小さい状態で衝突した場合
- 自車両、相手車両の衝撃緩和箇所に衝突した場合

*1：BEV のみ

- 自車両に対して相手車両が軽い、または、相手が人や自転車などの場合
- 相手車両の側面をこするように衝突した場合
- 衝撃が弱く、ドライブレコーダーが検知するように設定されたセンサー感度に満たない場合

お車を手放すときの注意

ドライブレコーダーを使用すると、多数の個人情報が記録されます。お車を手放すときには、G-Link の解約ならびにすべての情報を初期化してください。

すべての情報の初期化を行うと、録画した映像や音声が削除され、ドライブレコーダーの設定も初期化されます。初期化前の状態にもどすことはできません。

手動録画を開始する

任意のタイミングで録画を開始できます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 サブメニューの[ドライブレコーダー]にタッチします。
3 サブメニューの[手動録画]にタッチします。
4 [ ]にタッチします。



[**上書き設定**]：ユーザー用メモリーの保護領域が上限をこえた場合の設定を ON/OFF します。ON にすると、撮影時刻の古いものから上書きします。

知識

手動録画は音声操作、またはクイックコントロール画面の手動録画スイッチで開始することもできます。

録画映像を再生する

録画された映像を再生することができます。

1 **メインメニューの[ ]にタッチします。**

2 **サブメニューの[ドライブレコーダー]にタッチします。**

3 **サブメニューの[録画映像]にタッチします。**

4 **再生したい映像種別にタッチします。**

[**全ての録画**]を選択した場合、映像グループ一覧がサムネイル表示されます。再生したい映像グループにタッチします。

5 **サムネイル一覧から再生したい映像にタッチします。**



[**前方**]／[**後方**]／[**全周囲**]：カメラ映像を切りかえます。

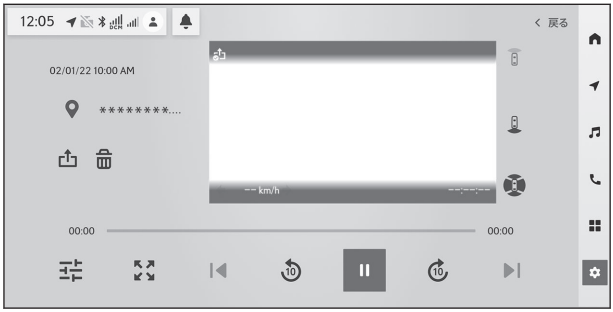
[ ]：撮影された地点が地図上にアイコン表示されます。

- 再生したい地図上のアイコンにタッチすると、該当アイコンが地図中心に表示されます。再度タッチするとプレビュー画面が表示されます。
- プレビュー画面では映像は再生されません。サムネイルにタッチすると、再生画面が表示されます。
- 複数の映像がある場合、プレビュー画面内の[<]／[>]にタッチして、映像を切りかえることができます。

[ ]：イベント録画映像をフィルタリングします。

[**選択**]：複数の映像をまとめて選択します。

6 **必要に応じて、再生中の映像を操作します。**



[ ]／[ ]／[ ]：カメラ映像を切りかえます。手動録画／イベント録画映像の場合のみ表示されます。

[ ]：再生します。

[ ]：撮影された地点が地図上にアイコン表示されます。

[ ]：映像を外部メディアへ転送します。

[ ]：映像を削除します。

[ ]／[ ]：ファイルが切りかわります。

[ ]／[ ]：10 秒前／後にスキップします。

[ ]：再生を一時停止します。

[ ]：映像を最大化します。[ ]にタッチすると映像を縮小します。

[ ]：映像の画質を調整します。

知識

- 全周囲映像を再生している場合、映像にタッチして拡大することができます。拡大表示中は映像の外部転送、削除はできません。
- 映像再生時は映像録画ができません。
- 雪、雨天時、カメラレンズの雨滴、汚れなどにより映像が見づらくなる場合があります。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なって見えることがあります。

録画映像の画質を調整する

再生する録画映像の画質を調整できます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 サブメニューの[ドライブレコーダー]にタッチします。
3 サブメニューの[録画映像]にタッチします。
4 希望の映像種別にタッチします。
5 希望の映像にタッチします。
6 [ ] にタッチします。
7 各項目を設定します。



[**明るさ**]: 明るさを調整します。
[**コントラスト**]: コントラストを調整します。

録画映像を外部メディアに転送する

録画された映像を外部メディアに転送できます。

- 手動データ転送と自動データ転送の 2 通りがあります。
- 自動データ転送は、ユーザーの手動操作、またはイベントが発生した場合、自動的に録画映像を外部メディア（クラウド*1 または USB メモリー）に転送します。
- マルチメディアシステムで使用できる USB メモリーについては、「使用できる USB メモリーについての情報」(→P.392)をご覧ください。

知識

- データ転送中に USB メモリーを抜かないでください。USB メモリーが破損し、映像を録画できなくなったり、録画映像ファイルが破損や消失するおそれがあります。
- データ転送中に接続エラーなどにより転送がキャンセルされた場合、転送中および転送予定のファイル転送は中止されます。
- USB メモリーの容量に空きがないとデータを転送できません。容量に余裕がある USB メモリーをご使用ください。
- 転送されたデータは最大 30 秒単位のファイルで生成されます。（設定画面(→P.360)の自動送信で[**クラウド（スマホ de ドラレコ）**]を選択しているときは最大 20 秒単位になります）
- スマートフォンへの手動転送にあたり車内 Wi-Fi オプション契約は不要です。
- フォルダ構成とファイル名について

  撮影された各映像データ（.MP4）の保存先は、「DRIVE_REC_MANUAL」フォルダ内の「映像が撮影された日付（YYMMDD）」フォルダです。

  各映像データのファイル名は、撮影時刻と撮影種類にもとづき、次のように命名されます。

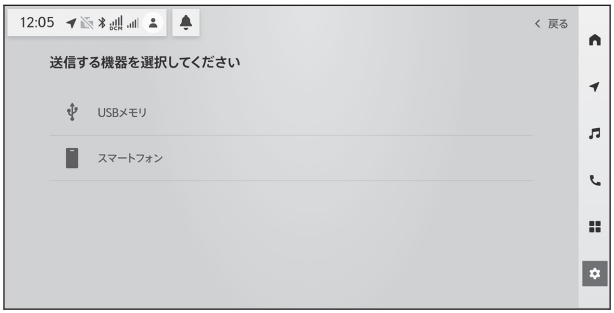
  「撮影日時_ 撮影種類.MP4」
- 撮影日時は西暦の下二桁に続き、年、月、日、時、分、秒がそれぞれ二桁で表示されます。
- 撮影種類は次のとおりです。
  - DCF：常時録画の前方カメラ
  - DCB：常時録画の後方カメラ
  - DCS：常時録画の全周囲カメラ
  - DUF：手動録画の前方カメラ
  - DUB：手動録画の後方カメラ
  - DUS：手動録画の全周囲カメラ
  - DGF：走行中イベント（衝撃／エアバッグ）録画の前方カメラ

*1：ご利用についてはスマホ de ドラレコのオプション契約(→P.301)が必要です。

- DGB：走行中イベント（衝撃／エアバッグ）録画の後方カメラ
- DGS：走行中イベント（衝撃／エアバッグ）録画の全周囲カメラ
- DAF：走行中イベント（後方車両接近）録画の前方カメラ
- DAB：走行中イベント（後方車両接近）録画の後方カメラ
- DAS：走行中イベント（後方車両接近）録画の全周囲カメラ
- PCF：駐車中常時録画の前方カメラ*1
- PCB：駐車中常時録画の後方カメラ*1
- PCS：駐車中常時録画の全周囲カメラ*1
- PGF：駐車中イベント（衝撃／オートアラーム）録画の前方カメラ
- PGB：駐車中イベント（衝撃／オートアラーム）録画の後方カメラ
- PGS：駐車中イベント（衝撃／オートアラーム）録画の全周囲カメラ

手動でデータを転送する

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 サブメニューの[ドライブレコーダー]にタッチします。
3 サブメニューの[録画映像]にタッチします。
4 希望の映像種別にタッチします。
5 転送したい映像にタッチします。
6 [ ]にタッチします。
7 希望の転送先にタッチします。



[USB メモリ]：USB Type-C 端子に接続した USB メモリーに転送できます。
[スマートフォン]：Wi-Fi®接続を通じて My LEXUS（アプリ）に転送できます。

8 [OK]にタッチします。

*1：BEV のみ

複数の録画映像をまとめて選択する

複数の録画映像をまとめて選択することで、一括削除や外部メディアへの一括転送ができます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 サブメニューの[ドライブレコーダー]にタッチします。
3 サブメニューの[録画映像]にタッチします。
4 お好みの映像種別にタッチします。
5 [選択]にタッチします。
6 まとめて選択したい映像のチェックボックスにタッチします。



[**削除**]：映像を削除します。

[**送信**]：映像を外部メディアへ転送します。

- [**USB メモリ**]：USB Type-C 端子に接続した USB メモリーに転送できます。
- [**スマートフォン**]：Wi-Fi®接続を通じて My LEXUS（アプリ）に転送できます。

[**全選択**]：映像をすべて選択します。[**選択解除**]にタッチすると選択を解除します。

自動でデータを転送する

1 メインメニューの[ ]にタッチします。
2 サブメニューの[ドライブレコーダー]にタッチします。
3 サブメニューの[設定]にタッチします。
4 [自動送信]にタッチします。
5 お好みの転送先にタッチします。

[**USB メモリ**]：USB Type-C 端子に接続した USB メモリーに転送できます。

- 手動録画映像／イベント録画映像のすべての映像種別が転送されます。
- 以下のタイミングで転送されます。
  - 手動録画映像／イベント録画映像：メモリへ記録完了後、即時
  - 駐車中イベント録画映像：次回パワースイッチを ACC または ON にしたとき

[**クラウド（スマホ de ドラレコ）**]：クラウド*1 に転送できます。

- 手動録画映像／イベント録画映像が転送されます。
- メモリへ記録完了後、即時転送されます。

*1：ご利用についてはスマホ de ドラレコのオプション契約(→P.301)が必要です。クラウドに自動送信された映像は、My LEXUS（アプリ）にダウンロードしてご利用いただけます。

ドライブレコーダーの設定を変更する

録画された映像の各種設定を変更できます。

1 メインメニューの[ ]にタッチします。

2 サブメニューの[ドライブレコーダー]にタッチします。

3 サブメニューの[設定]にタッチします。

4 各項目を設定します。



[**ドライブレコーダー**]：ドライブレコーダー機能の ON/OFF を設定できます。

- ON：録画を開始します。
- OFF：録画を停止します。

[**音声録音**]*1*2：音声録音の ON/OFF を設定できます。

[**常に ON**]、[**走行中のみ OFF**]、[**常に OFF**]から選択できます。

[**自動送信**]：自動データ転送の転送先を切りかえます。

- [**OFF**]：自動転送しません。
- [**USB メモリ**]：USB メモリーに転送します。
- [**クラウド（スマホ de ドラレコ）**]：クラウド*3 に転送します。

[**走行中の衝撃検知感度**]*1：イベント検知の感度を設定できます。

- [**高い**]：約 0.3G 以上の G を検知すると映像を撮影します。
- [**標準**]：約 0.45G 以上の G を検知すると映像を撮影します。
- [**低い**]：約 0.6G 以上の G を検知すると映像を撮影します。
- [**OFF**]：イベント録画を行いません。

[**駐車中の衝撃検知感度**]：駐車時イベント検知の感度を設定できます。

[**高い**]、[**標準**]、[**低い**]、[**OFF**]から選択できます。

*1：ドライバー登録ごとに設定を変更できます。

*2：ドライブレコーダー映像内に記録される音声録音の初期設定は[**常に ON**]です。音声録音の記録を希望しない場合は、設定値をご確認ください。

*3：ご利用についてはスマホ de ドラレコのオプション契約(→P.301)が必要です。クラウドに自動送信された映像は、My LEXUS（アプリ）にダウンロードしてご利用いただけます。

[**駐車中の常時録画**][*1]：駐車中常時録画の ON/OFF を設定できます。

*1：BEV のみ

ドライブレコーダーアプリ

My LEXUS（アプリ）(→P.302)を使用して、撮影した映像を車両からスマートフォンに転送し、閲覧することができます。

故障とお考えになる前に

次のような症状で気になったりお困りになったときは、考えられる原因と処置を参考に、もう一度確認してください。

表示されるメッセージは、実際の画面と異なる場合があります。

処置をしても直らないときは、レクサス販売店で点検を受けてください。

症状	考えられる原因	処置
「映像を録画できません」や、「映像記録がご利用になれません」という表示が出る	マルチメディアシステムまたはカメラの故障	レクサス販売店にご相談ください。
「一時的に映像記録がご利用になれません」という表示が出る	高温などによるカメラの一時的な機能停止	しばらく時間をおいても解消しない場合はレクサス販売店にご相談ください。
「音声記録をご利用になれません」という表示が出る	マルチメディアシステムまたはマイクの故障	レクサス販売店にご相談ください。
「駐車中録画記録に異常がありました」という表示が出る	マルチメディアシステム、カメラまたはマイクの故障	レクサス販売店にご相談ください。
「一部機能が利用できない状態または一部情報が記録できない状態です」という表示が出る	マルチメディアシステムまたはカメラの故障 通信異常	レクサス販売店にご相談ください。
「データが壊れています」という表示が出る	マルチメディアシステム内の記録メディアの異常	レクサス販売店にご相談ください。
設定変更後に「設定が変更できませんでした」という表示が出る	通信異常	再度設定変更をお試しいただき、解消しない場合はレクサス販売店にご相談ください。
外部データ転送時に「USB フラッシュメモリが見つかりませんでした」という表示が出る	USB メモリー未挿入	USB Type-C 端子に USB メモリーが接続されているかご確認ください。
	USB メモリーが認識できない	USB Type-C 端子に接続されている USB メモリーがマルチメディアシステムに対応しているかご確認ください。
外部データ転送時に「容量不足です」という表示が出る	転送先の外部メディアの容量が不足している	転送先の外部メディアの容量をご確認ください。

症状	考えられる原因	処置
外部データ転送時に「アプリが見つかりませんでした」という表示が出る	My LEXUS（アプリ）を開いていない	マルチメディアシステムに表示されている手順に従い、転送を実施してください。
「自動送信が失敗しました」という表示が出る	転送先の外部メディアの容量が不足している	転送先の外部メディアの容量をご確認ください。
	USB メモリーが認識できない	USB Type-C 端子に接続されている USB メモリーがマルチメディアシステムに対応しているかご確認ください。
	プライバシーポリシーでクラウド転送を禁止している	My LEXUS (WEB)にて車両データの送信設定が許可されているかご確認ください。
	オプション契約の期限が切れている	オプション契約が有効かご確認ください。
事故の映像が保護されていない	事故時の衝撃が小さい	事故時の衝撃によってはイベント録画がされない場合があります。 常時録画映像が保存されていないかご確認ください。
	走行中イベント録画が OFF になっている	設定画面から[**走行中の衝撃検知感度**]を OFF 以外にしてください。
	衝撃検知センサーの調整不足	レクサス販売店にて衝撃検知センサーの調整をご相談ください。
	マルチメディアシステムの故障	レクサス販売店にご相談ください。
常時録画映像が記録されていない	ドライブレコーダーが OFF になっている	設定画面から[**ドライブレコーダー**]を ON にしてください。
	時刻情報を受信できていない	GPS 信号が受信できるエリアに移動してください。それでも症状が直らない場合は、レクサス販売店にご相談ください。
		補機バッテリー交換による再起動時やマルチメディアシステムを車両から脱着した際は、録画時刻が初期値の 2019/1/1 の 9:00:00 (JST) となるため、現在時刻へもどす必要があります。 GPS 信号が受信できるエリアでパワースイッチを ON にし、90 秒待機します。その後、パワースイッチを OFF にし、さらに 90 秒待機してください。

症状	考えられる原因	処置
音声が記録されていない	録音が OFF になっている	設定画面から[**音声録音**]を ON にしてください。
	マルチメディアシステムの故障	レクサス販売店にご相談ください。
[]が暗く表示され、押しても反応しない	記録保護件数が上限になっている	手動録画映像を削除してください。また、手動録画画面から[**上書き設定**]を ON にしてください。ただしその場合、古いものから自動的に上書きされます。
	ドライブレコーダーが OFF になっている	設定画面から[**ドライブレコーダー**]を ON にしてください。
衝突がないのにひんぱんに「衝撃を検知・録画しました」という表示が出る	段差や悪路の走行などにより衝撃を検知した	設定画面から[**走行中の衝撃検知感度**]を調整してください。
	衝撃検知センサーの調整不足	レクサス販売店にて衝撃検知センサーの調整をご相談ください。
駐車時イベント（衝撃検知）録画がされない	補機バッテリー電圧が低下している	補機バッテリーの点検を受けてください。
	パワースイッチを OFF にしたあと、48 時間以上が経過している	正常な動作です。 補機バッテリー電圧低下防止のため、駐車時イベント録画は動作しません。
	パワースイッチを OFF にしたあと、3 回駐車時イベント（衝撃検知）録画が動作した	
	検知した衝撃が小さい	設定画面から[**駐車中の衝撃検知感度**]を調整してください。
	ドアが開いている、またはドアを閉めた	正常な動作です。 ドアを閉める衝撃で録画されないよう、ドアが開いているときは駐車時イベント録画は動作しません。
駐車時イベント（オートアラーム）録画がされない	補機バッテリー電圧が低下している	補機バッテリーの点検を受けてください。
	パワースイッチを OFF にしたあと、48 時間以上が経過している	正常な動作です。 補機バッテリー電圧低下防止のため、駐車時イベント録画は動作しません。

症状	考えられる原因	処置
駐車時イベント（オートアラーム）録画がされない	パワースイッチをOFF にしたあと、1回駐車時イベント（オートアラーム）録画が動作した	正常な動作です。 補機バッテリー電圧低下防止のため、駐車時イベント録画は動作しません。
駐車中常時録画映像が記録されていない(1)	駆動用高圧バッテリー電圧が低下している	高圧バッテリーを充電してください。
	駐車中常時記録がOFF になっている	設定画面から[**駐車中の常時記録**]をON にしてください。
録画映像の地図表示が正しい位置に表示されない	GPS の受信状態が良くなかった	見晴らしのいい場所でも発生している場合は、レクサス販売店にご相談ください。
前方録画映像が見にくい／不鮮明	前方カメラの詳細は、「取扱説明書」の「Lexus Safety System +」をご覧ください。	
後方録画映像が見にくい／不鮮明	後方カメラの詳細は、「取扱説明書」の「デジタルインナーミラー」をご覧ください。	
全周囲録画映像が見にくい／不鮮明	「パノラミックビューモニター」の「カメラのお手入れ方法」(→P.330)をご覧ください。	
テレマ契約・オプション契約済み車両のイベント映像が My LEXUS（アプリ）の映像一覧に表示されない	DCM 通信状況が悪かった	DCM 通信状況の良いところに車を移動させ、再度ハイブリッドシステム< EV システム>を始動し直してください。
	イベント発生から 2 週間以上経過している	クラウド内にある映像は 2 週間経過すると削除されます。映像を残す場合は、2 週間以内に My LEXUS（アプリ）にダウンロードしてください。
	自動送信先がクラウドになっていない	自動送信先を[**クラウド（スマホ de ドラレコ）**]に設定してください。
	自動送信中にハイブリッドシステム< EV システム>が OFF になった（マルチメディアシステム停止）	ハイブリッドシステム< EV システム>を ON にしたのちに再アップロードされます。

(1) BEV のみ

9 ETC の利用

9-1. ETC のサービス概要

ETC2.0 サービスについて 368

ETC サービスについて 369

9-2. ETC の操作

ETC2.0 ユニットの使い方 372

クリーニングについて 379

9-3. エラーコードについて

統一エラーコード一覧について 380

9-4. 道路事業者からのお願い

道路事業者からのお願い 382

9-5. お問合せ先一覧

お問合せ先一覧 388

ETC2.0 サービスについて

高速道路を中心に設置された「ITS スポット」と車に搭載された「ETC2.0 ユニット」とのあいだで双方向の高速・大容量通信を行うことにより、広域な道路交通情報や安全運転を支援する情報を、音声や画面への表示でリアルタイムに提供するサービスです。

- ITS スポット

  DSRC 通信を利用し、ETC2.0 サービスが行われる場所を「ITS スポット」と呼びます。

- DSRC（Dedicated Short Range Communication：スポット通信）

  これまで ETC に用いられてきた通信方式で、高速で大容量の情報を送受信することが可能です。

[ETC2.0]は一般財団法人 ITS サービス高度化機構(ITS-TEA)の登録商標です。

提供サービス

ETC2.0 サービスでは、次のサービスが提供されます。

提供サービス	対応サービス
ETC	自動料金支払い機能
	ETC 割引(1)
ETC2.0	ETC2.0 割引(1)
道路交通情報	前方状況情報提供（音声、図形表示、画像表示）
	施設情報提供
	長文（ハイウェイラジオ情報など）の読上げ
安全運転支援情報	前方障害物情報提供（音声、図形表示）

(1) 割引サービス情報やその適用条件の詳細は、各道路事業者の HP 情報などでご確認ください。

知識

- VICS サービス（FM 多重放送、光ビーコン）については、「VICS 交通情報を表示する」をご覧ください。(→P.167)
- TSPS サービスについては、「TSPS（信号情報活用運転支援システム）」をご覧ください。(→P.179)
- ETC2.0 ユニットは、今後のシステム変更や上記以外のサービスに対応できない場合があります。また、ITS スポットから提供される通信データが予告なく停止しサービスが受けられない場合があります。あらかじめご了承ください。詳しくはレクサス販売店へお問い合わせください。

ETC サービスについて

ETC（Electronic Toll Collection）サービスは、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。路側無線装置と車両の ETC2.0 ユニットとの間で通信を行い、料金はお客様が登録された ETC カードの引き落とし口座から後日引き落とされます。

ETC を利用する前に

- 初めてお使いになる際は、ETC2.0 ユニットのセットアップ手続きが完了しているかを確認をしてください。
- 「道路事業者からのお願い」(→P.382)をよくお読みください。特に、次の点に注意してください。

知識

お車のナンバープレートが変更になったときなど、ETC2.0 ユニットの再セットアップが必要です。詳しくは、「車載器の再セットアップ」(→P.385)をご覧ください。

⚠ 警告

安全のため、運転者は走行中に ETC カードの抜き挿し、および ETC2.0 ユニットの操作を極力しないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。

⚠ 注意

- ETC2.0 ユニットを用いたサービスには、さまざまな制約があります。サービス提供者が案内する利用方法をご確認ください。
- 路側無線装置との通信のさまたげにならないよう、ETC アンテナ（インストルメントパネル中央付近に内蔵されています。）の上方には物を置かないでください。
- ETC アンテナの近くに電波を発する電子機器を設置しないでください。電波干渉により、無線通信が正常に行われず、開閉バーが開かない、料金決済サービスが正しく受けられないなどの原因となる可能性があります。

  ＜干渉の可能性がある主な機器＞

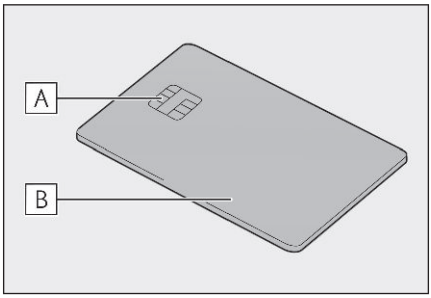
  - Wi-Fi®を搭載した機器（モバイルルーター、携帯電話など）
  - レクサス純正品以外の無線機器

  ＜干渉が発生した場合の対処＞

  - ETC アンテナからできるだけ距離を離し設置するか、干渉する機器を取りはずしてください。
  - Wi-Fi®を搭載した機器は、2.4GHz ワイヤレスネットワークを選択してください。（可能であれば）
- フロントガラスの汚れや積雪がひどい場合は、それらを取り除いてください。
- 車両 1 台に対して複数の ETC2.0 ユニットを取り付けると、ゲートの開閉バーが開かないことがあります。

ETC カードについて

ETC カードはお客様にて、別途お申し込みが必要です。



A 金属端子（IC チップ）
B ETC カード

⚠ 注意

- ETC カードの取り扱いについては、ETC カード発行会社の提示する注意事項にしたがってください。
- 変形、または破損した ETC カードは使用しないでください。
- セロハンテープ・シールなどが貼ってある ETC カードは使用しないでください。
- ETC カードの金属接点部に手で触ったり汚れた財布などに保管しないでください。
- 金属端子（IC チップ）が汚れている ETC カードは使用しないでください。

■ ETC カードを挿入する前

⚠ 注意

- ETC カードに記載された有効期限を、あらかじめ確認してください。ETC カードの有効期限が切れていると、開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ETC カードの有効期限案内は、補助手段として使用してください。ETC を使用する前は、ETC カードに記載されている有効期限を確認してください。
- ETC カード接点に汚れが付着していないかを確認してください。汚れが付着していると、エラーが発生したり、開閉バーが開かなくなるおそれがあります。ETC カードは汚れの付きにくい場所に保管するとともに、ETC 接点部を定期的にクリーニングしてください。
- ETC カードはハイブリッドシステム＜EV システム＞始動後に挿入してください。ハイブリッドシステム＜EV システム＞始動前に挿入されていると ETC カード内のデータが破損するおそれがあります。

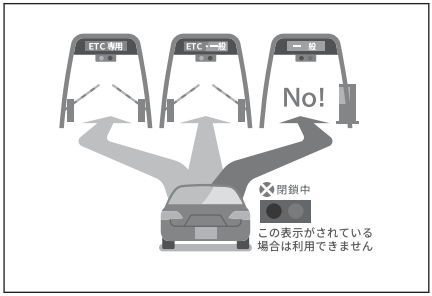
■ ETC カードを挿入したあと

⚠ 注意

- ETC を利用する際は、あらかじめ ETC カードが確実に ETC2.0 ユニットに挿入されていることと、ETC2.0 ユニットが正常に作動していることを確認してください。
- ETC2.0 ユニットが ETC カードを認証するまでには数秒かかりますので、料金所手前で ETC カードを挿入すると、開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ETC ゲート手前、ETC ゲート、高速道路を走行中、ETC カードを抜いたり挿したりしないでください。ETC カード内のデータが破損したり、正しく料金清算が行われなくなるおそれがあります。

ETC 料金所について

ETC 料金所には、料金支払い方法に応じて、ETC 専用車線、混在車線、サポート車線（サポートレーン）、一般車線（一般レーン）があります。ETC を利用する場合は、ETC 専用車線または混在車線に進入してください。

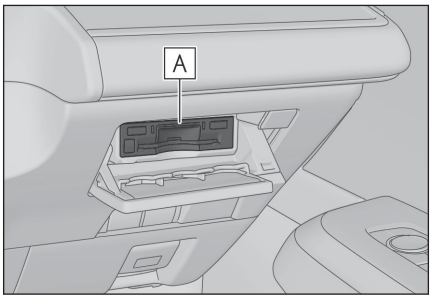


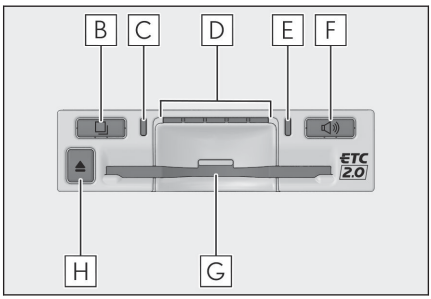
スマート IC について

詳しくは「道路事業者からのお願い」(→P.382)をご覧ください。

ETC2.0 ユニットの使い方

ETC2.0 ユニットについて





A ETC2.0 ユニット
B 利用履歴確認スイッチ
C 緑ランプ
D スピーカー部
E 橙ランプ
F 音量調整スイッチ
G ETC カード挿入口
H イジェクトスイッチ

⚠ 注意

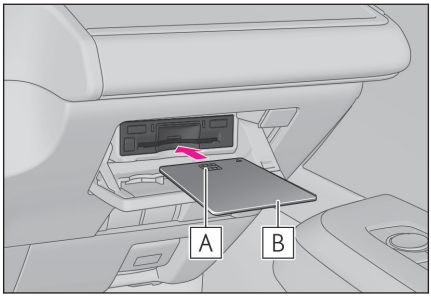
- ETC2.0 ユニットの内部に異物などを入れないでください。ETC2.0 ユニットが故障するおそれがあります。
- ETC2.0 ユニットに衝撃を与えないでください。ETC2.0 ユニットが、故障・破損するおそれがあります。
- ぬれた手で ETC2.0 ユニットにふれたり、水（液体など）を付着させないでください。ETC2.0 ユニット内部に水が入り、故障・破損するおそれがあります。また、付着した液体の成分によっては、ETC2.0 ユニットが変形・変色・故障する場合があります。
- 汚れたときは、柔らかい乾いた布で汚れをふき取ってください。ワックス、シンナー、アルコールなどの薬品は絶対に使用しないでください。ETC2.0 ユニットが変形・変色・故障する場合があります。

ETC カードを挿入する

1 **ハイブリッドシステム＜EV システム＞を始動します。**

ETC2.0 ユニットの電源が入り、緑ランプと橙ランプが同時に点灯し、しばらくすると消灯します。

2 **図のように正しい挿入方向で、ETC カードを ETC2.0 ユニットにしっかり挿し込む。**



A 金属端子（IC チップ）
B ETC カード

「ピッ」とブザー音が出力され、緑ランプが点滅します。

3 **ETC カードが正しく認証されると、音声と画面表示で案内します。**

緑ランプは、点灯したままです。

知識

- ETC カードが正しく認識されなかった場合は、橙ランプが点滅し、エラー発話と統一エラーコードが画面に表示されます。一度、ETC カードを抜き、挿入方向を確認して再度挿し込んでください。それでもエラーコードが通知された場合は、「統一エラーコード一覧について」(→P.380)の対処方法にしたがってください。対処を実施してもエラーが続くときは、レクサス販売店に相談をしてください。
- ハイブリッドシステム< EV システム>始動前に ETC カードが挿入されている場合、音声案内と画面表示はされません。
- 橙ランプが点灯しているときは、ETC2.0 ユニットのセットアップ手続きができていないので使用できません。

注意

- 緑ランプが点灯した場合でも、解約済み、または有効期限が切れている、またはカード会社が使用無効とした ETC カードを使用した場合、ETC 車線に設置されている開閉バーが開かないことがあります。
- 料金所のカードリーダでは正しく認証されないのに緑ランプが点灯する場合がありますが、ETC2.0 ユニットの故障ではありません。このようなときは、カード会社にカードの再発行を申し出てください。
- 緑ランプが点滅中は ETC カードを抜かないでください。ETC カード内のデータが破損するおそれがあります。

ETC2.0 マーク表示について

ETC カードを挿入すると、画面上部に ETC2.0 マークが表示されます。

知識

- ETC2.0 マーク表示はカード挿入状態を表しており、必ずしも ETC ゲートを通過できることを表してはいません。
- ETC カードの有効期限が切れている場合は、ETC2.0 マークは表示されません。

- ETC2.0 走行情報のアップリンクの設定を「OFF」とした場合、ETC マークが表示されます。(→P.208)
- マルチメディアシステムをバッテリーターミナルから脱着したあとに起動した場合、GPS 情報受信後、数分間は ETC2.0 マークが表示されないことがあります。

有効期限切れ通知について

ETC カードを挿入したとき、または ETC カード挿入状態でパワースイッチを ACC または ON にすると、音声と画面表示で有効期限切れ通知が行われます。

知識

- 有効期限切れ通知は、通知設定画面で ETC 音声案内や ETC 割込表示を[OFF]にした場合でも、音声案内と画面表示が行われます。
- ETC カード有効期限が当月のときの通知 ON/OFF 設定は、通知設定画面の ETC カード有効期限切れ事前通知で行えます。

注意

- GPS の受信状態により、ごく稀に誤って有効期限切れ通知をすることがありますが、ETC2.0 ユニットの故障ではありません。誤った通知が継続する場合は、レクサス販売店で点検を受けて相談してください。
- マルチメディアシステムを補機バッテリーターミナルから脱着したあとに起動した場合、GPS 情報受信後、数分間は有効期限切れ通知されないことがあります。

ETC カードを抜く

1 **車を停車し、ハイブリッドシステム＜EV システム＞を停止させる前に ETC2.0 ユニットのイジェクトスイッチを押す。**

2 **ETC2.0 ユニットから ETC カードを抜く。**

知識

ETC 通信時にカード書き込みエラーが発生していた場合、書き込みエラー通知が ETC2.0 ユニットから出力されることがあります。

注意

ETC カードが取り出せなくなった場合。無理に取り出さず、レクサス販売店にお問い合わせください。

カード抜き忘れ警告について

ETC カードを抜く前に、ハイブリッドシステム＜EV システム＞を停止すると、カード抜き忘れを音声で案内します。

■ 警告通知 ON/OFF の切りかえ設定

1 車を停車し、ETC2.0 ユニットに ETC カードを挿入します（緑ランプ点灯）。

2 利用履歴確認スイッチと音量調整スイッチを同時に約 2 秒間押し続けます。

操作をするごとに ON/OFF が切りかわり（「ピッ」もしくは「ピッピッ」と音がします）、以後選択した設定が保持されます。

知識

- カード抜き忘れ警告の ON/OFF の設定は ETC の設定画面でも行えます。
- ハイブリッドシステム< EV システム>を停止したときに、クリーニングカード使用通知、またはカード書込みエラー通知があった場合には、カード抜き忘れ警告の音声は出力されません。

クリーニングカード使用通知について

ETC2.0 ユニット内部のカード接点部が汚れている可能性があった場合、ハイブリッドシステム< EV システム>を停止すると、ETC2.0 ユニットから「ピッピッ、ETC のカード接点が汚れている可能性があります。クリーニングカードを使用してください。」と音声が出力されます。この通知があった場合、クリーニングを実施してください。

カード書込みエラー通知について

ETC カードへのデータ書込みエラーがあった場合、カードを抜くか、または、ハイブリッドシステム< EV システム>を停止すると、ETC2.0 ユニットから「ピーッ、ETC 利用時にカードに書き込みできませんでした。高速道路をご利用中の方は、一般レーンを走行してください。コード 11。」と音声が出力されます。

知識

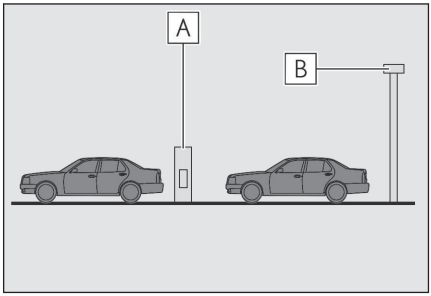
- ETC2.0 ユニット内部のカード接点部が汚れている可能性があるため、高速道路をご利用後、クリーニングを実施してください。
- この通知は、ETC2.0 ユニットの故障を知らせる案内ではありません。クリーニング実施後、エラー通知が無ければ、ETC2.0 ユニットを交換せずご利用が可能です。エラー通知が継続するような場合には、レクサス販売店に相談をしてください。

⚠ 注意

高速道路をご利用中の場合は、出口料金所での通行料金のお支払いは、係員のいる車線（「一般」または「ETC／一般」）で、いったん停車して、ETC カードを係員にお渡しください。料金精算機のある車線では、「係員呼出ボタン」を押して係員を呼び出してください。

ETC ゲート（入口・出口／精算用）の通過について

通信が正常に行われた場合、通知音「ピンポン」で案内します。



A 開閉バー

B 予告アンテナ／ETC カード未挿入お知らせアンテナ

知識

- ETC ゲートの出入口を通過したとき、通信が正常に行われなかった場合、橙ランプが点滅し、統一エラーコードが画面に表示されます。
- ETC カード未挿入お知らせアンテナを通過したとき、通知音「ピンポン」は案内されません。
- 路側無線装置により通信が正常に行われた場合、1 つの ETC ゲートで「ピンポン」音が 2 回通知されることがあります。
- 予告アンテナ・ETC カード未挿入お知らせアンテナは、道路側のシステムにより、設置されている場合と設置されていない場合があります。
- 通行料金は、画面表示と音声で案内されます。ただし、割り引きなどにより実際と異なる場合があります。また、他のナビ案内などと重なったときは、通行料金の画面表示・音声による案内は行われない場合があります。

⚠ 警告

運転者は走行中にランプ表示を見ないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

ETC ゲート通過時は、ETC ゲート付近に表示されている案内にしたがって走行してください。ETC2.0 ユニットやマルチメディアシステムでは、エラーが案内されない場合があります。

利用履歴を確認する

有料道路の利用日および通行料金を音声で確認できます。ETC カードが挿入され、緑ランプが点灯している状態で停車中に利用できます。

利用履歴確認スイッチを押す。

- 最新の利用履歴が音声で案内されます。

- 押すごとに、古い利用履歴に切りかわります。なお、最も古い利用履歴の次は、最新の利用履歴に切りかわります。
- 利用履歴発話中は、緑ランプが点滅します。
- 案内終了後、約 1 秒以上たってからスイッチを押した場合は、最新の利用履歴から案内されます。
- 利用履歴は消去することができません。ただし、利用履歴の最大記録件数を超えた場合は、最も古い利用履歴が消去されます。

知識

- 利用履歴は ETC カードに記録されるため、記録件数は使用する ETC カードにより異なります。（最大 100 件）
- 利用履歴は画面でも確認することができます。
- 道路事業者の設定する料金所情報に追加・変更があった場合、利用区間が正しく表示されないことがあります。
- カード接点の汚れなどにより料金所情報が ETC カードに書き込みできなかった場合、該当する料金所の料金履歴は案内されません。ただし、該当料金所を無線走行または ETC カードで料金清算された場合は、道路事業者のインターネットサービス（ETC 利用照会サービス）で料金履歴を確認できます。サービス詳細は道路事業者にお問い合わせください。

⚠ 警告

ETC ゲート付近では、利用履歴の確認を行わないでください。路側無線装置と通信ができなくなるなど、ETC 車線に設置されている開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

音量を調整する

ETC2.0 ユニットから出力される音声案内の音量を調整することができます。

音量調整スイッチを押す。

音量は、スイッチを押すごとに音量 0 から音量 4 まで 1 ずつ切りかわり、音量 4 の次は音量 0 になります。

知識

ETC2.0 ユニットの音量調整は以下のような案内に有効です。

- 未セットアップ状態（セットアップ手続きをしていない）の通知*1
- エラー発生時のブザー音*2
- カード抜き忘れ警告*2

*1: 音声案内を中止（音量 0）に設定すると、出力されません。

*2: 音声案内を中止（音量 0）、または音量 1 に設定してあっても、エラー発生時には音量 2 で出力されます。

- クリーニングカード使用通知[*1]
- カード書込みエラー通知[*1]
- ETC2.0 ユニットでの利用履歴の確認
- ETC2.0 ユニットの音量調整時の案内

セットアップ情報を確認する

ETC2.0 ユニットでのセットアップ情報を音声で確認できます。

- カード未挿入状態で ETC2.0 ユニットの電源を入れ、緑ランプと橙ランプが点灯中に利用履歴確認スイッチを押し続けると、セットアップ情報通知モードが起動します。
- セットアップ情報通知モードに入ると、車載器管理番号を通知します。その後、利用履歴確認スイッチを押すごとに、型式登録番号、型式、ETC セットアップカード発行年月日、DSRC セットアップカード発行年月日の順に通知します。DSRC セットアップカード発行年月日の通知のあとに利用履歴確認スイッチを押すと、車載器管理番号の通知に戻ります。
- セットアップ情報通知モード起動後は、以下の操作を行うことによりモード状態を抜け、ETC2.0 ユニットは通常の動作となります。
  - ETC カード挿入
  - パワースイッチを ACC または ON から OFF にしたとき
  - セットアップ情報通知の発話終了から約 1 分後

*1: 音声案内を中止（音量 0）、または音量 1 に設定してあっても、エラー発生時には音量 2 で出力されます。

クリーニングについて

ETC2.0 ユニット内部のカード接点のクリーニング*1

ETC2.0 ユニット内部のカード接点部をきれいに保つ必要があるため、定期的にクリーニングカードでの清掃をおすすめします。以下のような症状がでた場合には、クリーニングカードでの ETC2.0 ユニットの清掃と、きれいで乾いた柔らかい布での ETC カードの金属端子部の清掃を実施してください。

クリーニングカードでの清掃について、詳しくはレクサス販売店にご相談ください。

- クリーニングカード使用通知の案内があった場合
- カード書込みエラー通知の案内があった場合
- ETC カード挿入時に認証エラーがでた場合
- ETC ゲートの出口で開閉バーが開かなかった場合
- 他車両のユニットでカード認証できて自車両のユニットで認証エラーが発生する場合

知識

- ETC カードの金属端子部はきれいに見えても手の脂や化粧品などで汚れている場合があります。このようなカードを使い続けると、ETC2.0 ユニット内部のカード接点に汚れが転写、堆積する場合があり、ETC2.0 ユニットで ETC カードを認証できずエラーが発生したり、ETC ゲートの開閉バーが開かなくなるおそれがあります。
- クリーニングカード使用通知は、ETC2.0 ユニットの故障を知らせる案内ではありません。クリーニング実施後、エラー通知が無ければ、ETC2.0 ユニットを交換せずご利用が可能です。エラー通知が継続するような場合には、レクサス販売店に相談をしてください。

*1: クリーニングカードはお車に付帯されておりません。

統一エラーコード一覧について

エラーが発生すると、統一エラーコードが画面に表示されます。

この場合は、次の表にもとづき、対処をしてください。

（例）エラー 01 が発生したときは、次のように音声で案内されると同時に、統一エラーコードが画面に表示されます。

音声案内：「ポーン ETC カードが挿入されていません」

画面表示：**「ETC カードが挿入されていませんコード〔01〕」**

統一エラーコード	エラー発生の主な原因	対処方法
01	**料金所通過前** ETC カードを挿入していない	安全を確保して ETC カードを正しく入れなおすか、[**一般**]または[**ETC／一般**]車線に進入してください
	料金所通過時／高速道路走行時 ETC カードを挿入していない	● ETC カードを正しく入れなおしてください ● 料金所では係員の指示にしたがってください
02	**ETC カード挿入時／利用履歴読出時** ETC カードのデータが読み出せない	● ETC カードを正しく入れなおしてください ● カード接点のクリーニングをしてください(→P.379)
03	**ETC カード挿入時** ● ETC カード以外を挿入した ● 挿入する向き（前後表裏）が正しくない ● ETC カードが汚れている	● 挿入したカードが ETC カードかを確認ください ● ETC カードを正しい向きで入れてください ● カード接点のクリーニングをしてください(→P.379)
04	**パワースイッチを ACC または ON 時** ETC2.0 ユニットの故障	● ハイブリッドシステム＜EV システム＞を再始動する ● レクサス販売店に相談してください
05	**ETC カード挿入時** ● ETC カード以外を挿入した ● ETC カード認証エラー	● 挿入したカードが ETC カードかを確認ください ● ETC カードを正しく入れなおしてください ● カード接点のクリーニングをしてください(→P.379)

統一エラーコード	エラー発生の主な原因	対処方法
06	**料金所通過時／高速道路走行時** ETC2.0 ユニットと路側無線装置とのデータ処理エラー	料金所の係員の指示にしたがってください
07	**料金所通過時／高速道路走行時** ETC2.0 ユニットと路側無線装置とのデータ処理エラー	料金所の係員の指示にしたがってください
11	**料金所通過時** ETC カードにデータの書き込みができない	● 高速道路利用中、カード書込みエラー通知があったときは係員のいる車線に進入してください ● 高速道路を降りたあとにカード書込みエラー通知があったときは、その後の ETC ゲートでは正常にご利用できます ● カード接点のクリーニングをしてください(→P.379)
80	**パワースイッチを ACC または ON 時／ETC カード挿入時** アンテナの接続がはずれている	レクサス販売店に相談してください

知識

- 以下の設定にした場合は、エラーが発生しても音声案内は出力されません。ETC2.0 ユニットからブザー音のみが出力されます。
  - ETC の設定画面で、音声設定の[**ETC 料金／情報通知**]を[**OFF**]に設定したとき
  - 音設定画面で、[**システム音量**]を[**0**]に設定したとき
- ETC カード未挿入お知らせアンテナなどと通信した際に、統一エラーコード〔01〕と通知されることがありますが、ETC2.0 ユニットの故障ではありません。
- ETC2.0 ユニットの無線通信を利用して、駐車場管理システムが運用されています。有料道路の料金支払いと異なる通信を行った場合、画面表示・[**登録情報表示**]で確認できる統一エラーコードが〔01〕もしくは〔07〕と表示されることがありますが、ETC2.0 ユニットの故障ではありません。

記録されている統一エラーコードを確認する

ETC2.0 ユニットは、最後に発生した統一エラーコードを記録しています。

1 **ETC カードが挿入されている場合は、ETC カードを抜く。**

2 **利用履歴確認スイッチを約 2 秒以上押す。**

最後に案内された統一エラーコードが音声で案内されます。なお、統一エラーコードの確認は、ETC 画面でも行うことができます。

道路事業者からのお願い

はじめに

必ず、ETC システム利用規程などをお読みください

ETC システム利用規程、同実施細則（以下「利用規程など」という。）、ETC カードの利用約款などに、ご利用上の注意事項が記載されています。また、特にエラーや事故の発生原因になり得る重要な事項について、以下に記載しましたので、ETC のご利用前に、利用規程等と併せて必ずお読みください。

乗車前のご注意

■ 専門の取り付け店で車載器を取り付けてください

車両への車載器の取り付けは、専門の取り付け店などで確実に行ってください。車載器のアンテナユニット（一体型の場合は車載器本体）は、車両の中心付近に車載器メーカーの推奨する方法で取り付けてください。取り付け位置などが不適切な場合、正常に通信できず開閉バーが開かないことがあります。

車載器メーカーが販売する車載器を分解・改造することは、禁止されています。分解・改造された車載器で ETC 無線通行を行わないでください。

- 車載器の取り付けは、車載器メーカーの示す方法で行ってください。メーカーが示す方法以外（シガーソケットなどによる簡易取り付けなど）では、利用できません。
- 分解・改造された車載器は、利用規程などに違反するため、セットアップすることはできません。
- 二輪車用 ETC 車載器を四輪車に取り付けた場合も、利用規程などに違反するため、セットアップすることはできません。

■ ETC カードを車載器に確実に挿入し、エラーなどがないかの確認を!!

ご乗車時に、ETC カードを車載器へ確実に挿入し、エラーなどがないかを確認してご利用ください。ETC カードが確実に挿入されていても、車載器が正しく作動していない場合、開閉バーが開きません。車載器への ETC カードの挿し忘れ、挿し込み不良により、開閉バーが開かないケースが多発しています。

- ETC カードの挿し込み方向（前後・表裏）にご注意ください。
- ETC カードを車載器へ挿入し、ETC が利用可能である旨の音声案内などを確認してください。
- 料金所の手前などに、ETC カードが正常に挿入されていないことをお知らせするアンテナが設置されている箇所があります。ETC カードが正常に挿入されていないことのお知らせがあった場合には、ETC 無線通行はできませんので、一般車線、「ETC／一般」と表示している車線（以下、「一般混在車線」という。）、「ETC／サポート」と表示している車線（以下、「サポート混在車線」という。）又は「サポート」と表示している車線（以下、「サポート車線」という。）をご利用ください。
- 何らかの問題がある場合、車載器によっては、音声や画面によってエラーが表示されます。ETC カード挿入の際や、料金所通過の際にはご注意いただくようお願いいたします。

車載器が ETC カードを認証するまでには数秒かかります。料金所直前での ETC カードの挿入は、エラーの原因となる場合がありますのでご注意ください。

車載器のアンテナ周辺に物を置いたり、取り付け箇所の変更などをしないでください。アンテナの電波をさえぎるものがある場合正常に通信できず開閉バーが開かない場合があります。

ETC カードの有効期限のご注意

有効期限切れの ETC カードは、ご利用いただけません。車載器によっては、有効期限切れの ETC カードを挿入してもエラー表示がされない場合がありますので、お手持ちの ETC カードに記載された有効期限をあらかじめご確認ください。

ETC カードの保管上のご注意

ETC カードを車載器へ挿入したまま車内に放置すると、カードが高温で変形し、車載器が正常に動作しなくなることがあります。また、ETC カードに強い力を加えることも変形の原因となりますので、取り扱いにはご注意ください。

盗難防止の観点から、車両から離れる際は ETC カードを車載器から抜いて、携行していただくことをお勧めします。なお、SA・PA などで休憩後、走行を再開される際には、同一の ETC カードを車載器へ確実に挿入してください。入口料金所を通過の際に挿入されていた ETC カードと異なる ETC カードを挿入した場合、出口料金所では開閉バーが開きません。

ETC カードにはデータを読み書きするための金属端子があります。この部分が汚損しますと、ETC 車線通行時、正常に通信ができず開閉バーが開かない可能性がありますので、取り扱いにご注意ください。清掃される場合には、市販の IC カードクリーナーをご利用ください。

ETC 車線通行時のご注意

■ 十分な車間距離を取り、20 km/h 以下に減速、徐行してください!!

ETC 車線に設置されている開閉バーは、車載器とアンテナとの間の通信等が正常に行われなかった場合には、開かないことがありますので、ご注意ください。また、前車に接近して通行しようとしたときにエラーが発生すると、前車通過後、開閉バーが閉まりますので、ご注意ください。

料金所では、案内板などにより ETC 無線通行が利用可能な車線（「ETC」「ETC 専用」「ETC／一般」「ETC／サポート」のいずれかの表示のある車線）であることを確認して、進入してください。

ETC 車線を通行する際は、前車と十分な車間距離をとった上で、開閉バーの手前で安全に停止できるよう十分に減速し、開閉バーが開いたことを確認して、ご通行ください。

ETC 車線を通行する際は、20 km/h 以下に減速して進入し、徐行して通過していただくようお願いします。

● 利用規程などによらないご利用方法により、道路設備に損傷を与えた場合には、復旧に要する費用をご負担していただく場合がありますので、ご注意ください。

入口料金所の ETC 車線で通信エラーなどにより、通行券を受け取られた場合には、出口料金所では、係員等が応対する車線又は料金精算機のある車線（一般車線、一般混在車線、サポート混在車線又はサポート車線）をご利用ください。その上で、一旦停車して、ETC カードと通行券を係員にお渡し又は料金精算機に挿入いただくか、係員に申し出てください。

入口料金所を ETC で通行した場合で、出口料金所で ETC 車線がご利用できない場合または設置されていない場合は、係員等が応対する車線又は料金精算機のある車線（一般車線、一般混在車線、サポート混在車線又はサポート車線）をご利用ください。その上で、一旦停車して、ETC カードを係員にお渡し又は料金精算機に挿入いただくか、係員に申し出てください。なお、料金所の無い出口の場合は、入口で使用した ETC カードを抜かずにそのままご通行ください。

通行料金をお支払いいただく料金所で異常が発生した場合は、係員へお知らせいただき、係員の案内に従ってください。

機器の点検などにより、ETC 車線を閉鎖する場合がございます。通行料金をお支払いいただく料金所では、係員等が応対する車線又は料金精算機のある車線（一般車線、一般混在車線、サポート混在車線又はサポート車線）をご利用ください。その上で、一旦停車して、ETC カードを係員にお渡し又は料金精算機に挿入いただくか、係員に申し出てください。 また、車載器が使用可能な状態であることをご確認させていただいた上で各種割引などもご利用いただけます。

有料道路への進入から退出までは、同一の ETC カードを継続してご使用ください。料金所以外にも ETC フリーフローアンテナが設置されている箇所があり、走行中、ETC カードには通行料金の計算に必要な情報が随時記録されます。途中で ETC カードを入れ替えたりむやみに抜き差しされますと、正しく通行料金が計算されない場合やエラーを引き起こす場合がありますのでご注意ください。

入口料金所で ETC が正常に通信できなかった場合（入口料金所通過直後の車載器のエラー音あるいは音声案内にご注意ください）は、出口料金所では、係員等が応対する車線又は料金精算機のある車線（一般車線、一般混在車線、サポート混在車線又はサポート車線）をご利用ください。その上で、一旦停車して、係員に申し出てください。なお、料金所のない出口の場合は、ご走行後、当該道路を管理する道路事業者にお申し出ください。

■ スマート IC をご利用の場合は、次の事項にご注意ください

スマート IC は、ETC 専用のインターチェンジです。所定の方法で車両に取り付け・セットアップされた車載器に、有効な ETC カードを確実に挿入し、ETC システムをご利用可能な場合に通行することができます。

営業時間、出入方向および対象車種などに制約がある場合がありますので、ご注意ください。

スマート IC では、その他の料金所の ETC システムとは異なり、車両が停止した状態で通信のやりとりが行われ、開閉バーが開くシステムとなっております

ので、必ず開閉バーの手前の停止線で一旦停止してください。停止位置が適切でない場合、通信できない場合があります。なお、一旦停止しても開閉バーが開かない場合には、車線に設置されたインターホンなどで係員に連絡し、係員の案内に従ってください。

通行止めなどを実施した場合や道路を管理する上で必要な場合、やむを得ず、予告なく出入口を閉鎖することがあります。この場合、通行可能な最寄りの IC をご利用ください。

退出路が設置されているスマート IC においては、エラーなどで正常に ETC 通信ができない場合、直進せずに退出路へお進みいただくことが可能です。標識や路側表示をよくご確認の上、注意して走行いただきますようお願いいたします。

もしも、開閉バーが開かなかったら……

■ ETC 車線では、絶対に車をバックさせないで!!

ETC 車線で、開閉バーが開かなかった場合、危険ですので絶対に車をバックさせず、ハザードランプを点灯して停止し、係員の案内に従ってください。

- 高速道路上でのバックは後続車との接触事故の危険性が高く、重大事故に繋がります。
- バックして他の車線に入りなおすことは、お客さま及び後続車のエラー発生の原因となります。

■ ETC カードを挿入せずに（または通信できなかった状態で）ETC 車線を通過してしまったときは、速やかに道路事業者にご連絡を!!

うっかり ETC カードを車載器に挿し忘れて ETC 車線を通過された場合などは、速やかに、当該道路を管理する道路事業者にご通行の状況を連絡してください。

車載器の再セットアップ

■ 車両ナンバー変更時（車載器付きの中古車購入など）、車載器の移しかえ時は再セットアップを!!

車載器付きの中古車を購入または譲渡を受ける場合・住所変更等により車両のナンバープレートが変更になる場合・車載器を他の車両に移す場合・けん引ができる構造に変更する場合などは、再セットアップが必要となりますので、車載器をお買い求めになった販売店または最寄りのセットアップ店にご相談ください。

- 「普通車⇒普通車」、「軽自動車⇒軽自動車」などの同じ料金設定車種の車両に移す場合においても再セットアップが必要です。
- 異なる車種区分でセットアップされた車載器を他の車両に載せ替えることにより、本来の通行料金の一部を免れる行為は、道路整備特別措置法第 24 条第 3 項に基づき各社が定めた通行方法に反する不正通行となり、同法第 26 条の規定により、免れた通行料金と割増金（免れた通行料金の 2 倍に相当する額）を請求し、徴収します。また、通行料金の支払いを繰り返し免れる行為に対しては同法第 59 条に基づき刑事罰（30 万円以下の罰金）が科されることがあります。

● 国土交通省が令和４年１月４日から運用している「個人が引越の際、オンラインにより自動車の変更登録申請を行う場合に、ナンバープレートの交換を次回の車検時まで猶予する特例」をご利用する場合は、新たなナンバープレートに交換する際に再セットアップが必要になります。

正しくセットアップおよび再セットアップを行っていない場合
● 正しい ETC のご利用とならず、開閉バーが開かない可能性があります。 ● 正しい通行料金が請求されない場合があります。 ● ETC 利用照会サービスなど、一部の ETC サービスがご利用いただけません。 ● 各種 ETC 割引などが適用されない場合があります。

車載器管理番号に関するお願い

■ 車載器管理番号は、ETC の各種登録型サービスのために必要な番号です。

車載器管理番号は、お持ちの車載器または車載器のパッケージに記載されている 19 桁の固有の番号で、ETC の各種登録型サービスを受ける場合又は今後の新たなサービスを受けるにあたって必要な番号です。「ETC 車載器セットアップ申込書・証明書（お客さま保存用）」を大切に保管していただくとともに、車載器管理番号を別に記録し、保管するようにしてください。

障害者割引制度における ETC 利用について

障害者割引制度の最新情報については、有料道路事業者のホームページ等をご確認ください。

ETC 無線通行で障害者割引の適用を受けるには、身体障害者手帳又は療育手帳（以下、「手帳」といいます。）を管理している市区町村の福祉担当窓口又はオンライン申請受付サイト（https://www.expressway-discount.jp/）において事前に申請手続きが必要です。なお、福祉担当窓口での手続きの場合、併せて有料道路事業者が設置する窓口への登録が必要になります。両方の手続きがなされていない場合、ETC 無線通行での障害者割引が適用されません。

事前に登録された ETC カードを、登録された車載器（手帳に記載された車両に取り付けられ、当該車両でセットアップを行ったもの）に挿入し、ETC 車線を無線通行した場合のみ割引が適用されます。

事前に登録されていない車両で障害者割引をご利用いただく場合は、ETC 無線通行による障害者割引の適用は受けられませんので、必ず料金をお支払いいただく料金所の一般車線又は一般混在車線（ETC 車で ETC 専用料金所を利用する場合はサポート混在車線又はサポート車線）にて係員に手帳をご提示ください。

● 既に現金等でのお支払いによる障害者割引適用の手続きをしている場合でも、新たに ETC 無線通行で障害者割引の適用を受ける場合は、改めて同様の手続きと車両の登録を行う必要があります。

● 通行料金をお支払いいただく料金所で ETC 車線が閉鎖されている場合は、係員等が応対する車線（一般車線、一般混在車線、サポート混在車線又はサポート車線）で、

一旦停車して係員に ETC カードを渡し、手帳を提示して確認を受けてください。料金精算機のある車線では、「障がい者用係員呼出ボタン（レバー）」を操作して係員を呼び出してください。

- ETC 無線通行で障害者割引の適用を受けようとする場合でも、必ず手帳を携行してください。（ETC 車線が閉鎖されている等により ETC 無線通行ができない場合、手帳をご提示いただけないと割引が適用できません。）
- 障害者割引には有効期限があります。ご利用の前に有効期限を確認してください。なお、有効期限の更新手続きは市区町村の福祉担当窓口又はオンライン申請受付サイト（https://www.expressway-discount.jp/）で行ってください。
- 登録済の ETC カード、車載器、車両を変更される場合は、ETC のご利用前に市区町村の福祉担当窓口又はオンライン申請受付サイト（https://www.expressway-discount.jp/）で変更手続きを行ってください。

ETC セキュリティ規格の変更について

ETC において、お客さまの決済情報を将来にわたり安全に保護するため、昨今の情報機器の能力向上に伴うセキュリティ脅威の増大への備えとして、セキュリティ機能の向上を目的に、セキュリティ規格の変更を予定しています。なお ETC のセキュリティ規格の変更時期については、具体的な時期は未定ですが、現行（旧）のセキュリティ（車載器、ETC カード）に問題が発生しなければ最長で 2030 年頃までとなる予定です。ただし、セキュリティに問題が発生した場合は、変更時期が早まる可能性がありますのでご注意ください。

お問合せ先一覧

ETC のご利用に関して

■ 東日本高速道路株式会社

NEXCO 東日本お客さまセンター 0570-024-024 または 03-5308-2424

受付時間：24 時間（年中無休）

■ 中日本高速道路株式会社

NEXCO 中日本お客さまセンター 0120-922-229（フリーダイヤルがご利用できないお客さまは 052-223-0333）

受付時間：24 時間（年中無休）

■ 西日本高速道路株式会社

NEXCO 西日本お客さまセンター 0120-924-863（フリーダイヤルがご利用できないお客さまは 06-6876-9031）

受付時間：24 時間（年中無休）

■ 本州四国連絡高速道路株式会社

本四高速お客さま窓口 078-291-1033

受付時間：9：00 ～ 17：30（年中無休）

■ 首都高速道路株式会社

首都高お客さまセンター 03-6667-5855

受付時間：24 時間（年中無休）

■ 阪神高速道路株式会社

阪神高速お客さまセンター 06-6576-1484

受付時間：24 時間（年中無休）

一部時間帯は WEB にてご案内しております

ETC カードおよび請求金額に関して

お手持ちの ETC カード発行元にご確認ください。

車載器に関して

車載器の購入先、または取扱説明書に記載されている連絡先にお問合せください。

セットアップに関して

一般財団法人 ITS サービス高度化機構（ITS-TEA）

ETC お問い合わせ窓口 03-5216-3856

受付時間：月～金 10：00 ～ 17：00（土日・祝日・年末年始を除く）

10 付録

10-1. 付録

メディア／データについての情報 392
認証・商標についての情報 402
フリー／オープンソフトウェア情報 403

メディア／データについての情報

文字情報の表示についての情報

各種画面で情報として表示できる文字数には制限があるため、すべてを表示できないことがあります。また、記録されている内容によっては正しく表示されなかったり、表示ができないことがあります。

使用できる USB メモリーについての情報

使用できる USB メモリーの仕様は、次のとおりです。

■ USB メモリーのフォーマット、仕様

使用できる USB メモリーのフォーマット、規格ならびに制限事項は次のとおりです。

USB コミュニケーションフォーマット	USB 2.0 HS（480MBPS）
ファイルフォーマット	FAT 16/32
通信クラス	Mass storage class
最大フォルダ数	3000（ルート含む）
最大フォルダ階層数	8
最大ファイル数	9999（1 フォルダにつき、最大 255 ファイル）
メモリ容量	～32GB
1 ファイルの最大サイズ	2GB

- 上記フォーマット以外のファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。
- ご利用の USB メモリーによっては、再生できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- パソコンを使用して USB メモリーにファイルを保存する場合、パソコンによっては再生ファイルに加えて不可視ファイルも保存される場合があります。再生時に不可視ファイルが悪影響をおよぼし、正常にファイルを切りかえられない場合がありますので、不可視ファイルは削除することを推奨します。

■ パソコンで記録した音楽ファイル

次の音楽ファイルを再生できます。

- MP3
- WMA
- AAC
- FLAC

- WAV
- ALAC

フォーマットについての情報

使用できる音楽データの仕様は、次のとおりです。

■ MP3

対応規格	MP3（MPEG1 LAYER 3、MPEG2 LSF LAYER 3）
対応サンプリング周波数（kHz）	MPEG1 LAYER 3：32、44.1、48 MPEG2 LSF LAYER 3：16、22.05、24
対応ビットレート（kbps）(1)	MPEG1 LAYER 3：32～320 MPEG2 LSF LAYER 3：8～160
対応チャンネルモード	ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル
ID3 タグ	ID3 Ver.1.0、1.1、2.2、2.3（文字数は各 Ver.に準拠）

(1) VBR（Variable Bit Rate）に対応しています。

■ WMA

対応規格	WMA Ver.7、8、9（9.1、9.2）
対応サンプリング周波数（kHz）	32、44.1、48
対応ビットレート（kbps）(1)(2)	Ver.7、8：CBR（Constant Bit Rate）48～192 Ver.9（9.1/9.2）：CBR 48～320

(1) VBR（Variable Bit Rate）に対応しています。
(2) マルチチャンネルの音源は 2ch に変換されます。

■ AAC

対応規格	MPEG4 AAC-LC
対応サンプリング周波数（kHz）	11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48
対応ビットレート（kbps）(1)	8～320
対応チャンネルモード(2)	1ch（1/0）、2ch（2/0）

(1) VBR（Variable Bit Rate）に対応しています。
(2) デュアルチャンネルには対応していません。

■ WAV（LPCM）

対応サンプリング周波数（kHz）(1)	8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48、88.2、96、176.4、192
対応量子化 bit 数（bit）(2)	16/24
対応チャンネルモード	1ch（1/0）、2ch（2/0）

(1) 96kHz/24bit 以上の音源は 96kHz/24bit にダウンコンバートされます。
(2) マルチチャンネルの音源は 2ch に変換されます。

■ FLAC

対応サンプリング周波数（kHz）(1)	8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48、88.2、96、176.4、192
対応量子化 bit 数（bit）(2)	16/24

(1) 96kHz/24bit 以上の音源は 96kHz/24bit にダウンコンバートされます。
(2) マルチチャンネルの音源は 2ch に変換されます。

■ ALAC

対応サンプリング周波数（kHz）(1)	8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48、64、88.2、96
対応量子化 bit 数（bit）(2)	16/24

(1) 96kHz/24bit 以上の音源は 96kHz/24bit にダウンコンバートされます。
(2) マルチチャンネルの音源は 2ch に変換されます。

■ ファイル名

MP3/WMA/AAC/WAV(LPCM)/FLAC/ALAC と認識し再生するファイルは MP3/WMA/AAC/WAV(LPCM)/FLAC/ALAC の拡張子「.mp3」/「.wma」/「.m4a」/「.3gp」/「.aac」/「.wav」/「.flac」/「.fla」がついたものだけです。MP3/WMA/AAC/WAV(LPCM)/FLAC/ALAC ファイルには、「.mp3」/「.wma」/「.m4a」/「.3gp」/「.aac」/「.wav」/「.flac」/「.fla」の拡張子をつけて保存してください。

■ ID3 タグ／WMA タグ／AAC タグ／タグ

- MP3 ファイルには、ID3 タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。
- WMA ファイルには、WMA タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。
- AAC ファイルには、AAC タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。

- WAV（LPCM）ファイルには、タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。
- FLAC ファイルには、タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。
- ALAC ファイルには、タグと呼ばれる付属文字情報があり、曲のアーティスト名、タイトル名、アルバム名などを保存できます。

■ ハイレゾリューション（ハイレゾ）音源

マルチメディアシステムはハイレゾ音源に対応しています。ハイレゾ音源の定義は、一般社団法人電子技術産業協議会（JEITA）の定義に準拠しています。対応フォーマットと再生可能メディアについては、次のとおりです。

対応フォーマット

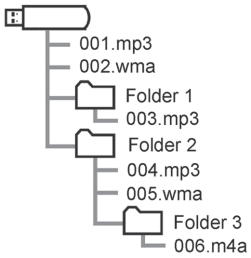
WAV、FLAC、ALAC、LDAC

再生可能メディア

USB メモリー、Bluetooth®オーディオ

■ 音楽データの再生

8 階層までの MP3/WMA/AAC ファイルの再生に対応しています。ただし、さまざまな階層のフォルダを含む場合、再生の開始が遅れることがあります。メディア作成時には階層を 2 つ以下にすることをおすすめします。



オーディオソースや再生モードによって再生順序が異なります。

MP3/WMA/AAC の仕様

使用できる MP3/WMA/AAC ファイルの規格やそれを記憶したメディア、フォーマットには制限があります。Microsoft、Windows、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

使用できる音楽データの仕様は、次のとおりです。

MP3

MP3（MPEG Audio LAYER 3）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3 を使用すれば、もとのファイルを約 1/10 のサイズに圧縮できます。

WMA

WMA（Windows Media Audio）はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも小さいサイズに圧縮できます。

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.

AAC

AAC（Advanced Audio Coding）は MPEG2、MPEG4 で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

Bluetooth®についての情報

使用できる Bluetooth®の仕様およびプロファイルは次のとおりです。

項目	Bluetooth®オーディオ
対応 Bluetooth®仕様	Bluetooth® Core Specification Ver.5.2 以上
対応プロファイル	● A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）音楽データを伝送するためのプロファイル：Ver. 1.3.2 以上 ● AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）マルチメディアシステムからポータブルオーディオなどをコントロール（再生や停止など）するためのプロファイル：Ver. 1.6.2 以上
対応コーデック	LDAC™/AAC/SBC

知識

マルチメディアシステムに対して、すべての Bluetooth®機器との接続性を保証するものではありません。

■ 商標・設計認証情報

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、「株式会社デンソーテン」はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

■ LDAC

LDAC および LDAC ロゴは、ソニー株式会社の商標です。

iPod モード/Apple CarPlay についての情報

■ 商標・設計認証情報

Use of the Apple CarPlay logo means that a vehicle user interface meets Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this vehicle or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this product with iPhone, iPod, or iPad may affect wireless performance.

Apple CarPlay is a trademark of Apple Inc.

Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this vehicle or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.

iPhone, iPod, iPod touch, iPad, iPad mini, iPad Pro, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

Made for

- iPhone 12 Pro Max
- iPhone 12 Pro
- iPhone 12
- iPhone 12 mini
- iPhone SE (2nd generation)
- iPhone 11 Pro Max
- iPhone 11 Pro
- iPhone 11
- iPhone XS Max
- iPhone XS
- iPhone XR
- iPhone X
- iPhone 8 Plus
- iPhone 8
- iPhone 7 Plus
- iPhone 7
- iPhone SE
- iPhone 6s Plus
- iPhone 6s
- iPhone 6 Plus
- iPhone 6
- iPhone 5s
- iPad Pro 12.9-inch (5th generation)
- iPad Pro 12.9-inch (4th generation)
- iPad Pro 12.9-inch (3rd generation)
- iPad Pro 12.9-inch (2nd generation)
- iPad Pro 12.9-inch (1st generation)
- iPad Pro 11-inch (3rd generation)
- iPad Pro 11-inch (2nd generation)

- iPad Pro 11-inch
- iPad Pro 10.5-inch
- iPad Pro 9.7-inch
- iPad Air (3rd generation)
- iPad Air 2
- iPad Air
- iPad mini (5th generation)
- iPad mini 4
- iPad mini 3
- iPad mini 2
- iPad (8th generation)
- iPad (7th generation)
- iPad (6th generation)
- iPad (5th generation)
- iPod touch (7th generation)
- iPod touch (6th generation)

Android Auto についての情報

■ 商標・設計認証情報

Android Auto

Android and Android Auto are trademarks of Google LLC.

Gracenote®についての情報

音楽を再生した場合、マルチメディアシステムのデータベースの中からアルバム名やアーティスト名、ジャンル、トラック名を検索し、各情報がデータベースに収録されていると、各情報を自動で付与します。マルチメディアシステムに収録されているデータベース情報は、Gracenote®メディアデータベースを使用しています。

■ Gracenote®メディアデータベース

- 自動で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。

- 「Gracenote メディアデータベース」によって提供されたデータについては内容を 100%保証するものではありません。
- Gracenote, the Gracenote logo and logotype, and the 「Powered by Gracenote」 logo are either a registered trademark or a trademark of Gracenote, Inc. in the United States and/or other countries.

Wi-Fi®についての情報

- Wi-Fi CERTIFIED®、Wi-Fi®と WMM®は Wi-Fi Alliance®の登録商標です。
- WPA2™、WPA3™は、Wi-Fi Alliance®の商標です。

HDMI についての情報★

使用できる HDMI 機器の映像および音声信号の規格は次の通りです。

映像が表示されない場合は、HDMI 機器の出力設定をご確認ください。

項目	規格
対応映像信号	480p、720p、1080i、VGA
対応音声信号	LPCM 2ch

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

★: グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

認証・商標についての情報

通信モジュール（DCM）についての情報

- 通信モジュール(DCM)は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品本体のネームプレートはその証明ですので、ネームプレートの記載を削除しないでください。
- 通信モジュール(DCM)を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

ETC2.0 ユニットについての情報

ETC2.0ユニットは電波法の基準に適合しています。製品上の記載を削除しないでください。
また、ETC2.0ユニットを分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

車載器管理番号について



- 車載器管理番号シールを貼って大切に保管してください。
- 本書がお車に付帯されない車両は、車載器管理番号シールを車検証入れなどに保管してください。

QR コードについて

QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

フリー／オープンソフトウェア情報

DCM

本製品はフリー／オープンソースソフトウェアを含んでいます。このようなフリー／オープンソースソフトウェアのライセンス情報やソースコードの両方またはどちらか片方は以下の URL で入手することができます。

https://opensource.lge.com/product/list?keyword=TL24I

ETC2.0 ユニット

本製品は、トロンフォーラム（www.tron.org）のT-License 2.1に基づきμT-Kernelソースコードを利用しています。

Copyright (c) 2010/2011, Xiph. Org Foundation (USA), 2008/2010/2011, Broadcom Corporation (USA), 2012, Microsoft Corporation (USA)
All rights reserved

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of Internet Society, IETF or IETF Trust, nor the names of specific contributors, may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,

INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

A

AM ラジオ..... 236
Android Auto で再生する..... 257
Android Auto を使用する..... 109
Apple CarPlay で再生する..... 254
Apple CarPlay を使用する..... 106
ASL..... 221

B

Bluetooth®オーディオを再生する... 242
Bluetooth®機器
削除する..... 84
サブ機器に設定する..... 89
接続する..... 85
登録する..... 81
メイン機器に設定する..... 88

E

EPG..... 233
ETC カード.....368,372,382
ETC2.0 ユニット..... 372
ETC／ETC2.0 サービス..... 368

F

FM 緊急情報..... 173
FM ラジオ..... 236

G

G-Link..... 296
Gracenote®..... 392

H

HDMI 機器を接続する..... 220
HDMI を再生する..... 263

I

iPod モードで再生する..... 250

M

moviLink..... 144

N

NaviCon..... 145

S

Spotify を再生する..... 259

T

TOYOTA アカウント..... 41
TSPS..... 179

U

USB 機器を接続する..... 218
USB ハブ..... 218
USB メモリーを再生する..... 247

V

VICS
VICS について..... 182
交通情報を表示する..... 167
図形情報を表示する..... 171
文字情報を表示する..... 171

W

Wi-Fi®..... 95
Wi-Fi®の設定..... 100

あ

明るさを調整する..... 64
アンテナ
地上デジタルテレビ用..... 235
ラジオ用..... 240

う

ウィジェット..... 29
ウィジェットの編集..... 29

え

エージェントからの提案..... 74
エージェント（音声対話サービス）....37
エージェント（音声対話サービス）について.....37

お

お気に入り地点..... 164
お気に入り地点の登録..... 164
お気に入り地点の編集..... 164
音楽配信サービス..... 259
音質を調整する..... 221
音声コマンド.....40
音声多重放送..... 229
音量調整ツマミ 214
音量を調整する
ETC..... 372
オーディオ 214
システム音声の音量..... 221
電話（着信／受話）..... 90,273
ナビゲーション音声案内の音量..... 221
オーディオシステムの ON/OFF 214
オーナードライバーを登録する.....43

か

顔認証..... 59
カメラのお手入れ方法..... 330
画面表示の ON/OFF..... 64

き

気象情報.....174
共通設定.....63
居住地域設定..... 229
緊急警報放送（EWS）..... 223
緊急時 110 番／119 番へ通報..... 279
緊急通報をする.....311
キーボード
設定の変更..... 73
文字や数字の入力..... 27

く

クイックコントロール画面..... 33
クイックコントロール画面の編集.....33
クリーニングカードについて（ETC2.0）.....379
グループ通話をする..... 288

け

携帯電話
削除する..... 84
接続する..... 85
登録する..... 81
経由地を追加する..... 161
言語を切りかえる..... 71
検索キーワード..... 36

こ

交差点拡大図..... 159
更新する
ソフトウェア情報..... 66
高速略図..... 131
交通情報を聴く..... 239
故障したとお考えになる前に
Apple CarPlay/Android Auto..... 112
ETC..... 380
地上デジタルテレビ..... 224
ドライブレコーダー..... 363
パノラミックビューモニター..... 340
ハンズフリー（電話）..... 270
個人情報を初期化する..... 61
コネクティッドナビ..... 118
コントロールボタン..... 33

さ

災害情報.....174

再起動する.....15
再生する
Android Auto.....257
Apple CarPlay.....254
Bluetooth®オーディオ.....242
HDMI.....263
iPod モード.....250
Spotify.....259
USB メモリー.....247
音楽配信サービス.....259
録画映像（ドライブレコーダー）..353
先読みエコドライブ.....133
削除する
Bluetooth®機器.....84
ウィジェット.....29
コントロールボタン.....33
ドライバー設定.....52,58
マイセッティング.....52,58
ワンタッチダイヤル.....294

し

市街図の表示.....123
施設の詳細情報.....148
自宅を登録する.....163
車内 Wi-Fi（Hotspot）.....97
車内 Wi-Fi（Hotspot）の設定.....102
周辺施設アイコンを表示する.....127
縮尺を切りかえる.....123
初期化
個人情報.....61
初期設定をする.....43

す

数字の入力.....27
スケールを切りかえる.....123
ステアリングスイッチ
音声操作.....37
オーディオ.....214
ハンズフリー（電話）.....273
ステータスアイコン.....19
スマートフォン
削除する.....84
接続する.....85
登録する.....81
3D 表示.....124

せ

セキュリティ設定.....61
セキュリティロック.....62
接続する
Bluetooth®機器.....85
HDMI 端子.....220
iPod.....218
USB Type-C 端子.....218
Wi-Fi®.....95
車内 Wi-Fi（Hotspot）.....97
設定
Bluetooth®機器の設定.....90
ETC の設定.....206
HDMI の設定.....263
VICS ETC2.0 の設定.....208
Wi-Fi®の設定.....100
アカウント設定.....55
案内の設定.....197
エージェントからの提案に関する設定..74
お気に入りの設定.....204
音声操作の設定.....72
各種設定.....53
画面表示の設定.....64
共通設定.....63
キーボードの設定.....73
言語設定.....71
交通情報の設定.....195
サウンドやメディアの設定.....221

時刻設定.....70
車内 Wi-Fi（Hotspot）の設定.....102
セキュリティ設定.....61
操作サポートに関する設定.....69
単位設定.....71
地図表示設定.....130
地図表示の設定.....194
提案サービスの設定.....63
テレビの設定.....229
ドライバー設定.....58
ドライブレコーダーの設定 360
ナビゲーションの設定.....193
パノラミックビューモニターの設定.....339
プライバシー設定.....61
ブラウザの設定.....63
マイセッティング.....58
目的地履歴の設定.....204
ラジオの設定.....237

そ

走行軌跡.....132
ソフトウェア情報を更新する.....66

た

対応プロファイル.....79
タッチスクリーンの操作.....22,25
単位を設定する.....71

ち

地上デジタル TV を視聴する.....226
地図
拡大／縮小.....123
記号.....120
更新情報の確認.....211
スクロール.....122
地図画面の概要.....119
地図画面の表示.....119
データの更新方法.....211
向きを切りかえる.....124
地図表示メニュー.....126
着信拒否.....283
割込着信.....286
調整する
明るさ.....64
音質.....221
コントラスト.....64
時計.....70
ナビゲーション音声案内の音量.....221

つ

追加する
ウィジェット.....29
コントロールボタン.....33
通信アンテナ.....297
通信モジュール.....297
通知センター.....35
通話中の操作.....284

て

ディスプレイと操作スイッチ
インストルメントパネル.....12
手続きをする
G-Link の利用手続き 300
テレビの設定.....229
テレビを視聴する.....226
電子番組表（EPG）を見る.....233
転送する
連絡先データ（電話番号）.....291
録画映像（ドライブレコーダー）..356
電話に出る／電話を受ける..... 281,286
電話をかける
110 番／119 番.....279
一括トーン送出.....280
キーパッド入力.....278
通話中.....287

登録している連絡先..... 277
発信または着信の履歴.....274
ワンタッチダイヤル..... 276
電話を切りかえる.....290
電話を切る.....289
データ放送の情報を見る..... 228

と

登録する
Bluetooth®機器.....81
顔認証.....59
ドライバー設定..... 41,43,56
マイセッティング..... 56
ワンタッチダイヤル..... 293
道路事業者からのお願い..... 382
時計を調整する.....70
ドライバー設定
切りかえや登録をする.....56
削除する.....52
登録する.....41,43
ドライバーを切りかえる.....47
ドライブレコーダー 344

な

ナビゲーション.....118
並びかえる
ウィジェット..... 29
コントロールボタン..... 33

の

ノースアップ表示..... 124

は

ハイレゾリューション（ハイレゾ）音源..
.....392
パノラミックビューモニター..... 326
ハンズフリー（電話）..... 266

ひ

日付を設定する.....70

ふ

フォーマット情報.....392
プライバシー設定.....61

へ

ヘディングアップ表示..... 124
ヘルプネット.....305

ほ

保守点検をする（ヘルプネット）.....315
ホーム画面.....29

ま

マイセッティング.....41
切りかえや登録をする.....56

み

みちびき災害危機通報サービス.....175

め

メインメニュー.....17

も

目的地
追加する..... 161
目的地検索画面..... 136
目的地を検索する
moviLink.....144
NaviCon..... 145
お気に入り地点..... 142
音声操作..... 147
検索ワード..... 137
自宅.....163
住所.....139
充電施設..... 141
電話番号.....140

履歴.....143
文字の入力.....27

ら

ラジオを聴く.....236

り

リモートメンテナンスサービス
e ケア.....323
リモートメンテナンスメール.....323
リルート.....158

る

ルート案内中画面.....157
ルート情報の表示.....156
ルートの再探索.....158
ルートの提案.....162
ルートを選択する.....152
ルートを探索する.....149
ルートを編集する.....153

れ

連絡先データ（電話番号）
削除する（ワンタッチダイヤル）..294
転送する.....291
登録する（ワンタッチダイヤル）..293

ろ

録画する
ドライブレコーダー 344

わ

割込情報の表示
ETC2.0.....177
光ビーコン.....176
割込着信.....286
割込着信／通話.....287
ワンタッチダイヤルを登録する／削除する.....293

「個人情報保護方針」については、https://lexus.jp にて掲載しております。



Publication No. M33J51N
01-2605
ES350h